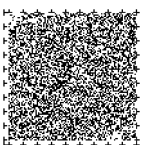
茨木市人権問題に関する市民意識調査
報告書



令和８年３月

茨木市

右のマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用アプリなどで読み取ると、内容を音声で聞くことができます。



目　次

I.　調査概要 1

II.　調査結果 3

1.　人権問題や差別についての考え方について 3

2.　さまざまな人権問題について 53

(1)　女性の人権について 53

(2)　こどもの人権について 59

(3)　高齢者の人権について 64

(4)　障害者の人権について 69

(5)　部落差別(同和問題)について 74

(6)　外国人の人権について 81

(7)　インターネットにおける人権について 87

(8)　性的マイノリティの人権について 92

(9)　その他の人権問題について 97

3.　あなたご自身のことについて 103

4.　人権問題に関する自由意見 107

5.　調査結果についての考察 108

(1)　人権問題や差別についての考え方に関する課題 108

(2)　さまざまな人権課題について 110

III.　人権学習経験が意識に与える影響についての考察 114
1.　何らかの人権学習経験が意識に与える影響について 114
（1）　「差別」についての考え方 114
（2）　住居選択における忌避意識 118
（3）　差別的言動への対応について 122
（4）　日常生活の中で感じていることについて 123
2.　人権課題ごとの学習経験が人権課題の認識に与える影響について 127
（1）　女性の人権について 127
（2）　こどもの人権について 132
（3）　高齢者の人権について 136
（4）　障害者の人権について 140
（5）　部落差別（同和問題）について 145
（6）　外国人の人権について 151
（7）　インターネットにおける人権について 156
（8）　性的マイノリティの人権について 161

IV.　資料（調査票） 165

I. 調査概要

1　調査目的

社会の情勢の変化や、人権をとりまく環境の変化に対応していくため、人権問題に関するご意見・お考えをお尋ねし、「第3次茨木市人権施策推進計画」の策定の基礎資料とすることを目的として、調査を実施しました。

2　調査対象

茨木市在住の 18 歳以上の方の中から 2,000 人を無作為抽出

3　調査期間

令和 7 年 11 月 10 日から令和 7 年 11 月 28 日

4　調査方法

郵送による配布・回収
インターネットによる回答

5　回収状況

配　布　数	有効回答数	有効回答率
2,000 通	977 通	48.9%

6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　、最も低い割合を　で網かけをしています。（無回答を除く）
・分析コメントで記載されている表内の数値については太字で表示しています。

・各図表の項目名については、判読しやすさを優先し、設問文の一部を要約・省略して記載している場合があります。設問の全文については、巻末の調査票をご参照ください。
・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7　信頼区間について

今回のように全体（母集団）から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがあります。抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出されます。誤差の範囲は、母集団の大きさ、標本数、回答率と、信頼度（算出された範囲に誤差が収まる確率）から、統計的に求めることができます。このようにして求めた標本誤差を、得られた調査結果に加減した範囲が、信頼区間になります。

標本誤差の計算式（95％信頼水準）

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96\sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

p＝回答比率、n＝標本数

標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものが以下の表となります。例えば、ある設問の回答者数（n）が 977 人であり、その設問中の選択肢の回答比率（p）が 30％であった場合、その回答比率の誤差は±2.9％となり、27.1％～32.9％の範囲にあると考えられます。

標本数（回答者数）			回答比率（p）				
			10% 90%	20% 80%	30% 70%	40% 60%	50% 50%
全体		（n=977）	1.9%	2.5%	2.9%	3.1%	3.1%
性別	女性	511	3.5%	4.0%	4.2%	4.3%	2.6%
	男性	435	3.8%	4.3%	4.6%	4.7%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	7.8%	8.9%	9.6%	9.8%	5.9%
	30 歳代	122	7.1%	8.1%	8.7%	8.9%	5.3%
	40 歳代	139	6.6%	7.6%	8.1%	8.3%	5.0%
	50 歳代	199	5.6%	6.4%	6.8%	6.9%	4.2%
	60 歳代	146	6.5%	7.4%	7.9%	8.1%	4.9%
	70 歳以上	249	5.0%	5.7%	6.1%	6.2%	3.7%

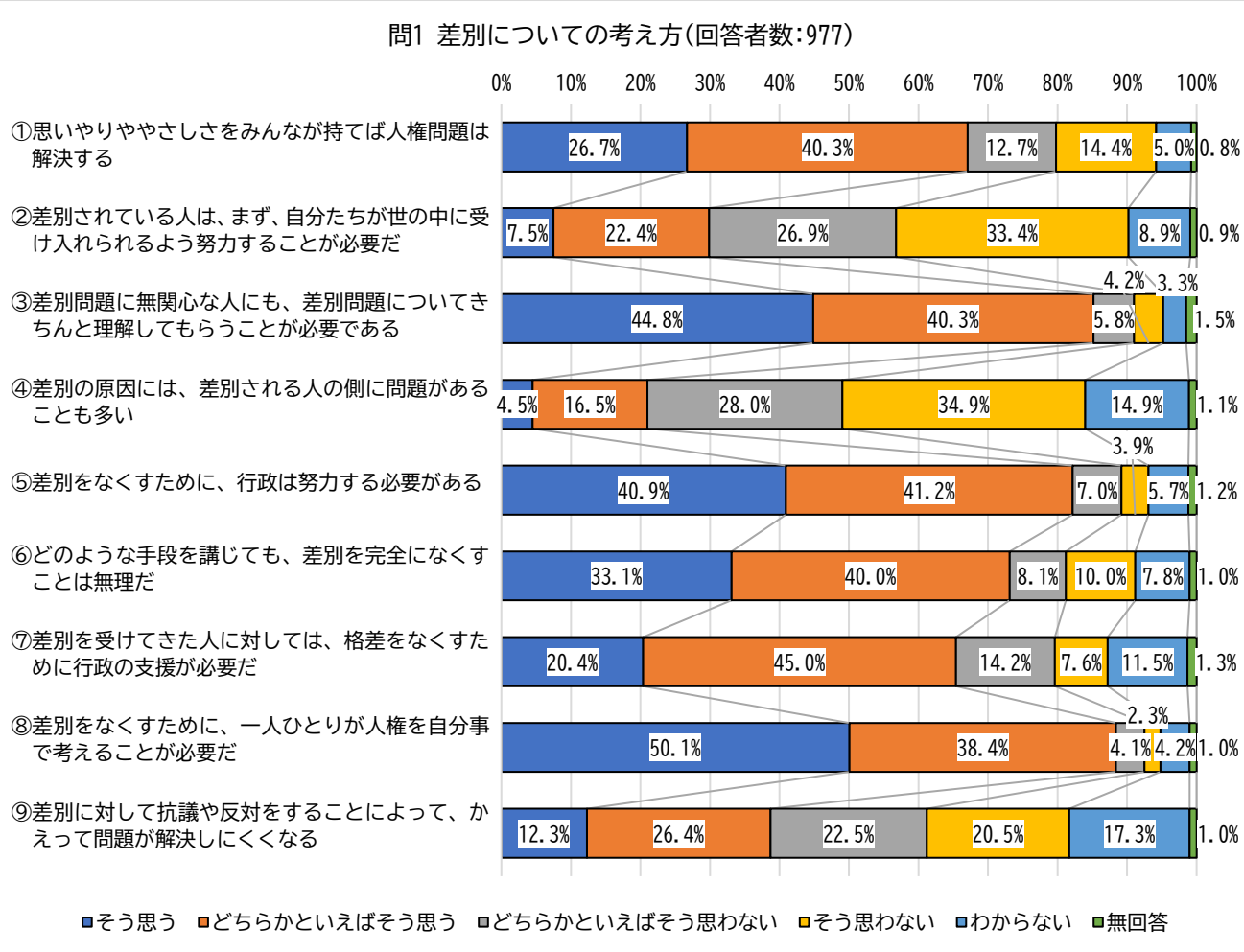
II. 調査結果

1. 人権問題や差別についての考え方について

問１　一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、『⑧差別をなくすために、一人ひとりが人権を自分事で考えることが必要だ』で 88.5%と最も高く、次いで『③差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である』で 85.1%となっています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合は、『④差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い』で 62.9%と最も高く、次いで『②差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ』で 60.3%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『⑦差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ』が 8.1 ポイント、『②差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ』が 7.0 ポイント、『⑤差別をなくすために、行政は努力する必要がある』が 6.6 ポイント、“思う”の割合が減少しています。

【性別】

大きな差異はみられません。

【年齢別】

『⑥どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ』では、“思う”の割合は 40 歳代が 81.3%で最も高く、70 歳以上が 57.4%と最も低くなっており、その差は 23.9 ポイントです。

『②差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ』では、“思わない”の割合は 40 歳代が 69.0%と最も高く、70 歳以上が 46.2%と最も低くなっており、その差は 22.8 ポイントです。

【暮らし向き別】

(「良い」は「良い」と「やや良い」の合計、「悪い」は「悪い」と「やや悪い」の合計)

『①思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する』の“思う”の割合は、「良い」が 70.4%で最も高く、「悪い」が 57.9%と最も低くなっており、その差は 12.5 ポイントです。

『②差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ』の“思わない”の割合は「良い」が 65.7%で最も高く、「悪い」が 50.0%と最も低くなっており、その差は 15.7 ポイントです。

『③差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である』の“思う”の割合は「良い」が 91.8%で最も高く、「悪い」が 75.4%と最も低くなっており、その差は 16.4 ポイントです。

『④差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い』の“思わない”の割合は「良い」が 86.2%で最も高く、『悪い』が 67.5%と最も低くなっており、その差は 18.7 ポイントです。

『⑦差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ』の“思う”の割合は「良い」が 68.2%で最も高く、「悪い」が 54.4%と最も低くなっており、その差は 13.8 ポイントです。

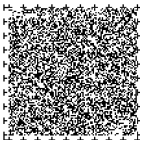
『⑧差別をなくすために、一人ひとりが人権を自分事で考えることが必要だ』の“思う”の割合は「良い」が 92.4%で最も高く、「悪い」が 78.0%と最も低くなっており、その差は 14.4 ポイントです。

『⑨差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる』の“思わない”の割合は「良い」が 47.6%で最も高く、「悪い」が 34.2%と最も低くなっており、その差は 13.4 ポイントです。

			①思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する						②差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ					
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		977	26.7%	40.3%	12.7%	14.4%	5.0%	0.8%	7.5%	22.4%	26.9%	33.4%	8.9%	0.9%
R3 年度調査		975	－	－	－	－	－	－	11.1%	25.8%	21.4%	31.0%	9.4%	1.2%
性別	女性	511	25.0%	42.9%	13.3%	12.5%	5.1%	1.2%	4.5%	22.5%	29.4%	32.5%	9.8%	1.4%
	男性	435	27.8%	38.2%	12.6%	16.6%	4.6%	0.2%	9.2%	22.8%	25.3%	34.7%	7.8%	0.2%
年齢別	18～29 歳	101	32.7%	41.6%	9.9%	13.9%	2.0%	0.0%	4.0%	27.7%	30.7%	33.7%	4.0%	0.0%
	30 歳代	122	19.7%	36.9%	13.9%	22.1%	6.6%	0.8%	6.6%	19.7%	29.5%	38.5%	4.9%	0.8%
	40 歳代	139	23.0%	46.0%	15.8%	11.5%	3.6%	0.0%	5.0%	15.8%	30.9%	38.1%	10.1%	0.0%
	50 歳代	199	17.6%	50.8%	12.6%	14.1%	5.0%	0.0%	3.0%	19.6%	31.2%	36.7%	9.5%	0.0%
	60 歳代	146	22.6%	39.0%	17.8%	15.1%	5.5%	0.0%	6.8%	24.0%	31.5%	29.5%	8.2%	0.0%
	70 歳以上	249	38.6%	31.3%	9.6%	12.4%	5.6%	2.4%	12.4%	26.9%	17.7%	28.5%	11.6%	2.8%
暮らし向き	良い	355	24.8%	45.6%	13.0%	13.5%	2.8%	0.3%	5.4%	23.7%	29.9%	35.8%	5.4%	0.0%
	ふつう	484	29.8%	37.0%	14.0%	13.4%	4.8%	1.0%	7.4%	21.7%	26.4%	33.9%	9.1%	1.4%
	悪い	114	17.5%	40.4%	8.8%	21.1%	12.3%	0.0%	8.8%	22.8%	23.7%	26.3%	18.4%	0.0%

			③差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である						④差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い					
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		977	44.8%	40.3%	5.8%	4.2%	3.3%	1.5%	4.5%	16.5%	28.0%	34.9%	14.9%	1.1%
R3 年度調査		975	53.8%	32.9%	6.1%	2.7%	3.3%	1.2%	4.7%	18.1%	27.7%	33.9%	14.3%	1.3%
性別	女性	511	46.8%	42.1%	5.1%	1.2%	2.9%	2.0%	2.9%	15.9%	28.8%	33.3%	17.6%	1.6%
	男性	435	42.5%	39.3%	6.7%	7.8%	3.0%	0.7%	6.0%	17.0%	28.7%	36.1%	11.7%	0.5%
年齢別	18～29 歳	101	53.5%	34.7%	6.9%	4.0%	0.0%	1.0%	4.0%	19.8%	26.7%	36.6%	11.9%	1.0%
	30 歳代	122	45.9%	41.0%	4.1%	3.3%	3.3%	2.5%	7.4%	9.8%	32.8%	34.4%	14.8%	0.8%
	40 歳代	139	50.4%	38.1%	6.5%	3.6%	0.7%	0.7%	2.2%	12.2%	39.6%	28.8%	16.5%	0.7%
	50 歳代	199	38.7%	47.7%	5.0%	5.0%	3.5%	0.0%	2.5%	16.6%	30.2%	33.7%	17.1%	0.0%
	60 歳代	146	42.5%	43.8%	6.8%	4.8%	2.1%	0.0%	2.7%	16.4%	28.1%	38.4%	13.7%	0.7%
	70 歳以上	249	44.2%	36.5%	5.6%	4.0%	6.4%	3.2%	7.2%	20.5%	20.1%	35.3%	14.5%	2.4%
暮らし向き	良い	355	54.9%	36.9%	3.7%	3.9%	0.3%	0.3%	5.6%	14.4%	31.5%	35.5%	12.7%	0.3%
	ふつう	484	40.3%	43.2%	6.2%	3.9%	4.1%	2.3%	3.3%	17.8%	27.5%	34.9%	15.1%	1.4%
	悪い	114	33.3%	42.1%	9.6%	6.1%	8.8%	0.0%	6.1%	17.5%	24.6%	29.8%	21.1%	0.9%

			⑤差別をなくすために、行政は努力する必要がある						⑥どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ					
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		977	40.9%	41.2%	7.0%	3.9%	5.7%	1.2%	33.1%	40.0%	8.1%	10.0%	7.8%	1.0%
R3 年度調査		975	56.1%	32.6%	4.4%	1.7%	4.1%	1.0%	31.1%	42.2%	7.8%	11.5%	6.3%	1.2%
性別	女性	511	40.1%	43.4%	6.5%	1.8%	6.3%	2.0%	32.7%	42.1%	7.0%	7.8%	8.8%	1.6%
	男性	435	42.1%	39.3%	7.8%	6.0%	4.6%	0.2%	33.6%	38.2%	9.9%	12.0%	6.2%	0.2%
年齢別	18～29 歳	101	52.5%	35.6%	5.0%	3.0%	3.0%	1.0%	46.5%	31.7%	10.9%	7.9%	3.0%	0.0%
	30 歳代	122	41.8%	42.6%	7.4%	4.1%	3.3%	0.8%	41.0%	39.3%	6.6%	5.7%	6.6%	0.8%
	40 歳代	139	30.2%	48.9%	9.4%	2.9%	7.9%	0.7%	37.4%	43.9%	6.5%	7.2%	5.0%	0.0%
	50 歳代	199	40.2%	43.7%	7.0%	5.0%	4.0%	0.0%	37.2%	43.2%	8.0%	4.5%	6.5%	0.5%
	60 歳代	146	41.8%	41.8%	6.8%	4.1%	4.8%	0.7%	26.7%	46.6%	7.5%	12.3%	6.8%	0.0%
	70 歳以上	249	42.6%	36.5%	6.4%	3.2%	8.4%	2.8%	22.1%	35.3%	9.6%	16.5%	13.7%	2.8%
暮らし向き	良い	355	41.4%	44.8%	6.8%	3.4%	3.4%	0.3%	36.1%	42.0%	7.3%	9.3%	5.1%	0.3%
	ふつう	484	41.9%	41.5%	6.0%	2.7%	6.2%	1.7%	29.5%	40.9%	9.3%	9.9%	9.1%	1.2%
	悪い	114	36.8%	30.7%	12.3%	8.8%	10.5%	0.9%	39.5%	30.7%	7.0%	10.5%	11.4%	0.9%



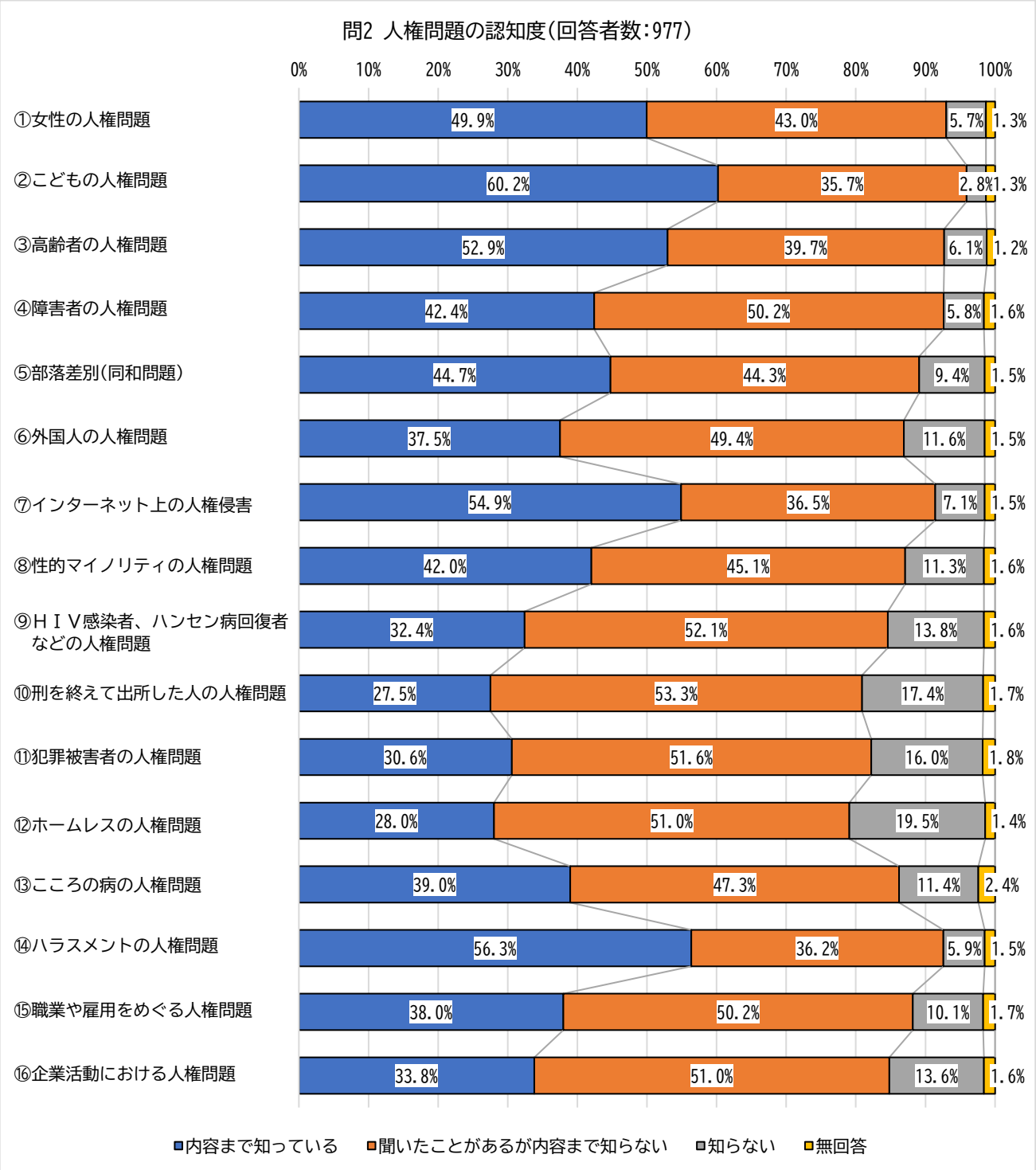
			⑦差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ						⑧差別をなくすために、一人ひとりが人権を自分事で考えることが必要だ					
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		977	20.4%	45.0%	14.2%	7.6%	11.5%	1.3%	50.1%	38.4%	4.1%	2.3%	4.2%	1.0%
R3 年度調査		975	32.5%	41.0%	11.3%	4.9%	9.1%	1.1%	－	－	－	－	－	－
性別	女性	511	19.0%	47.2%	13.7%	5.7%	12.9%	1.6%	53.0%	37.4%	3.9%	0.8%	3.3%	1.6%
	男性	435	20.9%	43.4%	15.6%	9.9%	9.2%	0.9%	45.7%	40.9%	4.4%	3.9%	4.8%	0.2%
年齢別	18～29 歳	101	30.7%	37.6%	14.9%	5.9%	10.9%	0.0%	56.4%	32.7%	5.9%	3.0%	2.0%	0.0%
	30 歳代	122	18.0%	47.5%	13.1%	10.7%	8.2%	2.5%	60.7%	30.3%	3.3%	1.6%	3.3%	0.8%
	40 歳代	139	14.4%	48.9%	16.5%	9.4%	10.8%	0.0%	54.0%	38.8%	6.5%	0.7%	0.0%	0.0%
	50 歳代	199	10.6%	52.8%	15.6%	7.5%	13.1%	0.5%	48.7%	41.2%	3.0%	1.0%	6.0%	0.0%
	60 歳代	146	19.9%	44.5%	17.1%	9.6%	8.2%	0.7%	43.2%	43.8%	5.5%	2.1%	4.8%	0.7%
	70 歳以上	249	27.3%	39.4%	11.6%	4.4%	14.5%	2.8%	44.2%	40.6%	2.8%	4.0%	5.6%	2.8%
暮らし向き	良い	355	19.7%	48.5%	13.5%	9.0%	8.7%	0.6%	57.5%	34.9%	3.1%	2.3%	1.7%	0.6%
	ふつう	484	20.9%	44.8%	15.7%	5.6%	11.6%	1.4%	47.3%	41.3%	4.3%	1.9%	4.1%	1.0%
	悪い	114	16.7%	37.7%	13.2%	11.4%	20.2%	0.9%	36.8%	41.2%	6.1%	3.5%	11.4%	0.9%

			⑨差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる					
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
全体		977	12.3%	26.4%	22.5%	20.5%	17.3%	1.0%
R3 年度調査		975	10.3%	27.1%	24.3%	20.5%	16.3%	1.5%
性別	女性	511	11.9%	20.8%	29.7%	19.8%	17.8%	0.0%
	男性	435	14.8%	23.8%	30.3%	13.9%	16.4%	0.8%
年齢別	18～29 歳	101	7.2%	30.2%	33.1%	15.8%	12.9%	0.7%
	30 歳代	122	10.6%	30.2%	18.6%	23.1%	17.6%	0.0%
	40 歳代	139	13.0%	31.5%	19.2%	17.1%	19.2%	0.0%
	50 歳代	199	14.5%	21.7%	16.1%	26.1%	18.9%	2.8%
	60 歳代	146	13.8%	24.2%	25.9%	21.7%	14.1%	0.3%
	70 歳以上	249	11.0%	27.5%	21.9%	20.5%	18.0%	1.2%
暮らし向き	良い	355	13.8%	24.2%	25.9%	21.7%	14.1%	0.3%
	ふつう	484	11.0%	27.5%	21.9%	20.5%	18.0%	1.2%
	悪い	114	11.4%	28.1%	17.5%	16.7%	25.4%	0.9%

問２　あなたは、以下の人権問題の内容を知っているか、また、関心があるか、あまり悩まず直感でお答えください。（A、Bそれぞれあてはまるもの1つに○）

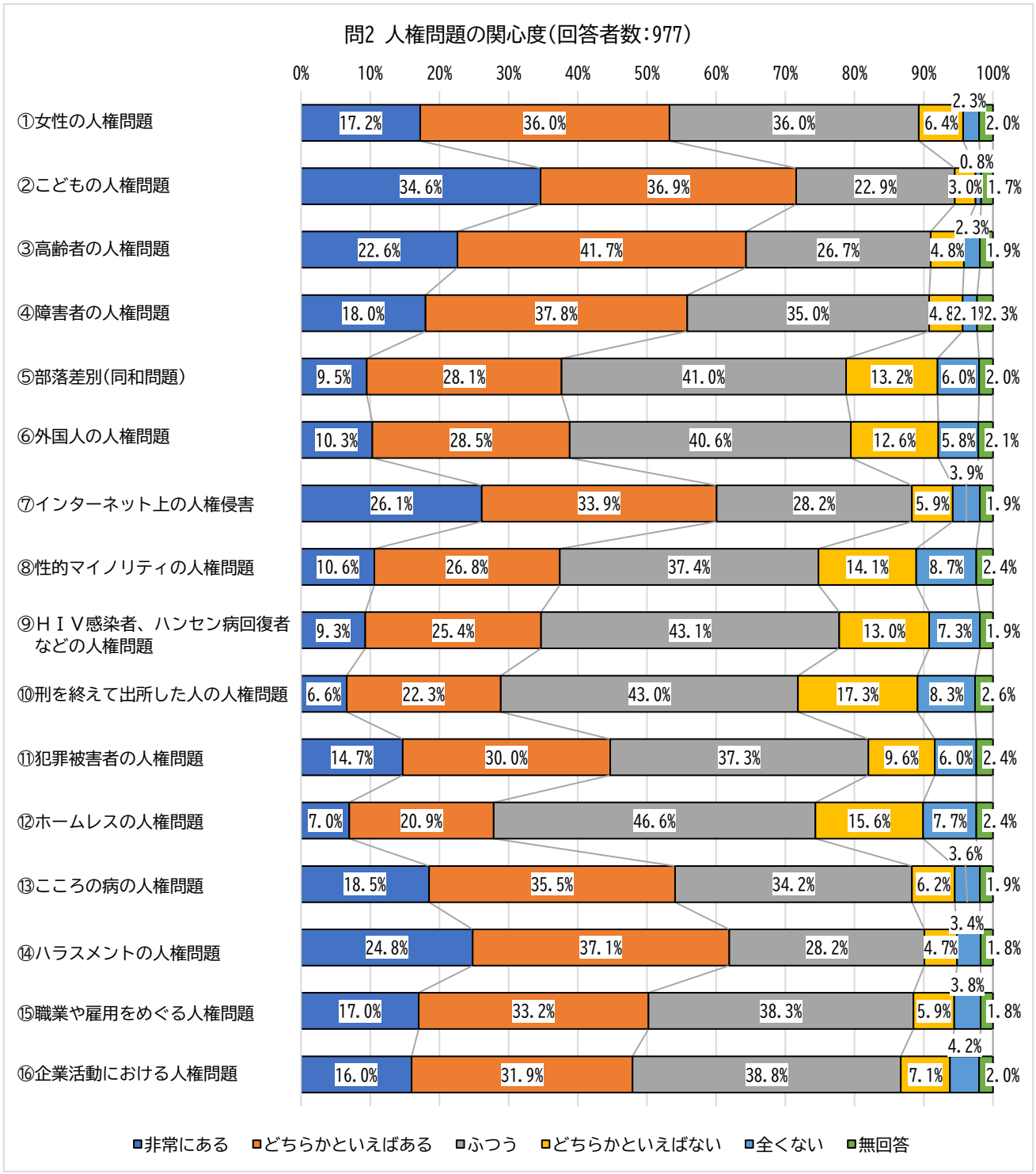
A. 認知度

「内容まで知っている」の割合は、『②こどもの人権問題』で 60.2%と最も高く、次いで『⑭ハラスメントの人権問題』で 56.3%となっています。



B. 関心度

「非常にある」と「どちらかといえばある」を合わせた“ある”の割合は、『②こどもの人権問題』で 71.5％と最も高く、次いで『③高齢者の人権問題』で 64.3％となっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1)人権問題の認知度と関心度の得点化

16 項目について、「認知度」と「関心度」を選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■ 認知度の得点化の手順

認知度	得点
内容まで知っている	2点
聞いたことがあるが、内容まで知らない	0点
知らない	－2点
無回答	計算対象外

■ 関心度の得点化の手順

関心度	得点
非常にある	2点
どちらかといえばある	1点
ふつう	0点
どちらかといえばない	－1点
全くない	－2点
無回答	計算対象外

■ 認知度の得点を算出する方法

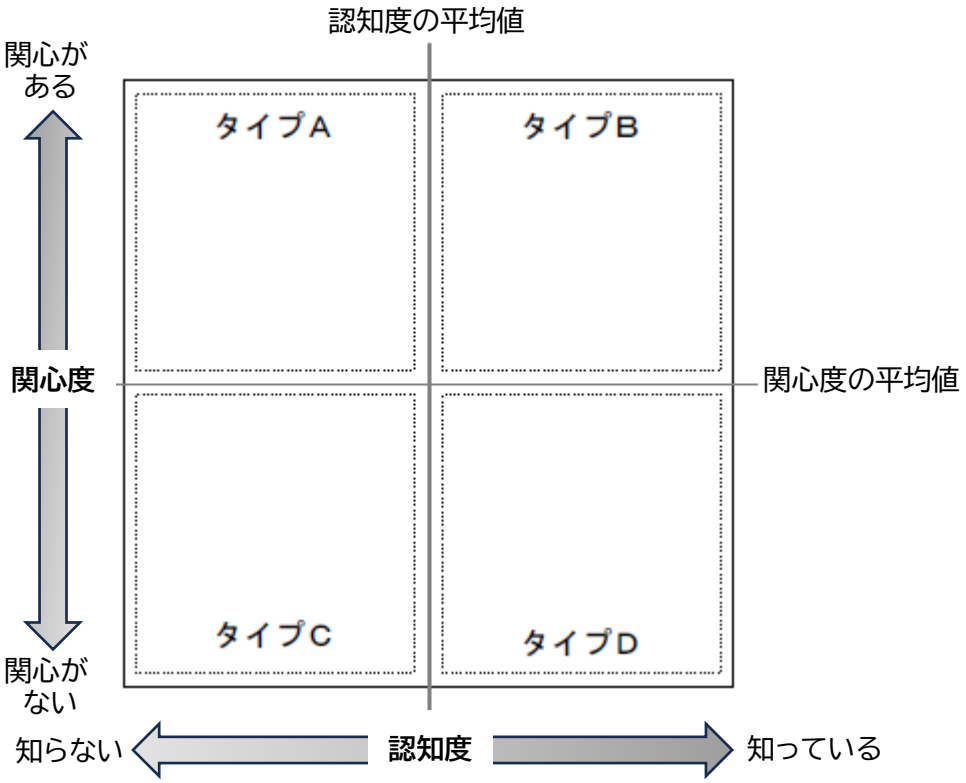
（ 2 点 ×「内容まで知っている」の回答数
0 点 ×「聞いたことがあるが、内容まで知らない」の回答数
－2 点 ×「 知らない 」の 回答数 ）　合計／無回答を除く回答数

■ 関心度の得点を算出する方法

（ 2 点 ×「非常にある」の回答数
1 点 ×「どちらかといえばある」の回答数
0 点 ×「ふつう 」の回答数
－1 点 ×「どちらかといえばない」の回答数
－2 点 ×「全くない」の回答数 ）　合計／無回答を除く回答数

(2)ポートフォリオ分析による認知度・関心度の評価

各項目の認知度・関心度の得点の関係について、認知度・関心度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、得点の平均値を境界として、4 つの領域に区分したプロット図を作成し分析しました。



◆タイプA　　認知度は低いが、関心度は高い

◆タイプB　　認知度は高く、関心度も高い

◆タイプC　　認知度は低く、関心度も低い

◆タイプD　　認知度は高いが、関心度は低い

●人権問題のポートフォリオ分析

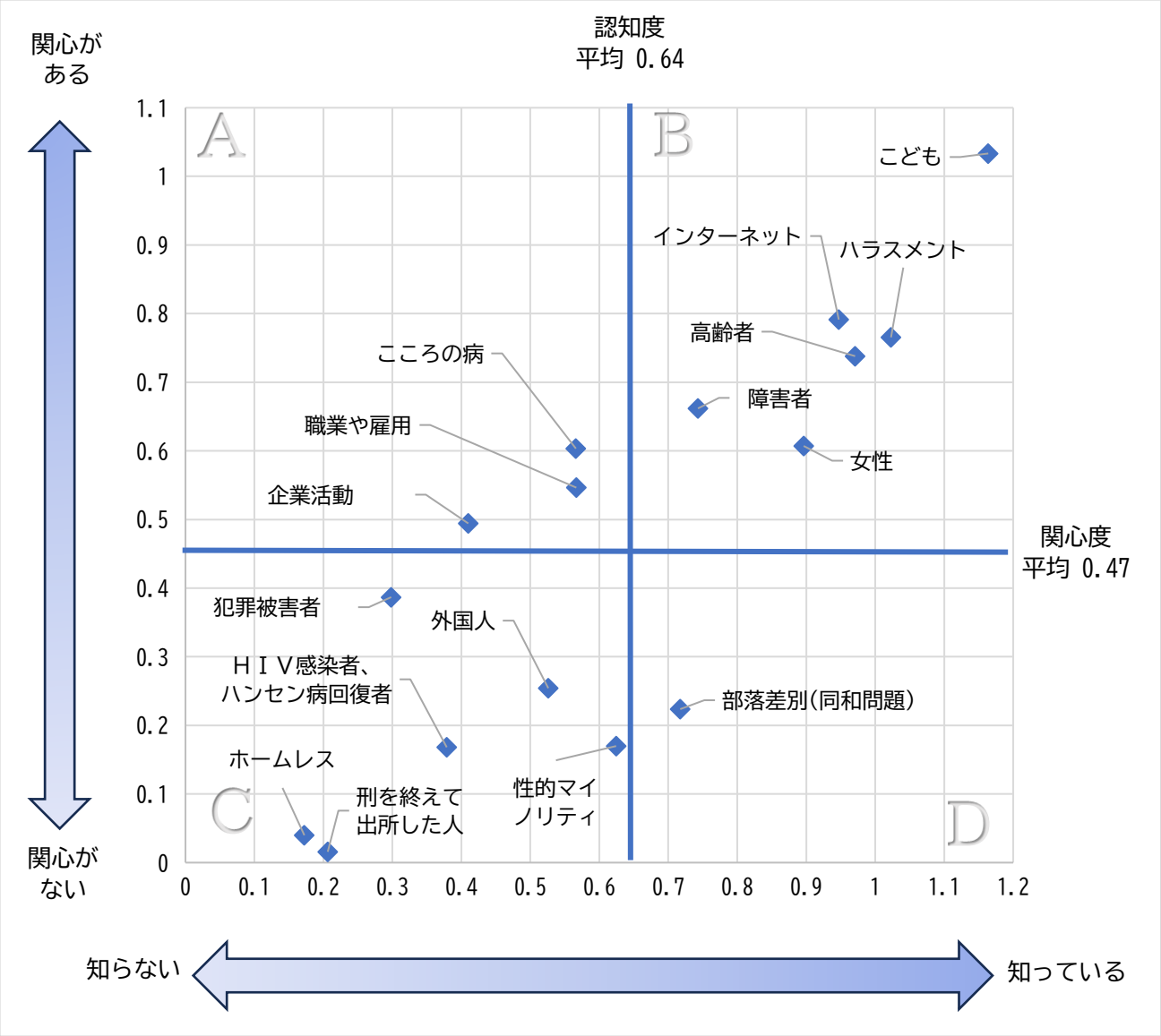
【全体】

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『こころの病』、『職業や雇用』、『企業活動』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『こども』、『高齢者』、『ハラスメント』、『インターネット』、『障害者』、『女性』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『犯罪被害者』、『外国人』、『性的マイノリティ』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『ホームレス』、『刑を終えて出所した人』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』が該当しています。



【性別】

■ 女性

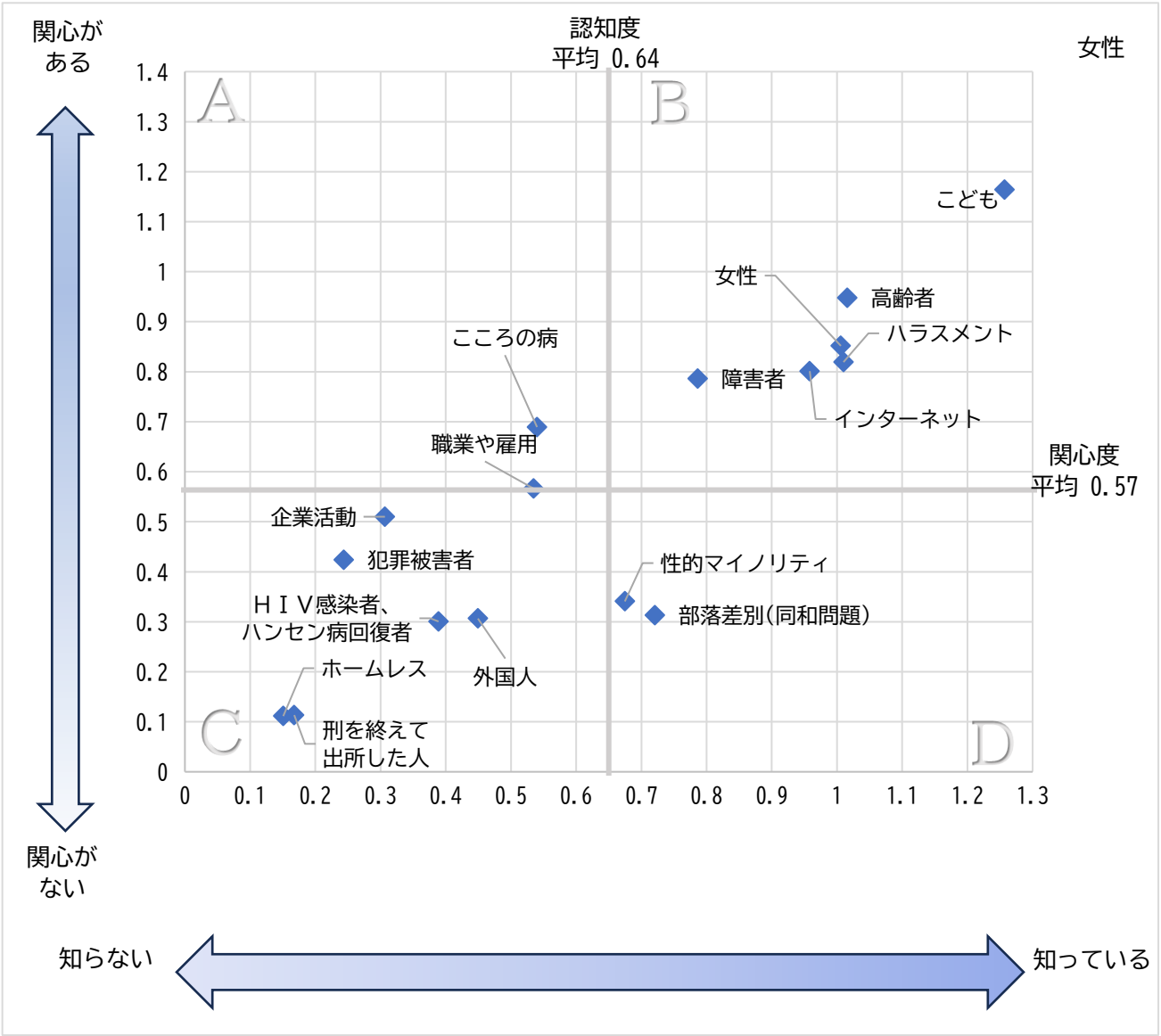
平均値で比較すると、女性は男性に比べ、認知度が低く、関心度が高い傾向があります。

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『こころの病』、『職業や雇用』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『こども』、『高齢者』、『ハラスメント』、『女性』、『インターネット』、『障害者』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『外国人』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『企業活動』、『犯罪被害者』、『刑を終えて出所した人』、『ホームレス』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』、『性的マイノリティ』が該当しています。



■ 男性

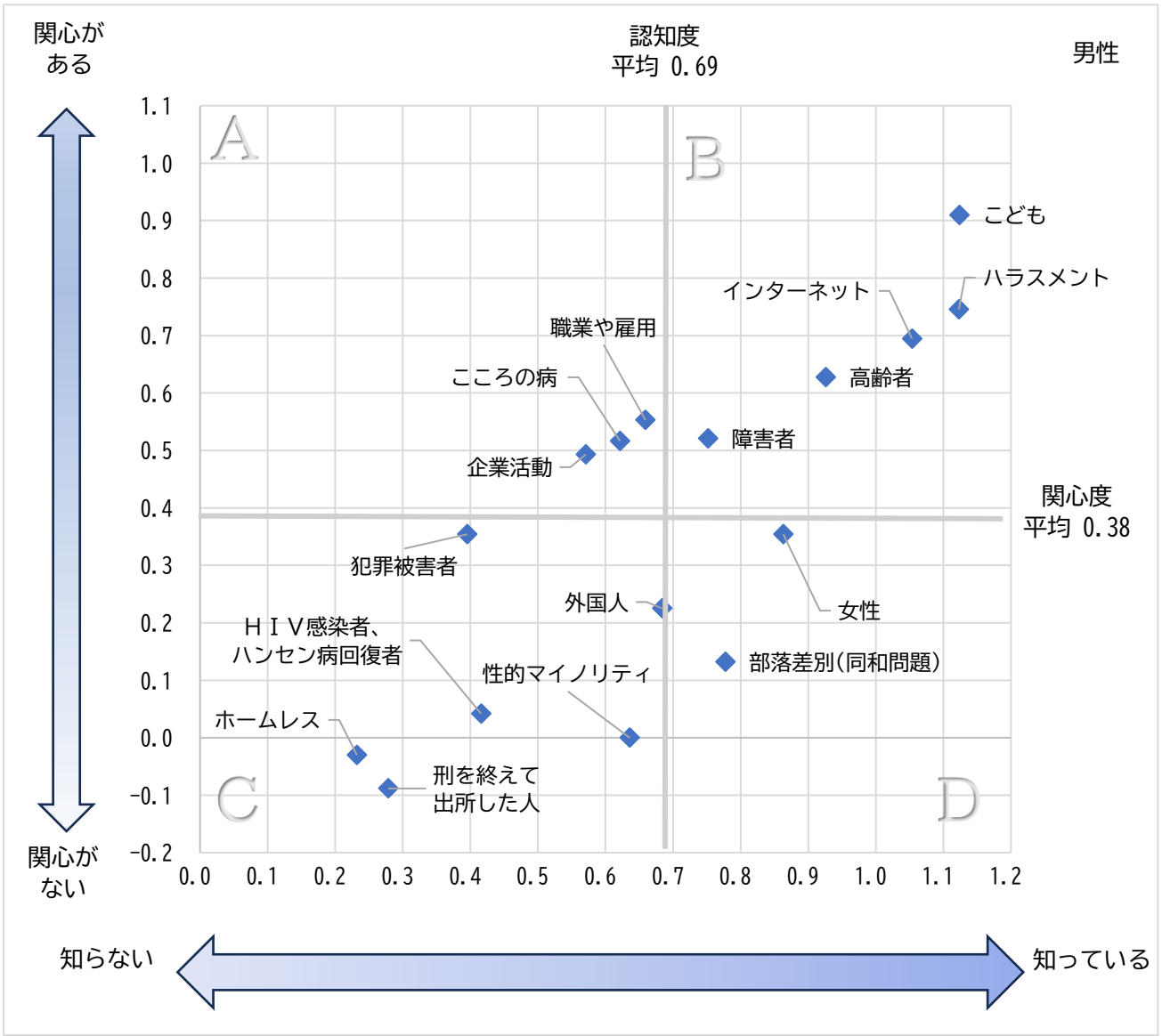
平均値で比較すると、男性は女性に比べ、認知度が高く、関心度が低い傾向があります。

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『職業や雇用』、『こころの病』、『企業活動』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『こども』、『ハラスメント』、『インターネット』、『高齢者』、『障害者』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『外国人』、『性的マイノリティ』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『犯罪被害者』、『刑を終えて出所した人』、『ホームレス』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』、『女性』が該当しています。



【年齢別】

認知度の平均値で比較すると、「18～19 歳」が最も高く、次いで「40 歳代」、「20 歳代」、「30 歳代」、「50 歳代」、「60 歳代」、「70 歳以上」の順になっています。

関心度の平均値で比較すると、「18～19 歳」が最も高く、次いで「60 歳代」、「40 歳代」、「20 歳代」、「30 歳代」、「50 歳代」、「70 歳以上」の順になっています。

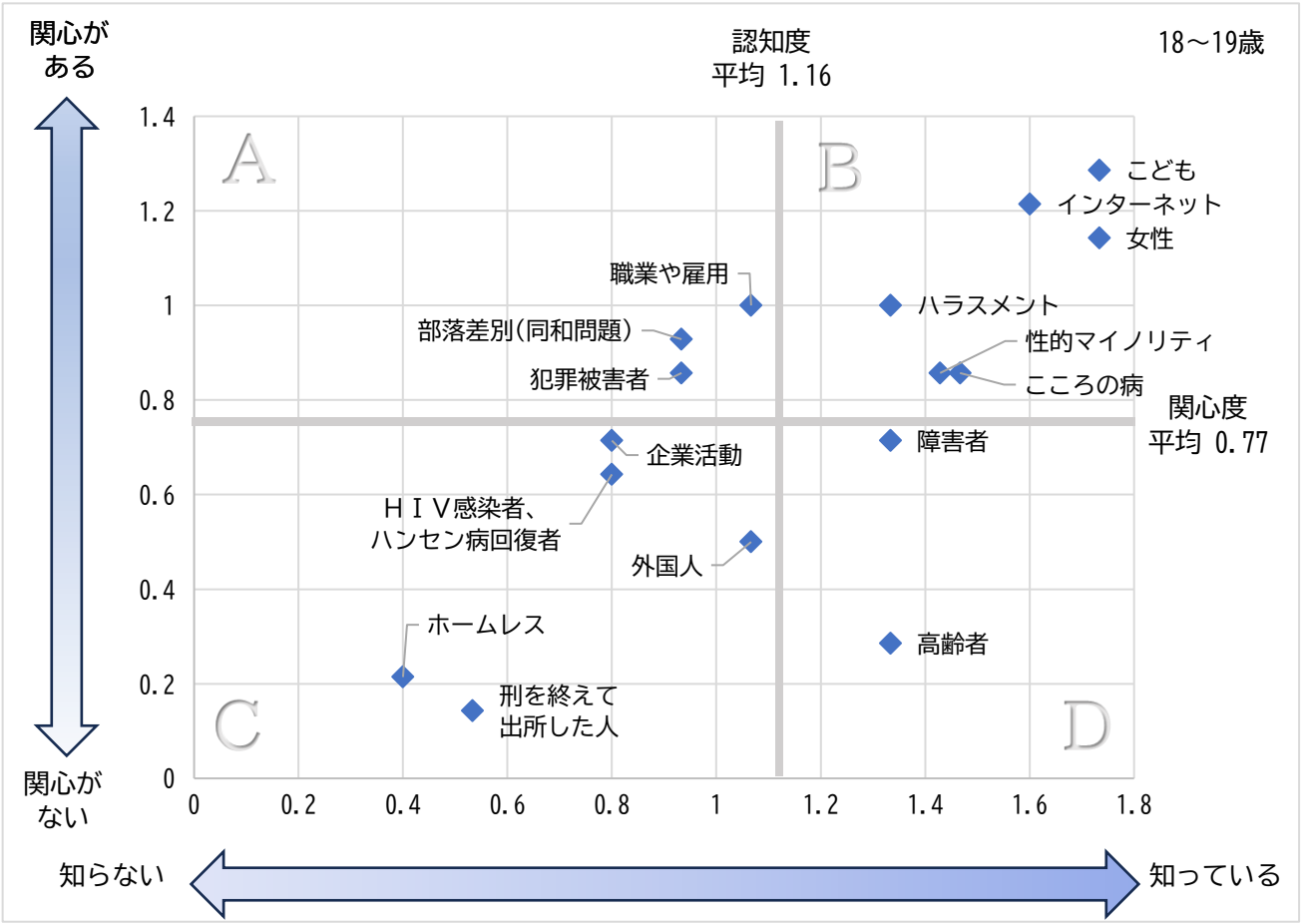
■ 18～19 歳

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『職業や雇用』、『部落差別（同和問題）』、『犯罪被害者』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『女性』、『こども』、『インターネット』、『性的マイノリティ』、『こころの病』、『ハラスメント』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『外国人』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『企業活動』、『刑を終えて出所した人』、『ホームレス』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『高齢者』、『障害者』が該当しています。



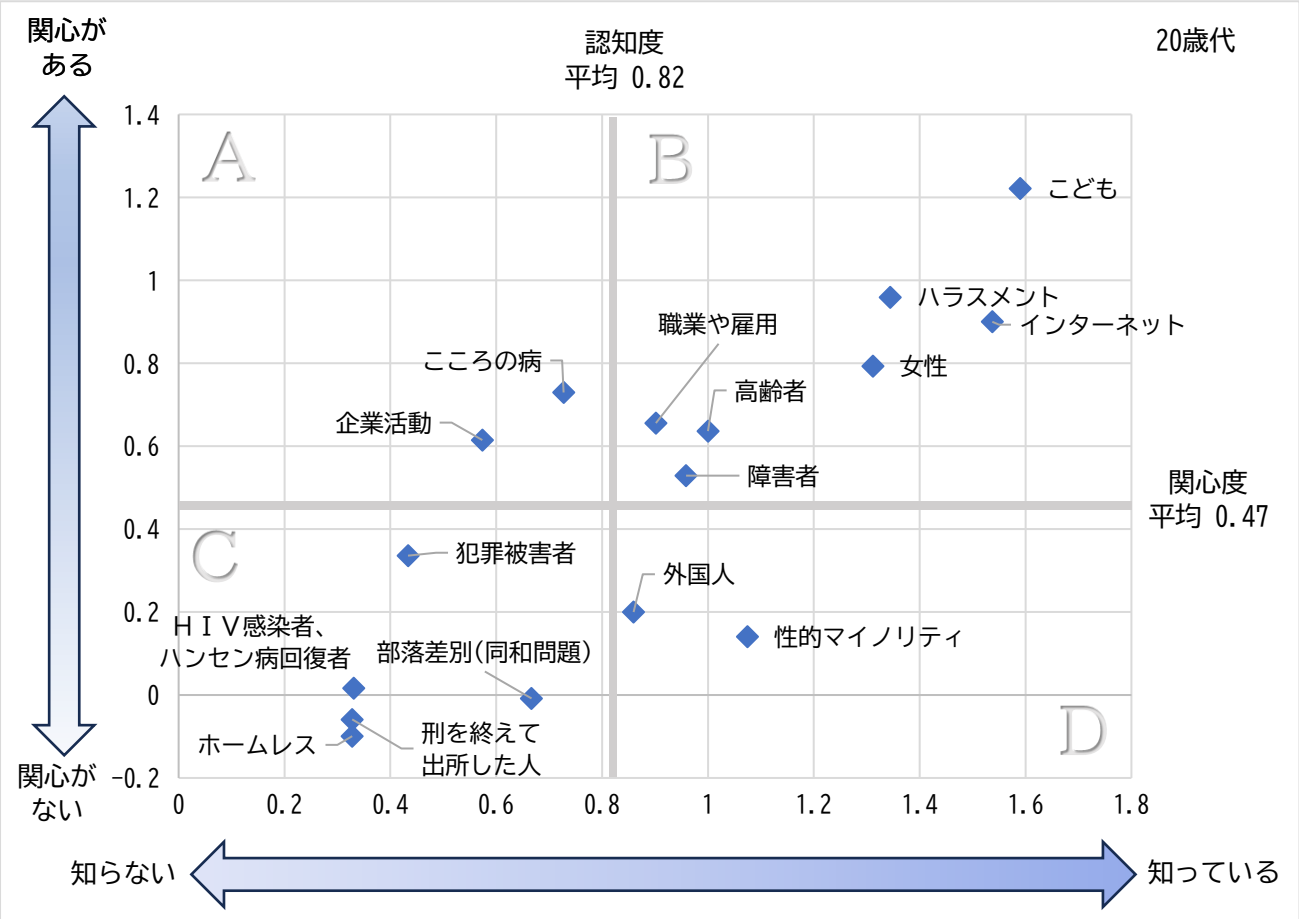
■ 20 歳代

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『こころの病』、『企業活動』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『こども』、『インターネット』、『ハラスメント』、『女性』、『高齢者』、『障害者』、『職業や雇用』」が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『部落差別（同和問題）』、『犯罪被害者』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『刑を終えて出所した人』、『ホームレス』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『外国人』、『性的マイノリティ』が該当しています。



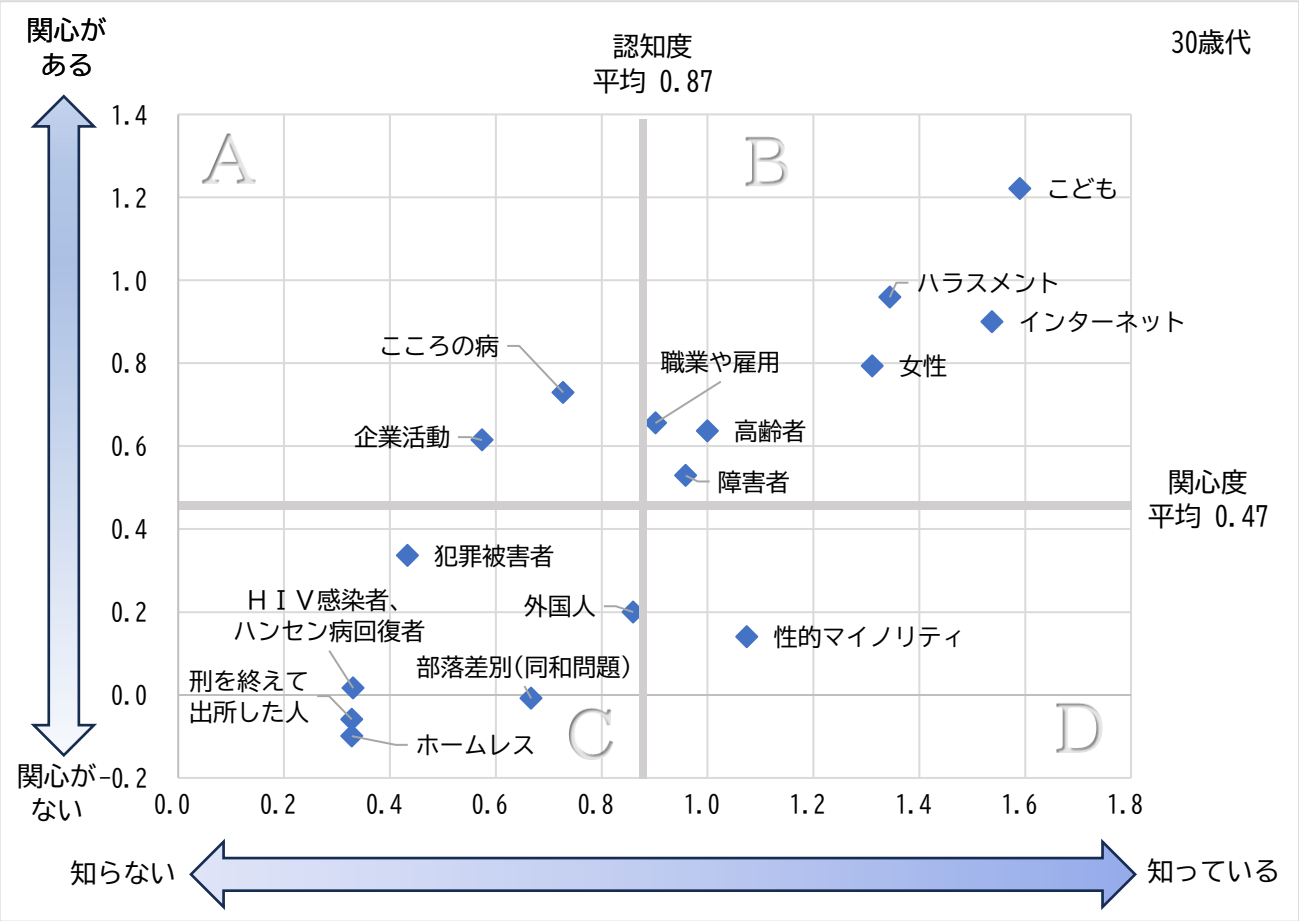
■ 30 歳代

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『こころの病』、『企業活動』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『こども』、『インターネット』、『ハラスメント』、『女性』、『高齢者』、『障害者』、『職業や雇用』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『外国人』、『部落差別（同和問題）』、『犯罪被害者』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『刑を終えて出所した人』、『ホームレス』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『性的マイノリティ』が該当しています。



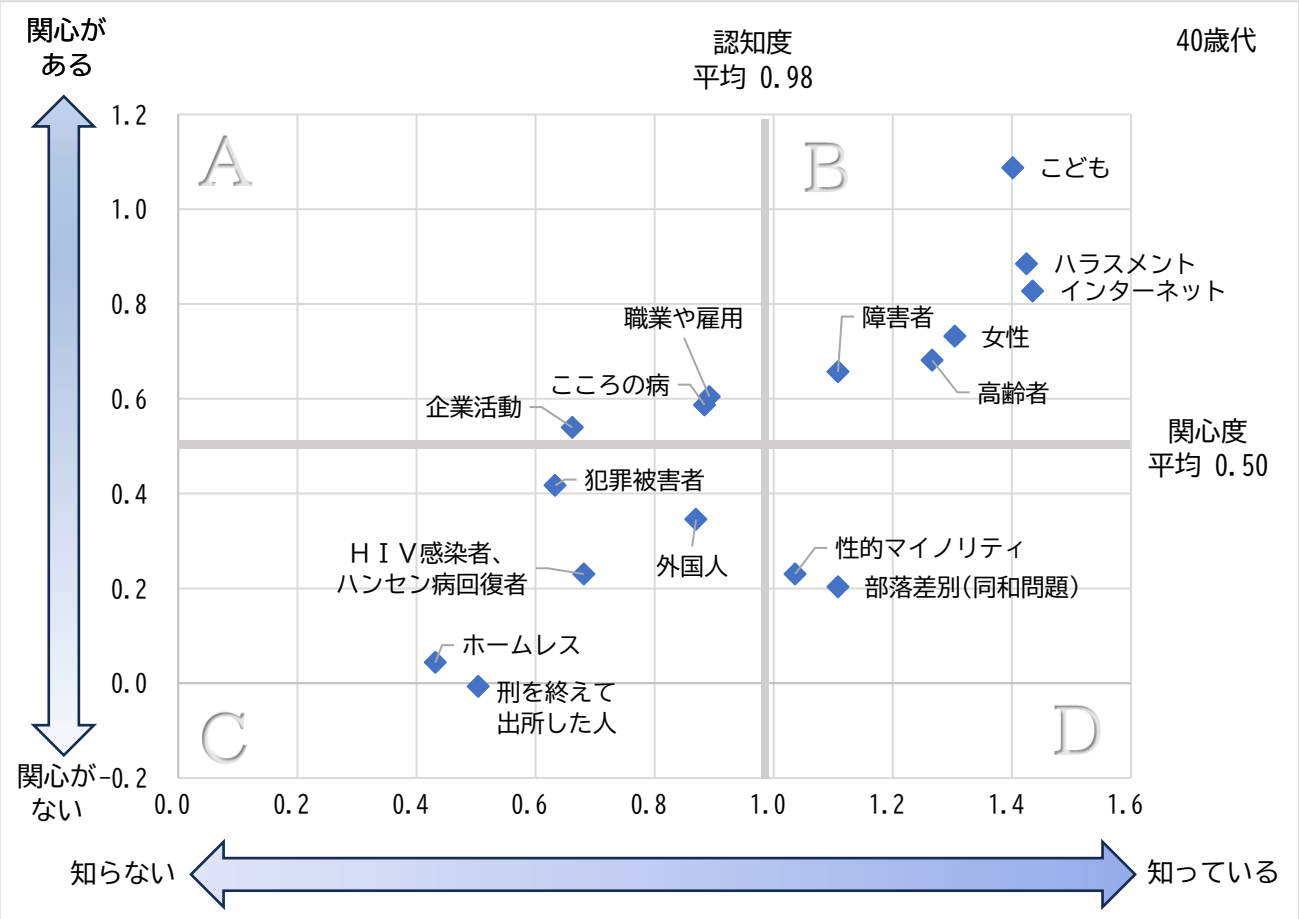
■ 40 歳代

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『職業や雇用』、『こころの病』、『企業活動』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『インターネット』、『ハラスメント』、『こども』、『女性』、『高齢者』、『障害者』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『外国人』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『犯罪被害者』、『刑を終えて出所した人』、『ホームレス』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』、『性的マイノリティ』が該当しています。



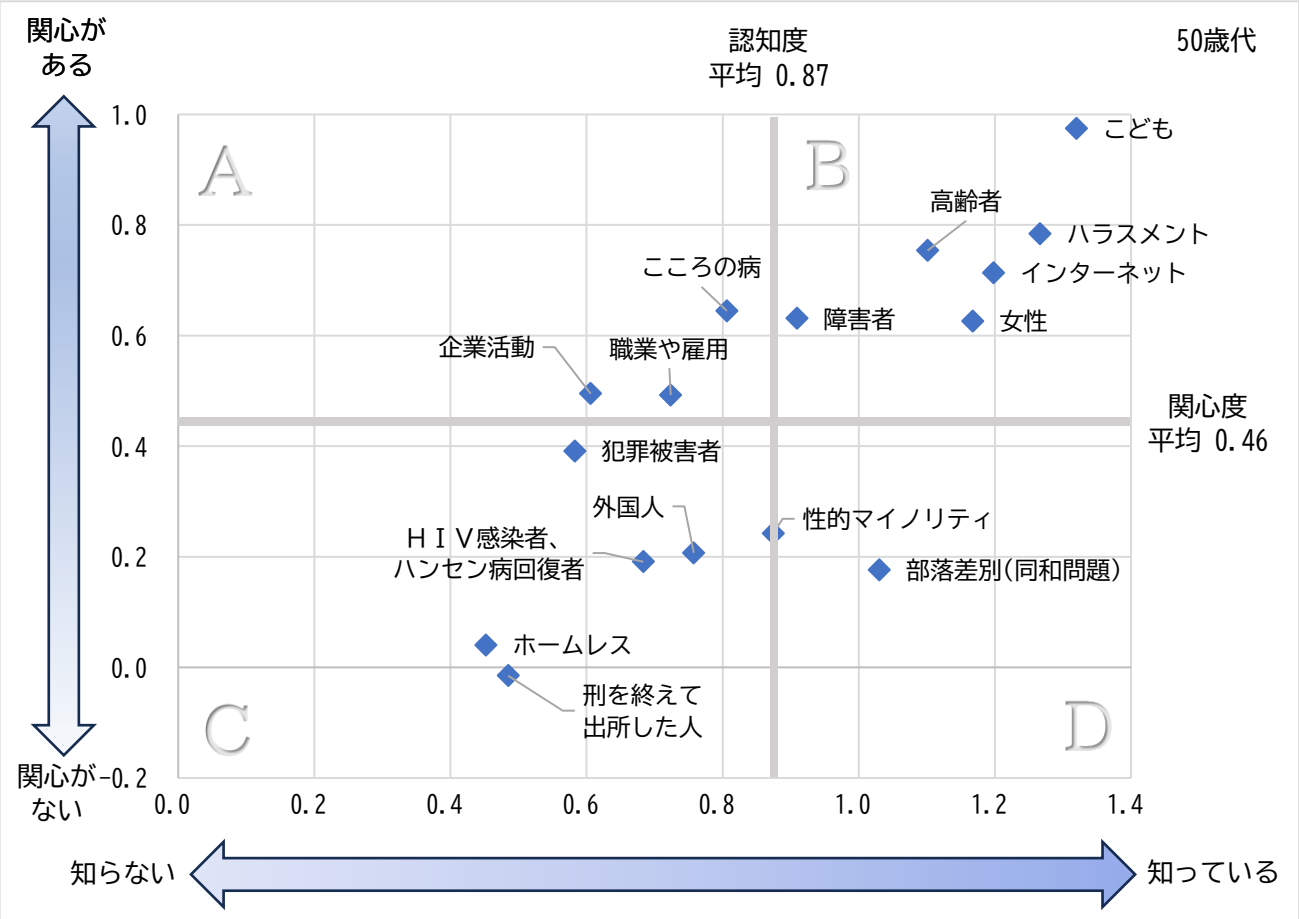
■ 50 歳代

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『こころの病』、『職業や雇用』、『企業活動』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『こども』、『ハラスメント』、『インターネット』、『女性』、『高齢者』、『障害者』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『外国人』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『犯罪被害者』、『刑を終えて出所した人』、『ホームレス』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』、『性的マイノリティ』が該当しています。



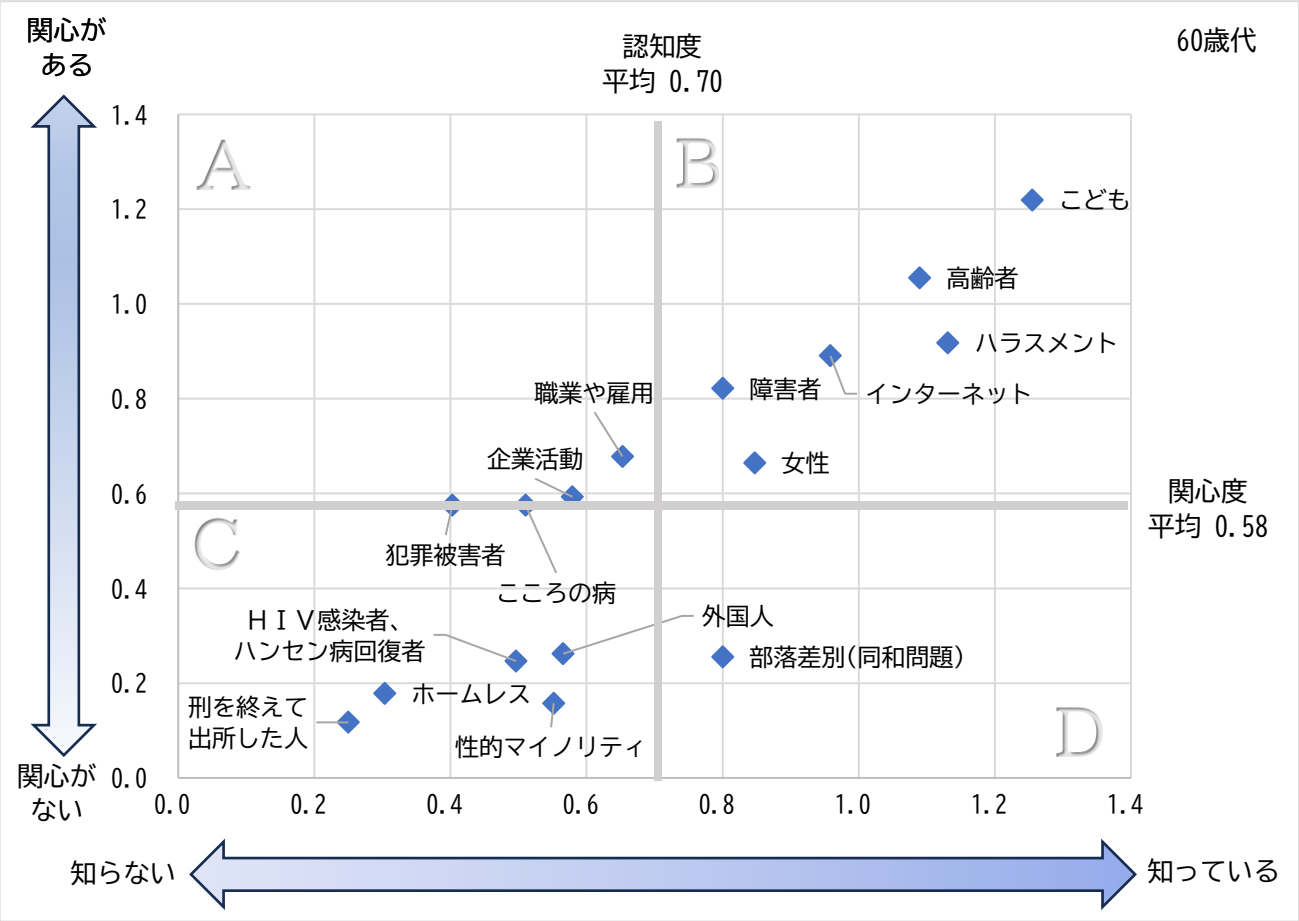
■ 60 歳代

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『職業や雇用』、『企業活動』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『こども』、『ハラスメント』、『高齢者』、『インターネット』、『女性』、『障害者』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『外国人』、『性的マイノリティ』、『こころの病』、『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『犯罪被害者』、『ホームレス』、『刑を終えて出所した人』が該当しています。

認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』が該当しています。



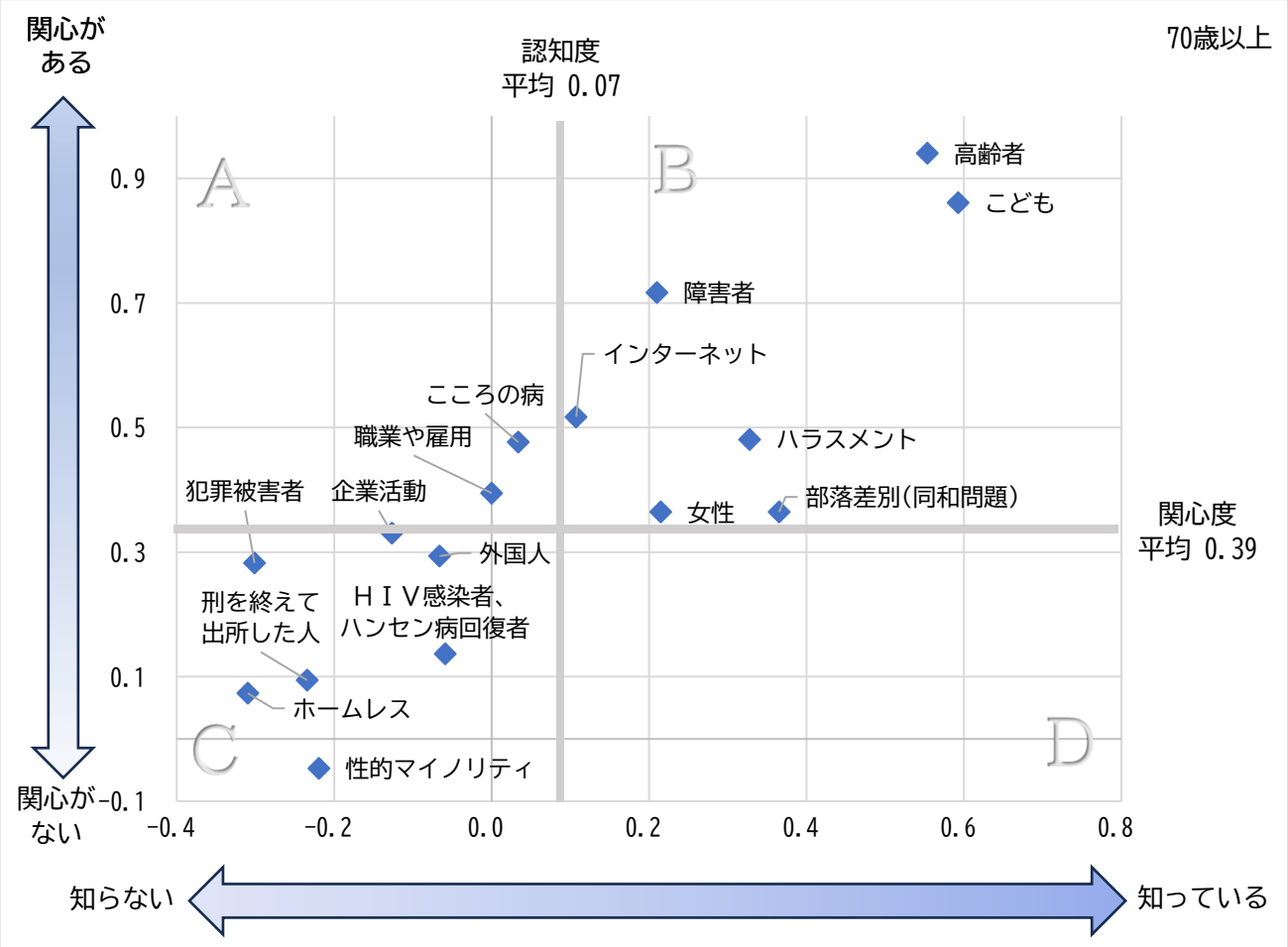
■ 70 歳以上

認知度は低いが、関心度は高い「タイプA」には『こころの病』、『職業や雇用』が該当しています。

認知度が高く、関心度も高い「タイプB」には『こども』、『高齢者』、『ハラスメント』、『障害者』、『インターネット』が該当しています。

認知度が低く、関心度も低い「タイプC」には『HIV感染者、ハンセン病回復者』、『外国人』、『企業活動』『性的マイノリティ』、『刑を終えて出所した人』、『犯罪被害者』、『ホームレス』が該当しています。

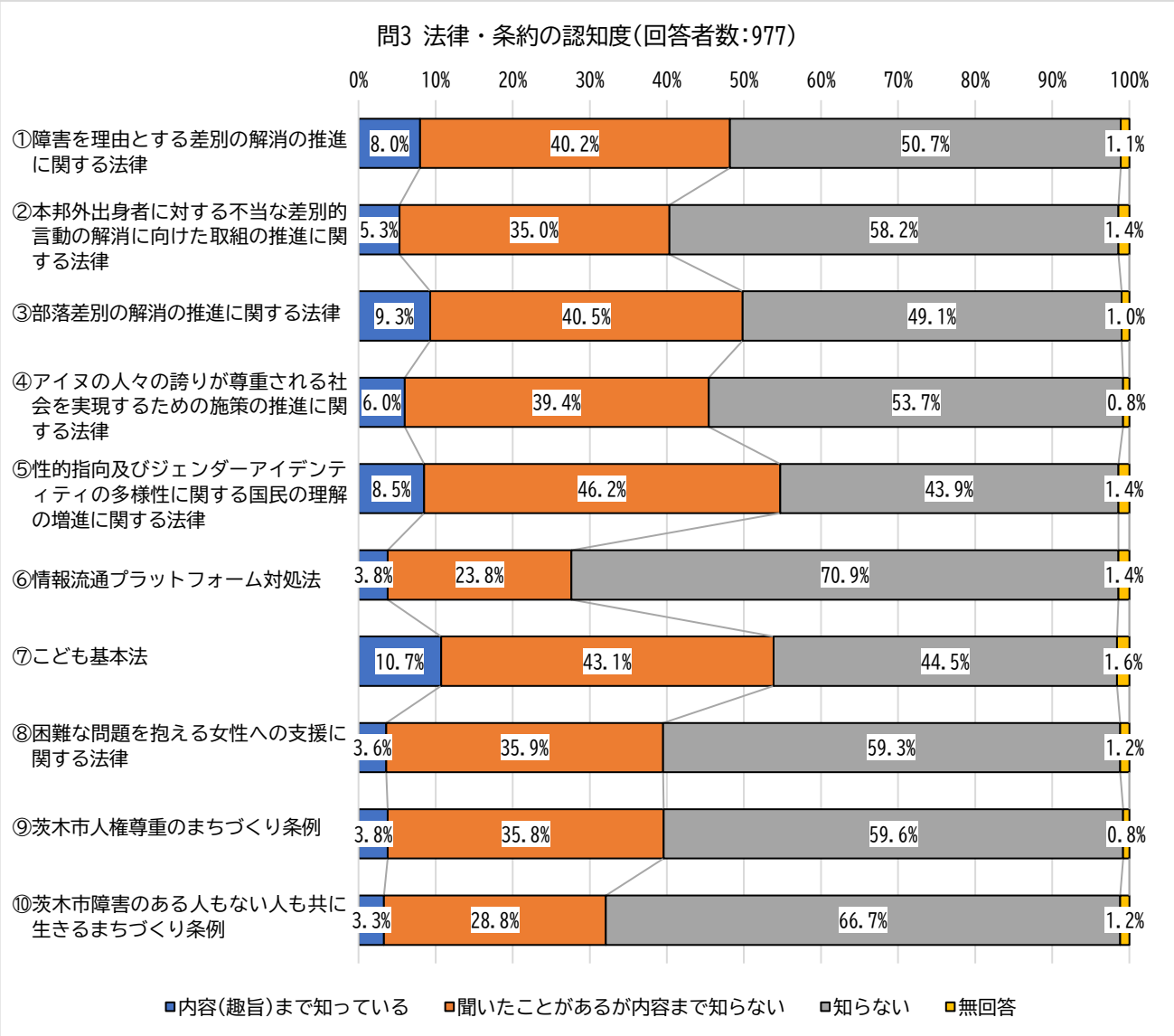
認知度は高いが、関心度は低い「タイプD」には『部落差別（同和問題）』、『女性』が該当しています。



問３　あなたは、以下の法律や条例、また、人権問題に関する行政の取組や相談窓口を知っていますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

【法律・条例】

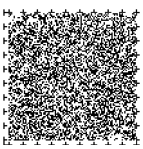
法律・条例の認知度については、いずれの項目も「内容（趣旨）まで知っている」の割合は最も高い『⑦こども基本法』の 10.7％を除いて1割未満となっています。また、「知らない」の割合は、『⑥情報流通プラットフォーム対処法』で 70.9％と最も高く、次いで『⑩茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例』で 66.7％となっています。



			①障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律				②本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	8.0%	40.2%	50.7%	1.1%	5.3%	35.0%	58.2%	1.4%
R3 年度調査		975	6.6%	35.2%	56.7%	1.5%	6.3%	32.4%	59.5%	1.8%
性別	女性	511	6.8%	41.3%	50.9%	1.0%	3.5%	35.2%	60.5%	0.8%
	男性	435	9.7%	39.1%	50.1%	1.1%	7.8%	34.0%	56.6%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	13.9%	33.7%	50.5%	2.0%	8.9%	30.7%	59.4%	1.0%
	30 歳代	122	5.7%	33.6%	59.0%	1.6%	0.8%	27.9%	70.5%	0.8%
	40 歳代	139	10.1%	36.7%	51.8%	1.4%	4.3%	33.8%	60.4%	1.4%
	50 歳代	199	8.5%	40.7%	50.8%	0.0%	7.0%	34.2%	58.3%	0.5%
	60 歳代	146	7.5%	43.8%	48.6%	0.0%	6.2%	39.0%	54.1%	0.7%
	70 歳以上	249	6.0%	45.8%	46.6%	1.6%	5.2%	38.2%	54.2%	2.4%

			③部落差別の解消の推進に関する法律				④アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	9.3%	40.5%	49.1%	1.0%	6.0%	39.4%	53.7%	0.8%
R3 年度調査		975	8.4%	38.1%	51.8%	1.7%	－	－	－	－
性別	女性	511	8.0%	39.9%	51.3%	0.8%	4.9%	38.4%	56.2%	0.6%
	男性	435	11.3%	41.4%	46.4%	0.9%	7.8%	41.1%	50.3%	0.7%
年齢別	18～29 歳	101	13.9%	30.7%	53.5%	2.0%	12.9%	39.6%	46.5%	1.0%
	30 歳代	122	4.1%	32.0%	63.1%	0.8%	3.3%	36.9%	59.8%	0.0%
	40 歳代	139	8.6%	36.0%	55.4%	0.0%	2.9%	39.6%	57.6%	0.0%
	50 歳代	199	11.1%	42.2%	46.2%	0.5%	7.5%	41.2%	51.3%	0.0%
	60 歳代	146	10.3%	49.3%	40.4%	0.0%	8.9%	41.1%	49.3%	0.7%
	70 歳以上	249	8.8%	45.8%	43.4%	2.0%	4.0%	39.8%	54.2%	2.0%

			⑤性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律				⑥情報流通プラットフォーム対処法			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	8.5%	46.2%	43.9%	1.4%	3.8%	23.8%	70.9%	1.4%
性別	女性	511	6.7%	47.7%	44.2%	1.4%	2.2%	23.9%	73.0%	1.0%
	男性	435	11.3%	45.5%	42.1%	1.1%	5.5%	24.8%	68.0%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	19.8%	37.6%	39.6%	3.0%	8.9%	21.8%	69.3%	0.0%
	30 歳代	122	4.9%	50.8%	42.6%	1.6%	1.6%	23.8%	72.1%	2.5%
	40 歳代	139	7.2%	49.6%	42.4%	0.7%	2.9%	20.9%	75.5%	0.7%
	50 歳代	199	10.1%	52.3%	37.7%	0.0%	2.5%	29.6%	67.8%	0.0%
	60 歳代	146	9.6%	48.6%	41.8%	0.0%	4.1%	30.1%	65.1%	0.7%
	70 歳以上	249	5.2%	41.4%	50.6%	2.8%	4.0%	18.9%	73.9%	3.2%

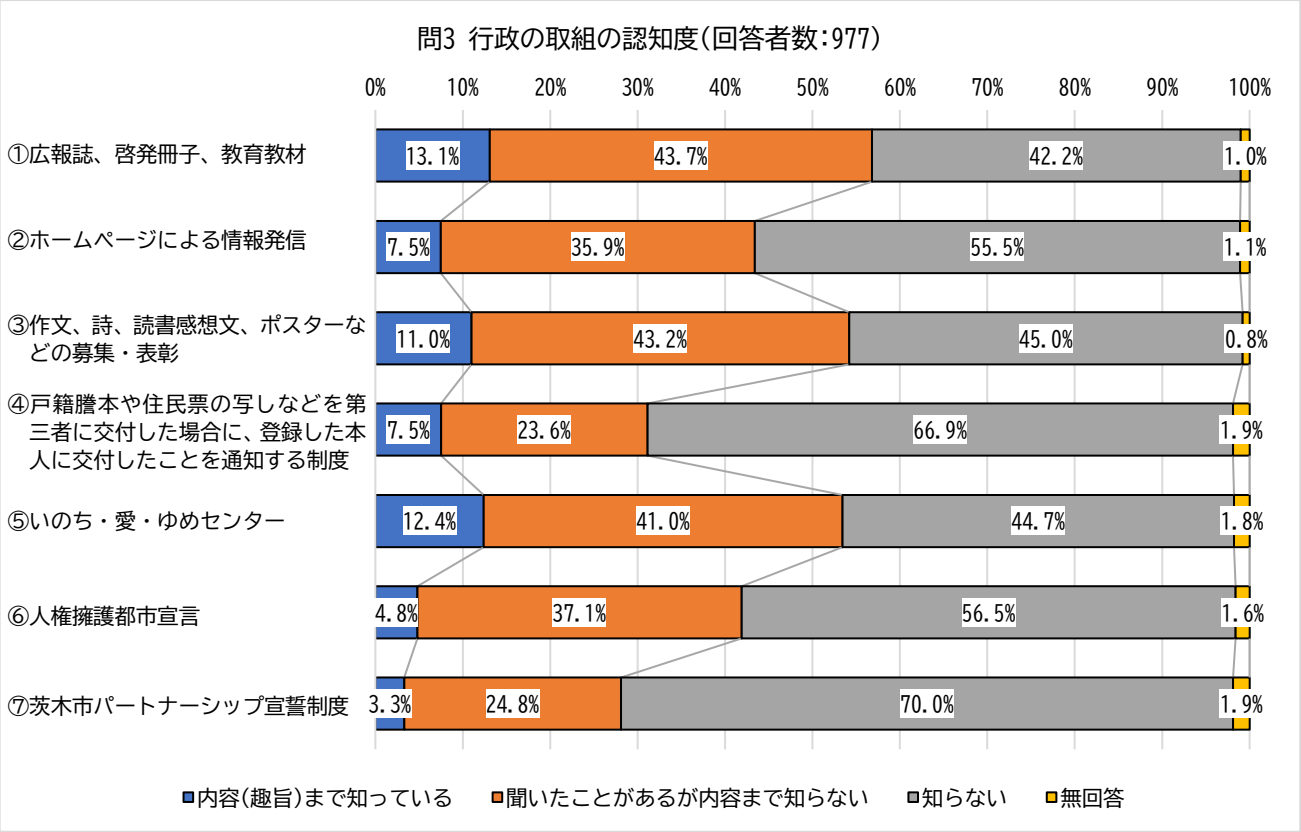


			⑦こども基本法				⑧困難な問題を抱える女性への支援に関する法律			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	10.7%	43.1%	44.5%	1.6%	3.6%	35.9%	59.3%	1.2%
性別	女性	511	11.2%	43.1%	44.6%	1.2%	2.5%	40.1%	56.4%	1.0%
	男性	435	10.8%	44.4%	43.0%	1.8%	4.8%	31.5%	62.5%	1.1%
年齢別	18～29 歳	101	25.7%	40.6%	30.7%	3.0%	5.0%	39.6%	53.5%	2.0%
	30 歳代	122	10.7%	45.1%	42.6%	1.6%	4.1%	28.7%	66.4%	0.8%
	40 歳代	139	7.9%	45.3%	46.0%	0.7%	1.4%	38.1%	59.7%	0.7%
	50 歳代	199	12.1%	46.2%	40.7%	1.0%	5.0%	35.7%	58.8%	0.5%
	60 歳代	146	6.8%	45.9%	47.3%	0.0%	4.1%	36.3%	59.6%	0.0%
	70 歳以上	249	8.4%	39.0%	49.8%	2.8%	2.8%	37.3%	57.4%	2.4%

			⑨茨木市人権尊重のまちづくり条例				⑩茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	3.8%	35.8%	59.6%	0.8%	3.3%	28.8%	66.7%	1.2%
R3 年度調査		975	4.6%	39.2%	54.7%	1.5%	4.5%	33.2%	60.6%	1.6%
性別	女性	511	3.5%	39.5%	56.4%	0.6%	3.3%	30.9%	64.4%	1.4%
	男性	435	4.1%	32.6%	62.8%	0.5%	3.2%	26.9%	69.2%	0.7%
年齢別	18～29 歳	101	3.0%	31.7%	65.3%	0.0%	4.0%	23.8%	70.3%	2.0%
	30 歳代	122	0.8%	25.4%	73.8%	0.0%	0.8%	14.8%	83.6%	0.8%
	40 歳代	139	2.9%	33.8%	63.3%	0.0%	2.2%	24.5%	72.7%	0.7%
	50 歳代	199	3.5%	43.2%	53.3%	0.0%	2.0%	31.7%	65.8%	0.5%
	60 歳代	146	4.8%	41.1%	53.4%	0.7%	2.7%	34.9%	61.6%	0.7%
	70 歳以上	249	6.0%	36.1%	55.8%	2.0%	6.4%	34.5%	57.0%	2.0%

【行政の取組】

行政の取組の認知度については、「内容(趣旨)まで知っている」の割合は、『①広報誌、啓発冊子、教育教材』で 13.1%と最も高く、次いで『⑤いのち・愛・ゆめセンター』で 12.4%となっています。また、「知らない」の割合は、『⑦茨木市パートナーシップ宣誓制度』が 70.0%と最も高くなっています。

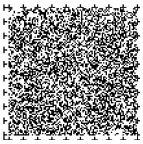


			①広報誌、啓発冊子、教育教材				②ホームページによる情報発信			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	13.1%	43.7%	42.2%	1.0%	7.5%	35.9%	55.5%	1.1%
R3 年度調査		975	20.1%	46.4%	31.8%	1.7%	11.0%	40.8%	46.2%	2.1%
性別	女性	511	14.3%	44.8%	39.7%	1.2%	7.8%	35.2%	55.6%	1.4%
	男性	435	12.2%	43.0%	44.1%	0.7%	7.6%	37.5%	54.5%	0.5%
年齢別	18～29 歳	101	7.9%	31.7%	60.4%	0.0%	3.0%	41.6%	54.5%	1.0%
	30 歳代	122	4.9%	36.9%	58.2%	0.0%	2.5%	28.7%	68.0%	0.8%
	40 歳代	139	7.2%	43.2%	49.6%	0.0%	3.6%	33.8%	61.2%	1.4%
	50 歳代	199	17.1%	42.7%	38.7%	1.5%	8.0%	37.7%	54.3%	0.0%
	60 歳代	146	19.2%	45.9%	34.9%	0.0%	12.3%	34.9%	52.7%	0.0%
	70 歳以上	249	16.5%	51.8%	29.3%	2.4%	11.2%	37.8%	48.6%	2.4%

			③作文、詩、読書感想文、ポスターなどの募集・表彰				④戸籍謄本や住民票の写しなどを第三者に交付した場合に、登録した本人に交付したことを通知する制度			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	11.0%	43.2%	45.0%	0.8%	7.5%	23.6%	66.9%	1.9%
R3 年度調査		975	12.6%	42.6%	42.6%	2.3%	6.1%	22.1%	70.4%	1.5%
性別	女性	511	13.3%	46.0%	39.9%	0.8%	7.4%	23.7%	66.9%	2.0%
	男性	435	9.0%	40.7%	49.9%	0.5%	7.8%	23.4%	67.1%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	13.9%	45.5%	40.6%	0.0%	7.9%	22.8%	67.3%	2.0%
	30 歳代	122	6.6%	40.2%	52.5%	0.8%	9.8%	18.0%	68.9%	3.3%
	40 歳代	139	9.4%	46.0%	44.6%	0.0%	10.1%	18.0%	71.2%	0.7%
	50 歳代	199	12.6%	43.2%	44.2%	0.0%	5.0%	25.6%	68.8%	0.5%
	60 歳代	146	11.0%	38.4%	50.7%	0.0%	10.3%	25.3%	64.4%	0.0%
	70 歳以上	249	12.4%	45.4%	39.8%	2.4%	5.2%	27.3%	63.5%	4.0%

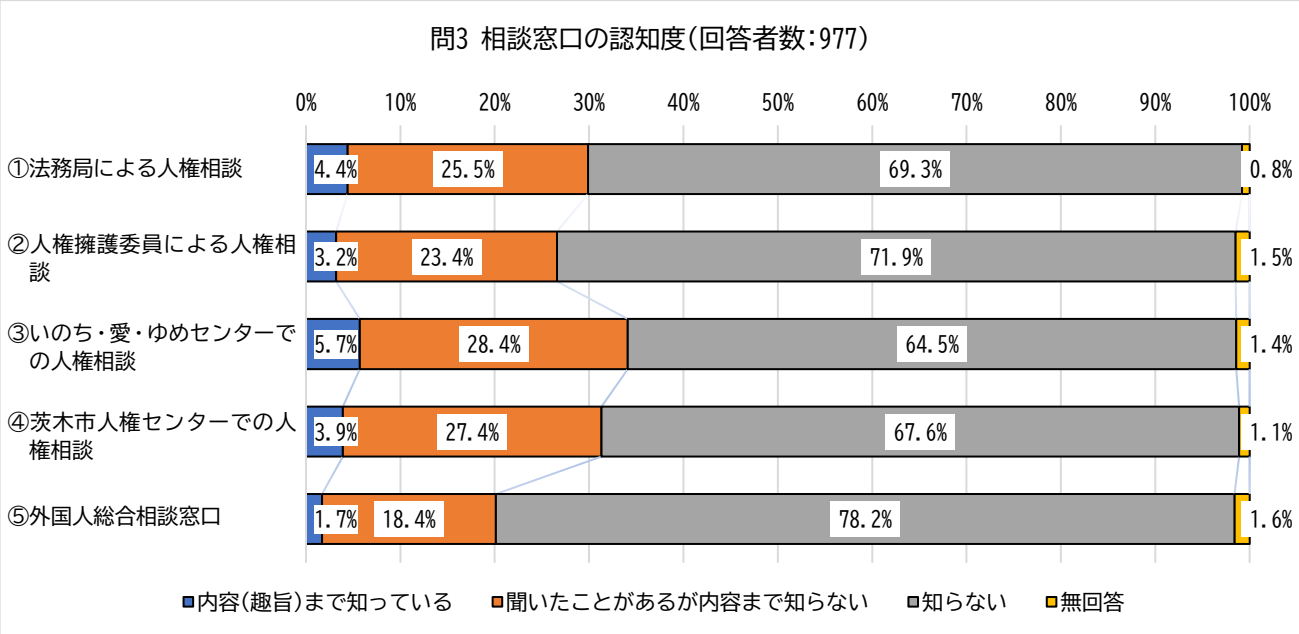
			⑤いのち・愛・ゆめセンター				⑥人権擁護都市宣言			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	12.4%	41.0%	44.7%	1.8%	4.8%	37.1%	56.5%	1.6%
R3 年度調査		975	9.9%	43.1%	45.3%	1.6%	－	－	－	－
性別	女性	511	15.3%	45.4%	37.8%	1.6%	3.7%	35.4%	59.5%	1.4%
	男性	435	9.9%	36.3%	52.0%	1.8%	6.4%	39.1%	53.1%	1.4%
年齢別	18～29 歳	101	11.9%	36.6%	49.5%	2.0%	3.0%	27.7%	68.3%	1.0%
	30 歳代	122	7.4%	36.1%	53.3%	3.3%	1.6%	27.9%	68.0%	2.5%
	40 歳代	139	13.7%	46.8%	38.8%	0.7%	5.0%	38.8%	55.4%	0.7%
	50 歳代	199	15.1%	46.7%	37.7%	0.5%	4.5%	41.7%	53.3%	0.5%
	60 歳代	146	14.4%	41.8%	43.8%	0.0%	6.8%	39.0%	54.1%	0.0%
	70 歳以上	249	12.0%	37.3%	47.0%	3.6%	6.4%	39.8%	50.6%	3.2%

			⑦茨木市パートナーシップ宣誓制度			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	3.3%	24.8%	70.0%	1.9%
性別	女性	511	3.7%	25.6%	68.7%	2.0%
	男性	435	3.0%	23.9%	71.7%	1.4%
年齢別	18～29 歳	101	9.9%	19.8%	67.3%	3.0%
	30 歳代	122	3.3%	31.1%	64.8%	0.8%
	40 歳代	139	2.2%	29.5%	68.3%	0.0%
	50 歳代	199	1.5%	23.1%	74.9%	0.5%
	60 歳代	146	4.1%	21.9%	71.9%	2.1%
	70 歳以上	249	2.4%	23.7%	70.3%	3.6%



【相談窓口】

相談窓口の認知度については、いずれの項目も「知らない」の割合が6割を超えて最も高くなっています。



			①法務局による人権相談				②人権擁護委員による人権相談			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	4.4%	25.5%	69.3%	0.8%	3.2%	23.4%	71.9%	1.5%
R3 年度調査		975	4.5%	28.1%	65.5%	1.8%	3.6%	25.8%	68.5%	2.1%
性別	女性	511	4.1%	23.3%	72.0%	0.6%	2.3%	24.7%	71.4%	1.6%
	男性	435	5.1%	28.3%	66.0%	0.7%	4.1%	22.3%	72.4%	1.1%
年齢別	18～29 歳	101	4.0%	19.8%	76.2%	0.0%	5.0%	12.9%	81.2%	1.0%
	30 歳代	122	3.3%	15.6%	81.1%	0.0%	0.8%	13.1%	84.4%	1.6%
	40 歳代	139	2.2%	27.3%	70.5%	0.0%	1.4%	23.0%	74.8%	0.7%
	50 歳代	199	4.5%	22.6%	72.4%	0.5%	2.5%	21.6%	74.9%	1.0%
	60 歳代	146	4.8%	28.1%	67.1%	0.0%	4.8%	26.0%	67.8%	1.4%
	70 歳以上	249	6.4%	32.5%	58.6%	2.4%	4.4%	33.3%	59.8%	2.4%

			③いのち・愛・ゆめセンターでの人権相談				④茨木市人権センターでの人権相談			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	5.7%	28.4%	64.5%	1.4%	3.9%	27.4%	67.6%	1.1%
R3 年度調査		975	4.3%	29.8%	64.1%	1.7%	4.6%	29.3%	64.4%	1.6%
性別	女性	511	5.3%	32.7%	60.7%	1.4%	3.5%	29.4%	65.9%	1.2%
	男性	435	6.4%	23.4%	69.0%	1.1%	4.6%	25.3%	69.7%	0.5%
年齢別	18～29 歳	101	7.9%	26.7%	62.4%	3.0%	8.9%	21.8%	69.3%	0.0%
	30 歳代	122	4.1%	16.4%	78.7%	0.8%	2.5%	12.3%	84.4%	0.8%
	40 歳代	139	3.6%	29.5%	66.2%	0.7%	2.9%	27.3%	69.1%	0.7%
	50 歳代	199	5.5%	31.2%	62.3%	1.0%	2.5%	28.1%	68.3%	1.0%
	60 歳代	146	4.8%	30.1%	65.1%	0.0%	2.7%	33.6%	63.7%	0.0%
	70 歳以上	249	8.0%	30.9%	58.6%	2.4%	5.2%	33.3%	59.4%	2.0%

			⑤外国人総合相談窓口			
		回答者数	内容(趣旨)まで知っている	聞いたことがあるが内容まで知らない	知らない	無回答
全体		977	1.7%	18.4%	78.2%	1.6%
性別	女性	511	2.0%	19.8%	77.1%	1.2%
	男性	435	1.6%	17.5%	79.3%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	2.0%	11.9%	83.2%	3.0%
	30 歳代	122	1.6%	13.9%	82.8%	1.6%
	40 歳代	139	0.7%	17.3%	82.0%	0.0%
	50 歳代	199	2.5%	19.1%	77.4%	1.0%
	60 歳代	146	1.4%	21.2%	77.4%	0.0%
	70 歳以上	249	2.0%	22.1%	73.1%	2.8%

問４　あなたは、以下の人権問題について、これまでに学校、職場及び地域で学習したことはありますか。（それぞれ○はいくつでも）

①女性・男女共同参画

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 24.9%、「高校・大学の授業」の割合が 19.9%となっています。

②こども

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 56.4%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 24.3%、「高校・大学の授業」の割合が 16.4%となっています。

③高齢者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 63.4%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 13.1%、「高校・大学の授業」の割合が 11.5%となっています。

④障害者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 27.2%、「高校・大学の授業」の割合が 17.2%となっています。

⑤部落差別（同和問題）

「小・中学校の授業」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 35.1%、「高校・大学の授業」の割合が 14.5%となっています。

⑥外国人

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 72.0%と最も高く、次いで「小・中学校の授業」の割合が 10.4%、「高校・大学の授業」の割合が 9.3%となっています。

⑦インターネット上の人権侵害

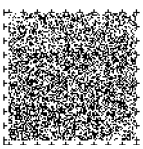
「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「職場の研修」の割合が 14.3%、「高校・大学の授業」の割合が 11.4%となっています。

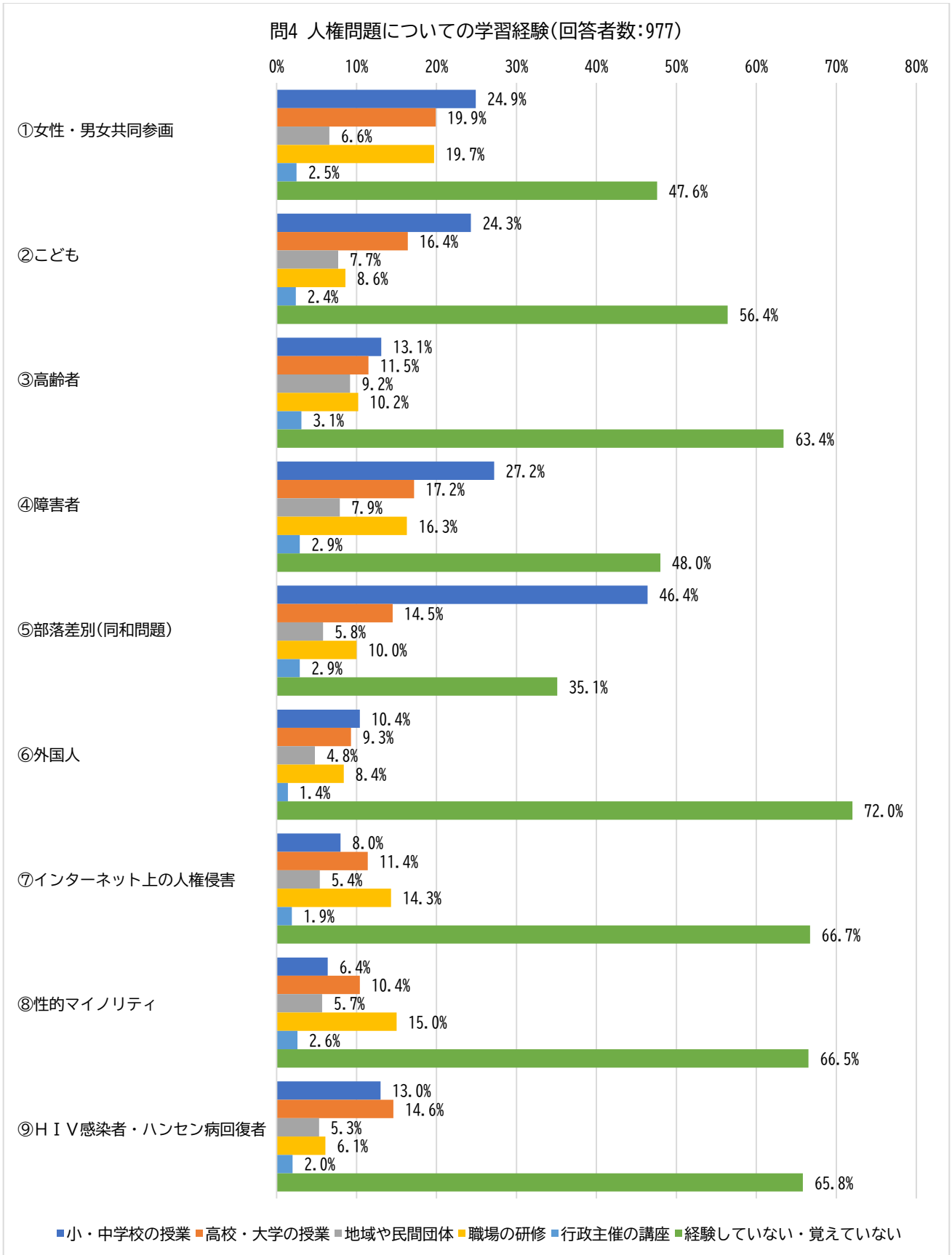
⑧性的マイノリティ（LGBTQ）など

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「職場の研修」の割合が 15.0%、「高校・大学の授業」の割合が 10.4%となっています。

⑨HIV 感染者・ハンセン病回復者

「経験していない・はっきり覚えていない」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「高校・大学の授業」の割合が 14.6%、「小・中学校の授業」の割合が 13.0%となっています。




問4 人権問題についての学習経験(回答者数:977)
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
①女性・男女共同参画
24.9%
19.9%
6.6%
19.7%
2.5%
47.6%
②こども
24.3%
16.4%
7.7%
8.6%
2.4%
56.4%
③高齢者
13.1%
11.5%
9.2%
10.2%
3.1%
63.4%
④障害者
27.2%
17.2%
7.9%
16.3%
2.9%
48.0%
⑤部落差別(同和問題)
46.4%
14.5%
5.8%
10.0%
2.9%
35.1%
⑥外国人
10.4%
9.3%
4.8%
8.4%
1.4%
72.0%
⑦インターネット上の人権侵害
8.0%
11.4%
5.4%
14.3%
1.9%
66.7%
⑧性的マイノリティ
6.4%
10.4%
5.7%
15.0%
2.6%
66.5%
⑨ＨＩＶ感染者・ハンセン病回復者
13.0%
14.6%
5.3%
6.1%
2.0%
65.8%
小・中学校の授業
高校・大学の授業
地域や民間団体
職場の研修
行政主催の講座
経験していない・覚えていない

【性別】

大きな差異はみられません。

【年齢別】

『①女性・男女共同参画』、『②こども』、『③高齢者』では、18～29 歳、30 歳代が「小・中学校の授業」「高校・大学の授業」で学習した割合が高くなっています。

『④障害者』、『⑥外国人』では、18～29 歳、30 歳代、40 歳代が「小・中学校の授業」「高校・大学の授業」で学習した割合が高くなっています。

『⑤部落差別（同和問題）』は、「小・中学校の授業」「高校・大学の授業」で学習した割合を合わせると 70 歳以上は 18.4%に留まりますが、60 歳代以下は 6 割を超えて高くなっており、中でも 40 歳代が 92.0%と最も高くなっています。

『⑦インターネット上の人権侵害』、『⑧性的マイノリティ（LGBTQ）など』、『⑨HIV 感染者・ハンセン病回復者』でも、18～29 歳が「小・中学校の授業」「高校・大学の授業」で学習した割合が高くなっています。

			①女性・男女共同参画						②こども					
		回答者数	小・中学校の授業	高校・大学の授業	地域や民間団体	職場の研修	行政主催の講座	経験していない・覚えていない	小・中学校の授業	高校・大学の授業	地域や民間団体	職場の研修	行政主催の講座	経験していない・覚えていない
全体		977	24.9%	19.9%	6.6%	19.7%	2.5%	47.6%	24.3%	16.4%	7.7%	8.6%	2.4%	56.4%
性別	女性	511	25.6%	20.7%	7.0%	15.3%	2.0%	48.1%	22.5%	17.4%	7.6%	10.2%	2.2%	54.4%
性別	男性	435	25.3%	20.2%	6.4%	25.3%	2.8%	45.1%	26.7%	16.1%	8.3%	7.1%	2.5%	57.9%
年齢別	18～29 歳	101	63.4%	58.4%	7.9%	6.9%	1.0%	22.8%	58.4%	50.5%	7.9%	5.9%	1.0%	24.8%
年齢別	30 歳代	122	59.0%	40.2%	2.5%	23.0%	0.0%	22.1%	47.5%	35.2%	3.3%	12.3%	0.0%	34.4%
年齢別	40 歳代	139	33.1%	28.8%	7.2%	20.1%	0.7%	39.6%	32.4%	20.9%	7.2%	10.1%	2.2%	48.9%
年齢別	50 歳代	199	16.1%	14.1%	5.5%	26.6%	3.0%	50.3%	19.6%	12.1%	7.5%	12.6%	2.0%	59.8%
年齢別	60 歳代	146	13.7%	3.4%	6.2%	25.3%	2.7%	56.8%	13.7%	2.7%	9.6%	4.8%	2.7%	71.9%
年齢別	70 歳以上	249	3.6%	5.2%	9.2%	14.9%	4.4%	63.9%	5.6%	3.2%	9.6%	6.4%	4.4%	70.3%

			③高齢者						④障害者					
		回答者数	小・中学校の授業	高校・大学の授業	地域や民間団体	職場の研修	行政主催の講座	経験していない・覚えていない	小・中学校の授業	高校・大学の授業	地域や民間団体	職場の研修	行政主催の講座	経験していない・覚えていない
全体		977	13.1%	11.5%	9.2%	10.2%	3.1%	63.4%	27.2%	17.2%	7.9%	16.3%	2.9%	48.0%
性別	女性	511	11.7%	11.0%	9.4%	10.4%	3.1%	62.0%	26.4%	18.4%	7.2%	14.7%	3.1%	47.4%
性別	男性	435	15.6%	12.6%	9.0%	10.1%	2.8%	64.8%	30.1%	17.0%	9.0%	18.2%	2.5%	46.9%
年齢別	18～29 歳	101	45.5%	45.5%	6.9%	5.0%	0.0%	32.7%	68.3%	53.5%	5.9%	6.9%	0.0%	20.8%
年齢別	30 歳代	122	27.9%	23.8%	3.3%	13.9%	0.8%	51.6%	43.4%	30.3%	3.3%	18.9%	0.8%	36.9%
年齢別	40 歳代	139	13.7%	12.9%	7.2%	14.4%	1.4%	60.4%	44.6%	23.7%	7.9%	21.6%	2.2%	30.2%
年齢別	50 歳代	199	7.5%	5.5%	10.1%	15.1%	3.5%	69.3%	26.6%	14.6%	9.0%	22.1%	2.0%	45.7%
年齢別	60 歳代	146	5.5%	1.4%	7.5%	7.5%	1.4%	77.4%	11.6%	4.8%	8.2%	15.8%	1.4%	61.6%
年齢別	70 歳以上	249	2.4%	2.4%	14.5%	6.0%	6.8%	69.5%	4.8%	3.2%	10.0%	12.0%	7.2%	65.5%

			⑤部落差別（同和問題）						⑥外国人					
		回答者数	小・中学校の授業	高校・大学の授業	地域や民間団体	職場の研修	行政主催の講座	経験していない・覚えていない	小・中学校の授業	高校・大学の授業	地域や民間団体	職場の研修	行政主催の講座	経験していない・覚えていない
全体		977	46.4%	14.5%	5.8%	10.0%	2.9%	35.1%	10.4%	9.3%	4.8%	8.4%	1.4%	72.0%
性別	女性	511	48.9%	14.7%	5.7%	8.6%	2.9%	31.7%	9.4%	9.8%	4.9%	5.7%	1.0%	73.8%
性別	男性	435	44.8%	15.2%	6.2%	11.7%	2.8%	37.2%	12.4%	9.4%	5.1%	11.3%	2.1%	69.0%
年齢別	18～29 歳	101	55.4%	28.7%	5.0%	3.0%	1.0%	34.7%	32.7%	36.6%	5.9%	2.0%	1.0%	42.6%
年齢別	30 歳代	122	45.9%	16.4%	4.1%	9.0%	0.0%	41.0%	23.8%	19.7%	2.5%	12.3%	0.0%	59.0%
年齢別	40 歳代	139	71.9%	20.1%	1.4%	6.5%	1.4%	19.4%	13.7%	10.1%	2.9%	5.8%	1.4%	71.9%
年齢別	50 歳代	199	66.3%	14.6%	4.0%	13.6%	1.5%	19.1%	5.5%	3.5%	5.5%	16.1%	0.5%	74.9%
年齢別	60 歳代	146	52.1%	12.3%	4.1%	8.9%	2.7%	30.1%	2.7%	3.4%	5.5%	6.8%	1.4%	83.6%
年齢別	70 歳以上	249	11.6%	6.8%	12.4%	13.7%	7.2%	53.8%	2.4%	1.6%	6.0%	5.2%	3.2%	79.9%

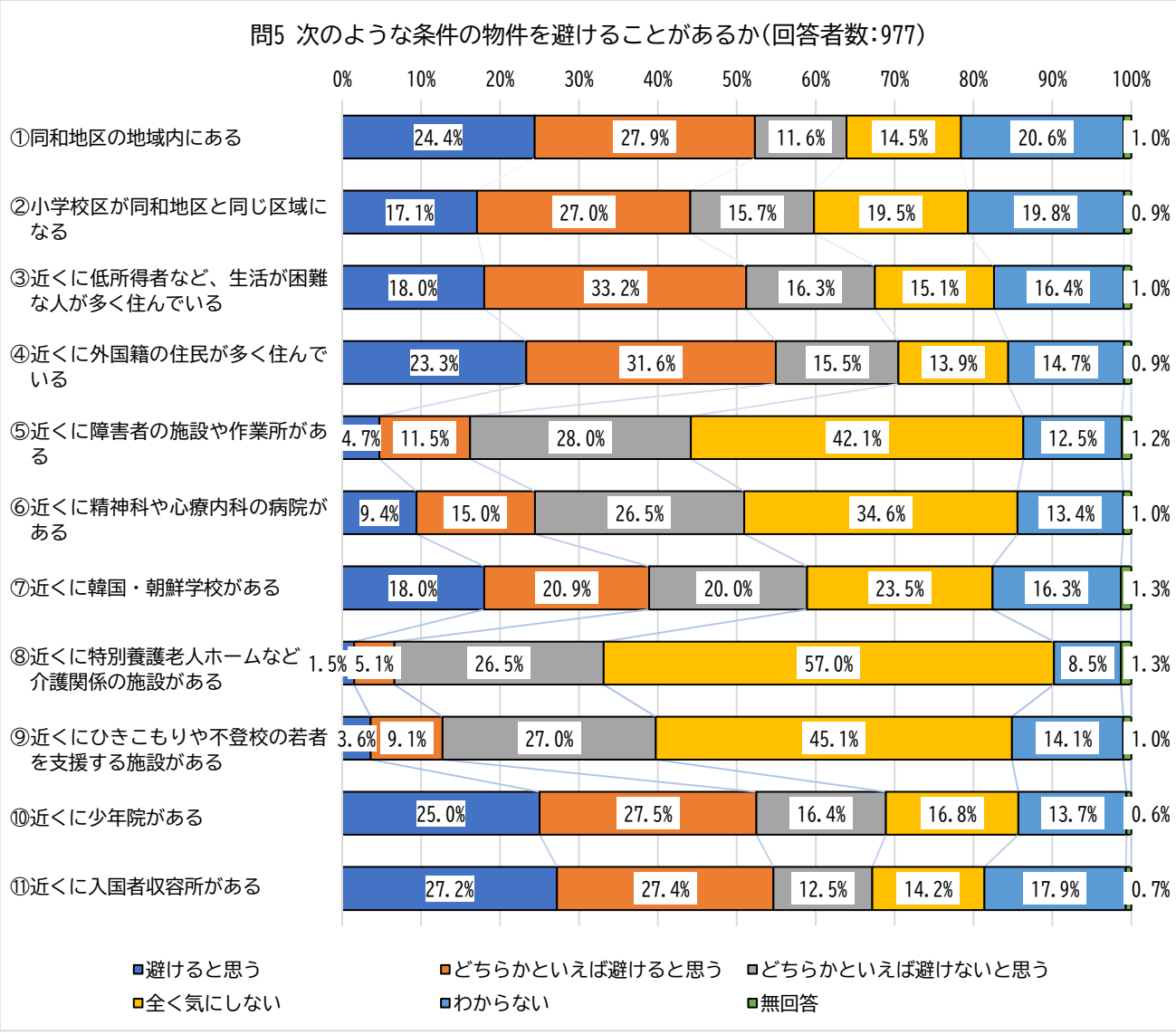
			⑦インターネット上の人権侵害						⑧性的マイノリティ					
		回答者数	小・中学校の授業	高校・大学の授業	地域や民間団体	職場の研修	行政主催の講座	経験していない・覚えていない	小・中学校の授業	高校・大学の授業	地域や民間団体	職場の研修	行政主催の講座	経験していない・覚えていない
全体		977	8.0%	11.4%	5.4%	14.3%	1.9%	66.7%	6.4%	10.4%	5.7%	15.0%	2.6%	66.5%
性別	女性	511	8.6%	12.3%	4.7%	11.5%	1.6%	68.3%	7.0%	11.7%	5.3%	13.5%	2.0%	66.1%
性別	男性	435	7.8%	11.0%	6.7%	17.7%	2.5%	63.9%	6.2%	9.7%	6.4%	17.5%	3.0%	66.0%
年齢別	18～29 歳	101	47.5%	57.4%	7.9%	9.9%	0.0%	20.8%	38.6%	54.5%	5.0%	5.9%	0.0%	26.7%
年齢別	30 歳代	122	13.9%	24.6%	2.5%	23.0%	0.0%	52.5%	7.4%	21.3%	4.9%	29.5%	0.8%	50.8%
年齢別	40 歳代	139	4.3%	10.8%	5.8%	17.3%	1.4%	67.6%	6.5%	7.9%	9.4%	20.1%	1.4%	64.7%
年齢別	50 歳代	199	2.0%	2.0%	7.0%	23.6%	1.5%	68.8%	2.0%	2.5%	5.0%	21.6%	2.5%	69.8%
年齢別	60 歳代	146	0.7%	1.4%	6.2%	13.0%	2.1%	78.1%	0.0%	2.1%	4.8%	15.1%	0.7%	78.1%
年齢別	70 歳以上	249	0.8%	0.8%	4.4%	4.4%	4.4%	81.9%	0.8%	0.8%	6.0%	4.4%	6.0%	80.7%

			⑨ＨＩＶ感染者・ハンセン病回復者					
		回答者数	小・中学校の授業	高校・大学の授業	地域や民間団体	職場の研修	行政主催の講座	経験していない・覚えていない
全体		977	13.0%	14.6%	5.3%	6.1%	2.0%	65.8%
性別	女性	511	12.3%	16.8%	5.5%	6.3%	1.8%	62.0%
性別	男性	435	14.5%	13.1%	5.3%	6.0%	2.5%	69.2%
年齢別	18～29 歳	101	40.6%	43.6%	3.0%	4.0%	0.0%	35.6%
年齢別	30 歳代	122	26.2%	27.9%	1.6%	8.2%	0.0%	50.8%
年齢別	40 歳代	139	21.6%	25.2%	5.8%	7.9%	0.7%	51.8%
年齢別	50 歳代	199	7.5%	8.5%	4.0%	9.0%	1.5%	74.9%
年齢別	60 歳代	146	1.4%	4.8%	8.2%	5.5%	0.0%	80.8%
年齢別	70 歳以上	249	2.4%	2.4%	7.2%	3.2%	6.4%	76.3%

問５　あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に合っていても、次のような条件の物件の場合、避けることがあると思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「避けると思う」と「どちらかといえば避けると思う」を合わせた“避けると思う”の割合は、『④近くに外国籍の住民が多く住んでいる』で 54.9%と最も高く、次いで『⑪近くに入国者収容所がある』で 54.6%となっています。

一方、「どちらかといえば避けないと思う」と「全く気にしない」をあわせた“避けないと思う”の割合は、『⑧近くに特別養護老人ホームなど介護関係の施設がある』での割合が 83.5%と最も高く、次いで『⑨近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある』で 72.1%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『④近くに外国籍の住民が多く住んでいる』では、“避けると思う”の割合が 17.2 ポイント増加しています。

また、『⑪近くに入国者収容所がある』は 10.4 ポイント、『⑦近くに韓国・朝鮮学校がある』では 9 ポイントそれぞれ増加しています。

一方、『⑥近くに精神科や心療内科の病院がある』では、“避けないと思う”の割合は 13.5 ポイント増加しています。

【性別】

大きな差異はみられません。

【年齢別】

『①同和地区の地域内である』では、“避けると思う”の割合は 60 歳代が 61.6%と最も高く、次いで 50 歳代で 60.3%、となっています。また、“避けないと思う” の割合は、18～29 歳が 34.7%と最も高くなっています。

『②小学校区が同和地区と同じ区域になる』では、“避けないと思う”の割合は、18～29 歳で 42.5%と最も高く、次いで 50 歳代で 38.7%となっています。

『③近くに低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる』では、“避けると思う”の割合は、30 歳代が 71.3%と最も高く、次いで 18～29 歳で 62.4%となっています。また、“避けないと思う” の割合は、70 歳以上が 43.4%と最も高くなっています。

『④近くに外国籍の住民が多く住んでいる』では、“避けると思う”の割合は、30 歳代で 69.7%と最も高く、次いで 40 歳代で 65.5%となっています。また、“避けないと思う”の割合は、70 歳以上が 37.0%と最も高くなっています。

『⑤近くに障害者の施設や作業所がある』では、“避けないと思う”の割合は、全年齢で「全く気にしない」割合が最も高く、中でも 50 歳代が 46.7%と高くなっています。

『⑥近くに精神科や心療内科の病院がある』では、“避けないと思う”の割合は 18～19 歳で 70.3%と最も高く、次いで 40 歳代、70 歳以上でともに 63.4%となっています。

『⑦近くに韓国・朝鮮学校がある』では、“避けないと思う”の割合は、70 歳以上が 51.4%と最も高く、次いで 50 歳代で 43.7%となっています。

『⑧近くに特別養護老人ホームなど介護関係の施設がある』では、“避けないと思う”の割合は、すべての年代で8割程度と高く、中でも 50 歳代で 87.9%と最も高く、次いで 60 歳代で 86.9%となっています。

『⑨近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある』では、“避けないと思う”の割合は 40 歳代で 78.4%と最も高く、次いで 18～19 歳で 78.3%となっています。

『⑩近くに少年院がある』では、“避けると思う”の割合は 30 歳代で 64.7%と最も高く、次いで 40 歳代で 64.0%となっています。

『⑪近くに入国者収容所がある』では、“避けると思う”の割合は 40 歳代で 67.6%と最も高く、次いで 30 歳代で 67.2%となっています。

			①同和地区の地域内にある						②小学校区が同和地区と同じ区域になる					
		回答者数	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全体		977	24.4%	27.9%	11.6%	14.5%	20.6%	1.0%	17.1%	27.0%	15.7%	19.5%	19.8%	0.9%
R3 年度調査		975	21.0%	30.3%	12.3%	15.0%	20.0%	1.4%	15.0%	25.8%	17.9%	21.1%	18.7%	1.4%
性別	女性	511	24.5%	28.2%	12.7%	12.5%	21.1%	1.0%	17.4%	27.2%	16.6%	17.0%	20.9%	0.8%
性別	男性	435	24.6%	27.6%	10.6%	17.5%	18.9%	0.9%	16.6%	26.7%	14.9%	23.7%	17.5%	0.7%
年齢別	18～29 歳	101	15.8%	15.8%	13.9%	20.8%	33.7%	0.0%	10.9%	20.8%	16.8%	25.7%	25.7%	0.0%
年齢別	30 歳代	122	27.0%	24.6%	5.7%	20.5%	21.3%	0.8%	22.1%	23.8%	9.0%	25.4%	19.7%	0.0%
年齢別	40 歳代	139	30.2%	20.9%	15.1%	10.1%	23.7%	0.0%	20.1%	23.7%	17.3%	15.1%	23.7%	0.0%
年齢別	50 歳代	199	25.6%	34.7%	13.1%	11.6%	15.1%	0.0%	17.6%	31.7%	21.1%	17.6%	12.1%	0.0%
年齢別	60 歳代	146	34.2%	27.4%	10.3%	11.0%	17.1%	0.0%	19.9%	28.8%	16.4%	17.8%	17.1%	0.0%
年齢別	70 歳以上	249	16.5%	34.1%	11.2%	16.5%	18.5%	3.2%	12.9%	28.9%	12.9%	20.5%	21.7%	3.2%

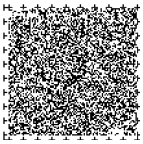
			③近くに低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる						④近くに外国籍の住民が多く住んでいる					
		回答者数	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全体		977	18.0%	33.2%	16.3%	15.1%	16.4%	1.0%	23.3%	31.6%	15.5%	13.9%	14.7%	0.9%
R3 年度調査		975	11.9%	30.4%	21.5%	19.6%	14.7%	1.9%	9.7%	28.0%	25.3%	21.3%	13.8%	1.7%
性別	女性	511	18.8%	32.1%	17.8%	12.1%	18.2%	1.0%	20.5%	33.7%	17.0%	11.9%	15.7%	1.2%
性別	男性	435	17.9%	35.4%	14.3%	18.6%	13.1%	0.7%	27.4%	30.1%	13.6%	16.6%	12.2%	0.2%
年齢別	18～29 歳	101	22.8%	39.6%	8.9%	17.8%	10.9%	0.0%	27.7%	26.7%	17.8%	14.9%	12.9%	0.0%
年齢別	30 歳代	122	32.8%	38.5%	7.4%	8.2%	13.1%	0.0%	36.1%	33.6%	10.7%	11.5%	7.4%	0.8%
年齢別	40 歳代	139	21.6%	35.3%	15.8%	12.2%	15.1%	0.0%	28.1%	37.4%	10.8%	11.5%	11.5%	0.7%
年齢別	50 歳代	199	18.1%	40.7%	15.1%	12.6%	13.1%	0.5%	29.1%	32.2%	13.6%	14.6%	10.6%	0.0%
年齢別	60 歳代	146	18.5%	30.8%	20.5%	14.4%	15.8%	0.0%	24.0%	29.5%	19.9%	8.9%	17.8%	0.0%
年齢別	70 歳以上	249	7.2%	23.3%	22.1%	21.3%	22.9%	3.2%	8.8%	30.9%	18.1%	18.9%	20.9%	2.4%

			⑤近くに障害者の施設や作業所がある						⑥近くに精神科や心療内科の病院がある					
		回答者数	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全体		977	4.7%	11.5%	28.0%	42.1%	12.5%	1.2%	9.4%	15.0%	26.5%	34.6%	13.4%	1.0%
R3 年度調査		975	－	－	－	－	－	－	8.6%	29.0%	23.6%	24.0%	12.9%	1.8%
性別	女性	511	4.1%	11.7%	29.5%	40.7%	12.5%	1.4%	9.8%	15.5%	28.2%	30.5%	14.9%	1.2%
性別	男性	435	5.3%	11.0%	27.4%	44.4%	11.3%	0.7%	9.0%	14.7%	24.8%	40.2%	10.6%	0.7%
年齢別	18～29 歳	101	6.9%	16.8%	19.8%	44.6%	10.9%	1.0%	10.9%	8.9%	21.8%	48.5%	9.9%	0.0%
年齢別	30 歳代	122	9.0%	16.4%	24.6%	41.0%	7.4%	1.6%	15.6%	19.7%	20.5%	33.6%	9.8%	0.8%
年齢別	40 歳代	139	5.8%	11.5%	34.5%	38.1%	10.1%	0.0%	10.8%	12.2%	31.7%	31.7%	13.7%	0.0%
年齢別	50 歳代	199	5.0%	8.0%	28.6%	46.7%	11.1%	0.5%	10.1%	16.6%	29.6%	32.2%	11.1%	0.5%
年齢別	60 歳代	146	2.7%	12.3%	29.5%	41.8%	13.7%	0.0%	8.2%	19.9%	21.9%	33.6%	15.1%	1.4%
年齢別	70 歳以上	249	1.6%	9.2%	29.3%	41.0%	16.1%	2.8%	5.2%	13.3%	28.9%	34.5%	15.7%	2.4%

			⑦近くに韓国・朝鮮学校がある						⑧近くに特別養護老人ホームなど介護関係の施設がある					
		回答者数	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全体		977	18.0%	20.9%	20.0%	23.5%	16.3%	1.3%	1.5%	5.1%	26.5%	57.0%	8.5%	1.3%
R3 年度調査		975	12.3%	17.6%	25.7%	29.5%	13.2%	1.5%	1.1%	3.3%	28.6%	59.5%	6.1%	1.4%
性別	女性	511	16.8%	19.0%	22.1%	23.1%	17.8%	1.2%	1.4%	4.9%	26.4%	58.3%	7.8%	1.2%
	男性	435	20.0%	23.2%	18.2%	24.4%	13.1%	1.1%	1.4%	5.5%	26.4%	57.2%	8.3%	1.1%
年齢別	18～29 歳	101	20.8%	20.8%	16.8%	21.8%	19.8%	0.0%	3.0%	5.9%	20.8%	58.4%	10.9%	1.0%
	30 歳代	122	29.5%	20.5%	17.2%	24.6%	7.4%	0.8%	1.6%	4.9%	27.0%	58.2%	5.7%	2.5%
	40 歳代	139	23.7%	20.1%	20.1%	20.9%	15.1%	0.0%	1.4%	6.5%	25.2%	61.2%	5.8%	0.0%
	50 歳代	199	16.6%	23.6%	20.6%	23.1%	14.6%	1.5%	1.5%	4.5%	25.6%	62.3%	5.5%	0.5%
	60 歳代	146	17.1%	27.4%	19.9%	19.2%	16.4%	0.0%	1.4%	4.1%	30.1%	56.8%	7.5%	0.0%
	70 歳以上	249	10.4%	15.7%	22.5%	28.9%	19.3%	3.2%	0.4%	5.6%	27.3%	51.8%	12.0%	2.8%

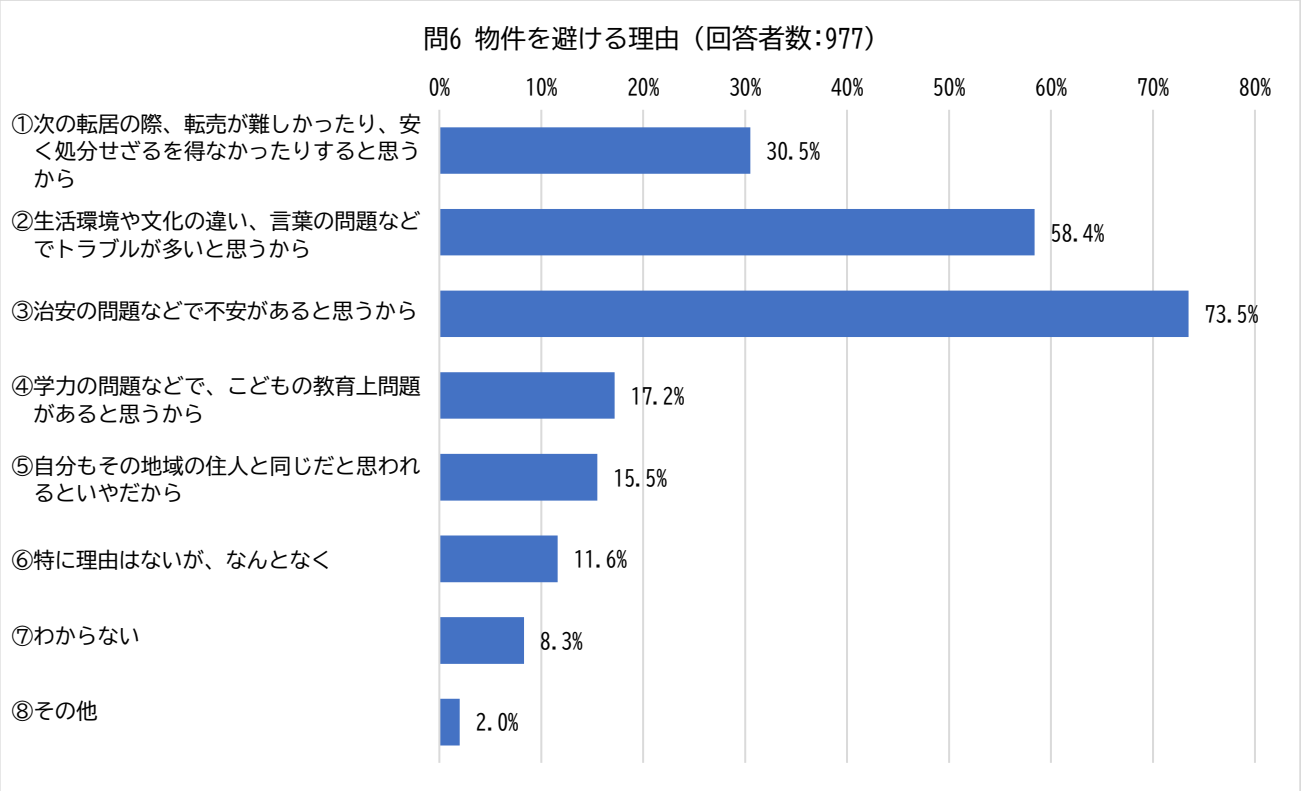
			⑨近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある						⑩近くに少年院がある					
		回答者数	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全体		977	3.6%	9.1%	27.0%	45.1%	14.1%	1.0%	25.0%	27.5%	16.4%	16.8%	13.7%	0.6%
R3 年度調査		975	2.4%	9.0%	30.3%	46.1%	10.8%	1.5%	23.6%	28.1%	17.5%	17.1%	12.1%	1.5%
性別	女性	511	3.5%	8.0%	28.8%	43.6%	14.7%	1.4%	25.6%	30.9%	16.6%	12.3%	13.7%	0.8%
	男性	435	3.4%	10.1%	25.1%	48.5%	12.4%	0.5%	24.8%	24.1%	16.6%	22.3%	12.0%	0.2%
年齢別	18～29 歳	101	3.0%	6.9%	23.8%	54.5%	11.9%	0.0%	30.7%	26.7%	14.9%	15.8%	11.9%	0.0%
	30 歳代	122	5.7%	9.0%	18.9%	55.7%	9.0%	1.6%	39.3%	25.4%	13.1%	12.3%	9.8%	0.0%
	40 歳代	139	3.6%	10.1%	27.3%	51.1%	7.9%	0.0%	37.4%	26.6%	12.2%	13.7%	10.1%	0.0%
	50 歳代	199	4.5%	9.0%	26.6%	45.7%	13.6%	0.5%	23.1%	27.1%	19.1%	19.1%	11.6%	0.0%
	60 歳代	146	3.4%	10.3%	32.2%	37.0%	17.1%	0.0%	26.0%	31.5%	14.4%	15.1%	13.0%	0.0%
	70 歳以上	249	1.6%	8.8%	29.3%	39.4%	18.1%	2.8%	10.0%	28.1%	20.5%	20.5%	18.5%	2.4%

			⑪近くに入国者収容所がある					
		回答者数	避けると思う	どちらかといえば避けると思う	どちらかといえば避けないと思う	全く気にしない	わからない	無回答
全体		977	27.2%	27.4%	12.5%	14.2%	17.9%	0.7%
R3 年度調査		975	19.4%	24.8%	18.9%	18.4%	17.2%	1.3%
性別	女性	511	25.8%	31.7%	11.0%	10.6%	20.2%	0.8%
	男性	435	29.7%	22.8%	14.7%	18.9%	13.8%	0.2%
年齢別	18～29 歳	101	34.7%	29.7%	7.9%	11.9%	15.8%	0.0%
	30 歳代	122	40.2%	27.0%	7.4%	13.1%	12.3%	0.0%
	40 歳代	139	41.0%	26.6%	6.5%	11.5%	14.4%	0.0%
	50 歳代	199	29.1%	26.1%	15.6%	14.6%	14.6%	0.0%
	60 歳代	146	23.3%	35.6%	15.1%	10.3%	15.8%	0.0%
	70 歳以上	249	12.0%	23.7%	16.5%	19.3%	26.1%	2.4%



問６　問５のような場合に住宅の購入や入居を避けることがあるのはなぜだと思いますか。（○はいくつでも）

『治安の問題などで不安があると思うから』の割合が 73.5%と最も高く、次いで『生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから』の割合が 58.4%、『次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりすると思うから』の割合が 30.5%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから』の割合は 13.4 ポイント増加しています。

【性別】

大きな差異はみられません。

【年齢別】

『治安の問題などで不安があると思うから』の割合は 30 歳代が 86.9%と最も高く、次いで 40 歳代で 84.9%となっています。

また、『生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから』の割合は 40 歳代が 66.2%と最も高く、次いで 50 歳代で 65.3%となっています。

【暮らし向き別】

『治安の問題などで不安があると思うから』の割合は「良い」が 80.6%で最も高く、「ふつう」は69.6%で最も低くなっています。

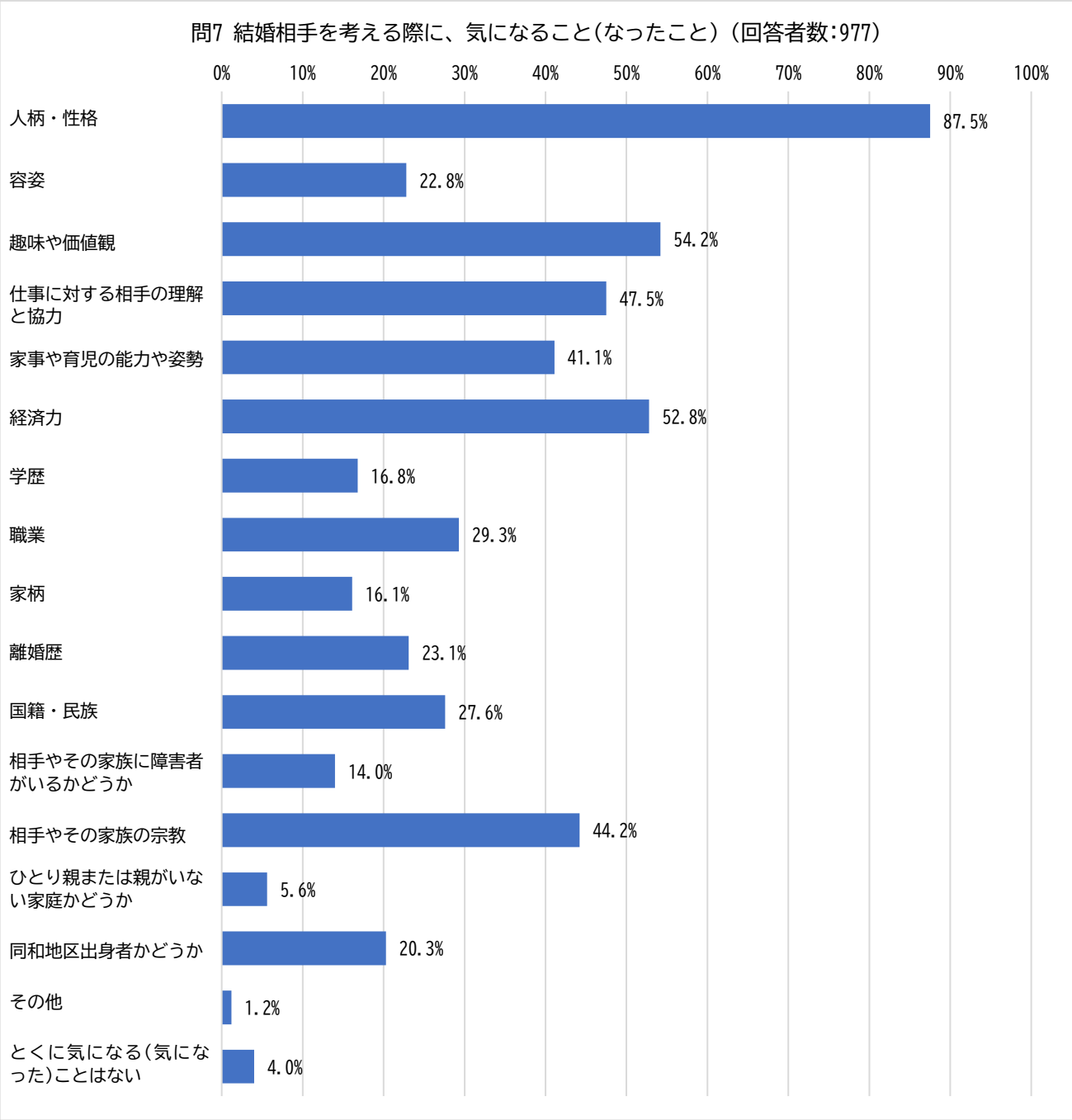
『学力の問題などで、こどもの教育上問題があると思うから』の割合は「良い」が 23.9%で最も高く、「ふつう」は 13.2%で最も低くなっています。

また、『自分もその地域の住人と同じだと思われるといやだから』は「悪い」が 21.9%で最も高く、「ふつう」は 14.0%で最も低くなっており、暮らし向きが「良い」と答えた人は治安やこどもの教育、「悪い」と答えた人は同じように見られることへの不安を重視する傾向がみられます。

		回答者数	次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりすると思うから	生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから	治安の問題などで不安があると思うから	学力の問題などで、こどもの教育上問題があると思うから	自分もその地域の住人と同じだと思われるといやだから	特に理由はないが、なんとなく	わからない	その他
全体		977	30.5%	58.4%	73.5%	17.2%	15.5%	11.6%	8.3%	2.0%
R3 年度調査		975	35.3%	45.0%	68.6%	18.1%	11.0%	4.4%	6.1%	1.5%
性別	女性	511	29.0%	57.5%	72.8%	15.9%	13.7%	13.7%	6.7%	2.2%
	男性	435	32.6%	60.5%	75.6%	18.2%	17.7%	8.5%	9.0%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	10.9%	56.4%	83.2%	17.8%	10.9%	4.0%	9.9%	5.0%
	30 歳代	122	26.2%	63.1%	86.9%	30.3%	10.7%	5.7%	3.3%	0.0%
	40 歳代	139	31.7%	66.2%	84.9%	20.1%	12.9%	4.3%	6.5%	1.4%
	50 歳代	199	36.7%	65.3%	80.4%	17.1%	14.6%	7.5%	4.5%	2.0%
	60 歳代	146	34.2%	62.3%	76.7%	16.4%	19.2%	13.0%	5.5%	2.1%
	70 歳以上	249	33.3%	46.2%	51.4%	9.6%	20.5%	22.9%	13.7%	2.0%
暮らし向き	良い	355	33.0%	58.3%	80.6%	23.9%	15.8%	9.0%	5.4%	2.0%
	ふつう	484	29.8%	58.5%	69.6%	13.2%	14.0%	13.6%	9.3%	1.4%
	悪い	114	27.2%	62.3%	71.9%	14.0%	21.9%	7.9%	8.8%	4.4%

問７　あなた、もしくは、あなたのお子さんが結婚相手を考える際に、気になること（なったこと）はどんなことですか。（○はいくつでも）

「人柄・性格」の割合が 87.5%と最も高く、次いで「趣味や価値観」の割合が 54.2%、「経済力」の割合が 52.8%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、「相手やその家族の宗教」の割合は 14.4 ポイント(こどもの場合は 11.6 ポイント)増加しています。また、「同和地区出身者かどうか」の割合も 6.9 ポイント(こどもの場合は 3.9 ポイント)増加しています。

【性別】

「経済力」の割合は女性が 61.8%に対し、男性は 42.8%と女性が男性を 19.0 ポイント上回っています。また、「家事や育児の能力や姿勢」の割合も女性が 46.8%に対し、男性は 36.8%と女性が男性を 10.0 ポイント上回っています。

【年齢別】

「家事や育児の能力や姿勢」の割合は 30 歳代が 67.2%と最も高く、70 歳以上が 19.7%と最も低くなっており、47.5 ポイントの差があります。また、「仕事に対する相手の理解と協力」の割合も、30 歳代が 66.4%と最も高く、70 歳以上が 30.1%と最も低くなっており、36.3 ポイントの差があります。

【暮らし向き別】

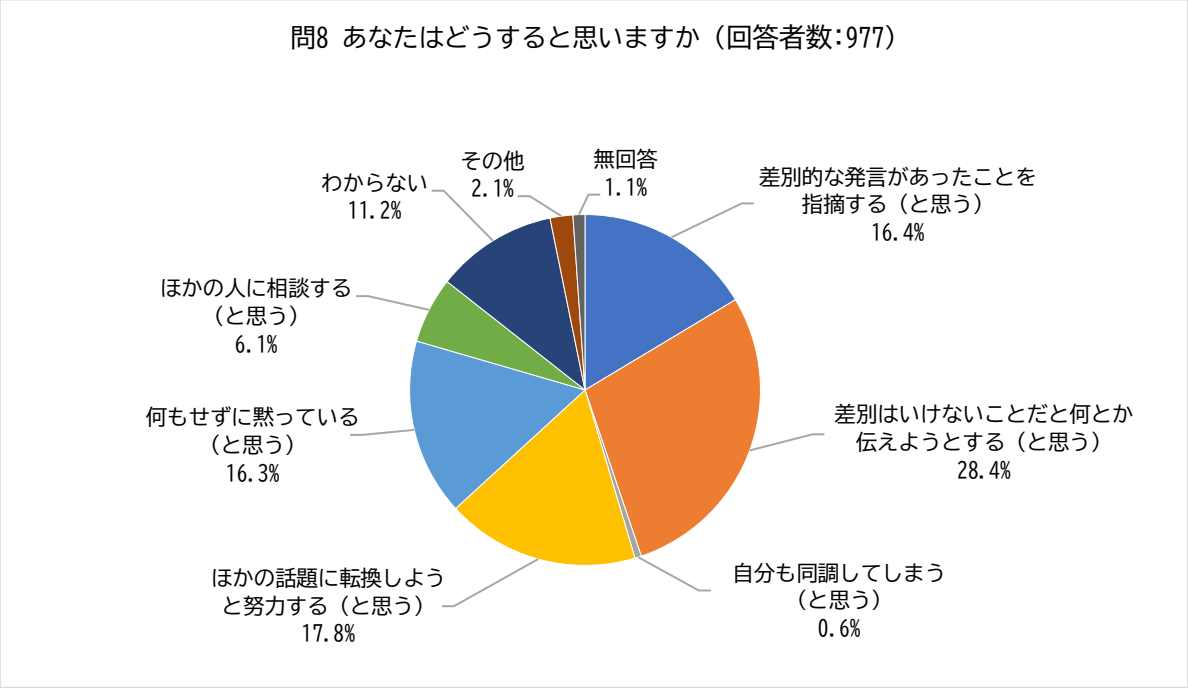
「人柄・性格」「容姿」「趣味や価値観」「仕事に対する相手の理解と協力」「家事や育児の能力や姿勢」「経済力」「学歴」「職業」「家柄」「離婚歴」「相手やその家族に障害者がいるかどうか」「ひとり親または親がいない家庭かどうか」の割合は「良い」が最も高く、「国籍・民族」は「ふつう」が最も高く、「相手やその家族の宗教」「同和地区出身者かどうか」は「悪い」が最も高くなっており、暮らし向きによって重視する事柄に相違があります。

		回答者数	人柄・性格	容姿	趣味や価値観	仕事に対する相手の理解と協力	家事や育児の能力や姿勢	経済力	学歴	職業	家柄
全体		977	87.5%	22.8%	54.2%	47.5%	41.1%	52.8%	16.8%	29.3%	16.1%
R3調査	本人の場合	975	88.1%	29.6%	59.7%	41.0%	35.3%	44.1%	12.5%	25.3%	11.9%
	こどもの場合	975	82.5%	14.1%	37.4%	39.4%	40.5%	55.0%	14.6%	31.2%	16.2%
性別	女性	511	89.4%	20.2%	57.7%	52.3%	46.8%	61.8%	19.2%	31.7%	15.1%
	男性	435	85.7%	26.4%	52.0%	43.7%	36.8%	42.8%	14.5%	27.4%	17.5%
年齢別	18～29歳	101	88.1%	47.5%	72.3%	63.4%	60.4%	55.4%	13.9%	28.7%	20.8%
	30歳代	122	91.0%	31.1%	68.0%	66.4%	67.2%	59.8%	23.0%	37.7%	22.1%
	40歳代	139	90.6%	27.3%	65.5%	63.3%	52.5%	61.2%	19.4%	33.1%	19.4%
	50歳代	199	91.5%	23.6%	60.3%	45.7%	40.2%	49.7%	15.1%	28.1%	12.6%
	60歳代	146	87.0%	15.1%	47.3%	42.5%	38.4%	56.8%	15.8%	32.9%	14.4%
	70歳以上	249	81.5%	10.8%	34.5%	30.1%	19.7%	45.0%	16.5%	23.7%	13.7%
暮らし向き	良い	355	91.0%	30.4%	63.7%	57.2%	47.9%	58.9%	23.1%	34.1%	21.1%
	ふつう	484	85.7%	17.8%	50.6%	42.4%	38.2%	50.6%	15.3%	27.9%	14.0%
	悪い	114	86.0%	22.8%	44.7%	45.6%	38.6%	47.4%	6.1%	23.7%	9.6%

		回答者数	離婚歴	国籍・民族	相手やその家族に障害者がいるかどうか	相手やその家族の宗教	ひとり親または親がいない家庭かどうか	同和地区出身者かどうか	その他	とくに気になる(気になった)ことはない
全体		977	23.1%	27.6%	14.0%	44.2%	5.6%	20.3%	1.2%	4.0%
R3調査	本人の場合	975	22.5%	18.4%	7.5%	29.8%	3.6%	13.4%	0.6%	3.5%
	こどもの場合	975	28.5%	21.6%	11.2%	32.6%	6.1%	16.4%	1.0%	4.8%
性別	女性	511	24.9%	25.6%	15.7%	48.9%	5.9%	20.0%	1.2%	3.3%
	男性	435	21.8%	29.0%	12.2%	39.1%	5.1%	20.5%	1.4%	4.1%
年齢別	18～29歳	101	21.8%	25.7%	14.9%	44.6%	5.9%	12.9%	0.0%	0.0%
	30歳代	122	36.9%	30.3%	16.4%	53.3%	5.7%	12.3%	0.8%	0.0%
	40歳代	139	26.6%	29.5%	18.7%	51.8%	7.9%	23.0%	0.7%	1.4%
	50歳代	199	24.1%	26.6%	15.1%	46.2%	6.0%	21.6%	3.5%	1.0%
	60歳代	146	18.5%	26.7%	9.6%	37.7%	2.7%	21.9%	1.4%	3.4%
	70歳以上	249	18.5%	26.9%	12.0%	38.2%	5.2%	23.7%	0.4%	10.8%
暮らし向き	良い	355	27.3%	26.8%	15.5%	46.5%	7.9%	22.3%	0.3%	2.0%
	ふつう	484	22.7%	28.3%	13.6%	40.5%	4.5%	18.0%	1.4%	4.8%
	悪い	114	15.8%	27.2%	12.3%	54.4%	2.6%	23.7%	3.5%	5.3%

問８　学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはどうすると思いますか。(あてはまるもの１つに○)

「差別はいけないことだと何とか伝えようとする(と思う)」の割合が 28.4%と最も高く、次いで「ほかの話題に転換しようと努力する(と思う)」の割合が 17.8%、「差別的な発言があったことを指摘する(と思う)」の割合が 16.4%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

大きな差異はみられません。

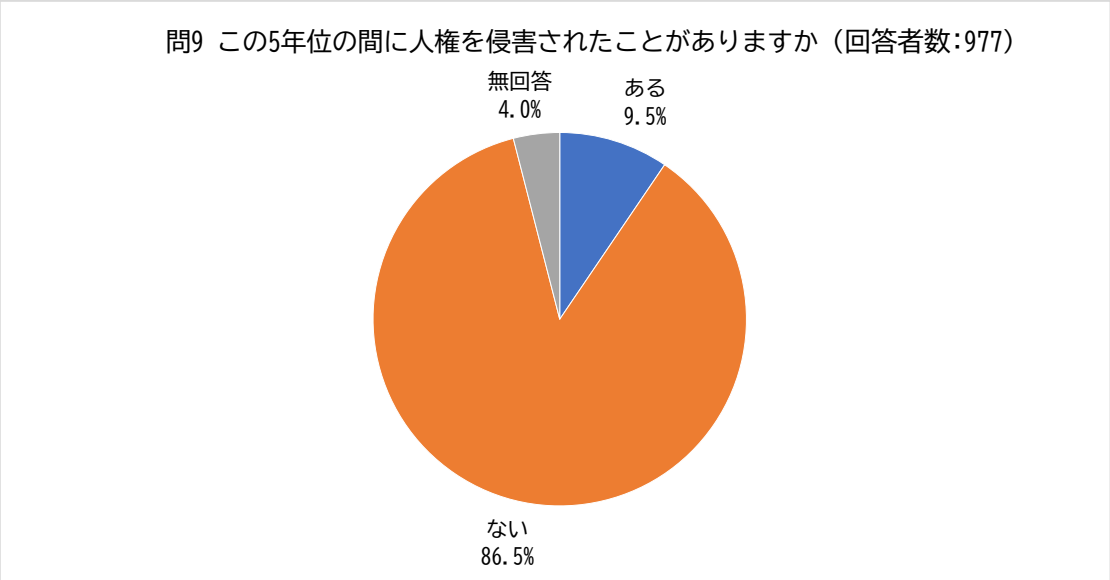
【年齢別】

「ほかの話題に転換しようと努力する（と思う）」の割合は 30 歳代が 31.1%で最も高く、70 歳以上が 10.4%と最も低くなっており、20.7 ポイントの差があります。また、「差別はいけないことだと何とか伝えようとする（と思う）」の割合は、60 歳代が 36.3%で最も高く、30 歳代が 15.6%と最も低くなっており、20.7 ポイントの差があります。

		回答者数	差別的な発言があったことを指摘する（と思う）	差別はいけないことだと何とか伝えようとする（と思う）	自分も同調してしまう（と思う）	ほかの話題に転換しようと努力する（と思う）	何もせずに黙っている（と思う）	ほかの人に相談する（と思う）	わからない	その他	無回答	計
全体		977	16.4%	28.4%	0.6%	17.8%	16.3%	6.1%	11.2%	2.1%	1.1%	100.0%
R3 年度調査		975	13.0%	25.8%	0.3%	18.9%	13.1%	7.5%	9.2%	1.0%	11.1%	100.0%
性別	女性	511	13.9%	26.2%	0.6%	19.2%	18.2%	7.6%	11.0%	2.0%	1.4%	100.0%
	男性	435	19.1%	30.8%	0.7%	17.0%	14.7%	4.4%	10.1%	2.5%	0.7%	100.0%
年齢別	18～29 歳	101	16.8%	17.8%	1.0%	25.7%	22.8%	6.9%	5.9%	3.0%	0.0%	100.0%
	30 歳代	122	15.6%	15.6%	1.6%	31.1%	18.0%	6.6%	8.2%	3.3%	0.0%	100.0%
	40 歳代	139	16.5%	29.5%	0.0%	16.5%	16.5%	10.1%	9.4%	1.4%	0.0%	100.0%
	50 歳代	199	15.6%	27.6%	0.5%	20.1%	17.1%	5.0%	11.1%	3.0%	0.0%	100.0%
	60 歳代	146	13.7%	36.3%	0.0%	13.0%	15.1%	6.2%	13.7%	2.1%	0.0%	100.0%
	70 歳以上	249	18.1%	33.7%	0.8%	10.4%	13.3%	4.8%	13.7%	1.2%	4.0%	100.0%

問９　この５年位の間に、あなたは、人権を侵害されたことがありますか。（○はいずれか1つ）

この5年で人権を侵害された経験は 9.5%が「ある」と回答しています。



【性別】

「ある」の割合は女性が 10.0%に対し、男性は 8.3%と、女性が男性をわずかに上回っています。

【年齢別】

「ある」の割合は 50 歳代が 12.1%で最も高く、70 歳以上が 6.0%で最も低くなっています。

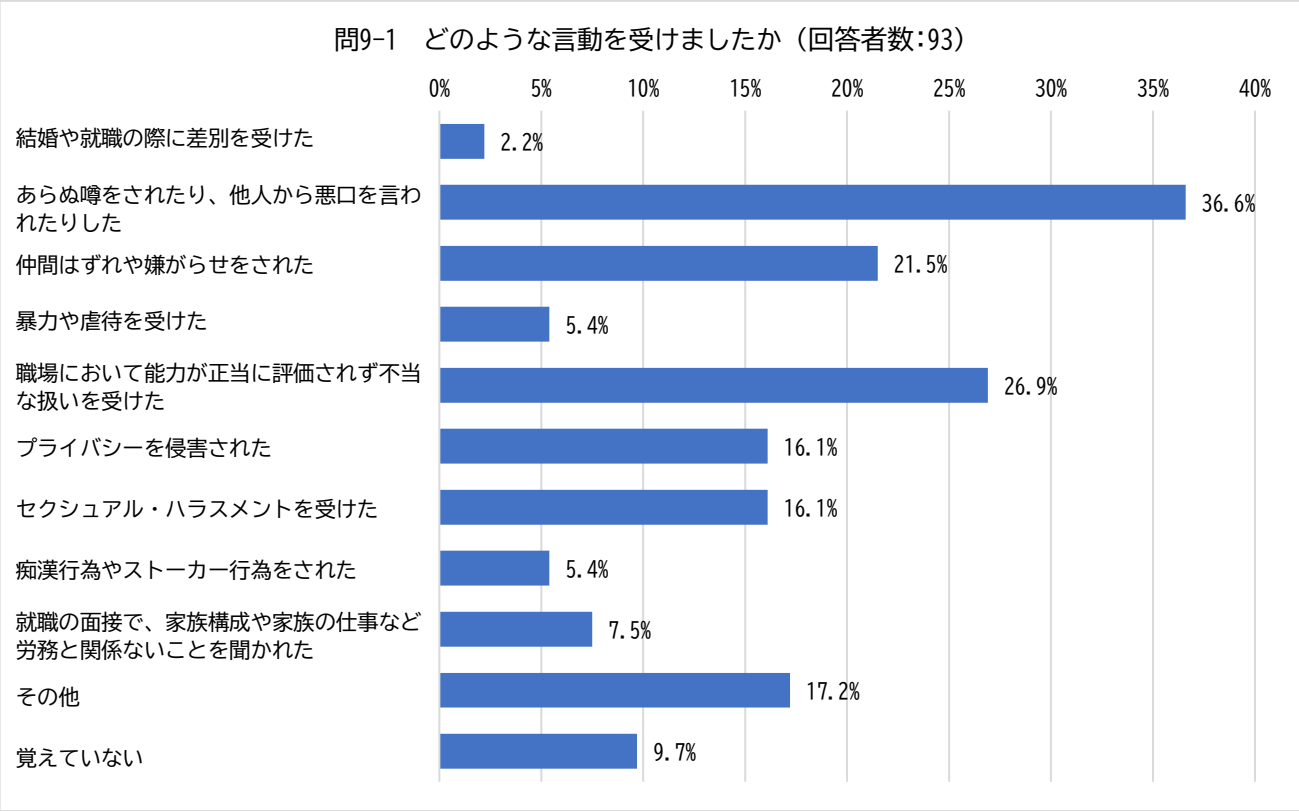
【暮らし向き別】

「ない」の割合は『良い』が 88.2%で最も高く、次いで『ふつう』が 88.0%、『悪い』が 76.3%となっています。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体		977	9.5%	86.5%	4.0%
性別	女性	511	10.0%	84.7%	5.3%
	男性	435	8.3%	89.4%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	10.9%	87.1%	2.0%
	30 歳代	122	10.7%	89.3%	0.0%
	40 歳代	139	8.6%	89.2%	2.2%
	50 歳代	199	12.1%	84.9%	3.0%
	60 歳代	146	9.6%	86.3%	4.1%
	70 歳以上	249	6.0%	85.5%	8.4%
暮らし向き	良い	355	9.3%	88.2%	2.5%
	ふつう	484	8.1%	88.0%	3.9%
	悪い	114	14.9%	76.3%	8.8%

問 9－1～問 9－3は、問 9で「1 ある」と答えた方にお聞きします。
問 9－1 どのような言動を受けましたか。（○はいくつでも）

「あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした」の割合が 36.6%で最も高く、次いで「職場において能力が正当に評価されず不当な扱いを受けた」が 26.9%、「仲間はずれや嫌がらせをされた」が 21.5%となっています。



【性別】

「セクシュアル・ハラスメントを受けた」は女性が 23.5%に対し、男性は 8.3%と、女性が男性を 15.2 ポイント上回っています。一方、「プライバシーを侵害された」は男性が 22.2%に対し、女性は 13.7%と、男性が女性を 8.5 ポイント上回っています。

【年齢別】

「あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした」の割合は 40 歳代が 66.7%で最も高く、70 歳以上が 6.7%と最も低くなっており、60.0 ポイントの差があります。

【暮らし向き別】

「あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした」の割合は『悪い』が 47.1%で最も高く、『ふつう』が 25.6%で最も低くなっており、21.6 ポイントの差があります。

「仲間はずれや嫌がらせをされた」の割合は『良い』が 30.3%で最も高く、『ふつう』が 15.4%と最も低くなっており、14.9 ポイントの差があります。

「職場において能力が正当に評価されず不当な扱いを受けた」の割合は『悪い』が 35.3%で最も高く、『ふつう』が 23.1%と最も低くなっており、12.2 ポイントの差があります。

「プライバシーを侵害された」の割合は『悪い』が 23.5%で最も高く、『良い』が 12.1%と最も低くなっており、11.4 ポイントの差があります。

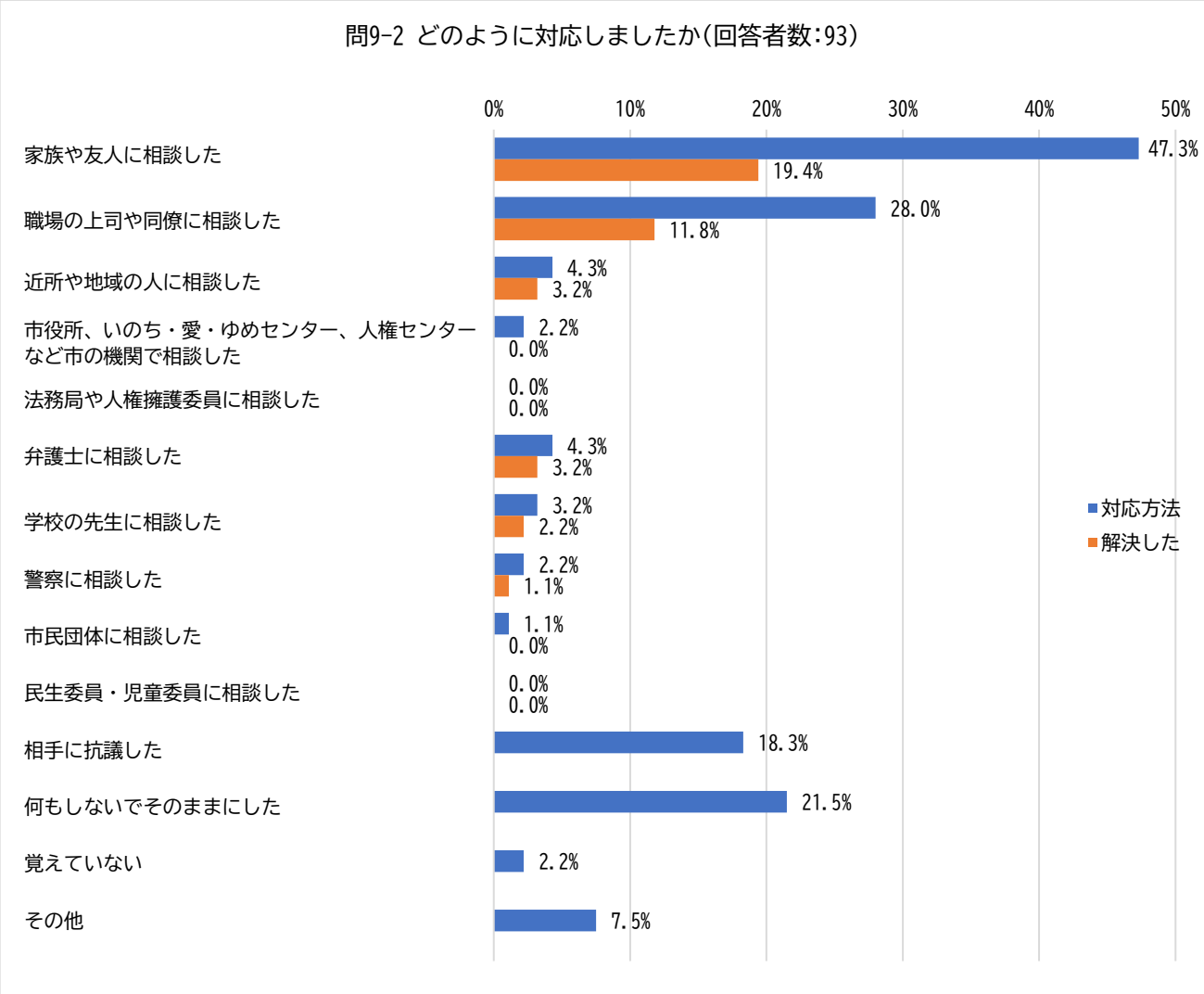
「就職の面接で、家族構成や家族の仕事など労務と関係ないことを聞かれた」の割合は『悪い』が 23.5%で最も高く、『良い』が 3.0%と最も低くなっており、20.5 ポイントの差があります。

		回答者数	結婚や就職の際に差別を受けた	あらぬ噂をされたり、他人から悪口を言われたりした	仲間はずれや嫌がらせをされた	暴力や虐待を受けた	職場において能力が正当に評価されず不当な扱いを受けた	プライバシーを侵害された	セクシュアル・ハラスメントを受けた	痴漢行為やストーカー行為をされた	就職の面接で、家族構成や家族の仕事など労務と関係ないことを聞かれた	その他	覚えていない
全体		93	2.2%	36.6%	21.5%	5.4%	26.9%	16.1%	16.1%	5.4%	7.5%	17.2%	9.7%
性別	女性	51	2.0%	39.2%	19.6%	5.9%	27.5%	13.7%	23.5%	7.8%	5.9%	17.6%	3.9%
	男性	36	2.8%	36.1%	25.0%	5.6%	27.8%	22.2%	8.3%	2.8%	8.3%	19.4%	11.1%
年齢別	18～29 歳	11	0.0%	45.5%	9.1%	9.1%	18.2%	36.4%	27.3%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
	30 歳代	13	0.0%	53.8%	15.4%	7.7%	38.5%	7.7%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%
	40 歳代	12	0.0%	66.7%	25.0%	8.3%	16.7%	8.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%
	50 歳代	24	8.3%	33.3%	29.2%	8.3%	29.2%	16.7%	20.8%	4.2%	12.5%	25.0%	12.5%
	60 歳代	14	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	42.9%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%
	70 歳以上	15	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	26.7%	20.0%
暮らし向き	良い	33	45.5%	45.5%	30.3%	3.0%	27.3%	12.1%	15.2%	3.0%	3.0%	15.2%	3.0%
	ふつう	39	25.6%	25.6%	15.4%	5.1%	23.1%	17.9%	17.9%	5.1%	5.1%	17.9%	12.8%
	悪い	17	47.1%	47.1%	17.6%	11.8%	35.3%	23.5%	17.6%	11.8%	23.5%	23.5%	5.9%

問９－２　どのように対応しましたか。（1の欄の○はいくつでも）
そのうち、相談して解決したものはありますか。（2の欄であてはまるものに○）

「家族や友人に相談した」割合が47.3％で最も高く、次いで「職場の上司や同僚に相談した」が28.0％、「何もしないでそのままにした」が21.5％の順になっています。

上記のうち、相談して解決した割合は「家族や友人に相談した」が 19.4％、「職場の上司や同僚に相談した」が11.8％となっています。



【性別】

「家族や友人に相談した」は女性が 52.9％に対し、男性は 41.7％と、女性が男性を 11.2 ポイント上回っています。そのうち解決したのは女性が 19.6％、男性が 19.4％となっています。

また、「相手に抗議した」も女性が 27.5％に対し、男性は 8.3％と、女性が男性を 19.2 ポイント上回っています。

【年齢別】

「家族や友人に相談した」の割合は40歳代が75.0%で最も高く、次いで18～29歳が72.7%、30歳代が61.5%となっています。そのうち解決した割合は40歳代が25.0%、18～29歳が27.3%、30歳代が30.8%となっています。

また、「相手に抗議した」割合は、40歳代が50.0%で最も高く、次いで60歳代が35.7%となっています。「何もしないでそのままにした」の割合は60歳代が35.7%で最も高く、次いで50歳代が33.3%となっています。

【暮らし向き別】

「家族や友人に相談した」割合は『良い』が66.7%で最も高く、『ふつう』が38.5%と最も低くなっており、28.2ポイントの差があります。

「職場の上司や同僚に相談した」割合は『良い』が42.4%で最も高く、『悪い』が17.6%と最も低くなっており、24.8ポイントの差があります。そのうち解決した割合は『良い』が18.2%で最も高く、『悪い』が5.9%と最も低くなっており、12.3ポイントの差があります。

「相手に抗議した」割合は『良い』が27.3%で最も高く、『ふつう』が10.3%で最も低く17.0ポイントの差があります。

また、「何もしないでそのままにした」の割合は『ふつう』が35.9%で最も高く、『悪い』が11.8%と最も低くなっており、24.1ポイントの差があります。

【対応方法】

		回答者数	家族や友人に相談した	職場の上司や同僚に相談した	近所や地域の人に相談した	市役所、いのち・愛・ゆめセンター、人権センターなど市の機関で相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	弁護士に相談した	学校の先生に相談した
全体		93	47.3%	28.0%	4.3%	2.2%	0.0%	4.3%	3.2%
性別	女性	51	52.9%	33.3%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%
	男性	36	41.7%	25.0%	8.3%	5.6%	0.0%	8.3%	2.8%
年齢別	18～29歳	11	72.7%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%
	30歳代	13	61.5%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%
	40歳代	12	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	24	50.0%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
	60歳代	14	14.3%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	15	33.3%	6.7%	20.0%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%
暮らし向き	良い	33	66.7%	42.4%	6.1%	0.0%	0.0%	3.0%	6.1%
	ふつう	39	38.5%	23.1%	2.6%	5.1%	0.0%	5.1%	2.6%
	悪い	17	41.2%	17.6%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

		回答者数	警察に相談した	市民団体に相談した	民生委員・児童委員に相談した	相手に抗議した	何もしないでそのままにした	覚えていない	その他
全体		93	2.2%	1.1%	0.0%	18.3%	21.5%	2.2%	7.5%
性別	女性	51	0.0%	0.0%	0.0%	27.5%	23.5%	0.0%	7.8%
	男性	36	5.6%	2.8%	0.0%	8.3%	19.4%	2.8%	8.3%
年齢別	18～29 歳	11	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	18.2%
	30 歳代	13	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%	7.7%
	40 歳代	12	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50 歳代	24	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	33.3%	4.2%	12.5%
	60 歳代	14	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	35.7%	0.0%	7.1%
	70 歳以上	15	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%
暮らし向き	良い	33	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	12.1%	0.0%	6.1%
	ふつう	39	0.0%	2.6%	0.0%	10.3%	35.9%	2.6%	2.6%
	悪い	17	11.8%	0.0%	0.0%	23.5%	11.8%	0.0%	23.5%

【解決した】

		回答者数	家族や友人に相談した	職場の上司や同僚に相談した	近所や地域の人に相談した	市役所、いのち・愛・ゆめセンター、人権センターなど市の機関で相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	弁護士に相談した	学校の先生に相談した	警察に相談した	市民団体に相談した	民生委員・児童委員に相談した
全体		93	19.4%	11.8%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	2.2%	1.1%	0.0%	0.0%
性別	女性	51	19.6%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	36	19.4%	13.9%	8.3%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
年齢別	18～29 歳	11	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	30 歳代	13	30.8%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	40 歳代	12	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50 歳代	24	16.7%	20.8%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60 歳代	14	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70 歳以上	15	26.7%	6.7%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
暮らし向き	良い	33	21.2%	18.2%	6.1%	0.0%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	ふつう	39	17.9%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	悪い	17	23.5%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%

問９－３　あなたが相談しても、解決しなかったのはどのような問題でしたか。（自由記述）

有効回答数 977 票中 31 件の回答がありました。回答内容を分類し、以下に掲載します。

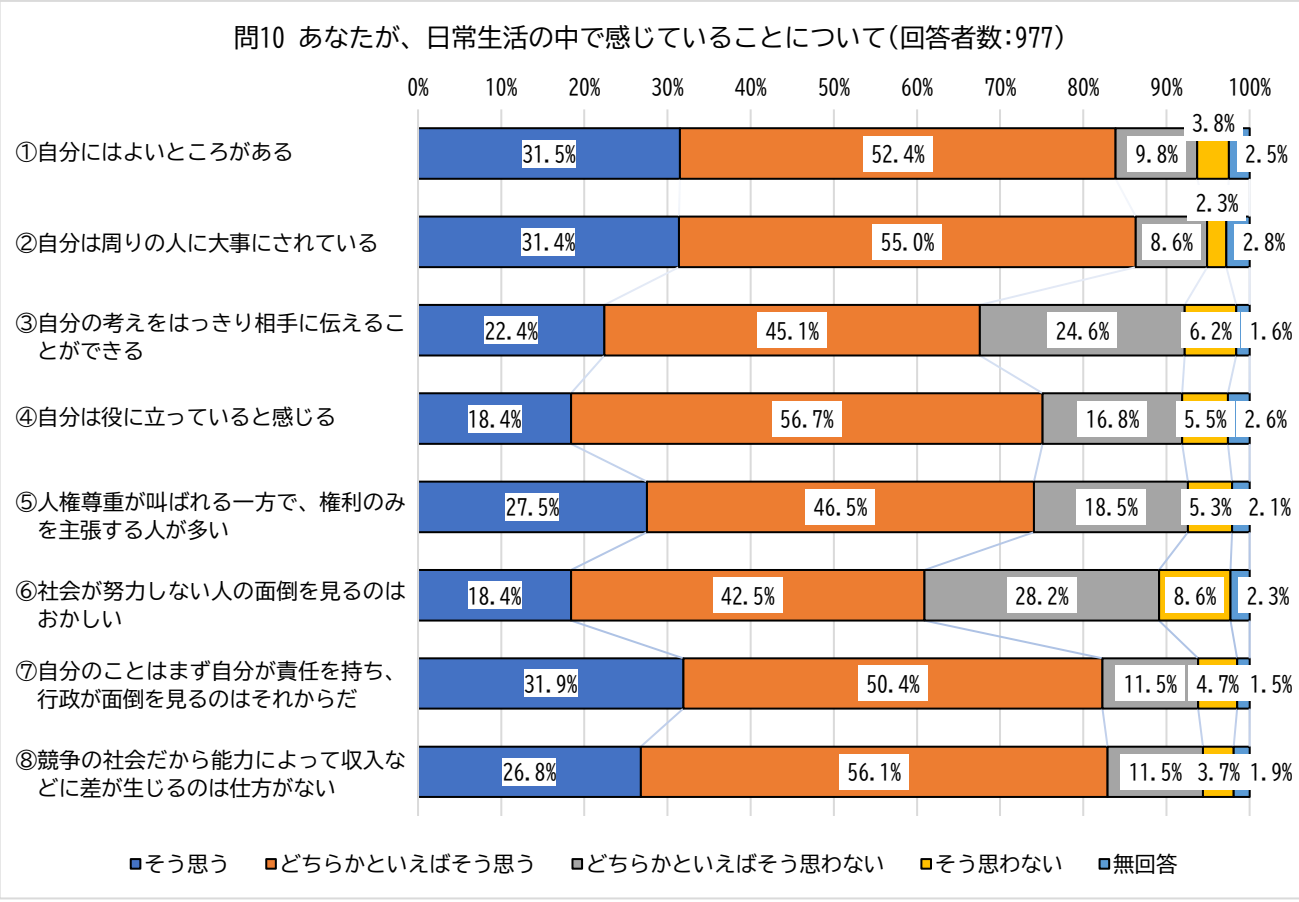
（1票の中に複数の項目にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 31 件より多くなっています）。

	分類回答	件数
1	パワー・ハラスメント	6
2	組織・管理職の対応不全	5
3	いじめ、仲間外れ、暴言	5
4	加害者の性質、固定観念	4
5	物理的距離、環境依存	4
6	不適切な労働環境	3
7	相談窓口への不信感	3
8	セクシュアル・ハラスメント、DV（ドメスティック・バイオレンス）	2
9	差別的言動	2
10	その他	4
	合計	38

問 10 あなたが、日常生活の中で感じていることについてお答えください。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合は、『②自分は周りの人に大事にされている』が 86.4%と最も高く、次いで『①自分にはよいところがある』で 83.9%となっています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合は、『⑥社会が努力しない人の面倒を見るのはおかしい』が 36.8%と最も高く、次いで『③自分の考えをはっきり相手に伝えることができる』で 30.8%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

大きな差異はみられません。

【年齢別】

「⑥社会が努力しない人の面倒を見るのはおかしい」での“思う”の割合は、40 歳代が 73.4%で最も高く、70 歳以上が 48.2%と最も低くなっており、25.2 ポイントの差があります。また、「⑧競争の社会だから能力によって収入などに差が生じるのは仕方がない」での“思う”の割合は、30 歳代が 90.9%で最も高く、70 歳以上が 76.7%と最も低くなっており、14.2 ポイントの差があります。

【暮らし向き別】

「①自分にはよいところがある」での“思う”の割合は『良い』が 92.2%で最も高く、『悪い』が 66.7%と最も低くなっており、25.5 ポイントの差があります。

「②自分は周りの人に大事にされている」での“思う”の割合は『良い』が 95.0%で最も高く、『悪い』が 71.0%と最も低くなっており、24.0 ポイントの差があります。

「③自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」での“思う”の割合は『良い』が 76.1%で最も高く、『悪い』が 49.2%と最も低くなっており、26.9 ポイントの差があります。

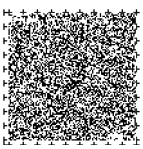
「④自分は役に立っていると感じる」での“思う”の割合は『良い』が 85.1%で最も高く、『悪い』が 54.4%と最も低くなっており、30.7 ポイントの差があります。

			①自分にはよいところがある					②自分は周りの人に大事にされている				
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		977	31.5%	52.4%	9.8%	3.8%	2.5%	31.4%	55.0%	8.6%	2.3%	2.8%
R3 年度調査		975	34.6%	48.4%	10.4%	3.7%	3.0%	28.1%	57.3%	8.2%	3.1%	3.3%
性別	女性	511	34.2%	53.8%	7.6%	3.3%	1.0%	37.6%	52.4%	6.7%	1.8%	1.6%
	男性	435	28.3%	52.2%	12.6%	4.4%	2.5%	25.1%	58.6%	10.8%	2.3%	3.2%
年齢別	18～29 歳	101	40.6%	45.5%	7.9%	5.0%	1.0%	56.4%	34.7%	6.9%	1.0%	1.0%
	30 歳代	122	38.5%	50.0%	9.0%	1.6%	0.8%	50.0%	44.3%	4.1%	0.8%	0.8%
	40 歳代	139	30.2%	55.4%	7.9%	6.5%	0.0%	36.7%	51.8%	7.9%	2.9%	0.7%
	50 歳代	199	35.7%	48.7%	10.6%	4.0%	1.0%	28.6%	60.3%	9.5%	0.5%	1.0%
	60 歳代	146	24.7%	61.0%	13.0%	1.4%	0.0%	22.6%	66.4%	8.2%	2.1%	0.7%
	70 歳以上	249	26.1%	54.2%	10.0%	4.0%	5.6%	17.7%	59.8%	11.2%	4.0%	7.2%
暮らし向き	良い	355	42.3%	49.9%	5.1%	1.7%	1.1%	49.6%	45.4%	3.1%	0.6%	1.4%
	ふつう	484	26.7%	56.2%	12.0%	3.1%	2.1%	22.1%	62.8%	10.1%	2.1%	2.9%
	悪い	114	20.2%	46.5%	16.7%	13.2%	3.5%	17.5%	53.5%	17.5%	7.0%	4.4%

			③自分の考えをはっきり相手に伝えることができる					④自分は役に立っていると感じる				
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		977	22.4%	45.1%	24.6%	6.2%	1.6%	18.4%	56.7%	16.8%	5.5%	2.6%
R3 年度調査		975	22.1%	41.8%	26.1%	7.7%	2.4%	16.6%	56.4%	17.1%	6.5%	3.4%
性別	女性	511	22.9%	44.0%	25.6%	7.0%	0.4%	19.4%	58.9%	14.7%	5.9%	1.2%
	男性	435	22.1%	46.4%	23.9%	5.3%	2.3%	18.4%	54.9%	19.3%	4.6%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	33.7%	32.7%	26.7%	6.9%	0.0%	18.8%	45.5%	22.8%	10.9%	2.0%
	30 歳代	122	24.6%	42.6%	26.2%	5.7%	0.8%	25.4%	55.7%	14.8%	3.3%	0.8%
	40 歳代	139	19.4%	48.2%	25.2%	7.2%	0.0%	17.3%	59.0%	18.7%	5.0%	0.0%
	50 歳代	199	19.1%	45.7%	26.6%	7.5%	1.0%	19.1%	60.8%	15.1%	4.0%	1.0%
	60 歳代	146	13.7%	56.8%	26.7%	2.7%	0.0%	15.1%	67.1%	14.4%	1.4%	2.1%
	70 歳以上	249	26.1%	42.2%	20.9%	6.4%	4.4%	18.1%	52.6%	16.9%	7.6%	4.8%
暮らし向き	良い	355	30.7%	45.4%	19.2%	4.2%	0.6%	26.8%	58.3%	10.4%	3.1%	1.4%
	ふつう	484	17.8%	47.9%	27.7%	5.2%	1.4%	14.7%	59.5%	18.8%	4.8%	2.3%
	悪い	114	16.7%	32.5%	29.8%	16.7%	4.4%	11.4%	43.0%	27.2%	14.9%	3.5%

			⑤人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張する人が多い					⑥社会が努力しない人の面倒を見るのはおかしい				
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		977	27.5%	46.5%	18.5%	5.3%	2.1%	18.4%	42.5%	28.2%	8.6%	2.3%
R3 年度調査		975	28.0%	46.8%	16.6%	5.0%	3.6%	18.5%	45.5%	23.9%	8.5%	3.6%
性別	女性	511	22.5%	49.7%	20.4%	6.5%	1.0%	17.4%	43.8%	28.8%	9.0%	1.0%
	男性	435	32.9%	44.6%	16.6%	3.7%	2.3%	19.3%	42.1%	28.5%	7.8%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	27.7%	41.6%	25.7%	5.0%	0.0%	19.8%	48.5%	24.8%	6.9%	0.0%
	30 歳代	122	32.0%	50.0%	14.8%	2.5%	0.8%	27.9%	41.8%	24.6%	4.9%	0.8%
	40 歳代	139	33.8%	43.9%	20.1%	2.2%	0.0%	25.2%	48.2%	20.9%	5.8%	0.0%
	50 歳代	199	30.7%	50.3%	15.1%	3.0%	1.0%	20.1%	46.7%	26.1%	6.0%	1.0%
	60 歳代	146	22.6%	54.8%	19.2%	3.4%	0.0%	14.4%	38.4%	32.2%	14.4%	0.7%
	70 歳以上	249	21.3%	43.8%	18.5%	10.8%	5.6%	10.4%	37.8%	36.1%	10.4%	5.2%
暮らし向き	良い	355	30.7%	43.4%	22.0%	3.4%	0.6%	22.0%	45.4%	27.0%	5.1%	0.6%
	ふつう	484	24.4%	50.4%	16.7%	6.2%	2.3%	15.9%	42.1%	30.6%	9.1%	2.3%
	悪い	114	28.9%	46.5%	14.9%	6.1%	3.5%	18.4%	39.5%	24.6%	14.0%	3.5%

			⑦自分のことはまず自分が責任を持ち、行政が面倒を見るのはそれからだ					⑧競争の社会だから能力によって収入などに差が生じるのは仕方がない				
		回答者数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体		977	31.9%	50.4%	11.5%	4.7%	1.5%	26.8%	56.1%	11.5%	3.7%	1.9%
R3 年度調査		975	28.6%	52.3%	11.7%	4.1%	3.3%	24.3%	53.7%	14.8%	4.4%	2.8%
性別	女性	511	32.1%	51.5%	11.7%	4.3%	0.4%	22.7%	59.5%	13.9%	3.1%	0.8%
	男性	435	30.6%	50.6%	11.3%	5.5%	2.1%	31.3%	52.9%	9.2%	4.4%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	33.7%	43.6%	14.9%	7.9%	0.0%	36.6%	47.5%	11.9%	4.0%	0.0%
	30 歳代	122	37.7%	46.7%	12.3%	2.5%	0.8%	35.2%	55.7%	6.6%	1.6%	0.8%
	40 歳代	139	32.4%	51.8%	11.5%	4.3%	0.0%	30.2%	55.4%	10.1%	3.6%	0.7%
	50 歳代	199	30.7%	52.3%	11.6%	4.5%	1.0%	25.6%	59.8%	11.6%	2.0%	1.0%
	60 歳代	146	24.0%	58.2%	12.3%	5.5%	0.0%	22.6%	56.8%	15.8%	4.8%	0.0%
	70 歳以上	249	32.1%	49.8%	9.2%	4.8%	4.0%	19.7%	57.0%	12.9%	5.6%	4.8%
暮らし向き	良い	355	36.6%	48.5%	10.7%	3.7%	0.6%	35.8%	53.5%	7.0%	3.1%	0.6%
	ふつう	484	29.5%	51.7%	12.6%	4.8%	1.4%	21.1%	58.7%	14.0%	3.9%	2.3%
	悪い	114	24.6%	54.4%	8.8%	8.8%	3.5%	22.8%	54.4%	15.8%	4.4%	2.6%



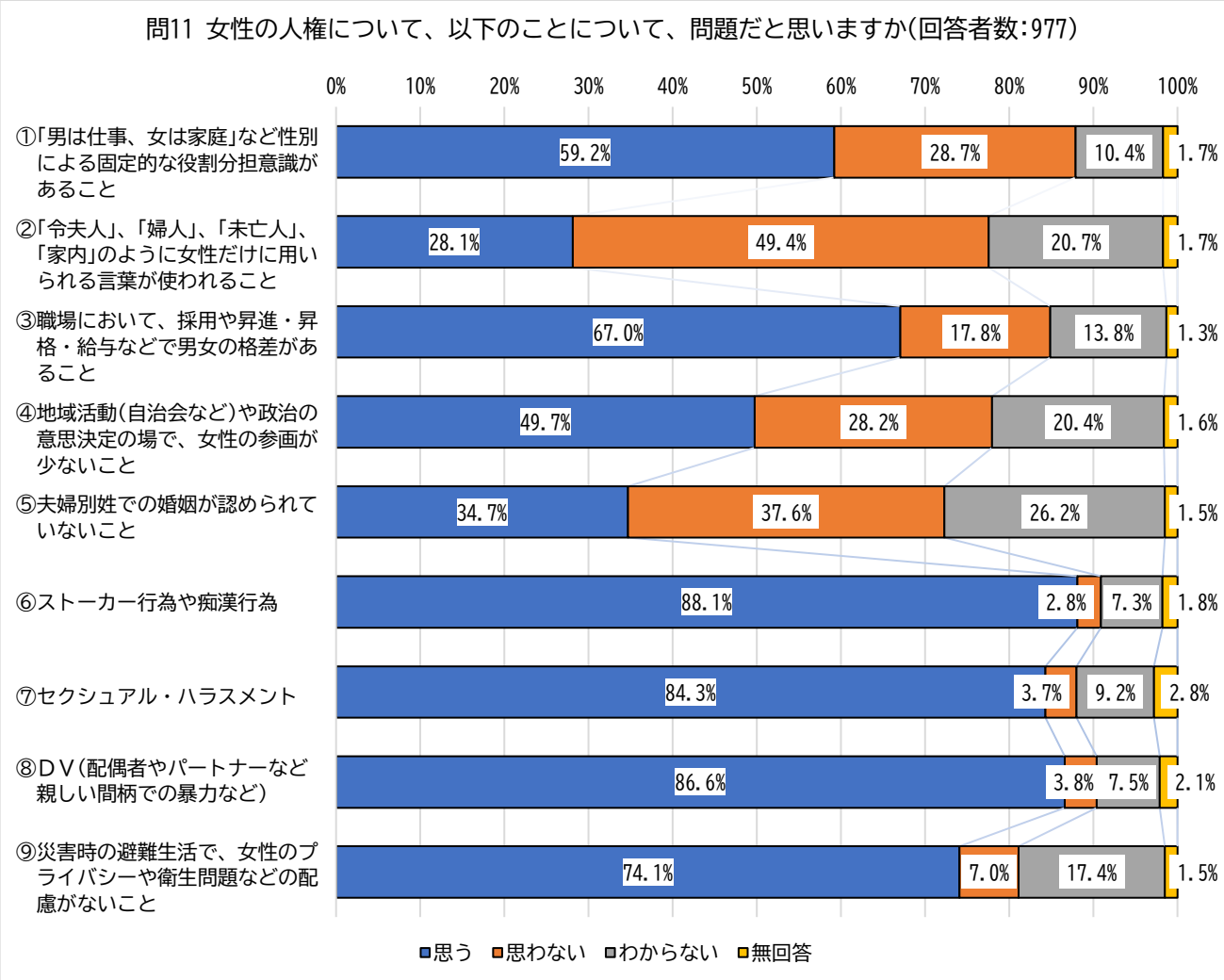
2. さまざまな人権問題について

(1)　女性の人権について

問 11　女性の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

「思う」の割合は、『⑥ストーカー行為や痴漢行為』で 88.1%と最も高く、次いで『⑧DV(配偶者やパートナーなど親しい間柄での暴力など)』で 86.6%、『⑦セクシュアル・ハラスメント』で 84.3%となっています。

一方、「思わない」の割合は『②「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること』で 49.4%と最も高く、次いで『⑤夫婦別姓での婚姻が認められていないこと』で 37.6%、『①「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること』で 28.7%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『③職場において、採用や昇進・昇格・給与などで男女の格差があること』での「思う」の割合が 12.8 ポイント減少しています。

また、『⑤夫婦別姓での婚姻が認められていないこと』では、「思う」の割合が10.3ポイント減少し、「思わない」の割合が 12.5 ポイント増加しています。令和3年度調査では「思う」の割合が高かったことに対し、今回の調査では「思わない」の割合が「思う」を上回っています。

【性別】

『①「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること』での「思う」の割合が、女性が 67.5%に対し、男性は 50.6%と、女性が男性を 16.9 ポイント上回っています。

また、『③職場において、採用や昇進・昇格・給与などで男女の格差があること』での「思う」の割合が、女性が 74.4%に対し、男性は 59.8%と、女性が男性を 14.6 ポイント上回っています。

【年齢別】

『①「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること』での「思う」の割合が、40 歳代が 71.9%で最も高く、70 歳以上が 45.0%と最も低くなっており 26.9 ポイントの差があります。また、『⑤夫婦別姓での婚姻が認められていないこと』での「思わない」の割合は、40 歳代が 46.8%で最も高く、70 歳以上が 32.1%と最も低くなっており、14.7 ポイントの差があります。

			①「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること				②「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	59.2%	28.7%	10.4%	1.7%	28.1%	49.4%	20.7%	1.7%
R3 年度調査		975	70.1%	21.1%	7.3%	1.5%	−	−	−	−
性別	女性	511	67.5%	22.1%	8.6%	1.8%	32.5%	46.8%	19.2%	1.6%
	男性	435	50.6%	36.6%	11.7%	1.1%	24.1%	53.8%	20.7%	1.4%
年齢別	18～29 歳	101	58.4%	29.7%	10.9%	1.0%	29.7%	47.5%	21.8%	1.0%
	30 歳代	122	68.9%	22.1%	7.4%	1.6%	32.8%	51.6%	15.6%	0.0%
	40 歳代	139	71.9%	18.7%	8.6%	0.7%	28.8%	52.5%	18.0%	0.7%
	50 歳代	199	65.8%	23.6%	9.5%	1.0%	31.2%	47.7%	20.6%	0.5%
	60 歳代	146	58.2%	29.5%	11.0%	1.4%	24.7%	49.3%	26.0%	0.0%
	70 歳以上	249	45.0%	40.6%	11.6%	2.8%	25.7%	49.8%	19.7%	4.8%

			③職場において、採用や昇進・昇格・給与などで男女の格差があること				④地域活動（自治会など）や政治の意思決定の場で、女性の参画が少ないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	67.0%	17.8%	13.8%	1.3%	49.7%	28.2%	20.4%	1.6%
R3 年度調査		975	79.8%	9.8%	8.5%	1.8%	62.1%	18.2%	18.1%	1.7%
性別	女性	511	74.4%	12.7%	11.9%	1.0%	53.2%	23.7%	21.7%	1.4%
	男性	435	59.8%	24.4%	14.7%	1.1%	46.0%	34.7%	18.2%	1.1%
年齢別	18～29 歳	101	72.3%	12.9%	14.9%	0.0%	60.4%	21.8%	17.8%	0.0%
	30 歳代	122	75.4%	16.4%	7.4%	0.8%	55.7%	32.0%	12.3%	0.0%
	40 歳代	139	65.5%	21.6%	12.2%	0.7%	51.8%	25.2%	22.3%	0.7%
	50 歳代	199	70.4%	16.1%	13.1%	0.5%	50.8%	25.6%	23.1%	0.5%
	60 歳代	146	63.7%	21.2%	14.4%	0.7%	47.3%	28.1%	24.7%	0.0%
	70 歳以上	249	62.7%	18.1%	16.5%	2.8%	42.6%	34.1%	18.9%	4.4%

			⑤夫婦別姓での婚姻が認められていないこと				⑥ストーカー行為や痴漢行為			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	34.7%	37.6%	26.2%	1.5%	88.1%	2.8%	7.3%	1.8%
R3 年度調査		975	45.0%	25.1%	28.2%	1.6%	91.0%	1.3%	5.8%	1.8%
性別	女性	511	38.6%	32.7%	27.8%	1.0%	92.2%	0.6%	5.9%	1.4%
	男性	435	30.6%	45.3%	22.8%	1.4%	85.5%	5.3%	7.6%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	39.6%	35.6%	24.8%	0.0%	92.1%	4.0%	4.0%	0.0%
	30 歳代	122	41.8%	46.7%	10.7%	0.8%	91.8%	4.1%	3.3%	0.8%
	40 歳代	139	31.7%	46.8%	20.9%	0.7%	92.1%	1.4%	5.8%	0.7%
	50 歳代	199	37.2%	36.7%	25.6%	0.5%	92.0%	1.0%	6.5%	0.5%
	60 歳代	146	30.1%	37.0%	32.9%	0.0%	93.8%	2.7%	3.4%	0.0%
	70 歳以上	249	32.1%	32.1%	32.1%	3.6%	78.7%	4.0%	12.4%	4.8%

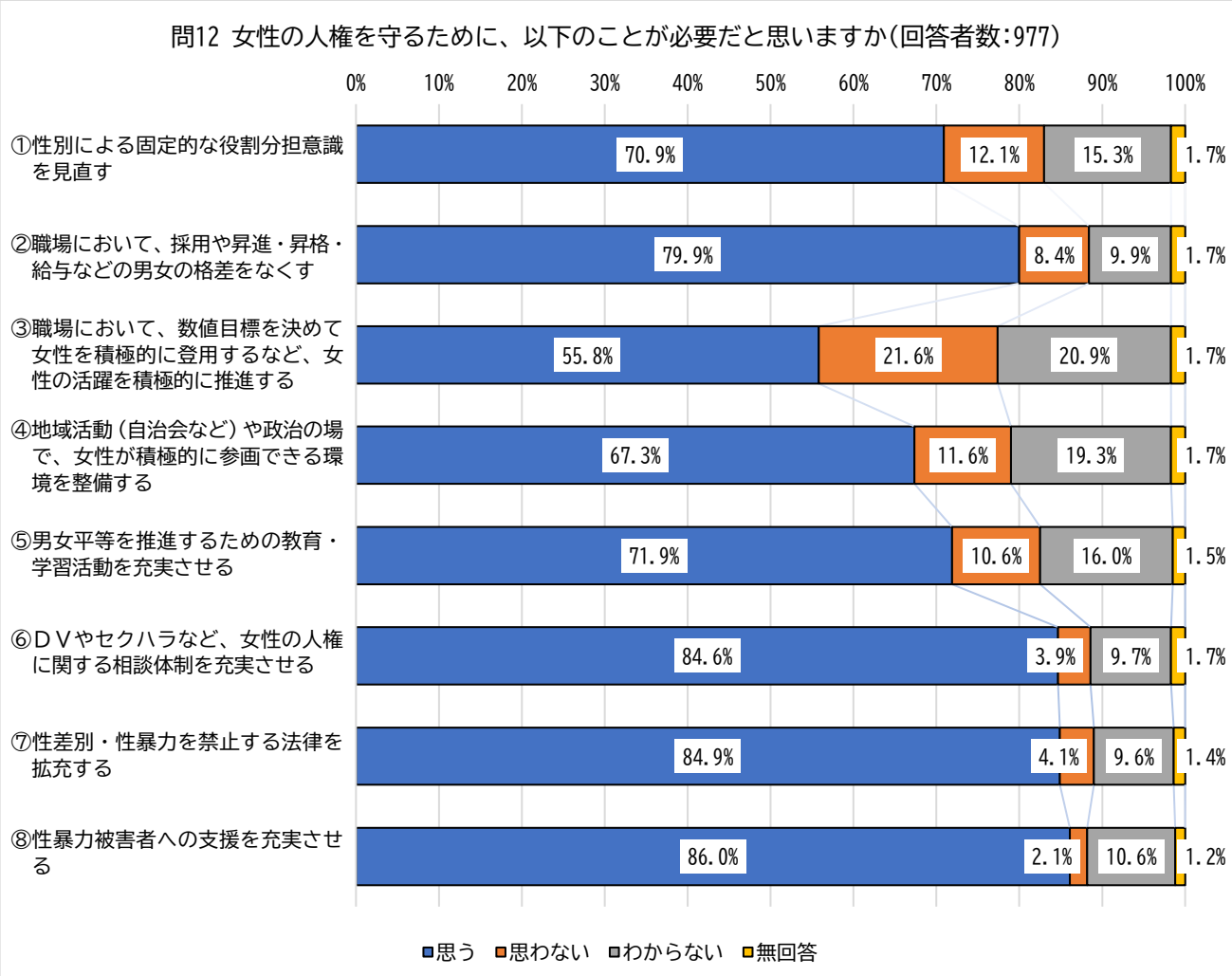
			⑦セクシュアル・ハラスメント				⑧ＤＶ（配偶者やパートナーなど親しい間柄での暴力など）			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	84.3%	3.7%	9.2%	2.8%	86.6%	3.8%	7.5%	2.1%
R3 年度調査		975	89.7%	1.7%	6.8%	1.7%	90.8%	1.6%	5.7%	1.8%
性別	女性	511	87.3%	1.0%	9.4%	2.3%	89.8%	1.2%	7.2%	1.8%
	男性	435	82.5%	6.7%	8.3%	2.5%	84.6%	6.9%	6.7%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	88.1%	5.0%	5.0%	2.0%	89.1%	5.9%	5.0%	0.0%
	30 歳代	122	88.5%	4.9%	4.9%	1.6%	88.5%	5.7%	4.9%	0.8%
	40 歳代	139	86.3%	2.9%	7.9%	2.9%	89.2%	2.2%	7.2%	1.4%
	50 歳代	199	91.0%	3.0%	5.0%	1.0%	91.0%	2.5%	5.5%	1.0%
	60 歳代	146	89.0%	4.1%	6.8%	0.0%	94.5%	2.7%	2.7%	0.0%
	70 歳以上	249	73.9%	3.2%	17.3%	5.6%	77.9%	4.8%	12.0%	5.2%

			⑨災害時の避難生活で、女性のプライバシーや衛生問題などの配慮がないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	74.1%	7.0%	17.4%	1.5%
性別	女性	511	80.6%	2.5%	15.5%	1.4%
	男性	435	68.5%	11.7%	18.6%	1.1%
年齢別	18～29 歳	101	77.2%	11.9%	10.9%	0.0%
	30 歳代	122	75.4%	8.2%	16.4%	0.0%
	40 歳代	139	77.7%	4.3%	17.3%	0.7%
	50 歳代	199	78.9%	6.0%	14.6%	0.5%
	60 歳代	146	77.4%	4.8%	17.8%	0.0%
	70 歳以上	249	66.3%	7.2%	22.1%	4.4%

問 12　女性の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『⑧性暴力被害者への支援を充実させる』で 86.0%と最も高く、次いで『⑦性差別・性暴力を禁止する法律を拡充する』で 84.9%、『⑥DVやセクハラなど、女性の人権に関する相談体制を充実させる』で 84.6%となっています。

一方、「思わない」の割合は『③職場において、数値目標を決めて女性を積極的に登用するなど、女性の活躍を積極的に推進する』が 21.6%と最も高くなっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

『②職場において、数値目標を決めて女性を積極的に登用するなど、女性の活躍を積極的に推進する」の割合が、女性が 62.8%に対し、男性は 47.6%と、女性が男性を 15.2 ポイント上回っています。

また、『①性別による固定的な役割分担意識を見直す』での「思う」の割合も、女性が 77.1%に対し、男性は 64.8%と、女性が男性を 12.3 ポイント上回っています。

【年齢別】

『③職場において、数値目標を決めて女性を積極的に登用するなど、女性の活躍を積極的に推進する』での「思わない」の割合が、30 歳代が 31.1%で最も高く、60 歳代が 13.7%と最も低くなっており 17.4 ポイントの差があります。また、『①性別による固定的な役割分担意識を見直す』での「思う」の割合は、40 歳代が 76.3%で最も高く、70 歳以上が 59.8%と最も低くなっており、16.5 ポイントの差があります。

			①性別による固定的な役割分担意識を見直す				②職場において、採用や昇進・昇格・給与などの男女の格差をなくす			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	70.9%	12.1%	15.3%	1.7%	79.9%	8.4%	9.9%	1.7%
R3 年度調査		975	78.2%	7.6%	12.0%	2.3%	85.8%	3.5%	8.9%	1.7%
性別	女性	511	77.1%	7.4%	13.7%	1.8%	84.9%	4.3%	9.6%	1.2%
	男性	435	64.8%	17.7%	16.1%	1.4%	74.5%	13.6%	10.1%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	75.2%	10.9%	13.9%	0.0%	77.2%	8.9%	11.9%	2.0%
	30 歳代	122	74.6%	13.9%	9.8%	1.6%	86.1%	8.2%	4.1%	1.6%
	40 歳代	139	76.3%	12.2%	11.5%	0.0%	81.3%	12.2%	6.5%	0.0%
	50 歳代	199	75.9%	10.1%	13.1%	1.0%	81.9%	8.0%	10.1%	0.0%
	60 歳代	146	74.0%	8.2%	17.8%	0.0%	79.5%	6.8%	13.7%	0.0%
	70 歳以上	249	59.8%	15.7%	19.3%	5.2%	75.9%	7.6%	11.6%	4.8%

			③職場において、数値目標を決めて女性を積極的に登用するなど、女性の活躍を積極的に推進する				④地域活動（自治会など）や政治の場で、女性が積極的に参画できる環境を整備する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	55.8%	21.6%	20.9%	1.7%	67.3%	11.6%	19.3%	1.7%
R3 年度調査		975	－	－	－	－	75.9%	5.7%	16.5%	1.8%
性別	女性	511	62.8%	13.3%	22.5%	1.4%	69.5%	7.8%	21.1%	1.6%
	男性	435	47.6%	32.0%	18.9%	1.6%	66.9%	15.4%	16.1%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	61.4%	18.8%	19.8%	0.0%	71.3%	9.9%	17.8%	1.0%
	30 歳代	122	50.8%	31.1%	16.4%	1.6%	63.1%	18.0%	16.4%	2.5%
	40 歳代	139	52.5%	28.8%	18.7%	0.0%	69.1%	14.4%	16.5%	0.0%
	50 歳代	199	46.7%	29.1%	23.6%	0.5%	66.8%	9.5%	23.6%	0.0%
	60 歳代	146	63.0%	13.7%	22.6%	0.7%	69.9%	10.3%	19.9%	0.0%
	70 歳以上	249	60.2%	14.1%	21.3%	4.4%	67.5%	9.2%	18.5%	4.8%

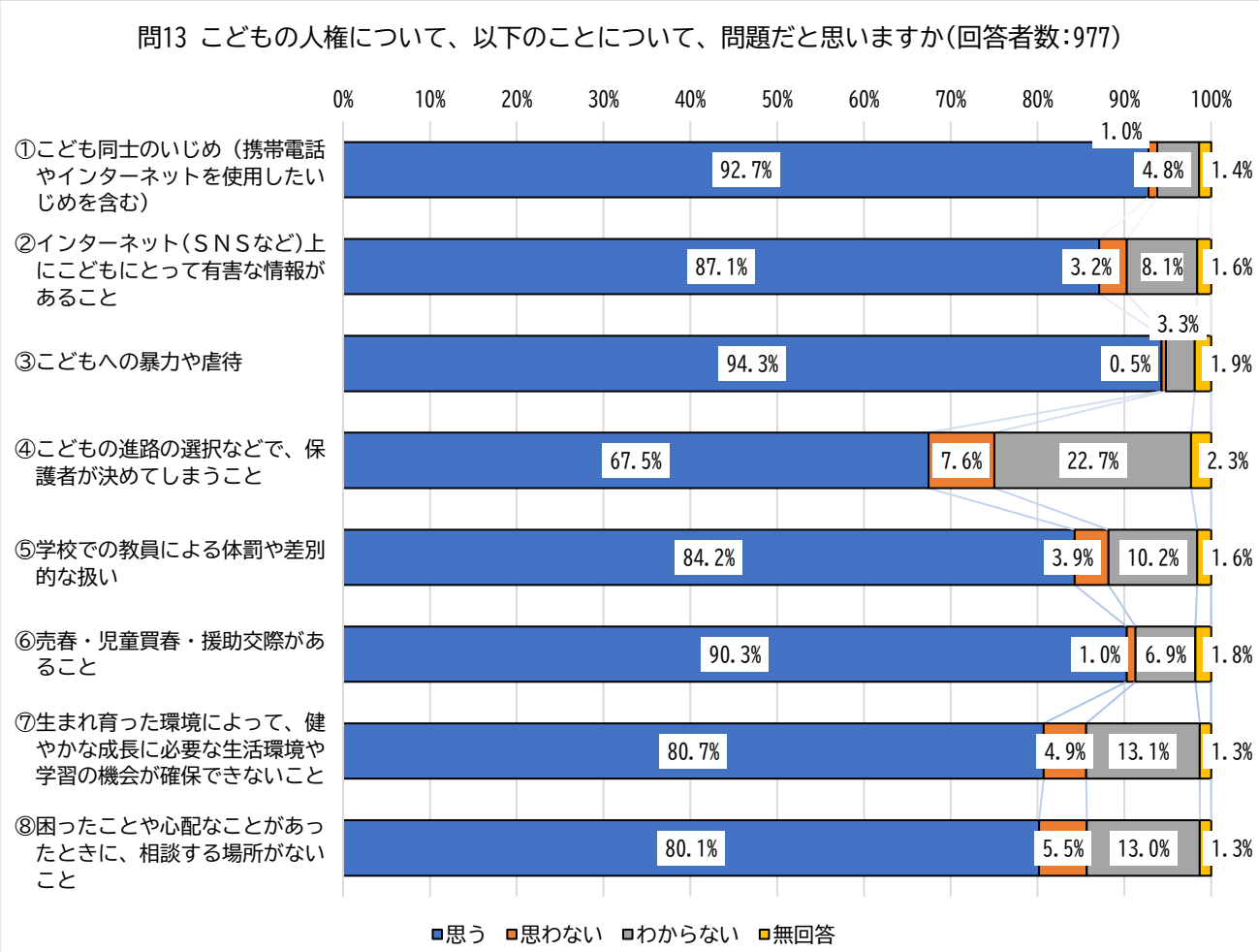
			⑤男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる				⑥ＤＶやセクハラなど、女性の人権に関する相談体制を充実させる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	71.9%	10.6%	16.0%	1.5%	84.6%	3.9%	9.7%	1.7%
R3 年度調査		975	80.7%	5.3%	12.2%	1.7%	89.4%	1.4%	7.3%	1.8%
性別	女性	511	77.3%	6.1%	15.3%	1.4%	87.5%	1.6%	9.2%	1.8%
	男性	435	66.9%	15.6%	16.1%	1.4%	82.1%	6.4%	9.9%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	77.2%	9.9%	9.9%	3.0%	86.1%	3.0%	8.9%	2.0%
	30 歳代	122	73.0%	13.9%	12.3%	0.8%	87.7%	4.9%	5.7%	1.6%
	40 歳代	139	66.9%	14.4%	18.0%	0.7%	84.2%	4.3%	10.1%	1.4%
	50 歳代	199	74.4%	9.5%	16.1%	0.0%	89.4%	2.5%	7.5%	0.5%
	60 歳代	146	71.2%	8.9%	19.9%	0.0%	87.7%	2.7%	9.6%	0.0%
	70 歳以上	249	71.5%	8.8%	16.1%	3.6%	78.3%	4.8%	12.9%	4.0%

			⑦性差別・性暴力を禁止する法律を拡充する				⑧性暴力被害者への支援を充実させる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	84.9%	4.1%	9.6%	1.4%	86.0%	2.1%	10.6%	1.2%
R3 年度調査		975	－	－	－	－	86.4%	1.5%	9.9%	2.2%
性別	女性	511	88.5%	1.2%	9.0%	1.4%	88.3%	0.4%	10.4%	1.0%
	男性	435	80.9%	7.6%	10.1%	1.4%	83.9%	4.4%	10.3%	1.4%
年齢別	18～29 歳	101	90.1%	4.0%	5.9%	0.0%	91.1%	4.0%	4.0%	1.0%
	30 歳代	122	86.1%	4.9%	7.4%	1.6%	85.2%	4.1%	9.8%	0.8%
	40 歳代	139	89.2%	5.0%	5.0%	0.7%	89.9%	3.6%	6.5%	0.0%
	50 歳代	199	84.9%	4.0%	11.1%	0.0%	88.9%	1.0%	10.1%	0.0%
	60 歳代	146	88.4%	2.7%	8.2%	0.7%	88.4%	0.7%	10.3%	0.7%
	70 歳以上	249	78.3%	4.0%	13.7%	4.0%	78.7%	1.6%	16.1%	3.6%

（2）　こどもの人権について

問 13　こどもの人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『③こどもへの暴力や虐待』で 94.3%と最も高く、次いで『①こども同士のいじめ（携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む）』で 92.7%、『⑥売春・児童買春・援助交際があること』で 90.3%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

『⑦生まれ育った環境によって、健やかな成長に必要な生活環境や学習の機会が確保できないこと」の割合が、女性が 86.3%に対し、男性は 75.9%と、女性が男性を 10.4 ポイント上回っています。

【年齢別】

『④こどもの進路の選択などで、保護者が決めてしまうこと』での「思う」の割合が、30 歳代が 77.9%で最も高く、70 歳以上が 58.2%と最も低くなっており、19.7 ポイントの差があります。また、『⑤学校での教員による体罰や差別的な扱い』での「思う」の割合は、30 歳代が 93.4%で最も高く、70 歳以上が 75.5%と最も低くなっており、17.9 ポイントの差があります。

			①こども同士のいじめ（携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む）				②インターネット（ＳＮＳなど）上にこどもにとって有害な情報があること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	92.7%	1.0%	4.8%	1.4%	87.1%	3.2%	8.1%	1.6%
R3 年度調査		975	94.4%	0.9%	3.3%	1.4%	88.2%	3.7%	6.5%	1.6%
性別	女性	511	95.3%	0.2%	3.7%	0.8%	90.2%	1.6%	6.7%	1.6%
	男性	435	91.3%	2.1%	4.8%	1.8%	84.8%	5.3%	8.5%	1.4%
年齢別	18～29 歳	101	97.0%	1.0%	2.0%	0.0%	85.1%	7.9%	5.0%	2.0%
	30 歳代	122	97.5%	0.0%	1.6%	0.8%	89.3%	4.1%	5.7%	0.8%
	40 歳代	139	96.4%	0.7%	2.9%	0.0%	86.3%	4.3%	8.6%	0.7%
	50 歳代	199	96.5%	1.0%	2.0%	0.5%	93.5%	2.5%	4.0%	0.0%
	60 歳代	146	94.5%	1.4%	2.7%	1.4%	91.8%	3.4%	4.1%	0.7%
	70 歳以上	249	83.5%	1.6%	11.2%	3.6%	80.3%	0.8%	14.9%	4.0%

			③こどもへの暴力や虐待				④こどもの進路の選択などで、保護者が決めてしまうこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	94.3%	0.5%	3.3%	1.9%	67.5%	7.6%	22.7%	2.3%
R3 年度調査		975	96.6%	0.3%	1.6%	1.4%	72.1%	8.4%	17.9%	1.5%
性別	女性	511	96.3%	0.2%	2.5%	1.0%	68.1%	6.3%	24.1%	1.6%
	男性	435	92.6%	0.9%	3.7%	2.8%	67.8%	9.0%	20.7%	2.5%
年齢別	18～29 歳	101	93.1%	1.0%	3.0%	3.0%	76.2%	7.9%	13.9%	2.0%
	30 歳代	122	97.5%	0.0%	0.8%	1.6%	77.9%	3.3%	16.4%	2.5%
	40 歳代	139	97.8%	0.7%	0.0%	1.4%	68.3%	9.4%	20.9%	1.4%
	50 歳代	199	99.0%	0.0%	0.5%	0.5%	66.8%	5.5%	27.1%	0.5%
	60 歳代	146	96.6%	0.7%	2.1%	0.7%	71.2%	6.2%	21.9%	0.7%
	70 歳以上	249	87.1%	0.8%	8.4%	3.6%	58.2%	10.4%	26.9%	4.4%

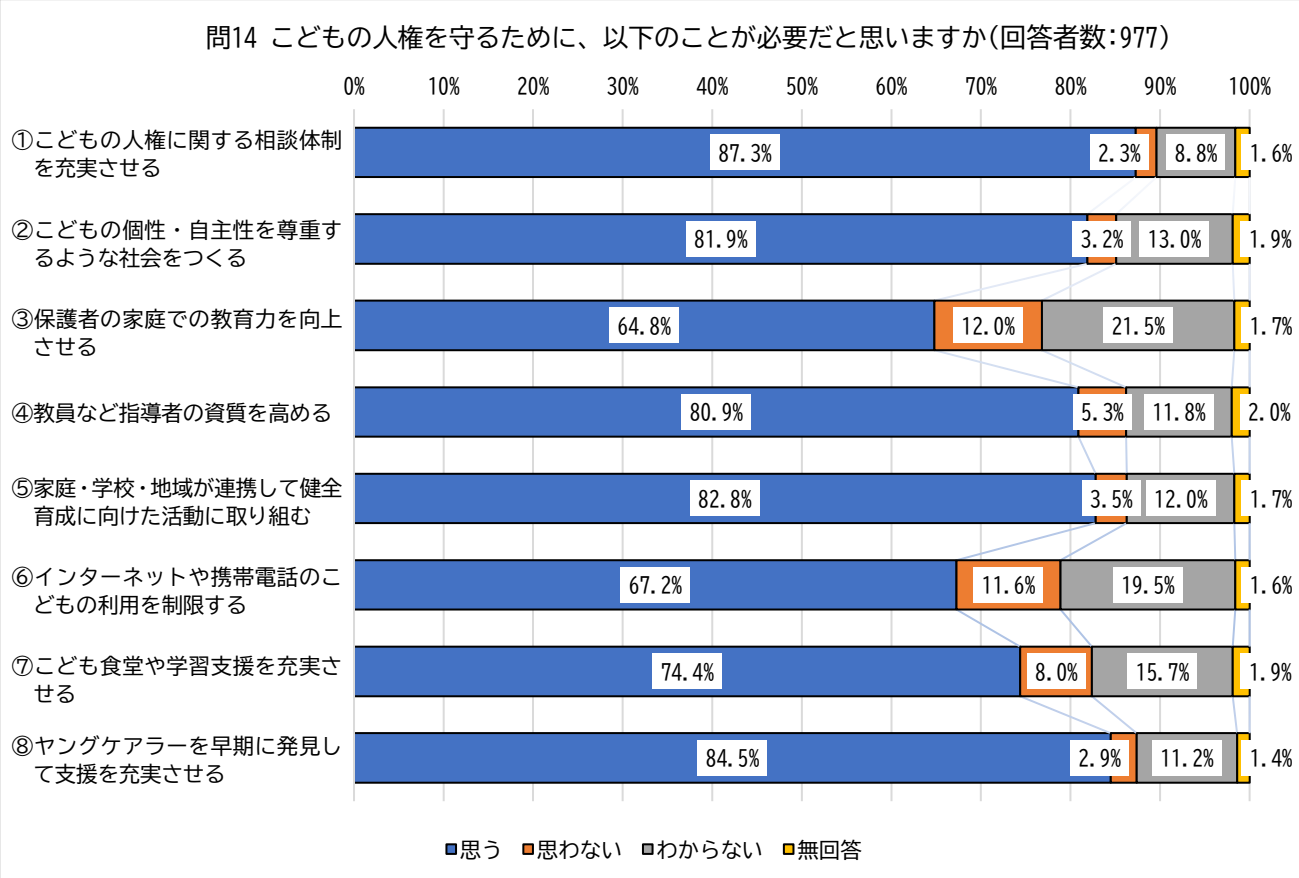
			⑤学校での教員による体罰や差別的な扱い				⑥売春・児童買春・援助交際があること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	84.2%	3.9%	10.2%	1.6%	90.3%	1.0%	6.9%	1.8%
R3 年度調査		975	88.3%	2.5%	7.6%	1.6%	92.9%	1.0%	4.4%	1.6%
性別	女性	511	87.3%	2.0%	9.6%	1.2%	92.4%	0.8%	5.9%	1.0%
	男性	435	82.1%	6.2%	9.9%	1.8%	89.2%	1.1%	7.4%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	92.1%	3.0%	4.0%	1.0%	89.1%	2.0%	7.9%	1.0%
	30 歳代	122	93.4%	3.3%	2.5%	0.8%	98.4%	0.0%	0.8%	0.8%
	40 歳代	139	84.2%	5.0%	9.4%	1.4%	93.5%	0.7%	4.3%	1.4%
	50 歳代	199	87.4%	2.0%	10.6%	0.0%	96.0%	1.0%	3.0%	0.0%
	60 歳代	146	84.2%	2.7%	12.3%	0.7%	91.8%	0.7%	6.8%	0.7%
	70 歳以上	249	75.5%	6.4%	14.1%	4.0%	81.1%	1.6%	12.9%	4.4%

			⑦生まれ育った環境によって、健やかな成長に必要な生活環境や学習の機会が確保できないこと				⑧困ったことや心配なことがあったときに、相談する場所がないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	80.7%	4.9%	13.1%	1.3%	80.1%	5.5%	13.0%	1.3%
R3 年度調査		975	84.3%	4.2%	10.2%	1.3%	84.7%	3.7%	9.6%	1.9%
性別	女性	511	86.3%	2.9%	10.0%	0.8%	81.8%	5.1%	12.3%	0.8%
	男性	435	75.9%	6.0%	16.6%	1.6%	78.9%	5.5%	14.0%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	83.2%	5.9%	10.9%	0.0%	85.1%	7.9%	6.9%	0.0%
	30 歳代	122	85.2%	4.9%	9.0%	0.8%	88.5%	3.3%	7.4%	0.8%
	40 歳代	139	89.2%	2.2%	7.9%	0.7%	80.6%	5.8%	12.2%	1.4%
	50 歳代	199	86.4%	3.5%	10.1%	0.0%	85.4%	4.0%	10.6%	0.0%
	60 歳代	146	78.8%	3.4%	17.1%	0.7%	79.5%	4.1%	15.8%	0.7%
	70 歳以上	249	71.5%	6.0%	18.9%	3.6%	70.7%	6.4%	19.7%	3.2%

問 14　こどもの人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『①こどもの人権に関する相談体制を充実させる』で 87.3%と最も高く、次いで『⑧ヤングケアラーを早期に発見して支援を充実させる』で 84.5%となっています。

「思わない」の割合は『③保護者の家庭での教育力を向上させる』で 12.0%と最も高く、次いで『⑥インターネットや携帯電話のこどもの利用を制限する』で 11.6%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

『⑥インターネットや携帯電話のこどもの利用を制限する』での「思わない」の割合は、男性が 18.2%に対し、女性は 5.3%と、男性が女性を 12.9 ポイント上回っています。

【年齢別】

『⑤家庭・学校・地域が連携して健全育成に向けた活動に取り組む』での「思う」の割合が、18～29 歳が 89.1%で最も高く、70 歳以上が 77.9%と最も低くなっており、11.2 ポイントの差があります。

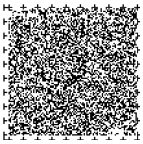
また、『⑥インターネットや携帯電話のこどもの利用を制限する』での「思わない」の割合は、18～29 歳が 22.8%で最も高く、70 歳以上が 8.0%と最も低くなっており、14.8 ポイントの差があります。

			①こどもの人権に関する相談体制を充実させる				②こどもの個性・自主性を尊重するような社会をつくる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	87.3%	2.3%	8.8%	1.6%	81.9%	3.2%	13.0%	1.9%
R3 年度調査		975	89.3%	1.2%	7.7%	1.7%	86.9%	1.5%	9.5%	2.1%
性別	女性	511	88.3%	1.4%	8.8%	1.6%	84.5%	1.8%	11.7%	2.0%
	男性	435	86.7%	3.0%	8.7%	1.6%	79.3%	4.8%	14.0%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	91.1%	5.0%	4.0%	0.0%	85.1%	5.0%	9.9%	0.0%
	30 歳代	122	86.1%	2.5%	9.8%	1.6%	85.2%	3.3%	9.0%	2.5%
	40 歳代	139	87.8%	2.2%	8.6%	1.4%	84.9%	2.2%	9.4%	3.6%
	50 歳代	199	86.4%	2.0%	10.6%	1.0%	77.4%	5.0%	17.6%	0.0%
	60 歳代	146	91.8%	0.7%	6.8%	0.7%	82.9%	2.1%	15.1%	0.0%
	70 歳以上	249	84.3%	2.0%	10.0%	3.6%	79.9%	2.0%	13.7%	4.4%

			③保護者の家庭での教育力を向上させる				④教員など指導者の資質を高める			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	64.8%	12.0%	21.5%	1.7%	80.9%	5.3%	11.8%	2.0%
R3 年度調査		975	66.8%	9.7%	21.3%	2.2%	86.6%	3.1%	8.5%	1.8%
性別	女性	511	61.8%	11.7%	24.7%	1.8%	82.2%	2.9%	13.1%	1.8%
	男性	435	69.2%	12.4%	16.8%	1.6%	80.0%	8.0%	9.9%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	72.3%	9.9%	17.8%	0.0%	85.1%	5.0%	6.9%	3.0%
	30 歳代	122	76.2%	7.4%	14.8%	1.6%	82.8%	2.5%	12.3%	2.5%
	40 歳代	139	68.3%	10.8%	17.3%	3.6%	79.9%	5.8%	12.2%	2.2%
	50 歳代	199	60.8%	13.1%	26.1%	0.0%	78.4%	5.5%	15.6%	0.5%
	60 歳代	146	65.1%	11.6%	23.3%	0.0%	84.9%	6.8%	8.2%	0.0%
	70 歳以上	249	58.2%	14.9%	22.9%	4.0%	79.1%	5.2%	12.0%	3.6%

			⑤家庭・学校・地域が連携して健全育成に向けた活動に取り組む				⑥インターネットや携帯電話のこどもの利用を制限する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	82.8%	3.5%	12.0%	1.7%	67.2%	11.6%	19.5%	1.6%
R3 年度調査		975	85.7%	2.4%	9.7%	2.2%	58.9%	15.1%	24.0%	2.1%
性別	女性	511	84.3%	1.8%	12.1%	1.8%	72.8%	5.3%	20.5%	1.4%
	男性	435	80.9%	5.5%	12.0%	1.6%	62.3%	18.2%	17.7%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	89.1%	4.0%	5.9%	1.0%	64.4%	22.8%	12.9%	0.0%
	30 歳代	122	86.1%	5.7%	5.7%	2.5%	75.4%	9.0%	14.8%	0.8%
	40 歳代	139	86.3%	3.6%	7.9%	2.2%	65.5%	13.7%	18.7%	2.2%
	50 歳代	199	81.9%	2.0%	15.6%	0.5%	67.8%	11.1%	21.1%	0.0%
	60 歳代	146	80.8%	2.1%	17.1%	0.0%	71.2%	8.2%	20.5%	0.0%
	70 歳以上	249	77.9%	4.0%	14.5%	3.6%	64.7%	8.0%	22.5%	4.8%

			⑦こども食堂や学習支援を充実させる				⑧ヤングケアラーを早期に発見して支援を充実させる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	74.4%	8.0%	15.7%	1.9%	84.5%	2.9%	11.2%	1.4%
R3 年度調査		975	80.2%	4.1%	13.7%	1.9%	－	－	－	－
性別	女性	511	76.7%	5.5%	16.2%	1.6%	88.1%	1.2%	9.6%	1.2%
	男性	435	72.0%	11.3%	14.7%	2.1%	82.1%	4.1%	12.2%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	79.2%	8.9%	11.9%	0.0%	86.1%	3.0%	10.9%	0.0%
	30 歳代	122	75.4%	9.8%	12.3%	2.5%	87.7%	3.3%	8.2%	0.8%
	40 歳代	139	69.8%	8.6%	19.4%	2.2%	84.9%	2.9%	9.4%	2.9%
	50 歳代	199	70.4%	9.5%	19.6%	0.5%	88.4%	2.0%	9.5%	0.0%
	60 歳代	146	78.8%	6.8%	14.4%	0.0%	87.7%	2.7%	9.6%	0.0%
	70 歳以上	249	75.1%	6.0%	14.5%	4.4%	78.7%	2.4%	15.3%	3.6%

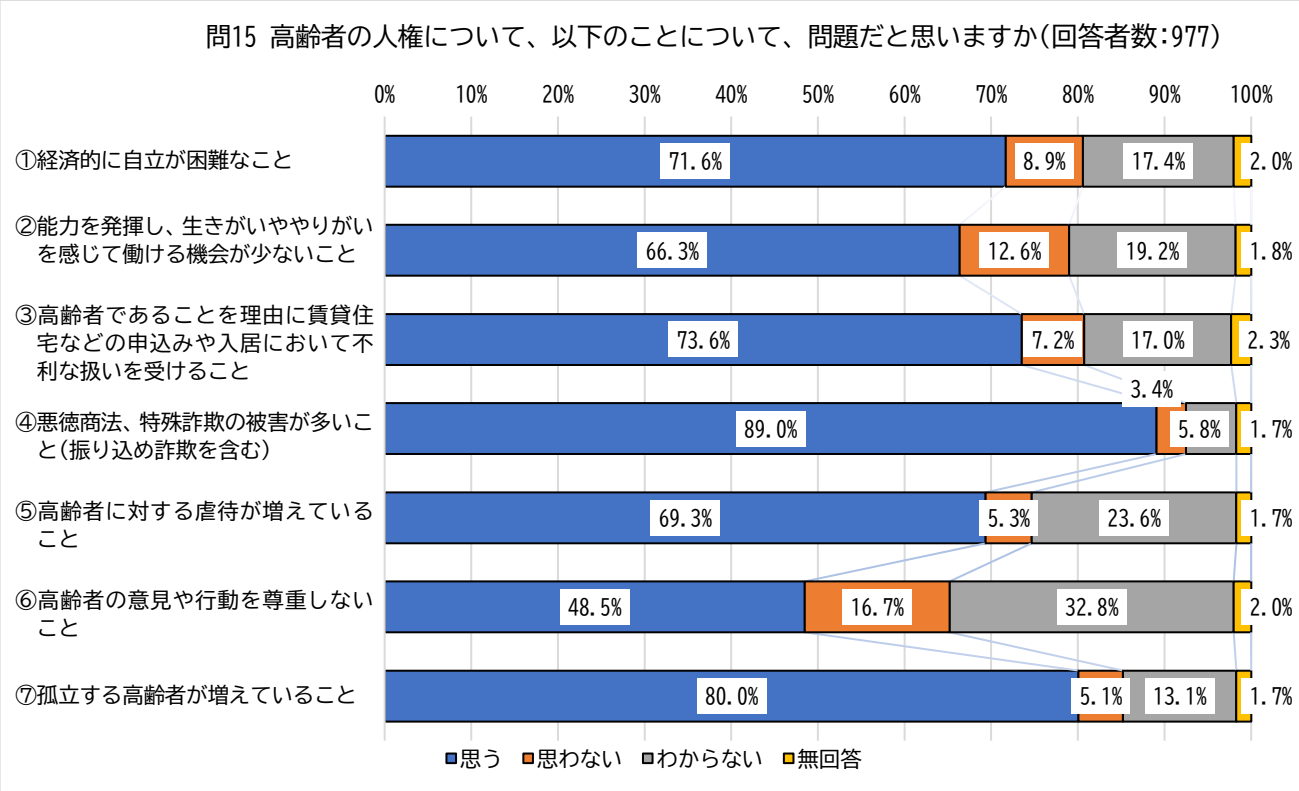


（3）　高齢者の人権について

問 15　高齢者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『③悪徳商法の被害が多いこと（振り込め詐欺を含む）』で 89.0%と最も高く、次いで『⑦孤立する高齢者が増えていること』で 80.0%となっています。

「思わない」の割合は、『⑥高齢者の意見や行動を尊重しないこと』で 16.7%と最も高くなっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

大きな差異はみられません。

【年齢別】

『⑤高齢者に対する虐待が増えていること』での「思う」の割合が、30 歳代が 82.0%で最も高く、70 歳以上が 54.6%と最も低くなっており、27.4 ポイントの差があります。

また、『③高齢者であることを理由に賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること』での「思う」の割合は、60 歳代が 80.8%で最も高く、18～29 歳が 60.4%と最も低くなっており、20.4 ポイントの差があります。

			①経済的に自立が困難なこと				②能力を発揮し、生きがいややりがいを感じて働ける機会が少ないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	71.6%	8.9%	17.4%	2.0%	66.3%	12.6%	19.2%	1.8%
R3 年度調査		975	76.8%	6.6%	14.9%	1.7%	－	－	－	－
性別	女性	511	74.6%	6.8%	16.8%	1.8%	69.1%	9.8%	19.6%	1.6%
	男性	435	68.7%	11.0%	18.2%	2.1%	63.7%	15.9%	18.6%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	70.3%	10.9%	18.8%	0.0%	67.3%	11.9%	20.8%	0.0%
	30 歳代	122	68.9%	12.3%	18.0%	0.8%	72.1%	9.8%	17.2%	0.8%
	40 歳代	139	75.5%	5.8%	16.5%	2.2%	68.3%	11.5%	18.7%	1.4%
	50 歳代	199	73.4%	9.5%	17.1%	0.0%	71.4%	10.6%	18.1%	0.0%
	60 歳代	146	75.3%	8.2%	15.1%	1.4%	68.5%	11.6%	19.2%	0.7%
	70 歳以上	249	68.7%	7.6%	18.5%	5.2%	57.4%	16.9%	20.5%	5.2%

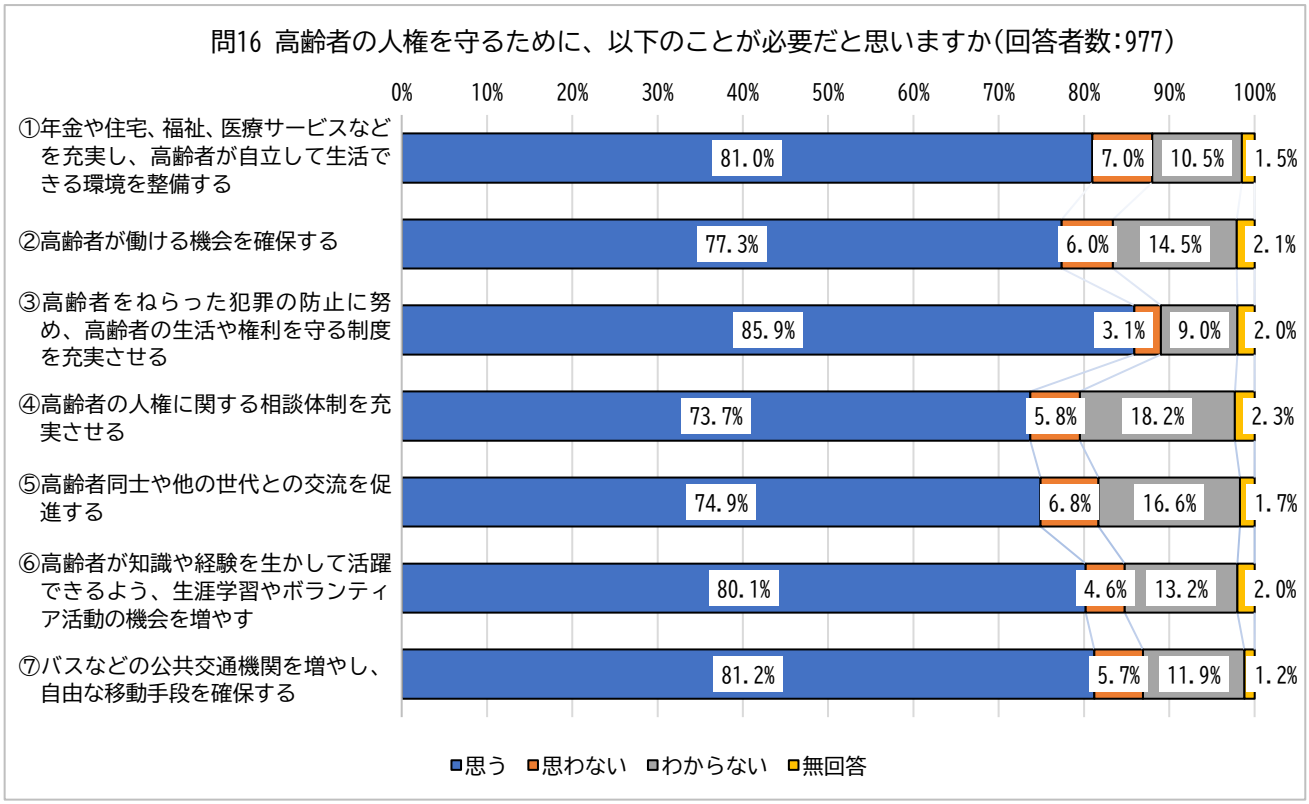
			③高齢者であることを理由に賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること				④悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと（振り込め詐欺を含む）			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	73.6%	7.2%	17.0%	2.3%	89.0%	3.4%	5.8%	1.7%
R3 年度調査		975	－	－	－	－	88.3%	3.8%	6.4%	1.5%
性別	女性	511	77.5%	4.9%	15.9%	1.8%	92.4%	1.6%	4.9%	1.2%
	男性	435	69.7%	9.4%	18.4%	2.5%	86.0%	5.7%	6.2%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	60.4%	13.9%	24.8%	1.0%	89.1%	5.0%	5.0%	1.0%
	30 歳代	122	70.5%	13.1%	14.8%	1.6%	89.3%	4.1%	4.9%	1.6%
	40 歳代	139	74.8%	5.8%	16.5%	2.9%	92.1%	2.9%	4.3%	0.7%
	50 歳代	199	75.4%	6.0%	18.1%	0.5%	92.0%	2.5%	4.5%	1.0%
	60 歳代	146	80.8%	2.7%	15.8%	0.7%	87.7%	3.4%	8.2%	0.7%
	70 歳以上	249	74.7%	5.2%	15.3%	4.8%	86.3%	3.6%	6.4%	3.6%

			⑤高齢者に対する虐待が増えていること				⑥高齢者の意見や行動を尊重しないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	69.3%	5.3%	23.6%	1.7%	48.5%	16.7%	32.8%	2.0%
R3 年度調査		975	73.1%	5.4%	19.9%	1.5%	56.1%	11.1%	31.0%	1.8%
性別	女性	511	73.0%	3.7%	21.9%	1.4%	51.3%	13.3%	33.7%	1.8%
	男性	435	66.7%	6.4%	25.1%	1.8%	45.5%	20.5%	32.0%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	81.2%	5.0%	13.9%	0.0%	53.5%	17.8%	26.7%	2.0%
	30 歳代	122	82.0%	4.9%	11.5%	1.6%	58.2%	20.5%	20.5%	0.8%
	40 歳代	139	74.1%	2.2%	22.3%	1.4%	50.4%	12.9%	35.3%	1.4%
	50 歳代	199	71.4%	3.5%	25.1%	0.0%	41.7%	17.6%	39.7%	1.0%
	60 歳代	146	70.5%	5.5%	23.3%	0.7%	49.3%	15.8%	34.2%	0.7%
	70 歳以上	249	54.6%	7.6%	33.3%	4.4%	45.8%	15.7%	34.1%	4.4%

			⑦孤立する高齢者が増えていること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	80.0%	5.1%	13.1%	1.7%
R3 年度調査		975	82.6%	3.5%	12.5%	1.4%
性別	女性	511	82.4%	4.5%	11.5%	1.6%
	男性	435	77.9%	6.2%	14.5%	1.4%
年齢別	18～29 歳	101	82.2%	6.9%	9.9%	1.0%
	30 歳代	122	82.8%	3.3%	12.3%	1.6%
	40 歳代	139	78.4%	6.5%	12.9%	2.2%
	50 歳代	199	78.4%	6.0%	15.6%	0.0%
	60 歳代	146	80.1%	6.2%	13.0%	0.7%
	70 歳以上	249	79.9%	3.6%	13.3%	3.2%

問 16　高齢者の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『③高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる』で 85.9%と最も高く、次いで『⑦バスなどの公共交通機関を増やし、自由な移動手段を確保する』で81.2%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

性別でみると、『⑤高齢者同士や他の世代との交流を促進する』での「思う」の割合は、女性が80.4%に対し、男性は69.2%と、女性が男性を11.2ポイント上回っています。

【年齢別】

『⑤高齢者同士や他の世代との交流を促進する』での「思う」の割合は、30 歳代が 83.6%で最も高く、70 歳以上が69.1%と最も低くなっており、14.5 ポイントの差があります。

また、『①年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する』での「思う」の割合は、70 歳以上が 88.0%で最も高く、30 歳代が 73.8%と最も低くなっており、14.2 ポイントの差があります。

			①年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する				②高齢者が働ける機会を確保する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	81.0%	7.0%	10.5%	1.5%	77.3%	6.0%	14.5%	2.1%
R3 年度調査		975	85.9%	3.8%	8.5%	1.7%	86.9%	3.2%	8.3%	1.6%
性別	女性	511	83.8%	4.5%	10.6%	1.2%	79.8%	4.3%	13.9%	2.0%
	男性	435	78.2%	9.7%	10.6%	1.6%	74.5%	8.3%	15.2%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	74.3%	10.9%	12.9%	2.0%	71.3%	9.9%	18.8%	0.0%
	30 歳代	122	73.8%	12.3%	13.1%	0.8%	77.9%	6.6%	13.9%	1.6%
	40 歳代	139	77.0%	7.9%	14.4%	0.7%	83.5%	4.3%	10.8%	1.4%
	50 歳代	199	79.4%	8.0%	12.6%	0.0%	78.4%	7.0%	14.6%	0.0%
	60 歳代	146	85.6%	6.8%	6.8%	0.7%	82.9%	6.2%	10.3%	0.7%
	70 歳以上	249	88.0%	1.6%	6.8%	3.6%	73.5%	5.2%	16.5%	4.8%

			③高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる				④高齢者の人権に関する相談体制を充実させる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	85.9%	3.1%	9.0%	2.0%	73.7%	5.8%	18.2%	2.3%
R3 年度調査		975	88.2%	2.5%	7.8%	1.5%	79.8%	4.1%	14.3%	1.8%
性別	女性	511	88.6%	1.6%	8.0%	1.8%	76.5%	4.3%	17.2%	2.0%
	男性	435	83.4%	4.6%	10.1%	1.8%	70.1%	7.8%	19.8%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	85.1%	6.9%	5.9%	2.0%	72.3%	7.9%	17.8%	2.0%
	30 歳代	122	84.4%	2.5%	10.7%	2.5%	69.7%	9.8%	17.2%	3.3%
	40 歳代	139	88.5%	1.4%	8.6%	1.4%	75.5%	5.8%	17.3%	1.4%
	50 歳代	199	85.9%	3.5%	10.6%	0.0%	76.4%	4.0%	19.6%	0.0%
	60 歳代	146	86.3%	4.1%	8.9%	0.7%	79.5%	4.1%	15.8%	0.7%
	70 歳以上	249	85.5%	1.2%	8.8%	4.4%	69.1%	5.6%	20.5%	4.8%

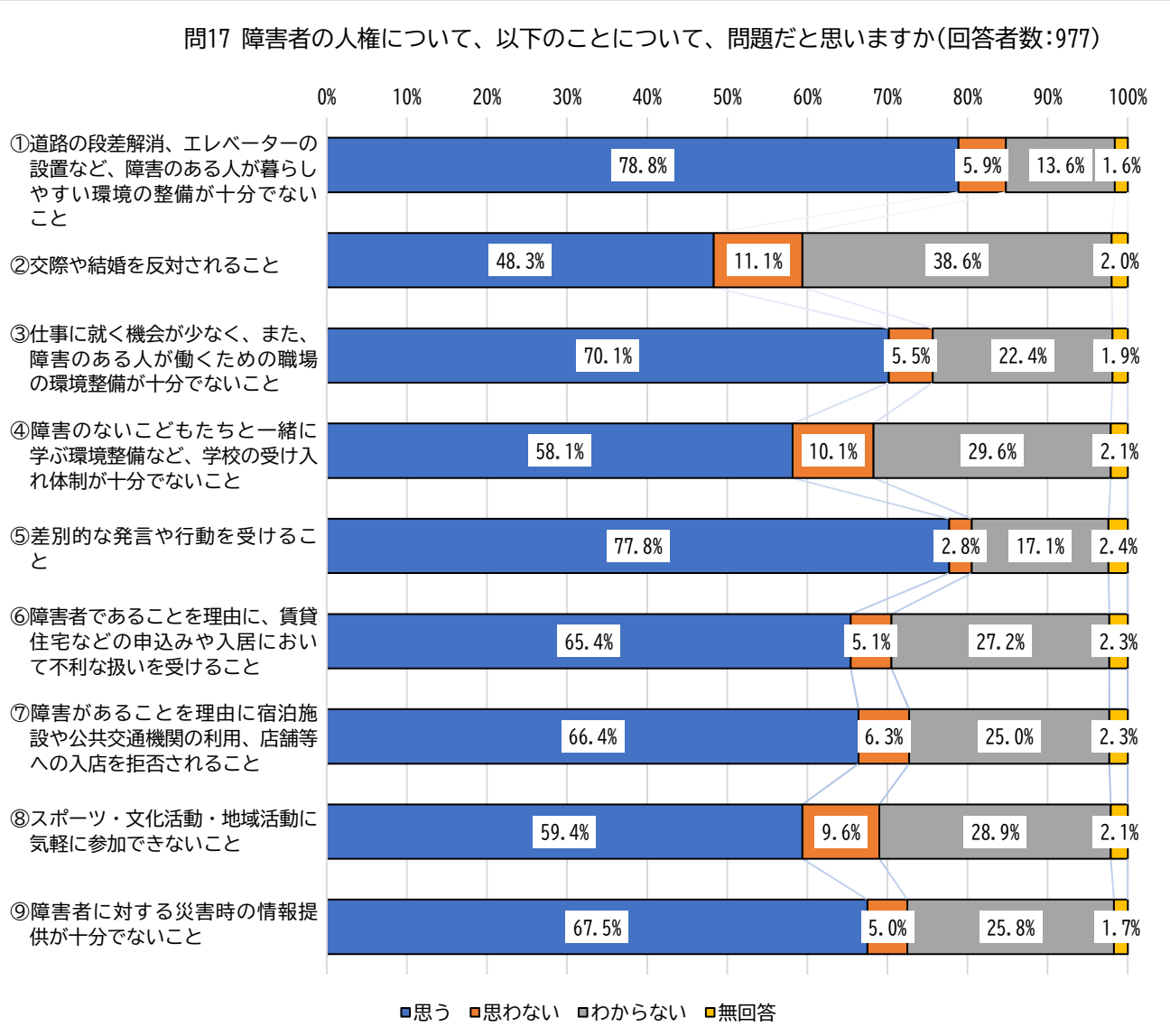
			⑤高齢者同士や他の世代との交流を促進する				⑥高齢者が知識や経験を生かして活躍できるよう、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	74.9%	6.8%	16.6%	1.7%	80.1%	4.6%	13.2%	2.0%
R3 年度調査		975	80.6%	4.9%	13.0%	1.4%	85.6%	3.1%	9.8%	1.4%
性別	女性	511	80.4%	4.3%	13.9%	1.4%	84.3%	2.3%	11.7%	1.6%
	男性	435	69.2%	9.4%	19.5%	1.8%	75.9%	6.9%	14.9%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	75.2%	9.9%	13.9%	1.0%	79.2%	5.9%	12.9%	2.0%
	30 歳代	122	83.6%	4.1%	11.5%	0.8%	86.1%	3.3%	9.8%	0.8%
	40 歳代	139	77.0%	4.3%	17.3%	1.4%	82.0%	2.2%	13.7%	2.2%
	50 歳代	199	75.4%	7.0%	17.6%	0.0%	83.9%	4.0%	12.1%	0.0%
	60 歳代	146	75.3%	7.5%	15.8%	1.4%	78.1%	5.5%	15.1%	1.4%
	70 歳以上	249	69.1%	7.2%	19.7%	4.0%	75.1%	5.6%	14.9%	4.4%

			⑦バスなどの公共交通機関を増やし、自由な移動手段を確保する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	81.2%	5.7%	11.9%	1.2%
性別	女性	511	85.5%	3.1%	10.8%	0.6%
	男性	435	76.3%	8.3%	13.8%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	80.2%	5.9%	13.9%	0.0%
	30 歳代	122	83.6%	5.7%	9.8%	0.8%
	40 歳代	139	74.8%	5.0%	18.7%	1.4%
	50 歳代	199	79.9%	8.0%	12.1%	0.0%
	60 歳代	146	82.2%	6.8%	10.3%	0.7%
	70 歳以上	249	83.9%	3.2%	10.0%	2.8%

（4）　障害者の人権について

問 17　障害者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『①道路の段差解消、エレベーターの設置など、障害のある人が暮らしやすい環境の整備が十分でないこと』で 78.8%と最も高く、次いで『⑤差別的な発言や行動を受けること』で 77.8%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

性別でみると、『⑨障害者に対する災害時の情報提供が十分でないこと』での「思う」の割合は、女性が 73.2%に対し、男性は 62.5%と、女性が男性を 10.7 ポイント上回っています。

【年齢別】

『⑤差別的な発言や行動を受けること』での「思う」の割合は、30 歳代が 88.5%で最も高く、70 歳以上が 62.2%と最も低くなっており、26.3 ポイントの差があります。

また、『⑨障害者に対する災害時の情報提供が十分でないこと』での「思う」の割合は、30 歳代が 77.0%で最も高く、70 歳以上が 57.8%と最も低くなっており、19.2 ポイントの差があります。

			①道路の段差解消、エレベーターの設置など、障害のある人が暮らしやすい環境の整備が十分でないこと				②交際や結婚を反対されること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	78.8%	5.9%	13.6%	1.6%	48.3%	11.1%	38.6%	2.0%
性別	女性	511	82.4%	3.9%	12.7%	1.0%	48.3%	8.0%	41.9%	1.8%
	男性	435	76.3%	7.6%	14.3%	1.8%	48.7%	14.3%	35.2%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	77.2%	7.9%	13.9%	1.0%	56.4%	15.8%	26.7%	1.0%
	30 歳代	122	79.5%	6.6%	10.7%	3.3%	47.5%	13.9%	37.7%	0.8%
	40 歳代	139	82.7%	4.3%	12.9%	0.0%	56.8%	10.8%	30.2%	2.2%
	50 歳代	199	77.4%	7.5%	15.1%	0.0%	46.7%	10.6%	42.7%	0.0%
	60 歳代	146	84.9%	1.4%	13.0%	0.7%	51.4%	7.5%	40.4%	0.7%
	70 歳以上	249	76.3%	6.0%	14.5%	3.2%	40.6%	9.6%	45.0%	4.8%

			③仕事に就く機会が少なく、また、障害のある人が働くための職場の環境整備が十分でないこと				④障害のないこどもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	70.1%	5.5%	22.4%	1.9%	58.1%	10.1%	29.6%	2.1%
性別	女性	511	73.6%	3.5%	21.3%	1.6%	59.1%	8.2%	30.7%	2.0%
	男性	435	67.4%	7.6%	23.4%	1.6%	57.7%	12.4%	28.0%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	75.2%	6.9%	16.8%	1.0%	67.3%	13.9%	17.8%	1.0%
	30 歳代	122	74.6%	6.6%	18.0%	0.8%	63.9%	9.0%	24.6%	2.5%
	40 歳代	139	78.4%	5.0%	15.1%	1.4%	59.7%	11.5%	27.3%	1.4%
	50 歳代	199	65.8%	7.5%	26.1%	0.5%	55.3%	12.1%	32.7%	0.0%
	60 歳代	146	73.3%	2.7%	23.3%	0.7%	65.8%	8.2%	25.3%	0.7%
	70 歳以上	249	64.3%	4.4%	27.3%	4.0%	49.0%	8.0%	38.2%	4.8%

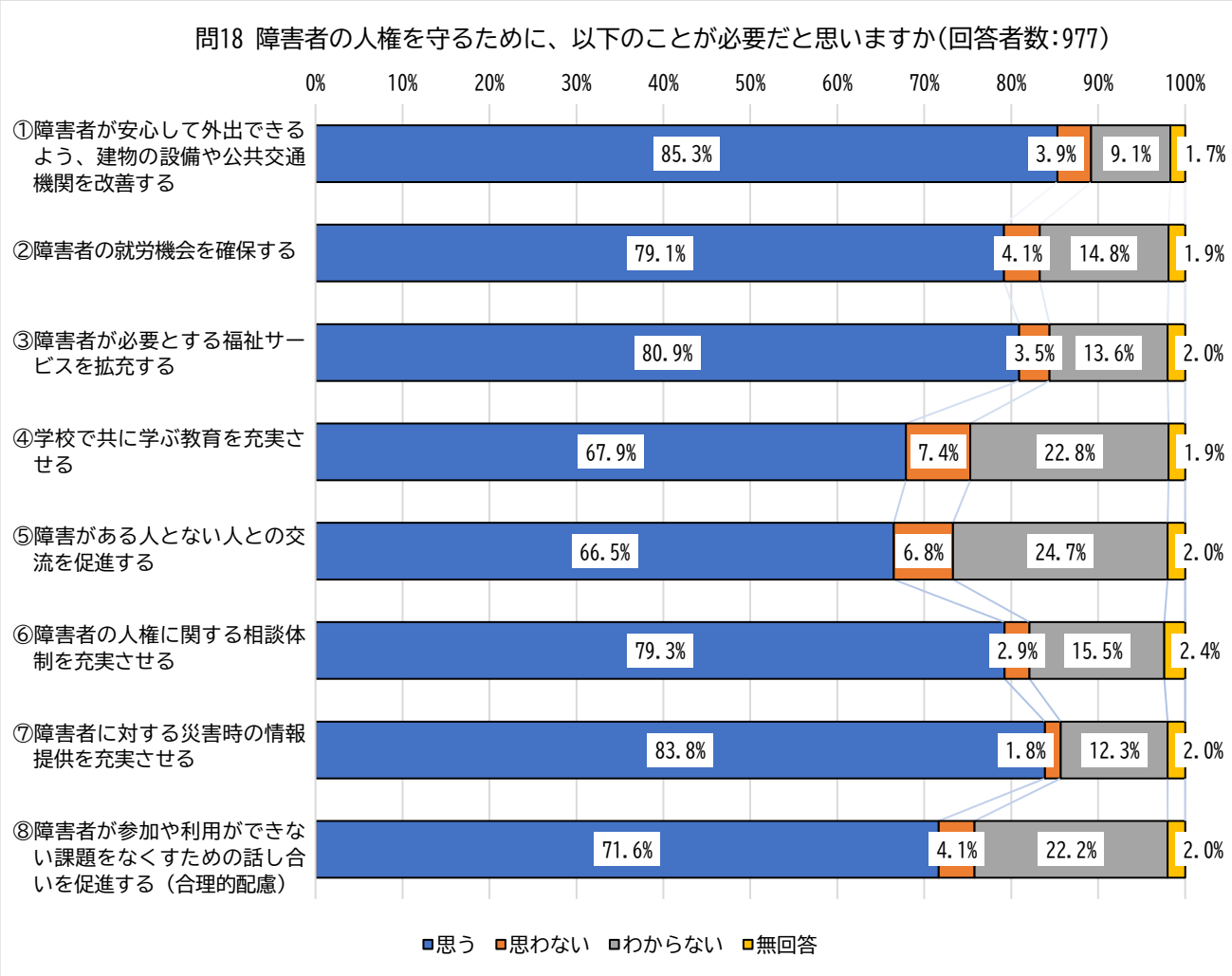
			⑤差別的な発言や行動を受けること				⑥障害者であることを理由に、賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	77.8%	2.8%	17.1%	2.4%	65.4%	5.1%	27.2%	2.3%
R3 年度調査		975	81.0%	2.6%	14.3%	2.2%	－	－	－	－
性別	女性	511	80.4%	1.8%	16.2%	1.6%	65.9%	3.5%	28.8%	1.8%
	男性	435	76.3%	3.7%	17.5%	2.5%	65.7%	6.4%	25.5%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	84.2%	3.0%	10.9%	2.0%	60.4%	13.9%	23.8%	2.0%
	30 歳代	122	88.5%	0.8%	9.0%	1.6%	68.9%	7.4%	23.0%	0.8%
	40 歳代	139	85.6%	2.9%	9.4%	2.2%	74.8%	3.6%	20.1%	1.4%
	50 歳代	199	81.9%	1.5%	16.6%	0.0%	60.8%	5.5%	33.7%	0.0%
	60 歳代	146	80.8%	2.1%	16.4%	0.7%	71.9%	1.4%	26.0%	0.7%
	70 歳以上	249	62.2%	4.4%	28.5%	4.8%	61.4%	2.4%	30.5%	5.6%

			⑦障害があることを理由に宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること				⑧スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	66.4%	6.3%	25.0%	2.3%	59.4%	9.6%	28.9%	2.1%
性別	女性	511	68.9%	5.3%	24.1%	1.8%	64.4%	6.7%	27.4%	1.6%
	男性	435	65.3%	7.1%	25.3%	2.3%	54.7%	12.6%	30.3%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	67.3%	8.9%	20.8%	3.0%	63.4%	13.9%	21.8%	1.0%
	30 歳代	122	74.6%	4.9%	19.7%	0.8%	57.0%	16.3%	25.6%	1.2%
	40 歳代	139	68.3%	6.5%	23.0%	2.2%	63.9%	12.3%	22.1%	1.6%
	50 歳代	199	67.3%	7.0%	25.6%	0.0%	61.2%	7.9%	29.5%	1.4%
	60 歳代	146	74.7%	3.4%	21.2%	0.7%	60.3%	8.0%	31.2%	0.5%
	70 歳以上	249	57.4%	6.8%	30.9%	4.8%	63.7%	6.8%	28.8%	0.7%

			⑨障害者に対する災害時の情報提供が十分でないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	67.5%	5.0%	25.8%	1.7%
R3 年度調査		975	66.9%	2.3%	28.9%	1.9%
性別	女性	511	73.2%	2.5%	23.1%	1.2%
	男性	435	62.5%	7.4%	28.3%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	75.2%	4.0%	20.8%	0.0%
	30 歳代	122	77.0%	4.1%	18.0%	0.8%
	40 歳代	139	73.4%	3.6%	21.6%	1.4%
	50 歳代	199	66.8%	5.0%	28.1%	0.0%
	60 歳代	146	69.2%	5.5%	24.7%	0.7%
	70 歳以上	249	57.8%	5.6%	32.1%	4.4%

問 18　障害者の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『①障害者が安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する』で85.3%と最も高く、次いで『⑦障害者に対する災害時の情報提供を充実させる』で83.8%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

大きな差異はみられません。

【年齢別】

『①障害者が安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する』での「思う」の割合は、60歳代が91.1%で最も高く、70歳以上が81.9%と最も低くなっており、9.2ポイントの差があります。

			①障害者が安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する				②障害者の就労機会を確保する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	85.3%	3.9%	9.1%	1.7%	79.1%	4.1%	14.8%	1.9%
R3 年度調査		975	88.8%	2.3%	7.0%	1.9%	84.8%	1.5%	11.9%	1.7%
性別	女性	511	87.3%	2.2%	9.4%	1.2%	82.6%	2.0%	14.1%	1.4%
	男性	435	83.4%	5.5%	9.0%	2.1%	75.9%	6.2%	15.6%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	85.1%	4.0%	8.9%	2.0%	77.2%	5.0%	15.8%	2.0%
	30 歳代	122	86.1%	3.3%	9.0%	1.6%	80.3%	4.9%	13.9%	0.8%
	40 歳代	139	84.9%	4.3%	9.4%	1.4%	81.3%	4.3%	13.7%	0.7%
	50 歳代	199	84.9%	7.5%	7.0%	0.5%	78.4%	5.0%	16.1%	0.5%
	60 歳代	146	91.1%	2.1%	6.2%	0.7%	84.2%	2.1%	13.0%	0.7%
	70 歳以上	249	81.9%	1.6%	13.3%	3.2%	76.3%	2.8%	16.1%	4.8%

			③障害者が必要とする福祉サービスを拡充する				④学校で共に学ぶ教育を充実させる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	80.9%	3.5%	13.6%	2.0%	67.9%	7.4%	22.8%	1.9%
R3 年度調査		975	84.6%	1.8%	11.8%	1.7%	77.2%	2.7%	18.6%	1.5%
性別	女性	511	83.8%	2.0%	12.7%	1.6%	68.7%	5.3%	24.7%	1.4%
	男性	435	77.9%	5.1%	14.7%	2.3%	66.9%	9.9%	20.9%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	80.2%	5.0%	14.9%	0.0%	63.4%	12.9%	22.8%	1.0%
	30 歳代	122	83.6%	3.3%	11.5%	1.6%	68.9%	9.8%	20.5%	0.8%
	40 歳代	139	80.6%	3.6%	13.7%	2.2%	68.3%	7.9%	22.3%	1.4%
	50 歳代	199	78.9%	4.5%	16.1%	0.5%	65.8%	8.5%	25.1%	0.5%
	60 歳代	146	85.6%	4.1%	9.6%	0.7%	72.6%	4.8%	21.2%	1.4%
	70 歳以上	249	78.7%	1.6%	14.9%	4.8%	67.5%	4.4%	23.7%	4.4%

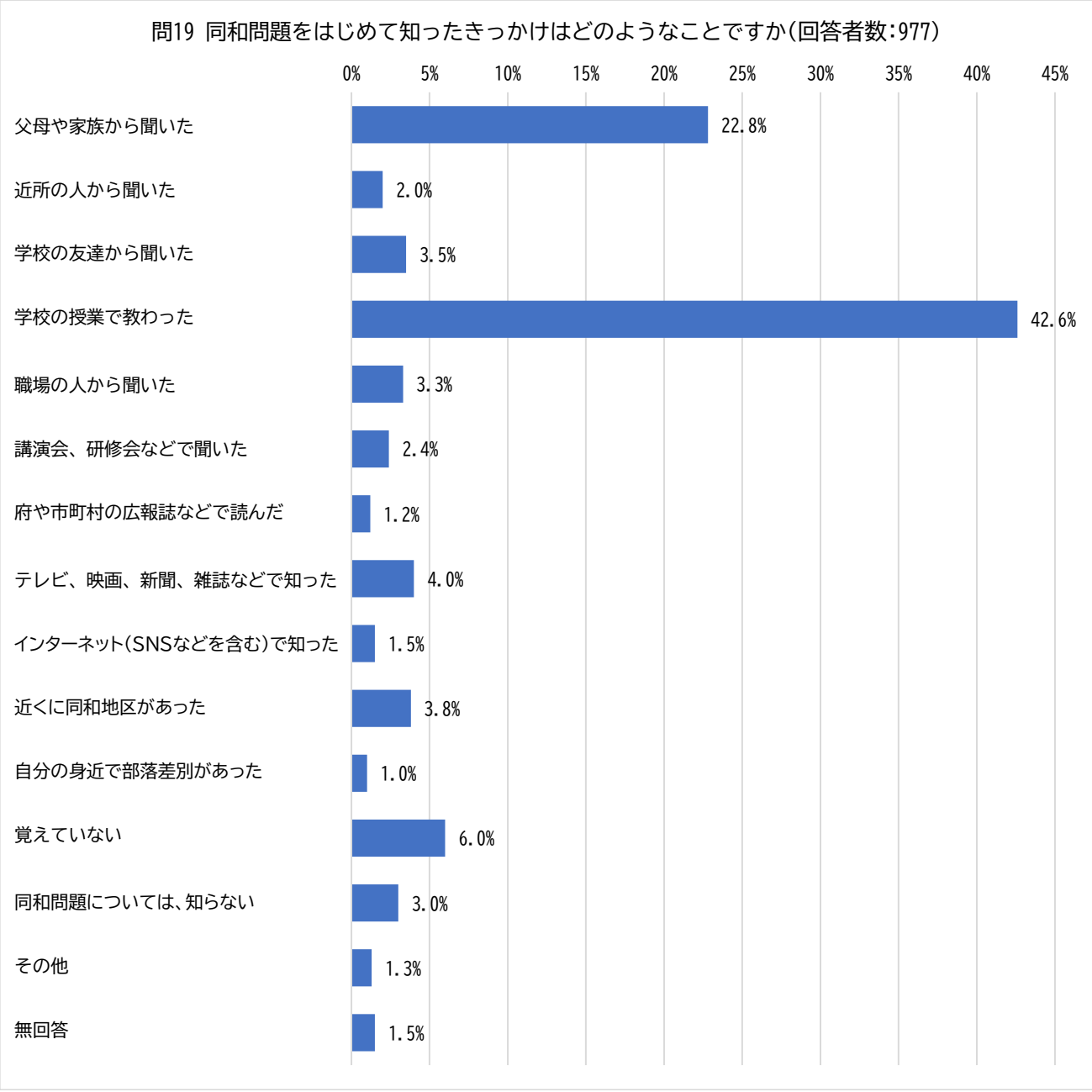
			⑤障害がある人とない人との交流を促進する				⑥障害者の人権に関する相談体制を充実させる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	66.5%	6.8%	24.7%	2.0%	79.3%	2.9%	15.5%	2.4%
R3 年度調査		975	72.6%	4.0%	21.7%	1.6%	81.8%	1.6%	14.6%	1.9%
性別	女性	511	70.1%	4.5%	23.7%	1.8%	82.0%	2.0%	14.5%	1.6%
	男性	435	62.8%	9.7%	25.5%	2.1%	76.6%	3.7%	16.8%	3.0%
年齢別	18～29 歳	101	63.4%	10.9%	25.7%	0.0%	81.2%	3.0%	14.9%	1.0%
	30 歳代	122	63.1%	8.2%	26.2%	2.5%	80.3%	4.9%	13.1%	1.6%
	40 歳代	139	68.3%	7.2%	23.0%	1.4%	81.3%	2.2%	13.7%	2.9%
	50 歳代	199	63.3%	9.0%	26.6%	1.0%	78.4%	3.5%	17.6%	0.5%
	60 歳代	146	69.2%	5.5%	24.7%	0.7%	84.2%	1.4%	13.7%	0.7%
	70 歳以上	249	69.5%	3.2%	22.9%	4.4%	75.5%	2.0%	17.3%	5.2%

			⑦障害者に対する災害時の情報提供を充実させる				⑧障害者が参加や利用ができない課題をなくすための話し合いを促進する（合理的配慮）			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	83.8%	1.8%	12.3%	2.0%	71.6%	4.1%	22.2%	2.0%
R3 年度調査		975	85.3%	1.2%	11.6%	1.8%	75.5%	2.5%	20.0%	2.1%
性別	女性	511	87.9%	0.4%	10.4%	1.4%	74.6%	2.2%	21.7%	1.6%
	男性	435	79.8%	3.2%	14.5%	2.5%	67.8%	6.4%	23.4%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	83.2%	2.0%	14.9%	0.0%	72.3%	5.9%	20.8%	1.0%
	30 歳代	122	84.4%	3.3%	10.7%	1.6%	73.0%	6.6%	18.9%	1.6%
	40 歳代	139	88.5%	0.0%	10.1%	1.4%	76.3%	5.0%	17.3%	1.4%
	50 歳代	199	83.9%	2.0%	13.6%	0.5%	68.8%	4.0%	26.6%	0.5%
	60 歳代	146	85.6%	2.1%	11.0%	1.4%	75.3%	3.4%	19.9%	1.4%
	70 歳以上	249	80.7%	1.2%	13.3%	4.8%	67.5%	2.0%	26.1%	4.4%

（5）　部落差別（同和問題）について

問 19　あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どのようなことがきっかけですか。（あてはまるもの1つに○）

「学校の授業で教わった」の割合が 42.6％と最も高く、次いで「父母や家族から聞いた」の割合が22.8％となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

大きな差異はみられません。

【年齢別】

60 歳以下は「学校の授業で教わった」の割合が高く、70 歳以上は「父母や家族から聞いた」の割合が高くなっています。

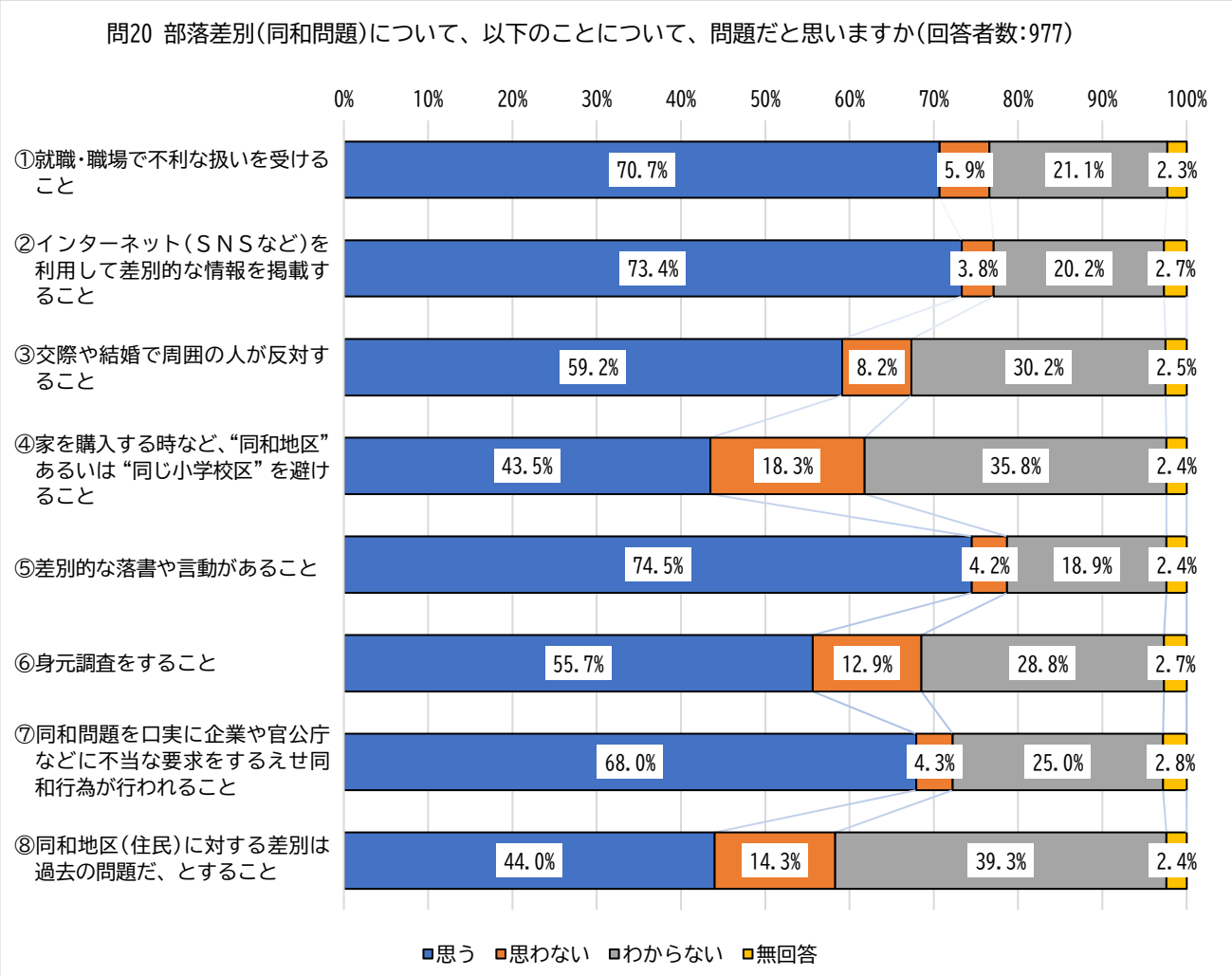
		回答者数	父母や家族から聞いた	近所の人から聞いた	学校の友達から聞いた	学校の授業で教わった	職場の人から聞いた	講演会、研修会などで聞いた	府や市町村の広報誌などで読んだ	テレビ、映画、新聞、雑誌などで知った
全体		977	22.8%	2.0%	3.5%	42.6%	3.3%	2.4%	1.2%	4.0%
R3 年度調査		975	19.1%	2.6%	2.5%	36.7%	2.8%	1.8%	0.8%	4.6%
性別	女性	511	24.3%	2.2%	3.3%	45.2%	2.3%	1.8%	0.8%	3.5%
	男性	435	20.7%	1.8%	3.7%	40.7%	4.4%	3.0%	1.1%	4.1%
年齢別	18～29 歳	101	18.8%	0.0%	3.0%	49.5%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%
	30 歳代	122	18.9%	0.8%	5.7%	38.5%	2.5%	3.3%	0.0%	3.3%
	40 歳代	139	18.0%	2.2%	0.7%	61.9%	1.4%	0.0%	0.0%	3.6%
	50 歳代	199	15.1%	0.5%	3.0%	64.8%	1.5%	0.5%	0.5%	2.0%
	60 歳代	146	24.7%	1.4%	5.5%	48.6%	4.8%	1.4%	0.0%	3.4%
	70 歳以上	249	33.3%	4.8%	3.2%	12.0%	6.8%	5.6%	3.2%	7.2%

		回答者数	インターネット（SNSなどを含む）で知った	近くに同和地区があった	自分の身近で部落差別があった	覚えていない	同和問題については、知らない	その他	無回答
全体		977	1.5%	3.8%	1.0%	6.0%	3.0%	1.3%	1.5%
R3 年度調査		975	0.9%	2.8%	0.6%	5.4%	3.2%	0.9%	15.3%
性別	女性	511	1.4%	3.3%	1.2%	5.3%	2.9%	1.2%	1.4%
	男性	435	1.8%	4.4%	0.9%	6.9%	3.0%	1.6%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	4.0%	2.0%	0.0%	10.9%	7.9%	1.0%	1.0%
	30 歳代	122	4.1%	1.6%	0.0%	10.7%	8.2%	0.8%	1.6%
	40 歳代	139	2.9%	2.2%	1.4%	3.6%	0.0%	1.4%	0.7%
	50 歳代	199	0.5%	4.5%	0.5%	5.0%	0.5%	0.5%	0.5%
	60 歳代	146	0.7%	2.7%	0.7%	4.1%	0.0%	0.7%	1.4%
	70 歳以上	249	0.0%	6.4%	2.4%	4.8%	4.0%	2.8%	3.2%

問 20　部落差別（同和問題）について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『⑤差別的な落書や言動があること』で 74.5％と最も高く、次いで『②インターネット（SNS など）を利用して差別的な情報を掲載すること』で 73.4％となっています。

一方、「思わない」の割合は、『④家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること』で 18.3％と最も高く、次いで『⑧同和地区（住民）に対する差別は過去の問題だ、とすること』で 14.3％となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

『⑧同和地区（住民）に対する差別は過去の問題だ、とすること』での「思わない」の割合は、男性が 19.5％に対し、女性は 9.8％と、男性が女性を 9.7 ポイント上回っています。

【年齢別】

『⑦同和問題を口実に企業や官公庁などに不当な要求をするえせ同和行為が行われること』での「思う」の割合は、40 歳代が 78.4%と最も高く、70 歳以上は 57.0%と最も低くなっており、21.4 ポイントの差があります。また、『⑤差別的な落書や言動があること』での「思う」の割合も、40 歳代が 83.5%と最も高く、70 歳以上は 62.2%と最も低くなっており、21.3 ポイントの差があります。

			①就職・職場で不利な扱いを受けること				②インターネット（ＳＮＳなど）を利用して差別的な情報を掲載すること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	70.7%	5.9%	21.1%	2.3%	73.4%	3.8%	20.2%	2.7%
R3 年度調査		975	76.0%	3.9%	17.4%	2.7%	76.9%	3.5%	16.8%	2.8%
性別	女性	511	72.4%	4.7%	20.7%	2.2%	77.5%	2.2%	18.4%	2.0%
	男性	435	70.1%	6.9%	21.1%	1.8%	69.9%	5.3%	21.6%	3.2%
年齢別	18～29 歳	101	73.3%	3.0%	21.8%	2.0%	78.2%	2.0%	18.8%	1.0%
	30 歳代	122	72.1%	2.5%	23.0%	2.5%	73.0%	2.5%	21.3%	3.3%
	40 歳代	139	81.3%	7.2%	10.8%	0.7%	81.3%	5.8%	11.5%	1.4%
	50 歳代	199	73.9%	6.0%	20.1%	0.0%	77.9%	4.0%	18.1%	0.0%
	60 歳代	146	69.9%	6.2%	22.6%	1.4%	76.0%	2.7%	19.9%	1.4%
	70 歳以上	249	62.2%	6.8%	25.7%	5.2%	63.9%	3.6%	26.1%	6.4%

			③交際や結婚で周囲の人が反対すること				④家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	59.2%	8.2%	30.2%	2.5%	43.5%	18.3%	35.8%	2.4%
R3 年度調査		975	62.6%	7.5%	27.7%	2.3%	46.8%	15.2%	35.8%	2.3%
性別	女性	511	58.9%	7.4%	31.5%	2.2%	43.1%	15.7%	39.3%	2.0%
	男性	435	60.0%	9.0%	28.5%	2.5%	43.7%	21.8%	31.7%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	64.4%	5.9%	29.7%	0.0%	47.5%	17.8%	33.7%	1.0%
	30 歳代	122	62.3%	4.9%	31.1%	1.6%	43.4%	18.0%	36.9%	1.6%
	40 歳代	139	65.5%	10.8%	21.6%	2.2%	48.2%	18.7%	31.7%	1.4%
	50 歳代	199	59.3%	10.1%	30.7%	0.0%	38.2%	24.6%	36.7%	0.5%
	60 歳代	146	58.2%	6.8%	33.6%	1.4%	39.0%	17.8%	41.8%	1.4%
	70 歳以上	249	52.6%	8.0%	32.9%	6.4%	45.0%	14.1%	34.9%	6.0%

			⑤差別的な落書や言動があること				⑥身元調査をすること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	74.5%	4.2%	18.9%	2.4%	55.7%	12.9%	28.8%	2.7%
R3 年度調査		975	78.5%	2.7%	16.6%	2.3%	57.7%	12.4%	27.4%	2.5%
性別	女性	511	76.5%	2.5%	18.8%	2.2%	55.6%	9.6%	32.1%	2.7%
	男性	435	73.6%	5.5%	18.4%	2.5%	56.3%	16.8%	24.4%	2.5%
年齢別	18～29 歳	101	79.2%	4.0%	16.8%	0.0%	52.5%	13.9%	30.7%	3.0%
	30 歳代	122	75.4%	1.6%	22.1%	0.8%	57.4%	10.7%	30.3%	1.6%
	40 歳代	139	83.5%	6.5%	8.6%	1.4%	54.0%	13.7%	30.9%	1.4%
	50 歳代	199	81.4%	3.5%	15.1%	0.0%	60.3%	13.1%	26.6%	0.0%
	60 歳代	146	76.7%	4.8%	17.1%	1.4%	57.5%	12.3%	28.8%	1.4%
	70 歳以上	249	62.2%	3.2%	27.3%	7.2%	52.6%	13.3%	27.3%	6.8%

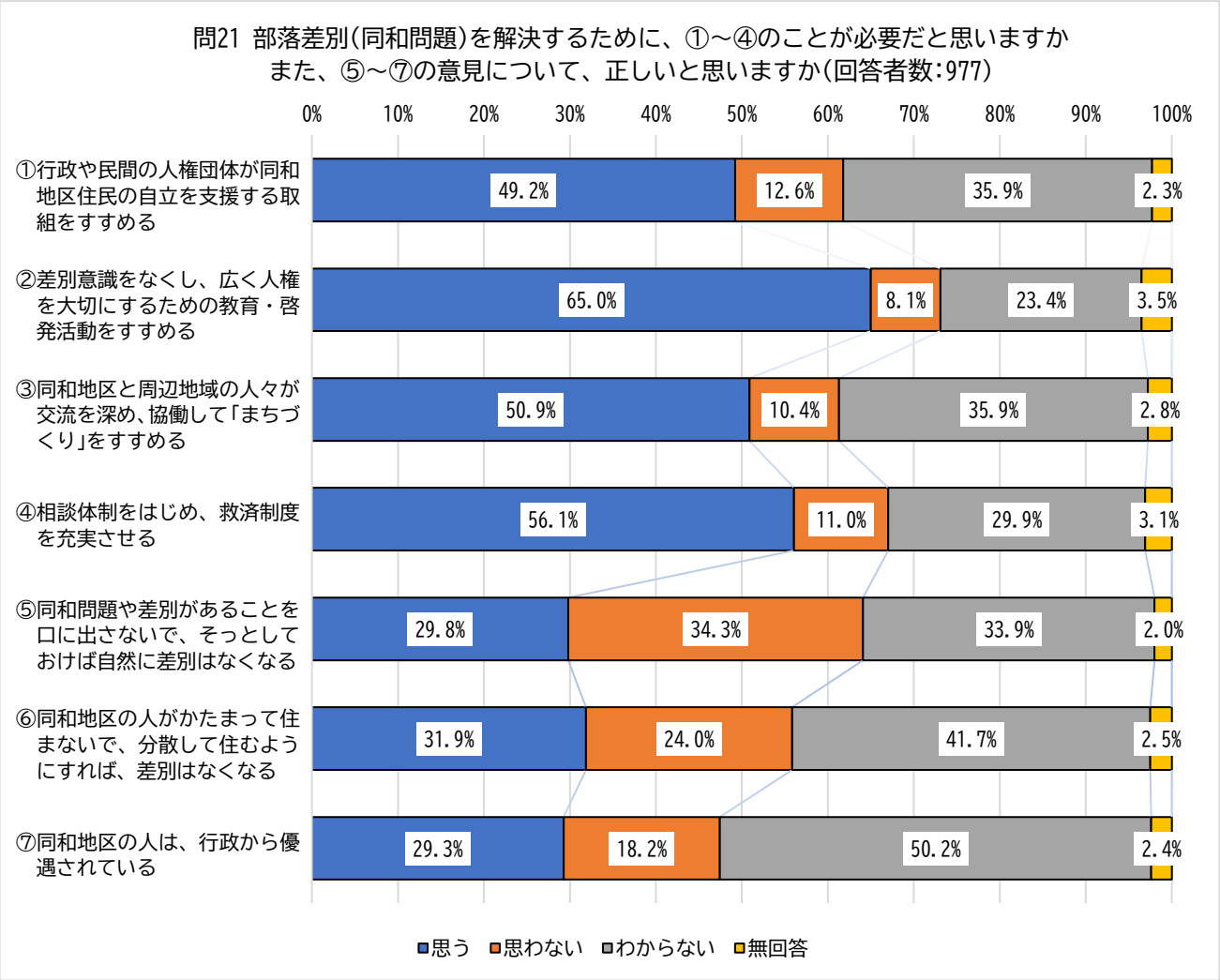
			⑦同和問題を口実に企業や官公庁などに不当な要求をするえせ同和行為が行われること				⑧同和地区（住民）に対する差別は過去の問題だ、とすること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	68.0%	4.3%	25.0%	2.8%	44.0%	14.3%	39.3%	2.4%
性別	女性	511	69.5%	2.5%	25.4%	2.5%	45.8%	9.8%	42.5%	2.0%
	男性	435	68.0%	5.5%	23.7%	2.8%	42.3%	19.5%	35.6%	2.5%
年齢別	18～29 歳	101	68.3%	5.0%	25.7%	1.0%	43.6%	12.9%	43.6%	0.0%
	30 歳代	122	68.9%	3.3%	26.2%	1.6%	45.9%	15.6%	36.9%	1.6%
	40 歳代	139	78.4%	2.2%	18.0%	1.4%	54.0%	12.9%	31.7%	1.4%
	50 歳代	199	74.9%	3.0%	21.6%	0.5%	45.7%	15.1%	39.2%	0.0%
	60 歳代	146	70.5%	4.1%	24.0%	1.4%	35.6%	15.8%	47.3%	1.4%
	70 歳以上	249	57.0%	5.2%	30.5%	7.2%	41.4%	13.3%	39.0%	6.4%

問 21　部落差別（同和問題）を解決するために、次の①～④のことが必要だと思いますか。また、部落差別（同和問題）にかかわる⑤～⑦の意見について、正しいと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『②差別意識をなくし、広く人権を大切にするための教育・啓発活動をすすめる』で65.0%と最も高く、次いで『④相談体制をはじめ、救済制度を充実させる』で 56.1%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑤同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけば自然に差別はなくなる』で 34.3%と最も高く、次いで『⑥同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる』で 24.0%となっています。

また、「わからない」の割合が高く、中でも『⑦同和地区の人は、行政から優遇されている』で 50.2%と最も高く、次いで『⑥同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる』で 41.7%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『⑤同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけば自然に差別はなくなる』では、「思う」の割合が 4.7 ポイント減少し、「思わない」の割合が 4.9 ポイント増加しています。令和3年度調査では「思う」の割合が高かったことに対し、今回の調査では「思わない」の割合が「思う」を上回っています。

【性別】

『④相談体制をはじめ、救済制度を充実させる』での「思う」の割合は、女性が 60.1%に対し、男性は 51.5%と、男性が女性を 8.6 ポイント上回っています。

【年齢別】

『①行政や民間の人権団体が同和地区住民の自立を支援する取組をすすめる』での「思う」の割合は、18～29歳が60.4%と最も高く、60歳代は39.7%と最も低くなっており、20.7ポイントの差があります。

			①行政や民間の人権団体が同和地区住民の自立を支援する取組をすすめる				②差別意識をなくし、広く人権を大切にするための教育・啓発活動をすすめる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	49.2%	12.6%	35.9%	2.3%	65.0%	8.1%	23.4%	3.5%
R3 年度調査		975	54.4%	11.0%	32.1%	2.6%	69.6%	7.2%	20.8%	2.4%
性別	女性	511	52.1%	9.4%	36.0%	2.5%	67.3%	4.9%	24.1%	3.7%
	男性	435	45.5%	16.8%	36.1%	1.6%	62.5%	12.2%	22.5%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	60.4%	7.9%	31.7%	0.0%	67.3%	4.0%	27.7%	1.0%
	30 歳代	122	58.2%	9.8%	30.3%	1.6%	64.8%	5.7%	24.6%	4.9%
	40 歳代	139	56.8%	13.7%	28.8%	0.7%	69.8%	10.1%	18.7%	1.4%
	50 歳代	199	42.7%	13.1%	43.7%	0.5%	64.3%	10.1%	23.6%	2.0%
	60 歳代	146	39.7%	15.8%	43.2%	1.4%	64.4%	7.5%	26.0%	2.1%
	70 歳以上	249	45.4%	13.7%	35.3%	5.6%	61.4%	8.8%	23.3%	6.4%

			③同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、協働して「まちづくり」をすすめる				④相談体制をはじめ、救済制度を充実させる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	50.9%	10.4%	35.9%	2.8%	56.1%	11.0%	29.9%	3.1%
R3 年度調査		975	56.1%	8.0%	33.3%	2.6%	58.2%	9.2%	30.1%	2.6%
性別	女性	511	52.4%	7.6%	37.2%	2.7%	60.1%	7.8%	28.8%	3.3%
	男性	435	48.5%	14.0%	35.2%	2.3%	51.5%	15.2%	31.0%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	59.4%	7.9%	31.7%	1.0%	68.3%	3.0%	28.7%	0.0%
	30 歳代	122	54.1%	8.2%	34.4%	3.3%	63.9%	10.7%	23.8%	1.6%
	40 歳代	139	52.5%	11.5%	34.5%	1.4%	60.4%	11.5%	25.9%	2.2%
	50 歳代	199	48.2%	12.6%	38.7%	0.5%	53.3%	12.6%	32.2%	2.0%
	60 歳代	146	39.7%	13.0%	45.9%	1.4%	48.6%	13.7%	36.3%	1.4%
	70 歳以上	249	51.8%	9.2%	32.9%	6.0%	51.0%	11.6%	30.5%	6.8%

			⑤同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけば自然に差別はなくなる				⑥同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	29.8%	34.3%	33.9%	2.0%	31.9%	24.0%	41.7%	2.5%
R3 年度調査		975	34.5%	29.4%	34.1%	2.1%	37.2%	18.3%	42.1%	2.5%
性別	女性	511	29.4%	34.6%	34.1%	2.0%	32.3%	22.3%	43.1%	2.3%
	男性	435	30.1%	34.3%	33.8%	1.8%	32.4%	26.0%	39.5%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	34.7%	36.6%	28.7%	0.0%	30.7%	29.7%	37.6%	2.0%
	30 歳代	122	41.0%	29.5%	27.9%	1.6%	36.9%	20.5%	41.8%	0.8%
	40 歳代	139	31.7%	38.8%	28.1%	1.4%	37.4%	23.7%	36.7%	2.2%
	50 歳代	199	26.6%	33.7%	39.2%	0.5%	34.7%	22.1%	42.7%	0.5%
	60 歳代	146	23.3%	37.7%	37.7%	1.4%	26.7%	21.9%	50.0%	1.4%
	70 歳以上	249	26.5%	32.1%	36.5%	4.8%	28.1%	26.5%	40.2%	5.2%

			⑦同和地区の人は、行政から優遇されている			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	29.3%	18.2%	50.2%	2.4%
性別	女性	511	25.4%	18.2%	54.4%	2.0%
	男性	435	34.3%	18.9%	44.6%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	26.7%	28.7%	43.6%	1.0%
	30 歳代	122	23.0%	25.4%	49.2%	2.5%
	40 歳代	139	28.8%	15.1%	54.0%	2.2%
	50 歳代	199	35.7%	15.6%	48.7%	0.0%
	60 歳代	146	29.5%	14.4%	54.8%	1.4%
	70 歳以上	249	28.5%	16.9%	49.8%	4.8%

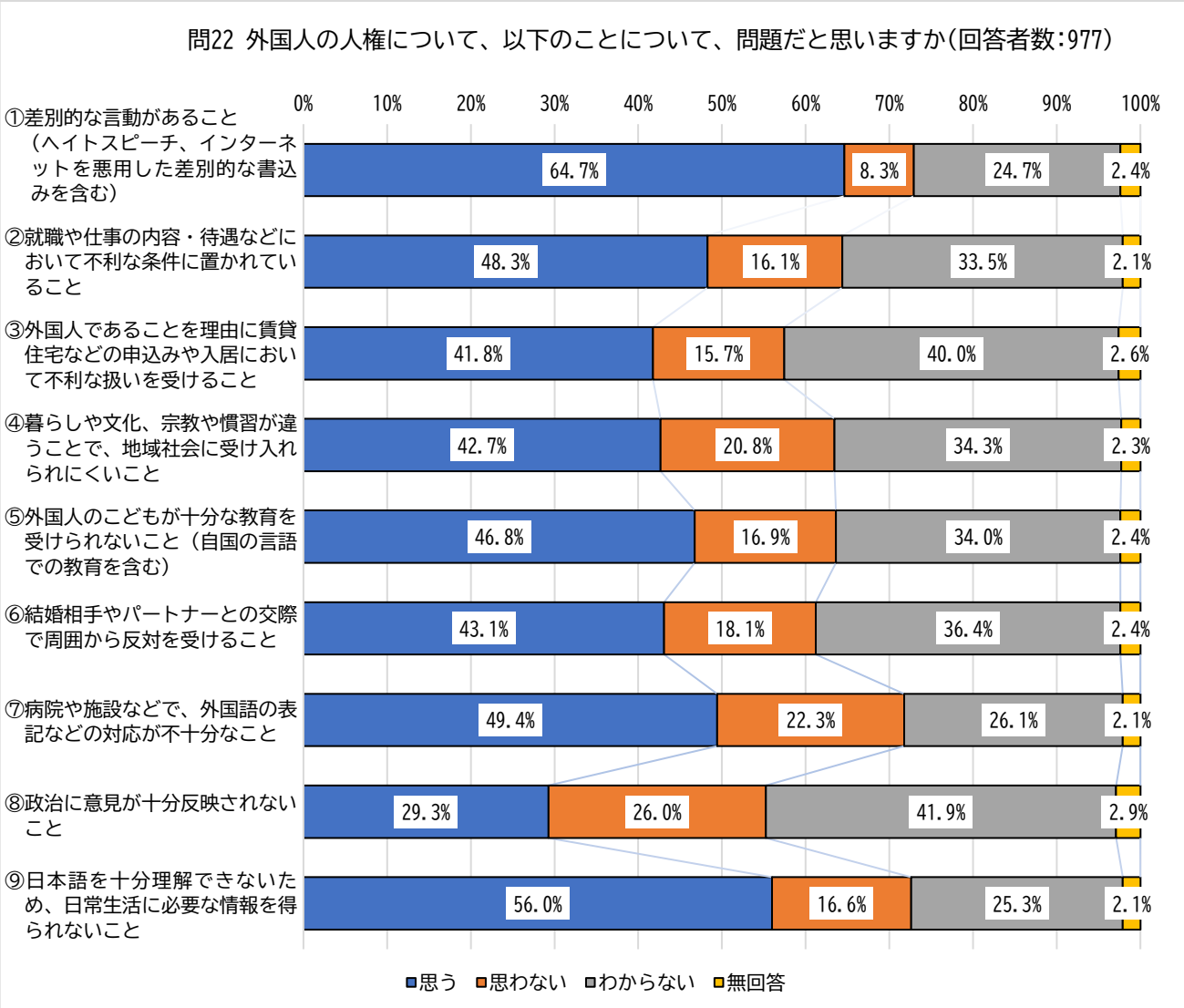
（6）　外国人の人権について

問 22　外国人の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『①差別的な言動があること（ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む）』で 64.7%と最も高く、次いで『⑨日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと』で 56.0%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑧政治に意見が十分反映されないこと』で 26.0%と最も高く、次いで『⑦病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと』で 22.3%となっています。

また、「わからない」の割合が高く、中でも『⑧政治に意見が十分反映されないこと』で 41.9%と最も高くなっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『②就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること』では、「思う」の割合が 24.3 ポイント減少しています。

また、『⑤外国人のこどもが十分な教育を受けられないこと（自国の言語での教育を含む）』でも、「思う」の割合が 22.4 ポイント減少しています。

これらをはじめ、ほとんどの項目で「思う」の割合が減少しています。

【性別】

『⑦病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと』での「思わない」の割合は、男性が 29.9%に対し、女性は 16.6%と、男性が女性を 13.3 ポイント上回っています。

また、『⑧政治に意見が十分反映されないこと』でも「思わない」の割合は、男性が 33.6%に対し、女性は 20.4%と、男性が女性を 13.2 ポイント上回っています。

【年齢別】

『⑨日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと』での「思わない」の割合は、18～29 歳が 30.7%と最も高く、70 歳以上は 5.6%と最も低くなっており、25.1 ポイントの差があります。

また、『①差別的な言動があること（ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む）』での「思う」の割合は、18～29 歳が 76.2%と最も高く、70 歳以上は 52.2%と最も低くなっており、24.0 ポイントの差があります。

			①差別的な言動があること（ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む）				②就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	64.7%	8.3%	24.7%	2.4%	48.3%	16.1%	33.5%	2.1%
R3 年度調査		975	78.4%	2.7%	17.0%	1.9%	72.6%	4.5%	21.0%	1.8%
性別	女性	511	66.3%	5.1%	26.2%	2.3%	49.5%	12.7%	35.8%	2.0%
	男性	435	64.8%	12.0%	21.6%	1.6%	48.3%	20.0%	30.1%	1.6%
年齢別	18～29 歳	101	76.2%	8.9%	12.9%	2.0%	60.4%	18.8%	20.8%	0.0%
	30 歳代	122	74.6%	7.4%	16.4%	1.6%	54.9%	16.4%	27.0%	1.6%
	40 歳代	139	75.5%	7.9%	16.5%	0.0%	56.8%	18.0%	23.0%	2.2%
	50 歳代	199	67.8%	9.0%	21.6%	1.5%	53.3%	14.6%	32.2%	0.0%
	60 歳代	146	60.3%	8.9%	29.5%	1.4%	41.8%	15.8%	41.1%	1.4%
	70 歳以上	249	52.2%	7.2%	36.1%	4.4%	37.3%	14.9%	43.0%	4.8%

			③外国人であることを理由に賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること				④暮らしや文化、宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	41.8%	15.7%	40.0%	2.6%	42.7%	20.8%	34.3%	2.3%
R3 年度調査		975	-	-	-	-	58.9%	8.4%	30.8%	1.9%
性別	女性	511	43.6%	11.5%	42.3%	2.5%	45.2%	14.9%	38.0%	2.0%
	男性	435	40.5%	20.9%	36.6%	2.1%	41.1%	27.6%	29.2%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	52.5%	21.8%	24.8%	1.0%	48.5%	30.7%	20.8%	0.0%
	30 歳代	122	41.8%	22.1%	32.8%	3.3%	40.2%	26.2%	30.3%	3.3%
	40 歳代	139	46.0%	15.8%	37.4%	0.7%	51.1%	19.4%	28.1%	1.4%
	50 歳代	199	42.7%	16.6%	39.2%	1.5%	42.7%	22.1%	33.7%	1.5%
	60 歳代	146	41.1%	13.0%	44.5%	1.4%	41.1%	19.2%	38.4%	1.4%
	70 歳以上	249	35.3%	11.2%	48.6%	4.8%	39.4%	14.1%	43.0%	3.6%

			⑤外国人のこどもが十分な教育を受けられないこと（自国の言語での教育を含む）				⑥結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	46.8%	16.9%	34.0%	2.4%	43.1%	18.1%	36.4%	2.4%
R3 年度調査		975	69.2%	5.3%	23.3%	2.2%	-	-	-	-
性別	女性	511	47.2%	14.3%	36.6%	2.0%	43.8%	12.5%	41.5%	2.2%
	男性	435	47.4%	20.2%	30.1%	2.3%	43.4%	24.6%	29.9%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	56.4%	19.8%	22.8%	1.0%	52.5%	21.8%	24.8%	1.0%
	30 歳代	122	51.6%	18.0%	27.9%	2.5%	52.5%	23.8%	21.3%	2.5%
	40 歳代	139	50.4%	19.4%	28.8%	1.4%	49.6%	16.5%	33.1%	0.7%
	50 歳代	199	45.2%	18.6%	35.7%	0.5%	40.2%	17.1%	41.7%	1.0%
	60 歳代	146	49.3%	14.4%	34.2%	2.1%	42.5%	17.8%	38.4%	1.4%
	70 歳以上	249	39.4%	14.1%	42.2%	4.4%	35.3%	15.7%	44.2%	4.8%

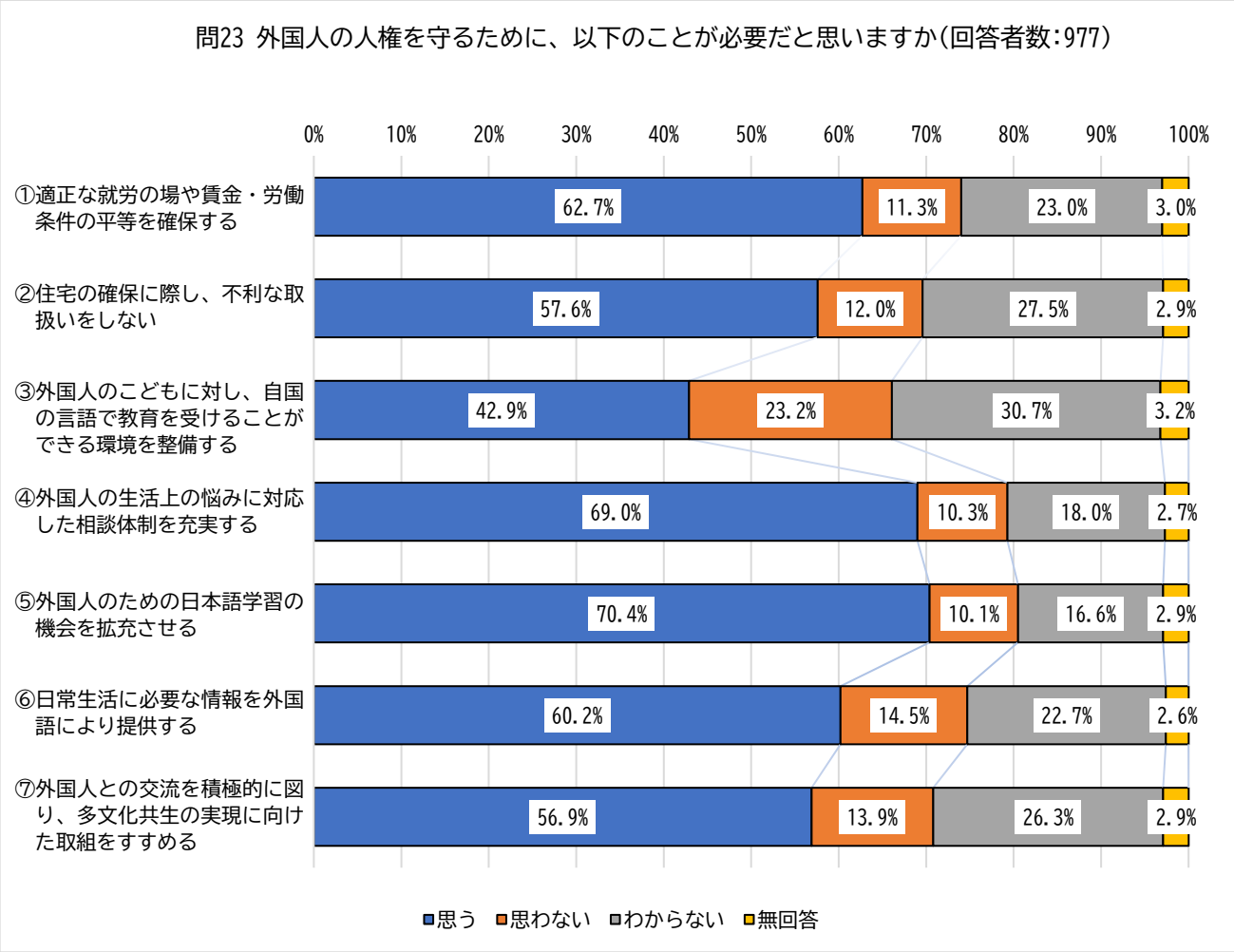
			⑦病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと				⑧政治に意見が十分反映されないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	49.4%	22.3%	26.1%	2.1%	29.3%	26.0%	41.9%	2.9%
性別	女性	511	53.8%	16.6%	27.6%	2.0%	30.3%	20.4%	47.2%	2.2%
	男性	435	44.8%	29.9%	23.4%	1.8%	28.3%	33.6%	35.2%	3.0%
年齢別	18～29 歳	101	53.5%	24.8%	20.8%	1.0%	31.7%	37.6%	28.7%	2.0%
	30 歳代	122	49.2%	28.7%	20.5%	1.6%	25.4%	37.7%	32.8%	4.1%
	40 歳代	139	54.0%	25.2%	20.1%	0.7%	30.9%	32.4%	35.3%	1.4%
	50 歳代	199	48.2%	23.6%	27.1%	1.0%	28.6%	29.1%	41.2%	1.0%
	60 歳代	146	51.4%	21.2%	26.0%	1.4%	30.1%	19.9%	48.6%	1.4%
	70 歳以上	249	46.2%	17.3%	32.1%	4.4%	29.7%	14.1%	51.0%	5.2%

			⑨日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	56.0%	16.6%	25.3%	2.1%
R3 年度調査		975	75.7%	4.5%	17.9%	1.8%
性別	女性	511	60.5%	12.3%	25.4%	1.8%
	男性	435	52.0%	22.3%	23.7%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	50.5%	30.7%	17.8%	1.0%
	30 歳代	122	51.6%	27.9%	18.9%	1.6%
	40 歳代	139	54.0%	20.1%	24.5%	1.4%
	50 歳代	199	58.8%	15.6%	25.1%	0.5%
	60 歳代	146	57.5%	15.8%	25.3%	1.4%
	70 歳以上	249	59.4%	5.6%	30.5%	4.4%

問 23　外国人の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『⑤外国人のための日本語学習の機会を拡充させる』で 70.4％と最も高く、次いで『④外国人の生活上の悩みに対応した相談体制を充実する』で 69.0％となっています。

一方、「思わない」の割合は、「③外国人のこどもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する」が 23.2％と最も高くなっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『⑦外国人との交流を積極的に図り、多文化共生の実現に向けた取組をすすめる』では、「思う」の割合が 19.1 ポイント減少しています。

また、『③外国人のこどもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する』でも、「思う」の割合が 17.3 ポイント減少しています。

これらをはじめ、すべての項目で「思う」の割合が減少しています。

【性別】

『⑦外国人との交流を積極的に図り、多文化共生の実現に向けた取組をすすめる』での「思わない」の割合は、男性が 21.4%に対し、女性は 7.6%と、男性が女性を 13.8 ポイント上回っています。

また、『⑥日常生活に必要な情報を外国語により提供する』でも「思わない」の割合は、男性が 21.4%に対し、女性は 8.8%と、男性が女性を 12.6 ポイント上回っています。

【年齢別】

『③外国人のこどもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する』での「思う」の割合は、18～29 歳が 52.5%と最も高く、50 歳代は 36.2%と最も低くなっており、16.3 ポイントの差があります。

また、『①適正な就労の場や賃金・労働条件の平等を確保する』での「思わない」の割合は、18～29 歳が 18.8%と最も高く、70 歳以上は 6.4%と最も低くなっており、12.4 ポイントの差があります。

			①適正な就労の場や賃金・労働条件の平等を確保する				②住宅の確保に際し、不利な取扱いをしない			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	62.7%	11.3%	23.0%	3.0%	57.6%	12.0%	27.5%	2.9%
R3 年度調査		975	76.8%	4.0%	17.2%	1.9%	74.4%	3.7%	19.9%	2.1%
性別	女性	511	65.6%	7.0%	24.7%	2.7%	59.7%	7.0%	30.7%	2.5%
	男性	435	60.0%	16.1%	21.1%	2.8%	55.2%	17.9%	24.1%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	67.3%	18.8%	12.9%	1.0%	54.5%	19.8%	23.8%	2.0%
	30 歳代	122	63.9%	14.8%	18.9%	2.5%	54.9%	18.0%	26.2%	0.8%
	40 歳代	139	64.7%	11.5%	23.0%	0.7%	61.2%	10.8%	26.6%	1.4%
	50 歳代	199	61.8%	14.1%	23.1%	1.0%	58.8%	13.1%	27.6%	0.5%
	60 歳代	146	60.3%	7.5%	31.5%	0.7%	52.7%	7.5%	39.0%	0.7%
	70 歳以上	249	61.8%	6.4%	24.1%	7.6%	59.8%	8.4%	24.1%	7.6%

			③外国人のこどもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する				④外国人の生活上の悩みに対応した相談体制を充実する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	42.9%	23.2%	30.7%	3.2%	69.0%	10.3%	18.0%	2.7%
R3 年度調査		975	60.2%	9.5%	28.0%	2.3%	83.6%	2.5%	11.9%	2.1%
性別	女性	511	46.4%	18.2%	32.5%	2.9%	72.0%	6.7%	18.8%	2.5%
	男性	435	38.9%	29.9%	28.3%	3.0%	66.4%	14.7%	16.6%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	52.5%	26.7%	20.8%	0.0%	70.3%	11.9%	16.8%	1.0%
	30 歳代	122	43.4%	30.3%	23.8%	2.5%	70.5%	13.1%	15.6%	0.8%
	40 歳代	139	41.7%	25.9%	30.2%	2.2%	66.9%	13.7%	18.0%	1.4%
	50 歳代	199	36.2%	26.6%	36.2%	1.0%	66.8%	15.6%	17.1%	0.5%
	60 歳代	146	39.7%	21.2%	37.7%	1.4%	71.2%	6.8%	21.2%	0.7%
	70 歳以上	249	45.8%	16.5%	30.1%	7.6%	69.9%	4.4%	18.5%	7.2%

			⑤外国人のための日本語学習の機会を拡充させる				⑥日常生活に必要な情報を外国語により提供する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	70.4%	10.1%	16.6%	2.9%	60.2%	14.5%	22.7%	2.6%
性別	女性	511	73.6%	6.3%	18.0%	2.2%	66.1%	8.8%	23.1%	2.0%
	男性	435	67.8%	14.5%	14.5%	3.2%	54.0%	21.4%	21.8%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	77.2%	12.9%	9.9%	0.0%	59.4%	20.8%	19.8%	0.0%
	30 歳代	122	74.6%	10.7%	13.9%	0.8%	59.8%	20.5%	18.9%	0.8%
	40 歳代	139	66.2%	13.7%	18.0%	2.2%	59.0%	14.4%	25.2%	1.4%
	50 歳代	199	67.8%	12.6%	18.6%	1.0%	63.3%	14.1%	21.6%	1.0%
	60 歳代	146	67.8%	9.6%	21.2%	1.4%	57.5%	16.4%	25.3%	0.7%
	70 歳以上	249	73.1%	4.8%	14.9%	7.2%	60.6%	8.8%	23.7%	6.8%

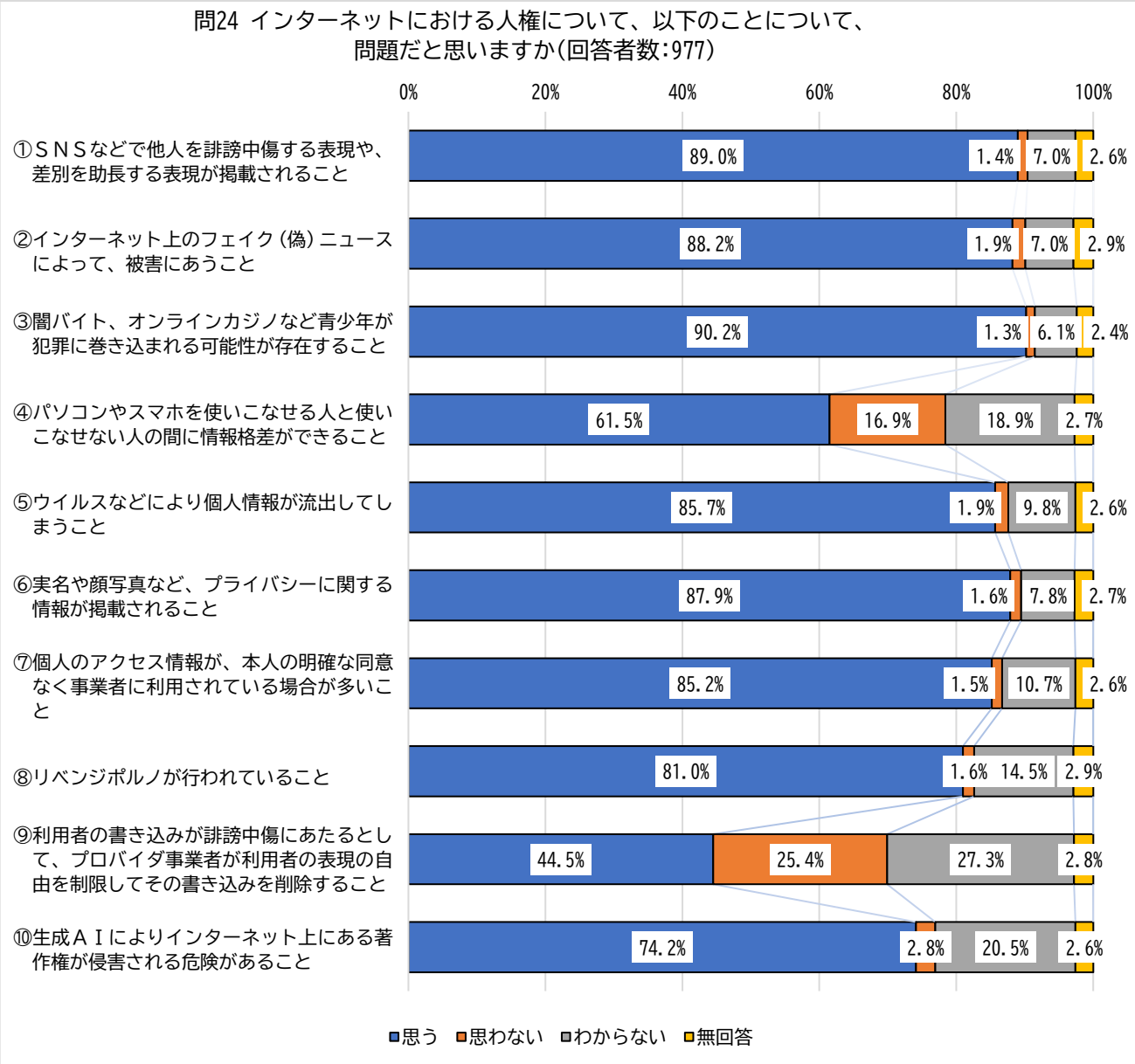
			⑦外国人との交流を積極的に図り、多文化共生の実現に向けた取組をすすめる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	56.9%	13.9%	26.3%	2.9%
R3 年度調査		975	76.0%	3.7%	18.3%	2.1%
性別	女性	511	60.9%	7.6%	29.0%	2.5%
	男性	435	52.4%	21.4%	23.4%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	57.4%	20.8%	21.8%	0.0%
	30 歳代	122	59.0%	14.8%	25.4%	0.8%
	40 歳代	139	56.1%	17.3%	25.2%	1.4%
	50 歳代	199	55.8%	15.1%	28.6%	0.5%
	60 歳代	146	54.8%	14.4%	30.1%	0.7%
	70 歳以上	249	57.8%	8.4%	25.3%	8.4%

（7）　インターネットにおける人権について

問 24　インターネットにおける人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は『③闇バイト、オンラインカジノなど青少年が犯罪に巻き込まれる可能性が存在すること』で 90.2%と最も高く、次いで『①SNSなどで他人を誹謗中傷する表現や、差別を助長する表現が掲載されること』で 89.0%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑨利用者の書き込みが誹謗中傷にあたるとして、プロバイダ事業者が利用者の表現の自由を制限してその書き込みを削除すること』で 25.4%と最も高くなっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『⑧リベンジポルノが行われていること』では、「思う」の割合が 9.7 ポイント減少しています。

【性別】

『④パソコンやスマホを使いこなせる人と使いこなせない人の間に情報格差ができること』での「思う」の割合は、女性が 66.9%に対し、男性は 56.3%と、女性が男性を 10.6 ポイント上回っています。

【年齢別】

『⑨利用者の書き込みが誹謗中傷にあたるとして、プロバイダ事業者が利用者の表現の自由を制限してその書き込みを削除すること』での「思う」の割合は、18～29 歳が 61.4%と最も高く、60 歳代は 34.9%と最も低くなっており、26.5 ポイントの差があります。また、『⑧リベンジポルノが行われていること』での「思う」の割合は、30 歳代が 91.0%と最も高く、70 歳以上は 66.7%と最も低くなっており、24.3 ポイントの差があります。

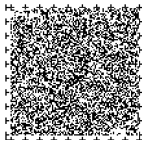
			①ＳＮＳなどで他人を誹謗中傷する表現や、差別を助長する表現が掲載されること				②インターネット上のフェイク（偽）ニュースによって、被害にあうこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	89.0%	1.4%	7.0%	2.6%	88.2%	1.9%	7.0%	2.9%
R3 年度調査		975	90.8%	1.1%	5.9%	2.2%	－	－	－	－
性別	女性	511	91.4%	0.6%	5.7%	2.3%	90.6%	1.0%	6.1%	2.3%
	男性	435	88.0%	2.5%	7.1%	2.3%	86.7%	3.2%	7.1%	3.0%
年齢別	18～29 歳	101	91.1%	2.0%	5.0%	2.0%	91.1%	1.0%	7.9%	0.0%
	30 歳代	122	93.4%	1.6%	2.5%	2.5%	91.8%	2.5%	2.5%	3.3%
	40 歳代	139	94.2%	2.9%	2.2%	0.7%	92.1%	2.9%	2.9%	2.2%
	50 歳代	199	94.5%	0.5%	4.5%	0.5%	94.0%	2.0%	3.5%	0.5%
	60 歳代	146	92.5%	1.4%	5.5%	0.7%	91.1%	2.7%	5.5%	0.7%
	70 歳以上	249	79.1%	1.2%	13.7%	6.0%	78.3%	1.2%	13.7%	6.8%

			③闇バイト、オンラインカジノなど青少年が犯罪に巻き込まれる可能性が存在すること				④パソコンやスマホを使いこなせる人と使いこなせない人の間に情報格差ができること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	90.2%	1.3%	6.1%	2.4%	61.5%	16.9%	18.9%	2.7%
R3 年度調査		975	89.5%	2.5%	5.7%	2.3%	61.7%	16.4%	19.4%	2.5%
性別	女性	511	92.0%	0.4%	5.9%	1.8%	66.9%	12.7%	18.6%	1.8%
	男性	435	89.7%	2.3%	5.5%	2.5%	56.3%	22.1%	18.4%	3.2%
年齢別	18～29 歳	101	92.1%	2.0%	5.9%	0.0%	73.3%	17.8%	7.9%	1.0%
	30 歳代	122	92.6%	2.5%	2.5%	2.5%	57.4%	23.0%	18.0%	1.6%
	40 歳代	139	95.0%	0.7%	2.9%	1.4%	64.0%	18.7%	15.1%	2.2%
	50 歳代	199	94.0%	1.5%	4.0%	0.5%	63.8%	16.6%	18.6%	1.0%
	60 歳代	146	93.8%	1.4%	4.1%	0.7%	61.0%	18.5%	19.9%	0.7%
	70 歳以上	249	82.3%	0.4%	11.6%	5.6%	57.4%	12.0%	24.5%	6.0%

			⑤ウイルスなどにより個人情報が流出してしまうこと				⑥実名や顔写真など、プライバシーに関する情報が掲載されること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	85.7%	1.9%	9.8%	2.6%	87.9%	1.6%	7.8%	2.7%
R3 年度調査		975	87.6%	1.9%	8.2%	2.3%	88.9%	1.3%	7.6%	2.2%
性別	女性	511	87.9%	0.6%	10.0%	1.6%	90.8%	0.8%	6.5%	2.0%
	男性	435	85.3%	3.4%	8.0%	3.2%	86.2%	2.8%	8.0%	3.0%
年齢別	18～29 歳	101	89.1%	4.0%	5.9%	1.0%	92.1%	2.0%	4.0%	2.0%
	30 歳代	122	91.8%	3.3%	3.3%	1.6%	93.4%	1.6%	2.5%	2.5%
	40 歳代	139	92.8%	1.4%	4.3%	1.4%	95.7%	0.7%	2.2%	1.4%
	50 歳代	199	90.5%	3.0%	6.0%	0.5%	92.0%	0.5%	6.5%	1.0%
	60 歳代	146	87.7%	0.7%	11.0%	0.7%	89.0%	2.1%	8.2%	0.7%
	70 歳以上	249	75.1%	0.4%	18.1%	6.4%	77.5%	2.8%	14.1%	5.6%

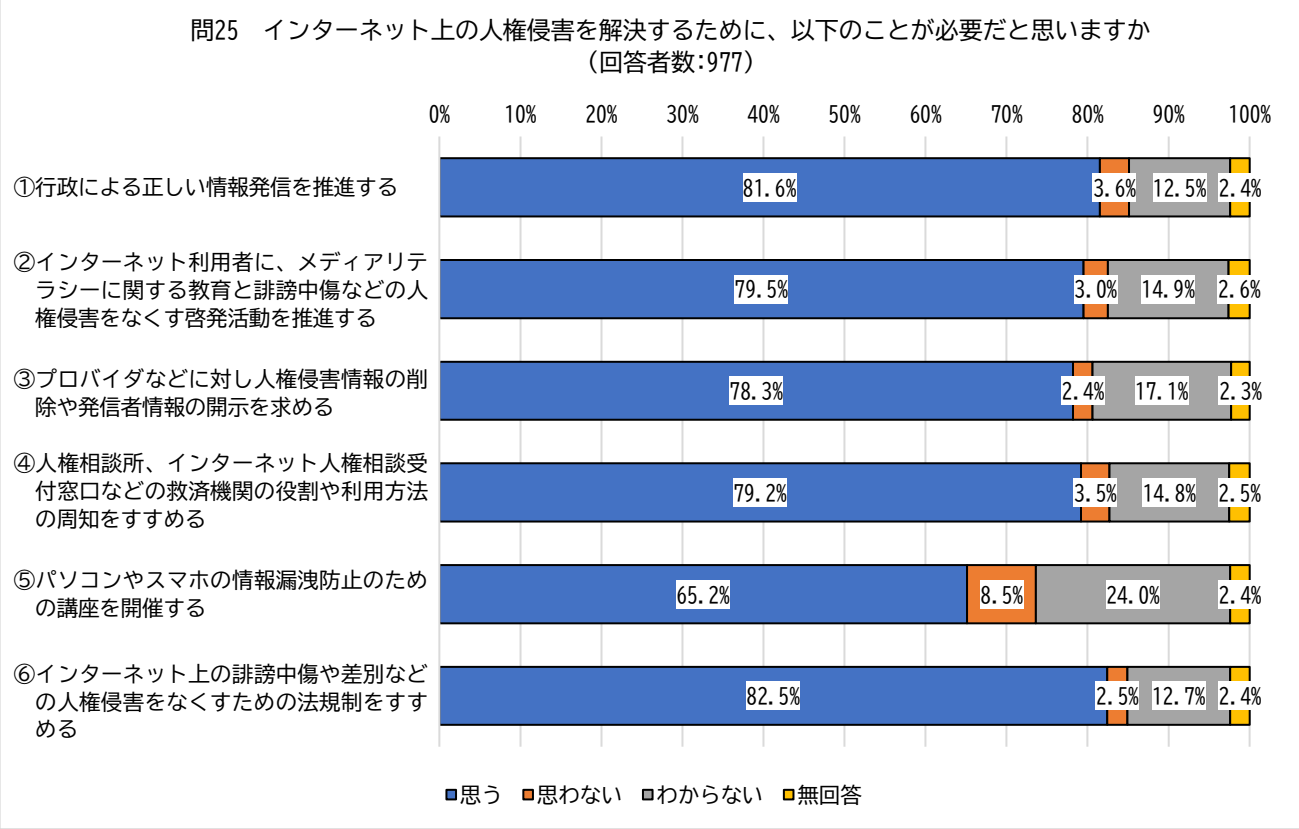
			⑦個人のアクセス情報が、本人の明確な同意なく事業者に利用されている場合が多いこと				⑧リベンジポルノが行われていること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	85.2%	1.5%	10.7%	2.6%	81.0%	1.6%	14.5%	2.9%
R3 年度調査		975	91.2%	0.9%	5.6%	2.3%	90.7%	0.4%	6.5%	2.5%
性別	女性	511	86.7%	1.2%	10.2%	2.0%	83.4%	0.8%	14.1%	1.8%
	男性	435	85.5%	2.1%	9.7%	2.8%	80.7%	2.8%	12.9%	3.7%
年齢別	18～29 歳	101	93.1%	1.0%	5.0%	1.0%	83.2%	3.0%	12.9%	1.0%
	30 歳代	122	91.8%	1.6%	4.9%	1.6%	91.0%	1.6%	5.7%	1.6%
	40 歳代	139	93.5%	2.2%	2.9%	1.4%	89.2%	1.4%	7.9%	1.4%
	50 歳代	199	90.5%	0.5%	7.5%	1.5%	88.4%	1.5%	9.0%	1.0%
	60 歳代	146	82.9%	2.1%	14.4%	0.7%	82.9%	1.4%	15.1%	0.7%
	70 歳以上	249	73.9%	2.0%	18.5%	5.6%	66.7%	1.6%	24.5%	7.2%

			⑨利用者の書き込みが誹謗中傷にあたるとして、プロバイダ事業者が利用者の表現の自由を制限してその書き込みを削除すること				⑩生成ＡＩによりインターネット上にある著作権が侵害される危険があること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	44.5%	25.4%	27.3%	2.8%	74.2%	2.8%	20.5%	2.6%
性別	女性	511	46.4%	23.3%	28.2%	2.2%	76.7%	1.6%	20.2%	1.6%
	男性	435	42.8%	29.2%	25.1%	3.0%	73.1%	4.1%	19.5%	3.2%
年齢別	18～29 歳	101	61.4%	20.8%	17.8%	0.0%	80.2%	4.0%	15.8%	0.0%
	30 歳代	122	54.9%	27.9%	15.6%	1.6%	82.8%	4.1%	10.7%	2.5%
	40 歳代	139	46.8%	23.7%	27.3%	2.2%	79.1%	5.0%	13.7%	2.2%
	50 歳代	199	42.7%	33.7%	22.6%	1.0%	80.9%	1.0%	17.6%	0.5%
	60 歳代	146	34.9%	32.2%	32.2%	0.7%	74.7%	2.1%	22.6%	0.7%
	70 歳以上	249	38.6%	18.5%	36.1%	6.8%	61.0%	2.4%	30.5%	6.0%



問 25　インターネット上の人権侵害を解決するために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『⑥インターネット上の誹謗中傷や差別などの人権侵害をなくすための法規制をすすめる』で 82.5%と最も高く、次いで『①行政等による正しい情報発信を推進する』で 81.6%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

大きな差異はみられません。

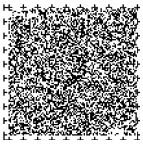
【年齢別】

『⑤パソコンやスマホの情報漏洩防止のための講座を開催する』での「思う」の割合は、18～29 歳が 81.2%と最も高く、70 歳以上は 51.8%と最も低くなっており、29.4 ポイントの差があります。また、『④人権相談所、インターネット人権相談受付窓口などの救済機関の役割や利用方法の周知をすすめる』での「思う」の割合は、18～29 歳が 89.1%と最も高く、70 歳以上は 68.3%と最も低くなっており、20.8 ポイントの差があります。

			①行政による正しい情報発信を推進する				②インターネット利用者に、メディアリテラシーに関する教育と誹謗中傷などの人権侵害をなくす啓発活動を推進する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	81.6%	3.6%	12.5%	2.4%	79.5%	3.0%	14.9%	2.6%
R3 年度調査		975	81.5%	3.8%	11.8%	2.9%	80.3%	2.7%	14.3%	2.8%
性別	女性	511	84.5%	1.4%	12.1%	2.0%	83.2%	0.6%	14.3%	2.0%
	男性	435	79.1%	6.4%	12.0%	2.5%	76.8%	6.0%	14.5%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	88.1%	4.0%	6.9%	1.0%	89.1%	4.0%	5.9%	1.0%
	30 歳代	122	81.1%	8.2%	9.0%	1.6%	84.4%	4.9%	9.0%	1.6%
	40 歳代	139	84.9%	2.9%	10.1%	2.2%	83.5%	2.9%	11.5%	2.2%
	50 歳代	199	81.4%	4.0%	14.6%	0.0%	83.4%	4.0%	12.6%	0.0%
	60 歳代	146	82.9%	3.4%	13.7%	0.0%	80.1%	2.7%	17.1%	0.0%
	70 歳以上	249	77.5%	1.6%	14.9%	6.0%	69.1%	1.2%	22.9%	6.8%

			③プロバイダなどに対し人権侵害情報の削除や発信者情報の開示を求める				④人権相談所、インターネット人権相談受付窓口などの救済機関の役割や利用方法の周知をすすめる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	78.3%	2.4%	17.1%	2.3%	79.2%	3.5%	14.8%	2.5%
R3 年度調査		975	83.0%	1.1%	13.1%	2.8%	80.6%	2.1%	14.5%	2.9%
性別	女性	511	78.7%	1.0%	18.6%	1.8%	81.6%	1.0%	15.5%	2.0%
	男性	435	79.5%	3.9%	14.0%	2.5%	78.4%	6.7%	12.4%	2.5%
年齢別	18～29 歳	101	82.2%	5.0%	12.9%	0.0%	89.1%	4.0%	6.9%	0.0%
	30 歳代	122	82.8%	3.3%	13.1%	0.8%	82.0%	5.7%	10.7%	1.6%
	40 歳代	139	83.5%	2.9%	12.2%	1.4%	86.3%	1.4%	10.8%	1.4%
	50 歳代	199	85.9%	2.0%	12.1%	0.0%	82.9%	5.5%	10.6%	1.0%
	60 歳代	146	79.5%	2.1%	18.5%	0.0%	80.8%	3.4%	15.8%	0.0%
	70 歳以上	249	66.3%	0.8%	25.7%	7.2%	68.3%	2.0%	23.3%	6.4%

			⑤パソコンやスマホの情報漏洩防止のための講座を開催する				⑥インターネット上の誹謗中傷や差別などの人権侵害をなくすための法規制をすすめる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	65.2%	8.5%	24.0%	2.4%	82.5%	2.5%	12.7%	2.4%
R3 年度調査		975	70.7%	5.0%	21.3%	3.0%	－	－	－	－
性別	女性	511	69.7%	5.1%	23.7%	1.6%	85.9%	0.8%	11.5%	1.8%
	男性	435	61.4%	12.9%	23.0%	2.8%	80.2%	4.6%	12.4%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	81.2%	6.9%	10.9%	1.0%	87.1%	4.0%	6.9%	2.0%
	30 歳代	122	67.2%	13.9%	18.0%	0.8%	87.7%	2.5%	9.0%	0.8%
	40 歳代	139	73.4%	6.5%	18.7%	1.4%	84.9%	5.0%	8.6%	1.4%
	50 歳代	199	68.3%	8.5%	22.6%	0.5%	83.4%	3.0%	12.6%	1.0%
	60 歳代	146	64.4%	7.5%	28.1%	0.0%	87.0%	1.4%	11.6%	0.0%
	70 歳以上	249	51.8%	8.8%	32.9%	6.4%	75.1%	0.8%	18.1%	6.0%

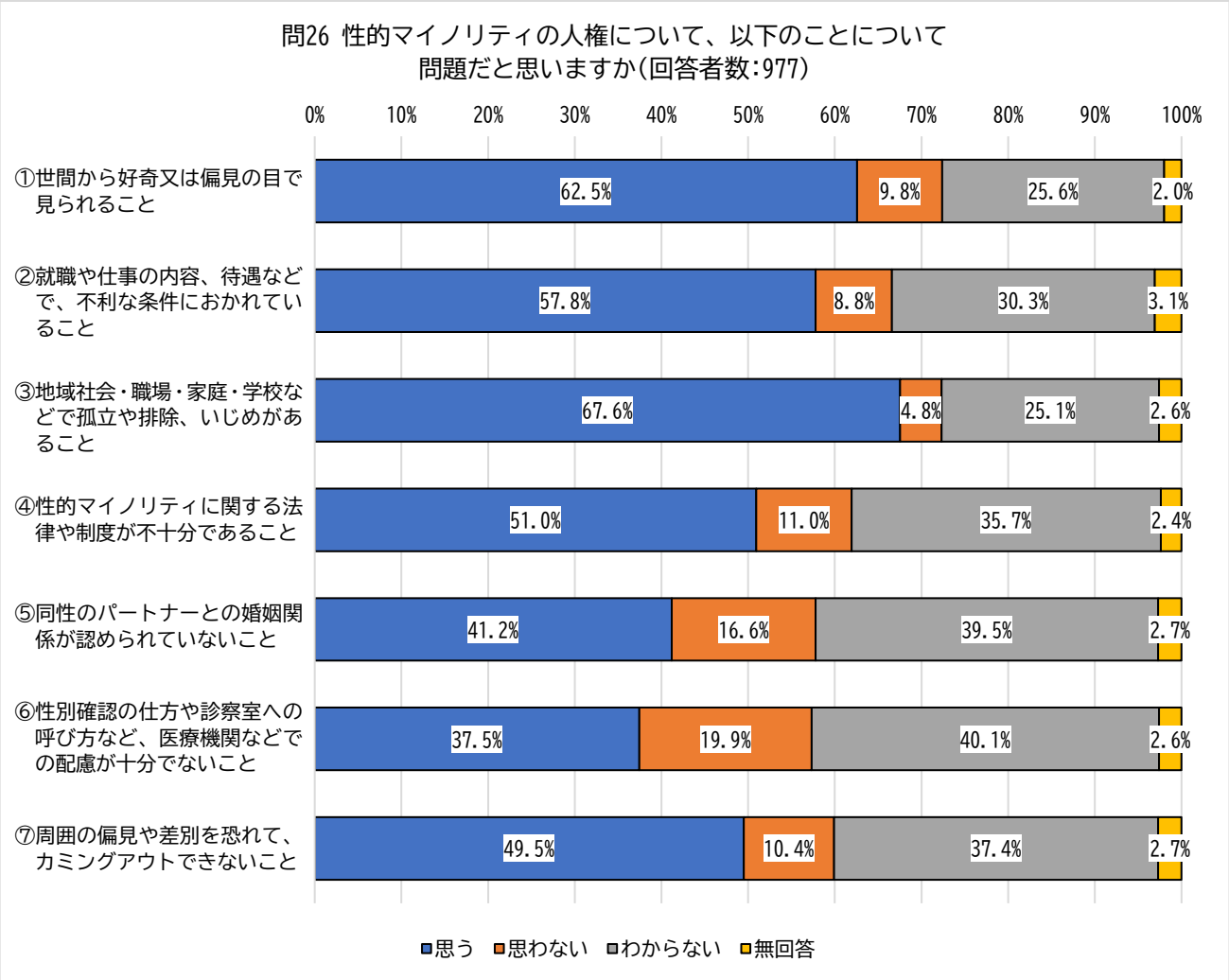


（8）　性的マイノリティの人権について

問 26　性的マイノリティの人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『③地域社会・職場・家庭・学校などで孤立や排除、いじめがあること』で 67.6%と最も高く、次いで『①世間から好奇又は偏見の目で見られること』で 62.5%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑥性別確認の仕方や診察室への呼び方など、医療機関などでの配慮が十分でないこと』で 19.9%と最も高く、次いで『⑤同性のパートナーとの婚姻関係が認められていないこと』で 16.6%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『④性的マイノリティに関する法律や制度が不十分であること』では、「思う」の割合が 12.5 ポイント減少しています。

また、『②就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること』でも、「思う」の割合が 12.3 ポイント減少しています。

これらをはじめ、すべての項目で「思う」の割合が減少しています。

【性別】

『⑤同性のパートナーとの婚姻関係が認められていないこと』での「思う」の割合は、女性が 49.7%に対し、男性は 32.9%と、女性が男性を 16.8 ポイント上回っています。

また、『⑦周囲の偏見や差別を恐れて、カミングアウトできないこと』でも「思う」の割合は、女性が 56.8%に対し、男性は 43.0%と、女性が男性を 13.8 ポイント上回っています。

【年齢別】

『⑦周囲の偏見や差別を恐れて、カミングアウトできないこと』での「思う」の割合は、18～29 歳が 68.3%と最も高く、70 歳以上は 35.7%と最も低くなっており、32.6 ポイントの差があります。

また、『③地域社会・職場・家庭・学校などで孤立や排除、いじめがあること』での「思う」の割合は、18～29 歳が 83.2%と最も高く、70 歳以上は 51.4%と最も低くなっており、31.8 ポイントの差があります。

			①世間から好奇又は偏見の目で見られること				②就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	62.5%	9.8%	25.6%	2.0%	57.8%	8.8%	30.3%	3.1%
R3 年度調査		975	69.8%	6.7%	21.0%	2.5%	70.1%	4.6%	22.9%	2.5%
性別	女性	511	68.3%	6.5%	23.9%	1.4%	62.2%	6.1%	29.2%	2.5%
	男性	435	57.0%	13.8%	26.9%	2.3%	54.3%	12.0%	30.6%	3.2%
年齢別	18～29 歳	101	71.3%	9.9%	18.8%	0.0%	69.3%	5.0%	23.8%	2.0%
	30 歳代	122	68.0%	10.7%	20.5%	0.8%	71.3%	6.6%	21.3%	0.8%
	40 歳代	139	74.1%	9.4%	15.8%	0.7%	70.5%	10.1%	18.0%	1.4%
	50 歳代	199	62.8%	12.6%	24.6%	0.0%	57.8%	11.6%	30.2%	0.5%
	60 歳代	146	59.6%	11.0%	28.8%	0.7%	54.8%	9.6%	34.2%	1.4%
	70 歳以上	249	53.0%	6.4%	34.5%	6.0%	43.4%	7.6%	41.0%	8.0%

			③地域社会・職場・家庭・学校などで孤立や排除、いじめがあること				④性的マイノリティに関する法律や制度が不十分であること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	67.6%	4.8%	25.1%	2.6%	51.0%	11.0%	35.7%	2.4%
R3 年度調査		975	75.2%	3.0%	19.0%	2.9%	63.5%	6.5%	27.3%	2.8%
性別	女性	511	72.4%	2.3%	23.1%	2.2%	56.9%	6.3%	35.0%	1.8%
	男性	435	63.7%	7.6%	26.2%	2.5%	45.3%	17.0%	35.2%	2.5%
年齢別	18～29 歳	101	83.2%	2.0%	14.9%	0.0%	59.4%	14.9%	25.7%	0.0%
	30 歳代	122	79.5%	4.9%	14.8%	0.8%	54.9%	17.2%	27.0%	0.8%
	40 歳代	139	75.5%	5.8%	16.5%	2.2%	61.9%	10.8%	25.9%	1.4%
	50 歳代	199	69.3%	5.0%	25.1%	0.5%	51.8%	10.6%	37.7%	0.0%
	60 歳代	146	68.5%	4.1%	26.0%	1.4%	44.5%	11.6%	43.2%	0.7%
	70 歳以上	249	51.4%	5.2%	36.9%	6.4%	44.2%	6.8%	42.2%	6.8%

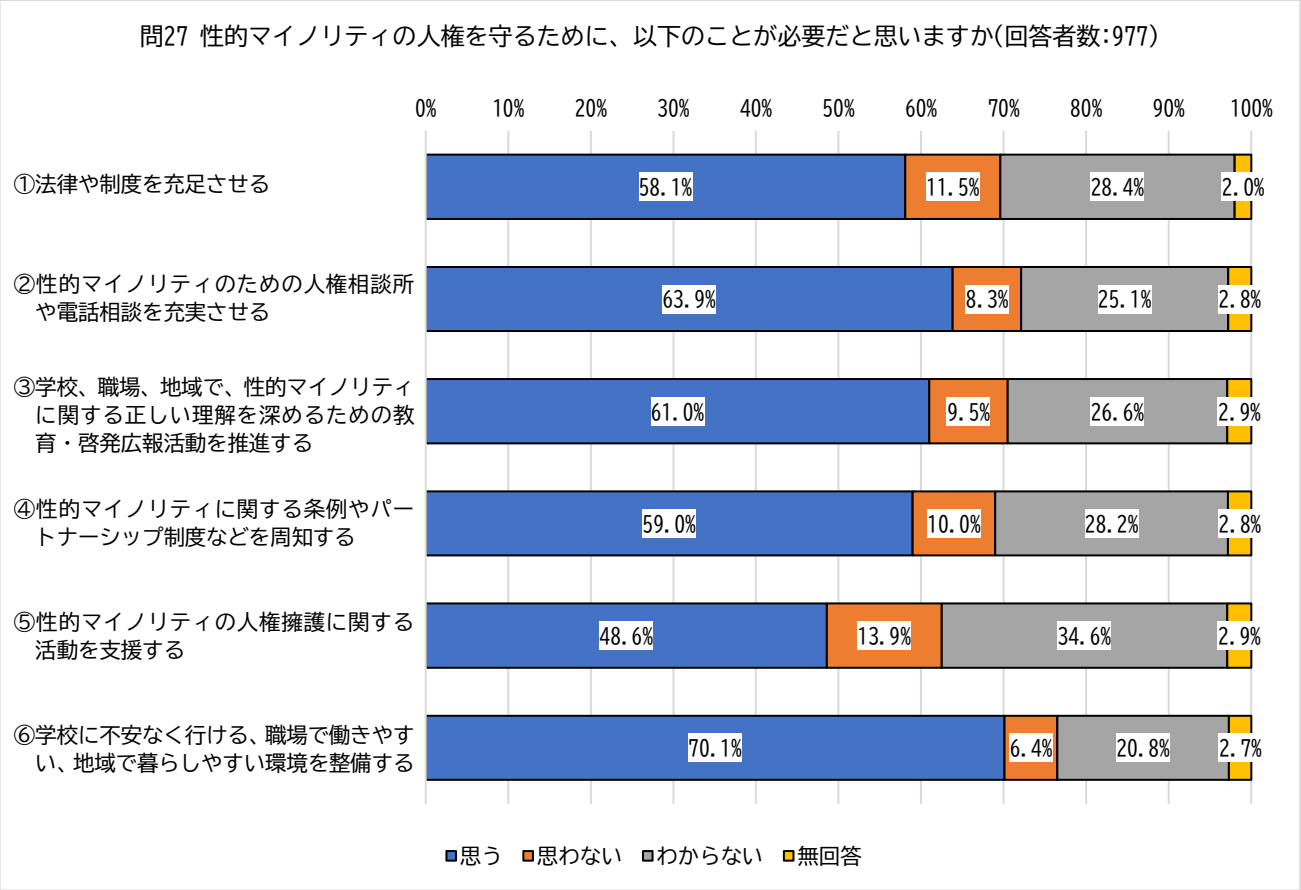
			⑤同性のパートナーとの婚姻関係が認められていないこと				⑥性別確認の仕方や診察室への呼び方など、医療機関などでの配慮が十分でないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	41.2%	16.6%	39.5%	2.7%	37.5%	19.9%	40.1%	2.6%
R3 年度調査		975	49.7%	14.2%	33.5%	2.6%	49.7%	11.1%	36.4%	2.8%
性別	女性	511	49.7%	10.0%	38.2%	2.2%	43.2%	17.2%	37.6%	2.0%
	男性	435	32.9%	24.8%	39.5%	2.8%	32.2%	23.9%	41.1%	2.8%
年齢別	18～29 歳	101	55.4%	13.9%	30.7%	0.0%	49.5%	22.8%	27.7%	0.0%
	30 歳代	122	47.5%	17.2%	33.6%	1.6%	42.6%	31.1%	25.4%	0.8%
	40 歳代	139	49.6%	16.5%	30.2%	3.6%	43.9%	20.9%	33.8%	1.4%
	50 歳代	199	47.2%	18.6%	34.2%	0.0%	38.2%	20.6%	40.7%	0.5%
	60 歳代	146	34.9%	18.5%	45.9%	0.7%	37.0%	19.2%	43.2%	0.7%
	70 歳以上	249	28.5%	15.3%	49.8%	6.4%	27.7%	13.7%	51.4%	7.2%

			⑦周囲の偏見や差別を恐れて、カミングアウトできないこと			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	49.5%	10.4%	37.4%	2.7%
R3 年度調査		975	59.7%	5.4%	31.8%	3.1%
性別	女性	511	56.8%	6.7%	34.2%	2.3%
	男性	435	43.0%	15.2%	39.3%	2.5%
年齢別	18～29 歳	101	68.3%	10.9%	20.8%	0.0%
	30 歳代	122	53.3%	13.1%	32.0%	1.6%
	40 歳代	139	61.9%	10.1%	26.6%	1.4%
	50 歳代	199	53.3%	9.0%	37.2%	0.5%
	60 歳代	146	44.5%	13.7%	41.1%	0.7%
	70 歳以上	249	35.7%	8.4%	48.6%	7.2%

問 27　性的マイノリティの人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『⑥学校に不安なく行ける、職場で働きやすい、地域で暮らしやすい環境を整備する』で 70.1%と最も高く、次いで『②性的マイノリティのための人権相談所や電話相談を充実させる』で 63.9%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑤性的マイノリティの人権擁護に関する活動を支援する』で 13.9%と最も高く、次いで『①法律や制度を充足させる』で 11.5%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、『①法律や制度を充足させる』では、「思う」の割合が 14.0 ポイント減少しています。

また、『⑤性的マイノリティの人権擁護に関する活動を支援する』でも、「思う」の割合が 11.9 ポイント減少しています。

これらをはじめ、すべての項目で「思う」の割合が減少しています。

【性別】

『⑤性的マイノリティの人権擁護に関する活動を支援する』での「思わない」の割合は、男性が 20.7%に対し、女性は 8.4%と、男性が女性を 12.3 ポイント上回っています。

また、『④性的マイノリティに関する条例やパートナーシップ制度などを周知する』でも「思わない」の割合は、男性が 16.3%に対し、女性は 4.7%と、男性が女性を 11.6 ポイント上回っています。

【年齢別】

『④性的マイノリティに関する条例やパートナーシップ制度などを周知する』での「思う」の割合は、18～29 歳が 74.3%と最も高く、70 歳以上は 43.4%と最も低くなっており、30.9 ポイントの差があります。

また、『②性的マイノリティのための人権相談所や電話相談を充実させる』でも「思う」の割合は、18～29 歳が 81.2%と最も高く、70 歳以上は 54.2%と最も低くなっており、27.0 ポイントの差があります。

			①法律や制度を充足させる				②性的マイノリティのための人権相談所や電話相談を充実させる			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	58.1%	11.5%	28.4%	2.0%	63.9%	8.3%	25.1%	2.8%
R3 年度調査		975	72.1%	5.4%	19.8%	2.7%	72.4%	4.7%	20.0%	2.9%
性別	女性	511	61.8%	6.5%	29.7%	2.0%	67.7%	3.9%	25.6%	2.7%
	男性	435	54.3%	17.7%	26.4%	1.6%	60.5%	13.3%	23.9%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	68.3%	11.9%	18.8%	1.0%	81.2%	7.9%	9.9%	1.0%
	30 歳代	122	57.4%	17.2%	23.8%	1.6%	64.8%	11.5%	20.5%	3.3%
	40 歳代	139	62.6%	12.9%	23.7%	0.7%	68.3%	9.4%	20.9%	1.4%
	50 歳代	199	57.8%	12.6%	29.1%	0.5%	61.8%	9.5%	28.1%	0.5%
	60 歳代	146	56.2%	13.0%	29.5%	1.4%	67.8%	8.2%	22.6%	1.4%
	70 歳以上	249	53.0%	6.4%	36.1%	4.4%	54.2%	5.6%	34.1%	6.0%

			③学校、職場、地域で、性的マイノリティに関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する				④性的マイノリティに関する条例やパートナーシップ制度などを周知する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	61.0%	9.5%	26.6%	2.9%	59.0%	10.0%	28.2%	2.8%
R3 年度調査		975	70.2%	5.4%	21.9%	2.5%	65.2%	5.4%	26.7%	2.7%
性別	女性	511	66.3%	4.7%	25.8%	3.1%	64.6%	4.7%	28.4%	2.3%
	男性	435	55.9%	15.4%	26.7%	2.1%	53.6%	16.3%	27.6%	2.5%
年齢別	18～29 歳	101	72.3%	9.9%	15.8%	2.0%	74.3%	8.9%	15.8%	1.0%
	30 歳代	122	69.7%	10.7%	18.0%	1.6%	65.6%	12.3%	19.7%	2.5%
	40 歳代	139	66.2%	9.4%	21.6%	2.9%	65.5%	10.1%	22.3%	2.2%
	50 歳代	199	63.8%	11.6%	24.6%	0.0%	64.3%	11.6%	24.1%	0.0%
	60 歳代	146	58.2%	9.6%	30.8%	1.4%	57.5%	11.6%	29.5%	1.4%
	70 歳以上	249	49.4%	7.6%	36.5%	6.4%	43.4%	7.6%	43.0%	6.0%

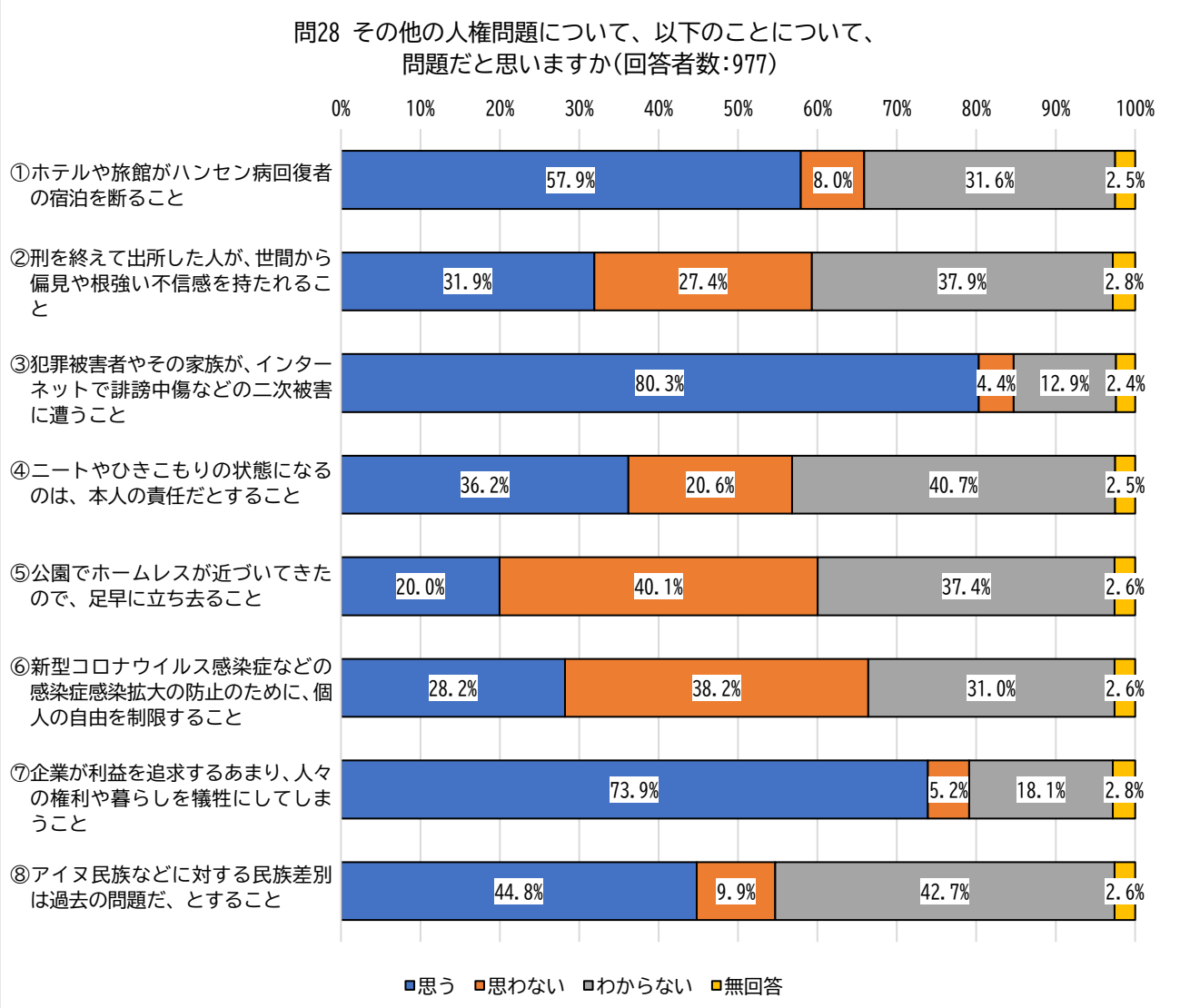
			⑤性的マイノリティの人権擁護に関する活動を支援する				⑥学校に不安なく行ける、職場で働きやすい、地域で暮らしやすい環境を整備する			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	48.6%	13.9%	34.6%	2.9%	70.1%	6.4%	20.8%	2.7%
R3 年度調査		975	60.5%	6.6%	30.3%	2.7%	77.2%	4.0%	16.3%	2.5%
性別	女性	511	52.8%	8.4%	36.0%	2.7%	75.3%	2.9%	19.4%	2.3%
	男性	435	43.7%	20.7%	33.1%	2.5%	65.1%	10.3%	22.1%	2.5%
年齢別	18～29 歳	101	62.4%	13.9%	20.8%	3.0%	78.2%	5.9%	12.9%	3.0%
	30 歳代	122	59.8%	15.6%	23.0%	1.6%	73.0%	9.8%	16.4%	0.8%
	40 歳代	139	56.1%	13.7%	28.8%	1.4%	76.3%	4.3%	16.5%	2.9%
	50 歳代	199	46.2%	19.6%	33.7%	0.5%	71.9%	8.0%	20.1%	0.0%
	60 歳代	146	41.8%	17.1%	39.7%	1.4%	69.9%	6.8%	21.9%	1.4%
	70 歳以上	249	38.6%	7.6%	47.4%	6.4%	61.4%	4.4%	28.5%	5.6%

（9）　その他の人権問題について

問 28　その他の人権問題について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

「思う」の割合は、『③犯罪被害者やその家族が、インターネットで誹謗中傷などの二次被害に遭うこと』で 80.3%と最も高く、次いで『⑦企業が利益を追求するあまり、人々の権利や暮らしを犠牲にしてしまうこと』で 73.9%となっています。

一方、「思わない」の割合は『⑤公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去ること』で 40.1%と最も高く、次いで『⑥新型コロナウイルス感染症などの感染症感染拡大の防止のために、個人の自由を制限すること』で 38.2%となっています。



【性別】

大きな差異はみられません。

【年齢別】

『①ホテルや旅館がハンセン病回復者の宿泊を断ること』での「思う」の割合は、50 歳代が 65.8%と最も高く、18～29 歳は 47.5%と最も低くなっており、18.3 ポイントの差があります。

『②刑を終えて出所した人が、世間から偏見や根強い不信感を持たれること』での「思う」の割合は、70 歳以上が 47.4%と最も高く、30 歳代は 20.5%と最も低くなっており、26.9 ポイントの差があります。

『③犯罪被害者やその家族が、インターネットで誹謗中傷などの二次被害に遭うこと』での「思う」の割合は、50 歳代が 88.4%と最も高く、70 歳以上は 73.1%と最も低くなっており、15.3 ポイントの差があります。

『⑤公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去ること』での「思わない」の割合は、30 歳代、50 歳代がともに 49.2%と最も高く、70 歳以上は 28.5%と最も低くなっており、20.7 ポイントの差があります。

『⑦企業が利益を追求するあまり、人々の権利や暮らしを犠牲にしてしまうこと』での「思う」の割合は、50 歳代が 80.4%と最も高く、70 歳以上は 64.3%と最も低くなっており、16.1 ポイントの差があります。

『⑧アイヌ民族などに対する民族差別は過去の問題だ、とすること』での「思う」の割合は、18～29 歳が 38.6%と最も高く、50 歳代は 23.1%と最も低くなっており、15.5 ポイントの差があります。

			①ホテルや旅館がハンセン病回復者の宿泊を断ること				②刑を終えて出所した人が、世間から偏見や根強い不信感を持たれること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	57.9%	8.0%	31.6%	2.5%	31.9%	27.4%	37.9%	2.8%
性別	女性	511	56.0%	7.2%	34.1%	2.7%	30.9%	25.2%	40.9%	2.9%
	男性	435	61.1%	9.0%	28.3%	1.6%	33.1%	31.5%	33.6%	1.8%
年齢別	18～29 歳	101	47.5%	13.9%	36.6%	2.0%	22.8%	46.5%	29.7%	1.0%
	30 歳代	122	53.3%	9.8%	36.1%	0.8%	20.5%	45.9%	32.8%	0.8%
	40 歳代	139	54.7%	11.5%	33.1%	0.7%	20.9%	36.0%	41.7%	1.4%
	50 歳代	199	65.8%	7.0%	26.6%	0.5%	31.2%	29.1%	39.2%	0.5%
	60 歳代	146	63.7%	2.7%	30.8%	2.7%	32.2%	17.8%	47.3%	2.7%
	70 歳以上	249	57.4%	6.4%	30.9%	5.2%	47.4%	12.0%	34.5%	6.0%

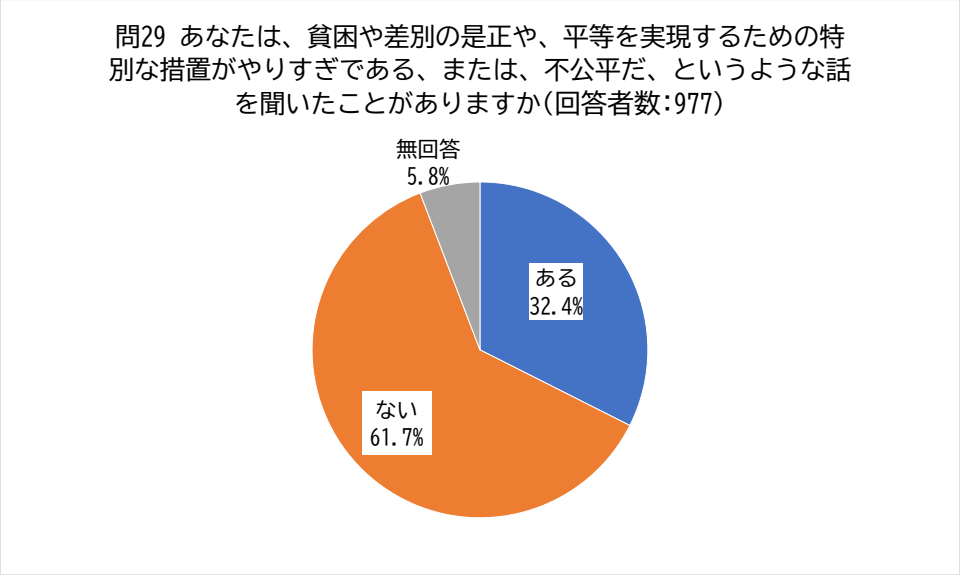
			③犯罪被害者やその家族が、インターネットで誹謗中傷などの二次被害に遭うこと				④ニートやひきこもりの状態になるのは、本人の責任だとすること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	80.3%	4.4%	12.9%	2.4%	36.2%	20.6%	40.7%	2.5%
性別	女性	511	80.8%	4.5%	12.3%	2.3%	36.8%	18.4%	42.7%	2.2%
	男性	435	81.1%	4.6%	12.4%	1.8%	35.9%	23.4%	38.4%	2.3%
年齢別	18～29 歳	101	79.2%	6.9%	12.9%	1.0%	37.6%	23.8%	35.6%	3.0%
	30 歳代	122	79.5%	4.1%	14.8%	1.6%	35.2%	18.9%	44.3%	1.6%
	40 歳代	139	83.5%	5.0%	10.1%	1.4%	38.8%	20.1%	40.3%	0.7%
	50 歳代	199	88.4%	3.5%	7.5%	0.5%	39.7%	22.1%	37.7%	0.5%
	60 歳代	146	82.9%	2.7%	12.3%	2.1%	35.6%	16.4%	45.9%	2.1%
	70 歳以上	249	73.1%	5.2%	16.9%	4.8%	32.1%	21.7%	41.4%	4.8%

			⑤公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去ること				⑥新型コロナウイルス感染症などの感染症感染拡大の防止のために、個人の自由を制限すること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	20.0%	40.1%	37.4%	2.6%	28.2%	38.2%	31.0%	2.6%
性別	女性	511	18.0%	40.1%	39.5%	2.3%	24.3%	37.6%	36.0%	2.2%
	男性	435	21.4%	41.8%	34.5%	2.3%	32.4%	40.7%	24.8%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	21.8%	47.5%	29.7%	1.0%	38.6%	38.6%	21.8%	1.0%
	30 歳代	122	13.9%	49.2%	35.2%	1.6%	27.0%	41.8%	30.3%	0.8%
	40 歳代	139	20.1%	40.3%	37.4%	2.2%	24.5%	42.4%	31.7%	1.4%
	50 歳代	199	15.1%	49.2%	35.7%	0.0%	23.1%	43.2%	33.2%	0.5%
	60 歳代	146	18.5%	37.7%	41.8%	2.1%	25.3%	40.4%	32.2%	2.1%
	70 歳以上	249	25.3%	28.5%	40.6%	5.6%	31.7%	30.5%	32.5%	5.2%

			⑦企業が利益を追求するあまり、人々の権利や暮らしを犠牲にしてしまうこと				⑧アイヌ民族などに対する民族差別は過去の問題だ、とすること			
		回答者数	思う	思わない	わからない	無回答	思う	思わない	わからない	無回答
全体		977	73.9%	5.2%	18.1%	2.8%	28.2%	38.2%	31.0%	2.6%
性別	女性	511	75.3%	3.9%	18.0%	2.7%	24.3%	37.6%	36.0%	2.2%
	男性	435	73.6%	6.7%	17.5%	2.3%	32.4%	40.7%	24.8%	2.1%
年齢別	18～29 歳	101	76.2%	6.9%	15.8%	1.0%	38.6%	38.6%	21.8%	1.0%
	30 歳代	122	75.4%	6.6%	16.4%	1.6%	27.0%	41.8%	30.3%	0.8%
	40 歳代	139	79.9%	3.6%	15.1%	1.4%	24.5%	42.4%	31.7%	1.4%
	50 歳代	199	80.4%	4.0%	14.6%	1.0%	23.1%	43.2%	33.2%	0.5%
	60 歳代	146	75.3%	3.4%	19.2%	2.1%	25.3%	40.4%	32.2%	2.1%
	70 歳以上	249	64.3%	6.8%	22.9%	6.0%	31.7%	30.5%	32.5%	5.2%

問 29　あなたは、貧困や差別の是正や、平等を実現するための特別な措置がやりすぎである、または、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。

「ある」の割合が 32.4%、「ない」の割合が 61.7%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

大きな差異はみられません。

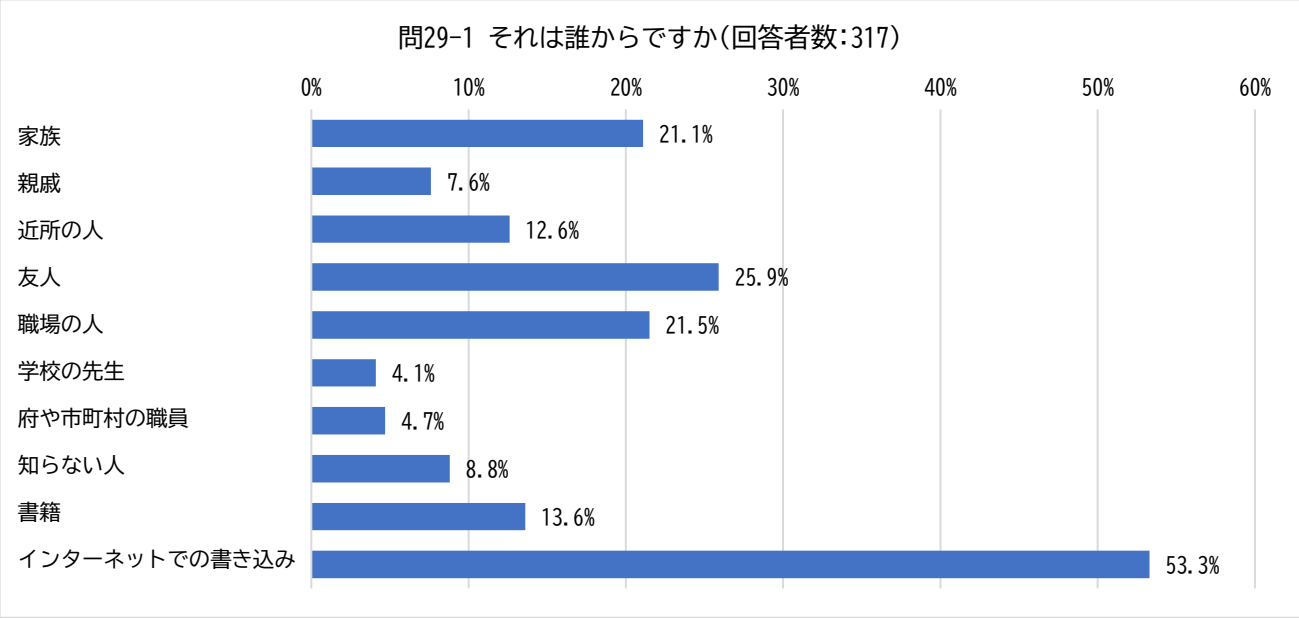
【年齢別】

「ない」の割合は、30 歳代が 70.5%と最も高く、50 歳代 58.3%と最も低くなっており、12.2 ポイントの差があります。

		回答者数	ある	ない	無回答
全体		977	32.4%	61.7%	5.8%
R3 年度調査		975	33.0%	62.9%	4.1%
性別	女性	511	31.3%	64.8%	3.9%
	男性	435	35.2%	61.1%	3.7%
年齢別	18～29 歳	101	32.7%	65.3%	2.0%
	30 歳代	122	28.7%	70.5%	0.8%
	40 歳代	139	31.7%	64.7%	3.6%
	50 歳代	199	40.2%	58.3%	1.5%
	60 歳代	146	37.0%	59.6%	3.4%
	70 歳以上	249	28.1%	63.1%	8.8%

問 29 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。
問 29－1 それは誰からですか。(○はいくつでも)

「インターネット(SNSなどを含む)での書き込み」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が 25.9%、「職場の人」の割合が 21.5%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、「インターネット(SNSなどを含む)での書き込み」が 12.6 ポイント増加しています。

【性別】

「職場の人」の割合は男性が 26.1%に対し、女性は 16.9%と、男性が女性を 9.2 ポイント上回っています。

【年齢別】

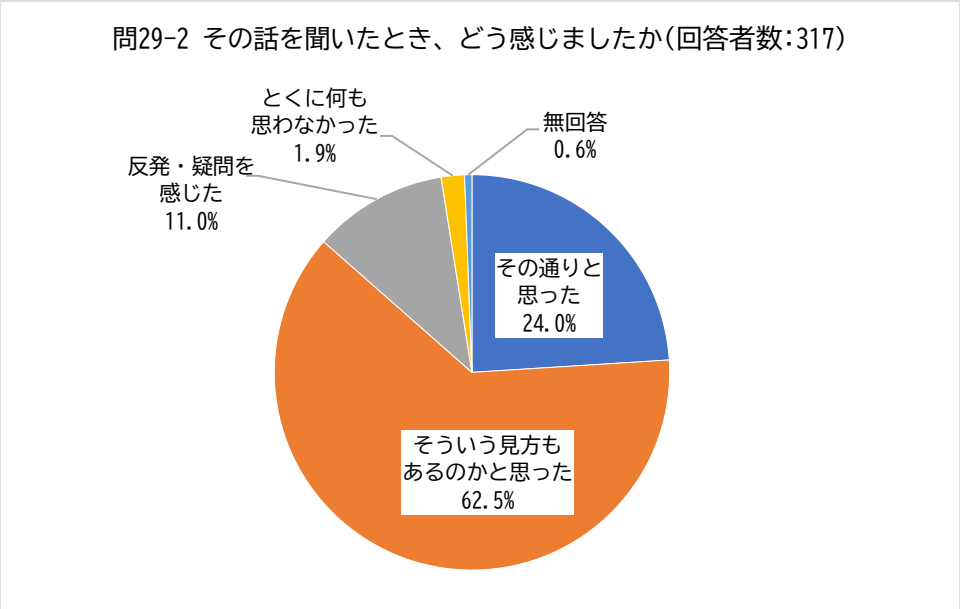
「インターネット(SNSなどを含む)での書き込み」の割合は、18～29 歳が 84.8%と最も高く、70 歳以上が 28.6%と最も低くなっており、56.2 ポイントの差があります。

また、「職場の人」の割合は、60 歳代が 27.8%と最も高く、18～29 歳が 3.0%と最も低くなっており、24.8 ポイントの差があります。

		回答者数	家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	府や市町村の職員	知らない人	書籍	インターネットでの書き込み
全体		317	21.1%	7.6%	12.6%	25.9%	21.5%	4.1%	4.7%	8.8%	13.6%	53.3%
R3 年度調査		322	18.3%	5.6%	10.2%	26.7%	23.3%	4.0%	2.2%	7.8%	11.5%	40.7%
性別	女性	160	22.5%	6.3%	12.5%	26.3%	16.9%	2.5%	2.5%	8.1%	8.8%	53.8%
	男性	153	19.0%	7.8%	12.4%	25.5%	26.1%	5.2%	6.5%	9.8%	17.6%	52.9%
年齢別	18～29 歳	33	18.2%	3.0%	0.0%	18.2%	3.0%	6.1%	6.1%	15.2%	9.1%	84.8%
	30 歳代	35	22.9%	14.3%	5.7%	28.6%	20.0%	8.6%	2.9%	11.4%	8.6%	82.9%
	40 歳代	44	27.3%	2.3%	11.4%	20.5%	20.5%	0.0%	2.3%	11.4%	11.4%	65.9%
	50 歳代	80	22.5%	6.3%	16.3%	26.3%	26.3%	2.5%	3.8%	7.5%	8.8%	50.0%
	60 歳代	54	20.4%	9.3%	11.1%	27.8%	27.8%	5.6%	5.6%	9.3%	18.5%	42.6%
	70 歳以上	70	17.1%	10.0%	20.0%	30.0%	21.4%	4.3%	7.1%	4.3%	21.4%	28.6%

問 29－2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(あてはまるもの1つに○)

「そういう見方もあるのかと思った」の割合が 62.5%と最も高く、次いで「その通りと思った」の割合が 24.0%、「反発・疑問を感じた」の割合が 11.0%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

【年齢別】

「そういう見方もあるのかと思った」の割合は、60 歳代が 68.5%と最も高く、18～29 歳が 45.5%と最も低くなっており、23.0 ポイントの差があります。

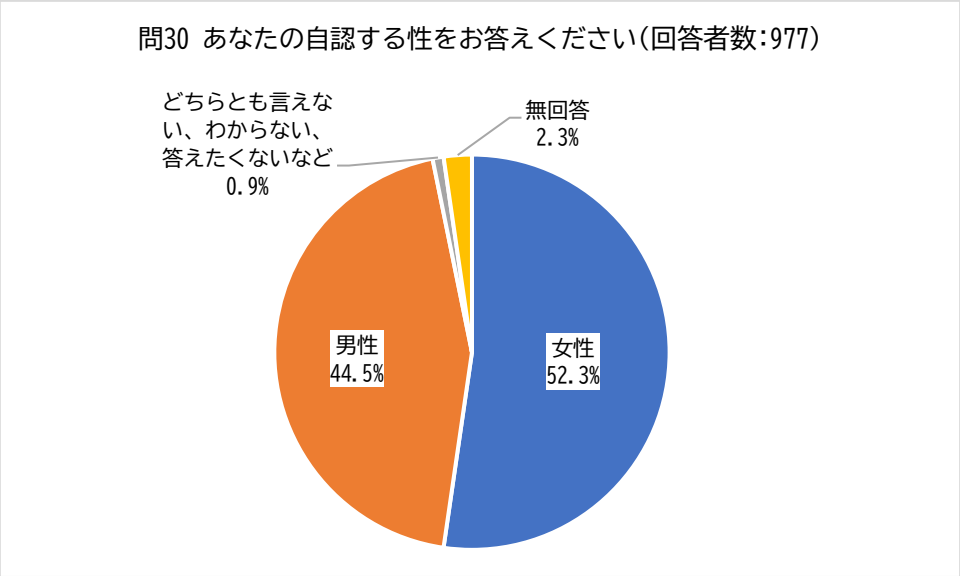
また、「反発・疑問を感じた」の割合は、70 歳以上が 21.4%と最も高く、40 歳代が 0.0%と最も低くなっており、21.4 ポイントの差があります。

		回答者数	その通りと思った	そういう見方もあるのかと思った	反発・疑問を感じた	とくに何も思わなかった	無回答
全体		317	24.0%	62.5%	11.0%	1.9%	0.6%
R3 年度調査		322	23.9%	59.9%	13.0%	1.6%	1.6%
性別	女性	160	22.5%	61.9%	13.1%	1.9%	0.6%
	男性	153	24.8%	64.1%	9.2%	2.0%	0.0%
年齢別	18～29 歳	33	30.3%	45.5%	18.2%	6.1%	0.0%
	30 歳代	35	28.6%	65.7%	5.7%	0.0%	0.0%
	40 歳代	44	34.1%	63.6%	0.0%	2.3%	0.0%
	50 歳代	80	21.3%	67.5%	8.8%	2.5%	0.0%
	60 歳代	54	20.4%	68.5%	9.3%	0.0%	1.9%
	70 歳以上	70	17.1%	58.6%	21.4%	1.4%	1.4%

3. あなたご自身のことについて

問 30 あなたの自認する性をお答えください。

「女性」の割合が 52.3%、「男性」の割合が 44.5%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

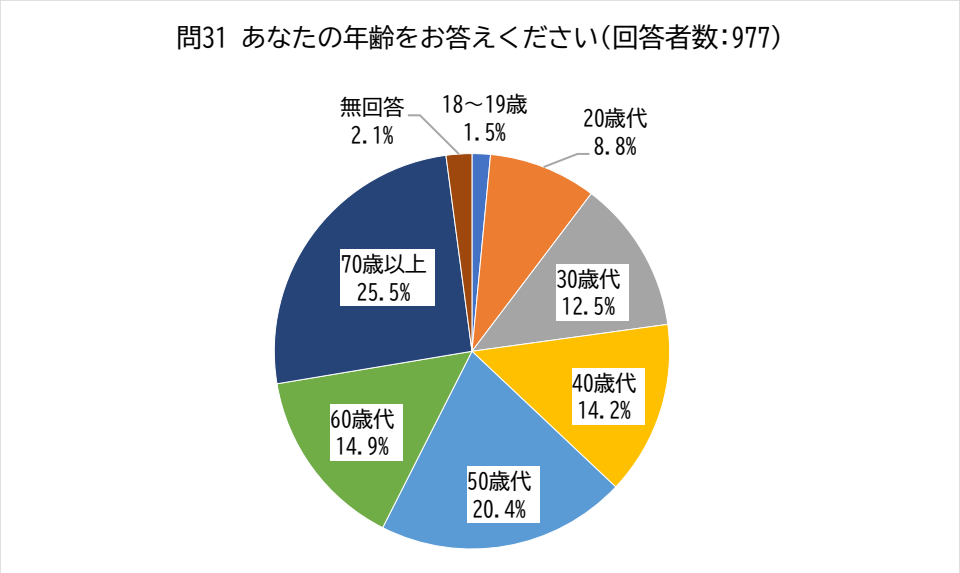
【年齢別】

18～29 歳は「男性」の割合が高く、30 歳以上は「女性」の割合が高くなっています。

		回答者数	女性	男性	どちらとも言えない、わからない、答えたくないなど	無回答
全体		977	52.3%	44.5%	0.9%	2.3%
R3 年度調査		975	57.0%	41.4%	0.9%	0.6%
年齢別	18～29 歳	101	48.5%	51.5%	0.0%	0.0%
	30 歳代	122	55.7%	42.6%	1.6%	0.0%
	40 歳代	139	60.4%	38.8%	0.7%	0.0%
	50 歳代	199	53.3%	45.7%	1.0%	0.0%
	60 歳代	146	53.4%	46.6%	0.0%	0.0%
	70 歳以上	249	50.6%	47.4%	1.6%	0.4%

問 31 あなたの年齢をお答えください。

「70 歳以上」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「50 歳代」の割合が 20.4%、「60 歳代」の割合が 14.9%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

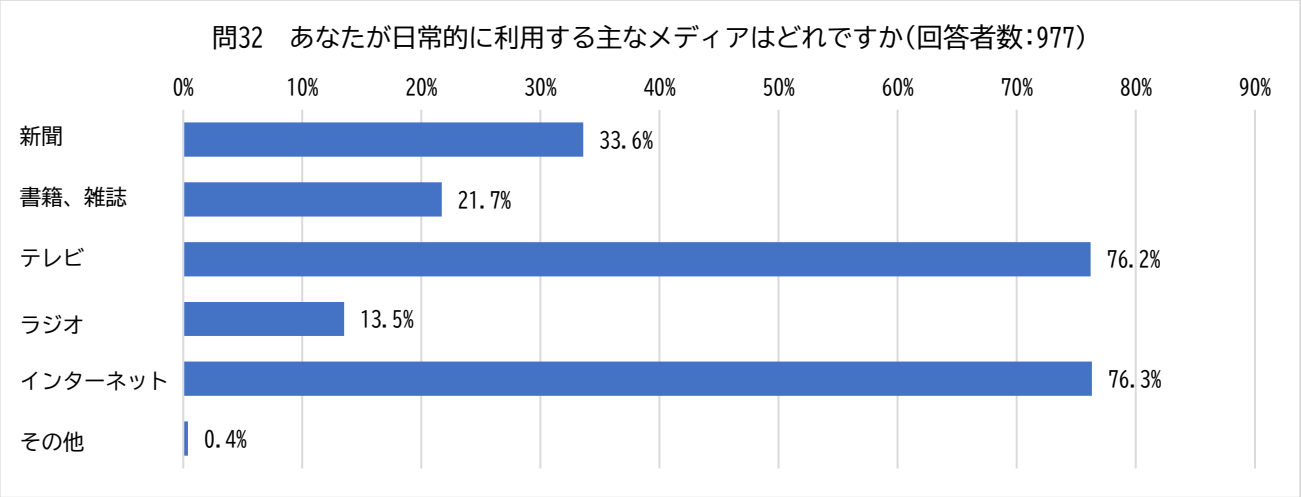
【性別】

男性、女性ともに 70 歳以上の割合が高くなっています。

		回答者数	18～19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	無回答
全体		977	1.5%	8.8%	12.5%	14.2%	20.4%	14.9%	25.5%	2.1%
R3 年度調査		975	1.7%	9.7%	12.9%	17.2%	16.4%	15.2%	26.6%	0.2%
性別	女性	511	1.2%	8.4%	13.3%	16.4%	20.7%	15.3%	24.7%	0.0%
	男性	435	2.1%	9.9%	12.0%	12.4%	20.9%	15.6%	27.1%	0.0%

問 32　あなたが日常的に利用する主なメディアはどれですか。（○はいくつでも）

「インターネット（SNS（LINE、X、Facebook など、YouTube など）を含む）」の割合が 76.3%と最も高く、次いで「テレビ」の割合が 76.2%、「新聞」の割合が 33.6%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、「新聞」の割合が 9.9 ポイント減少しています。

【性別】

女性は「テレビ」の割合が 79.1%、男性は「インターネット（SNS（LINE、X、Facebook など）、YouTube などを含む）」の割合が 81.4%と最も高くなっています。

【年齢別】

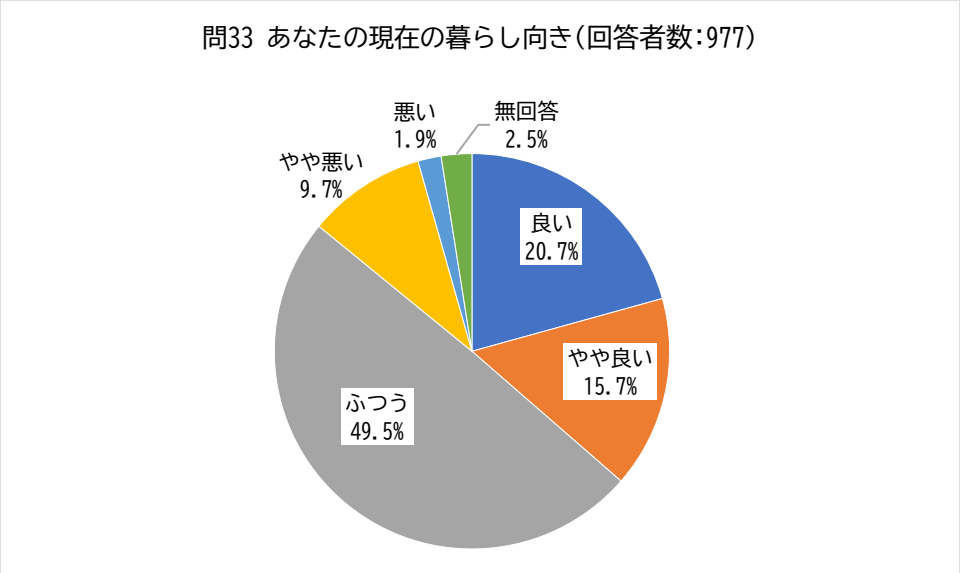
50 歳以下は「インターネット（SNS（LINE、X、Facebook など、YouTube などを含む」の割合が高く、60 歳以上が「テレビ」の割合が高くなっています。

また、「新聞」の割合は 70 歳以上が 74.3%と最も高く、30 歳代は 4.9%と最も低くなっており、69.4 ポイントの差があります。

		回答者数	新聞	書籍、雑誌	テレビ	ラジオ	インターネット	その他
全体		977	33.6%	21.7%	76.2%	13.5%	76.3%	0.4%
R3 年度調査		975	43.5%	22.6%	81.7%	16.2%	73.4%	0.2%
性別	女性	511	32.1%	21.1%	79.1%	11.2%	75.3%	0.6%
	男性	435	36.6%	23.0%	76.1%	16.6%	81.4%	0.2%
年齢別	18～29 歳	101	5.0%	17.8%	52.5%	5.0%	98.0%	1.0%
	30 歳代	122	4.9%	13.9%	58.2%	7.4%	97.5%	0.8%
	40 歳代	139	15.1%	12.9%	71.9%	9.4%	97.8%	0.7%
	50 歳代	199	28.6%	21.1%	79.4%	11.6%	88.4%	0.0%
	60 歳代	146	37.0%	21.2%	88.4%	17.8%	80.8%	0.0%
	70 歳以上	249	74.3%	34.1%	93.6%	22.5%	38.6%	0.4%

問 33 あなたの現在の暮らし向きはどれにあてはまりますか。(あてはまるもの1つに○)

「良い」と「やや良い」を合わせた“良い”の割合が 36.4%、「ふつう」の割合が 49.5%、「やや悪い」と「悪い」を合わせた“悪い”の割合が 11.6%となっています。



【経年変化】

令和3年度調査と比べると、大きな差異はみられません。

【性別】

大きな差異はみられません。

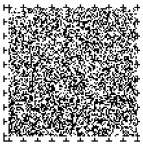
【年齢別集計】

18～29 歳は「良い」の割合が高く、30 歳以上は「ふつう」の割合が高くなっています。

“良い”の割合は、18～29 歳が 66.4%、30 歳代が 54.9%、40 歳代が 45.3%、50 歳代が 31.2%、60 歳代が 28.1%、70 歳以上が 22.1%と、年齢層が上がるにつれて減少しています。

また、“良い”の割合が最も高い 18～29 歳と、最も低い 70 歳以上の差は 44.3 ポイントとなっています。

		回答者数	良い	やや良い	ふつう	やや悪い	悪い	無回答
全体		977	20.7%	15.7%	49.5%	9.7%	1.9%	2.5%
R3 年度調査		975	20.0%	16.1%	50.9%	9.4%	2.7%	0.9%
性別	女性	511	20.5%	17.0%	51.3%	9.8%	1.2%	0.2%
	男性	435	22.3%	15.2%	49.2%	9.9%	3.0%	0.5%
年齢別	18～29 歳	101	44.6%	21.8%	26.7%	5.9%	1.0%	0.0%
	30 歳代	122	31.1%	23.8%	37.7%	7.4%	0.0%	0.0%
	40 歳代	139	21.6%	23.7%	43.9%	10.1%	0.7%	0.0%
	50 歳代	199	17.1%	14.1%	57.3%	9.0%	2.5%	0.0%
	60 歳代	146	15.8%	12.3%	58.2%	10.3%	2.1%	1.4%
	70 歳以上	249	12.9%	9.2%	60.6%	13.3%	3.6%	0.4%

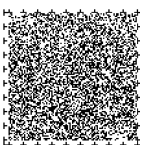


4. 人権問題に関する自由意見

問 34　あなたが関心を持っている人権問題の解決に向けて、やってみたいことや、できそうなことがあれば、ご自由にお書きください。

有効回答数 977 票中 161 件の回答がありました。意見要望の多いものを以下に掲載します。
（1票の中に複数の項目にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 161 件より多くなっています。）

	分類回答	件数
1	こどもの権利保護と困難を抱える家庭への支援（ヤングケアラー等）	37
2	行政・制度への具体的要望と情報発信の強化	36
3	教育現場の課題と教員の質・人権教育への要望	29
4	障害者の自立支援と合理的配慮	23
5	個人の心構えと日常の行動（声かけ・寄り添い）	19
6	アンケートの意義（内省の機会）と実施方法（項目数等）への意見	19
7	外国人の受け入れと日本の習慣・マナーへの適応の必要性	17
8	ジェンダー平等と多様な生き方への理解（性的マイノリティ、選択的夫婦別姓等）	17
9	労働環境の改善と雇用形態・立場による格差是正	12
10	高齢者の孤立防止と社会とのつながり維持	11
11	部落問題（同和問題）の現状認識	10
12	社会保障の公平性と不正受給・「逆差別」への懸念	7
13	特定の公的機関（警察・学校等）に対する具体的な不満・体験談	7
14	ネット・SNS 社会における誹謗中傷への警鐘と利用マナー	3
15	その他（自身の健康不安、平和への願い、一般的な社会論等）	70
	合計	317



5. 調査結果についての考察

(1) 人権問題や差別についての考え方に関する課題

① 差別に対する基本認識と意識の二極化

差別解消に向けた市民の意識は高く、以下の項目が多くの支持を得ています。

- 「一人ひとりが人権を自分事で考えることが必要だ」(問 1⑧) 88.5%
- 「無関心な層への理解促進が必要だ」(問 1③) 85.1%

また、責任の所在についても「差別される側に問題がある」(問 1④)は 62.9%が否定、「差別される側の努力が必要だ」(問 1②)も 60.3%が否定と、個人の資質の問題ではないと捉える傾向が見られます。

また、令和 3 年度調査と比較して「格差解消への行政支援の必要性」(問 1⑦)を感じるという回答が 8.1 ポイント増加しており、人権問題の解決において「公助」が果たすべき役割への期待が高まっていることがうかがえます。

一方で、40 歳代の 81.3%が「どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ」(問 1⑥)と回答するなど、従来の差別解消に向けた取組の効果に悲観的な意見も見られます。

② 人権課題の認知と関心の乖離(ポートフォリオ分析)

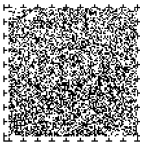
「認知度」と「関心度」の 2 軸の相関関係を分析した結果は以下のようになりました。

タイプ	意識の傾向	該当する主な項目
タイプ B	高認知・高関心	こども、高齢者、ハラスメント、インターネット
タイプ C	低認知・低関心	外国人、性的マイノリティ、犯罪被害者
タイプ D	高認知・低関心	部落差別(同和問題)
タイプ A	低認知・高関心	こころの病、職業・雇用、企業活動

最も懸念されるのはタイプ C(低認知・低関心)です。外国人や性的マイノリティといった人権課題は市民の意識に上りにくく、後述する相談窓口の認知度不足と相まって、これらの人々が孤立するリスクを内包しています。

一方、タイプ D に該当する部落差別は認知度が高いものの関心が低いという、典型的な「風化」の傾向が見られます。

これに対し、18～19 歳の若年層は性的マイノリティやインターネット上の人権への関心が平均より高く、全属性の中で最も認知・関心ともに高いスコアを記録しています。



③　制度・相談窓口の認知不足という構造的課題

人権を守るための法的枠組みや相談窓口の浸透状況は、かなり低い水準にあります。

法律・条例の認知度（問3）において、「内容まで知っている」と回答した割合は、大半の項目で 1 割未満となっています。最も認知されている「こども基本法」でも 10.7％に留まっています。

さらに深刻なのが救済手段へのアクセスです。市民の 6 割以上が相談窓口（問3）を「知らない」と回答しており、特に「外国人総合相談窓口」の内容を知っている割合は、窓口の開設後 1 年ということもありますが、わずか 1.7％です。これはタイプ C（低認知、低関心）の課題が「相談先が知られていないから相談されない、相談されないから問題が見えない」という悪循環に陥っている可能性があることを示しています。「権利を守る手段を知らない」という状況は、潜在的な人権侵害を深刻化させる大きな要因であり、より効果的な情報伝達方法が必要です。

④　人権学習経験の現状と世代間ギャップ

学習経験の有無（問4）を分析すると、人権学習の経緯と課題が見えてきます。

部落差別（同和問題）については、40 歳代の学習経験（小・中学校）が 71.9％に達しており、過去の同和教育の結果が表れています。しかし、その学習経験が現在の「低い関心（タイプ D）」に留まっていることは、継続的な教育や啓発が必要であることを示唆しています。

対照的に、若年層（18～29 歳）は学校教育を通じて「性的マイノリティ（高校・大学）54.5％」「インターネット上の人権（高校・大学）57.4％」を学んでおり、世代間で「学んだ人権課題」のテーマが異なっています。

学習経験全体が希薄な傾向にある中で、「インターネット」や「性的マイノリティ」については、成人後の「職場研修」が主要な情報源となっています。企業との連携による人権教育は、学校教育の機会を逃した世代に対する効果的な取組と言えます。

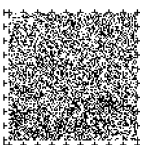
⑤　社会的忌避意識と居住・結婚における差別要因

理念としての「人権尊重」に賛成しながらも、実生活での重大な場面では根強い忌避意識が働いている傾向が見られます。

住居選択（問 5）において、5 割以上の市民が「外国籍の住民」（54.9％）や「入国者収容所」（54.6％）の近隣を避けると回答しています。

忌避の理由（問 6）として挙げられたのは、「治安への不安」（73.5％）や「生活文化の違い・トラブル」（58.4％）です。客観的根拠のない「なんとなくの不安」が、排除を正当化する心理的要因となっている可能性があります。

結婚相手を考える際（問 7）に関しても、「人柄」（87.5％）が重視される一方で、「相手や家族の宗教」（44.2％）や「同和地区出身」（20.3％）が依然として気になる項目として挙がっています。特に宗教については前回調査から大幅に増加しており、社会情勢を反映した新たな忌避意識の形成が懸念されます。



⑥　人権侵害の発生状況と相談支援体制の課題

過去 5 年間に人権を侵害された経験（問9）があると回答した人は 9.5％に上ります。

被害内容は「悪口・噂話」や「職場の不当扱い」が多く、対応としては「家族・友人」や「職場の上司・同僚」など身近な人に相談した割合が高くなっています。一方で、市などの相談機関へ相談した割合は非常に低く、「何もしなかった」人も 21.5％いました。これは相談支援体制が十分に機能していないことを表しています。その結果が二次被害を生んでいる可能性も否定できないことから、相談支援体制の機能充実の検討が必要です。

（2）さまざまな人権課題について

①　女性の人権

女性の人権については、深刻な人権侵害に対する関心の高さと、社会構造に根ざした課題に対する意識の風化という二面性が見られました。

注視すべきは、家族制度や社会慣習に関する意識の変容です。夫婦別姓が認められないこと（問11⑤）を「問題と思わない」が「問題と思う」をわずかに上回りました。令和3年度調査では「問題と思う」が「問題と思わない」を大きく上回っており、意識の変化が見られます。

また、「男は仕事、女は家庭」（問 11①）という固定観念を「問題と思わない」とする割合は 28.7％ですが、70 歳以上（40.6％）と 40 歳代（18.7％）の間には 21.9 ポイントもの開きがあり、世代間の価値観の隔たりが見られます。

職場における男女格差（問 11③）を「問題だと思う」とする回答は、前回調査から 12.8 ポイントも減少しました。これは女性の社会進出や法整備が進んだことによる「改善実感」とも取れますが、「目に見えない格差」が常態化し、問題意識が鈍ってしまっている可能性もあります。「職場における女性登用の数値目標」（問 12③）への反対意見（21.6％）もあり、意識改革への取組が必要です。

② こどもの人権

こどもの人権については、身体的・心理的な安全への関心は高いものの、こどもの「主体性」や「自己決定権」の尊重については、依然として大きな課題が残されています。

暴力や虐待（問 13③）の 94.3%、いじめ（問 13①）の 92.7%が問題だとする危機感は、全調査項目の中でも際立って多くなっています。一方、保護者が進路を決めてしまうこと（問 13④）を問題とする認識は 67.5%と、暴力や虐待（問 13③）に比べ 26.8 ポイント低くなっています。これは「こどもの権利条約」が掲げる「意見表明権」や「自己決定権」の浸透が不十分であることを示唆しています。

相談体制の充実（問 14①）を求める声は 87.3%に上っています。市民にとって「利用しやすい」相談窓口の整備と周知の強化が必要です。

③ 高齢者の人権

悪徳商法（問 15④）が問題だとする 89.0%や孤立が増えること（問 15⑦）が問題だとする 80.0%などの現状は、高齢者の QOL（生活の質）を著しく低下させています。特に「住宅入居における不利な扱い」（問 15③）は深刻です。60 歳代の 80.8%がこれを問題視しており高齢者の「住まいの確保」という基本的人権が阻害されている実態が明らかになりました。

高齢者虐待（問 15⑤）について、30 歳代の 82.0%が「増えていることが問題」と回答する一方、70 歳以上では 54.6%に留まっています。このギャップは、高齢者世代が「家族介護でお世話になっている」から、多少の行き過ぎを「虐待」と認識しない、あるいは顕在化させたくないという心理的バイアスが働いている可能性を示唆しています。これは虐待の早期発見を阻む深刻な障壁であり、公的介護を充実する中で、家族の介護負担を軽減していくことが課題となっています。

④ 障害者の人権

ハード・ソフト両面のバリアフリー不足と、災害時の安全確保が喫緊の課題です。

「道路の段差解消やエレベーター設置などの環境整備が十分でない」（問 17①）と考える人が 78.8%に達しており、物理的な障壁が依然として大きな課題です。

「差別的な発言や行動を受けること」（問 17⑤）を問題視する声は 77.8%と多く、心のバリアフリーも十分ではありません。また、「障害者に対する災害時の情報提供が十分でない」（問 17⑨）という認識が 67.5%に達しており、命に関わる安全確保の体制づくりが求められています。

障害者に対する合理的配慮（問 18⑧）が必要だとする認識は 71.6%と多くなっていますが、自由記述では「機材が使いにくい」「公的書類の配慮不足」といった具体的な不満も挙がっています。

⑤　部落差別(同和問題)について

インターネット上での差別的な書き込みや、差別的な落書き・言動が高い割合で問題視されています。また、結婚や不動産購入時に同和地区を避けるといった忌避意識も依然として残っています。

「そっとしておけば差別はなくなる」(問 21⑤)という考え方を否定する人は 34.3%に留まっており、差別解消に取り組むことなく、正しい知識による解決ではなく、見て見ぬふり(放置)をしたり、問題回避を望む意識が根強いことを示しています。

「同和地区の人は行政から優遇されている」(問 21⑦)という誤った認識(逆差別意識)について、「わからない」と答えた人が半数を超えており、実態が正しく理解されていない現状があります。また、40 歳代を中心に、同和問題を口実にした不当要求(えせ同和行為)(問 20⑦)に対する問題意識が高く、このような行為が差別解消を阻害する要因の一つとなっています。

⑥　外国人の人権

ヘイトスピーチやネット上の差別書き込み、および日本語能力不足による情報格差が大きな問題とされています。

一方、令和3年度調査と比較すると、「就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること」(問 22②)を問題視する意見が 24.3 ポイント減少していることをはじめ、外国人の人権問題に関する意識が全体的に低下しています。

また、対応策においても「外国人との交流を積極的に図り、多文化共生の実現に向けた取組をすすめる」(問23⑦)という意見が 19.1 ポイントも減少していることをはじめ、多文化共生に対する意欲も後退している傾向が見られます。

⑦　インターネットにおける人権

「闇バイトやオンラインカジノなど青少年が犯罪に巻き込まれること」(問24③)への懸念が 90.2%と多く、「SNS での誹謗中傷や差別的表現」(問24①)への問題意識も極めて高い状態です。また、「個人情報の流出」(問24⑤)や「リベンジポルノ」(問24⑧)への懸念も強く、リベンジポルノについては若年層(30 歳代)91.0%と高齢層(70 歳以上)66.7%で認識に大きな世代間ギャップがあります。

「スマホなどを使いこなせないことによる情報格差」(問24④)は 61.5%が問題視しています。

解決策として、誹謗中傷などをなくすための「法規制」や、行政による「正しい情報発信」、および「メディアリテラシー教育」を求める声が約 8 割に上っており、制度と教育の両面からのアプローチが強く求められています。

⑧　性的マイノリティの人権

職場や学校での孤立・排除や、偏見を恐れてカミングアウトできないことが大きな問題とされています。特に「カミングアウトの難しさ」（問 26⑦）については、若年層（18～29 歳）の 68.3%が問題視している一方、70 歳以上では 35.7%に留まり、認識に乖離があります。

また、「同性パートナーとの婚姻が認められていないこと」（問 26⑤）について、女性（49.7%）や若年層（18～29 歳：55.4%）は強く問題視していますが、男性（32.9%）や高齢層（70 歳以上：28.5%）は問題だと感じる割合が少なく、理解の浸透に偏りがあります。

解決策として、学校や職場の環境整備や相談窓口の充実が求められていますが、パートナーシップ制度の周知については、若年層の支持が高い（74.3%）に対し、高齢層は低い（43.4%）という結果が出ています。

令和3年度調査と比較して、「性的マイノリティに関する法律や制度が不十分であること」（問 26④）を問題視する意見が 12.5 ポイント減少していることをはじめ、性的マイノリティに対する意識が軒並み変化していることがうかがえます。

また、対応策においても「法律や制度を充足させる」（問 27①）という意見が 14 ポイントも減少していることをはじめ、性の多様性への取組に対する考え方も全体的に変化している傾向が見られます。

⑨　その他の人権問題

「犯罪被害者やその家族が、インターネットで誹謗中傷などの二次被害に遭うこと」（問 28③）について、80.3%が問題視しており、ネット社会特有の新たな人権侵害として認識されています。

「企業が利益を追求するあまり、人々の権利や暮らしを犠牲にしてしまうこと」（問 28⑦）への批判（73.9%）が強く、特に 50 歳代（80.4%）で強い問題意識が見られます。

「公園でホームレスが近づいてきたので足早に立ち去る」（問 28⑤）という行動について、「問題だと思わない」人が 40.1%と最も多く、個人の属性に対する忌避意識や偏見が根強く残っていることがうかがえます。

⑩　貧困対策や是正措置についての考え方

「貧困や差別の是正措置はやりすぎ、不公平だ」（問 29）とする話を見聞きしたことがある人は 32.4%であり、その情報の出どころとして「インターネット（SNS 含む）」が 53.3%を占めており、特に 18～29 歳では 84.8%に達しています。

その話を聞いた際の感想として、「反発・疑問を感じた」人は 11.0%にすぎず、62.5%が「そういう見方もあるのかと思った」と受容的に受け止めています。ネット上の偏った情報に対し、批判的に検討することなく受け入れてしまう層が一定数存在することから、情報リテラシーを高めていくことが重要な課題となっています。

III.　人権学習経験が意識に与える影響についての考察

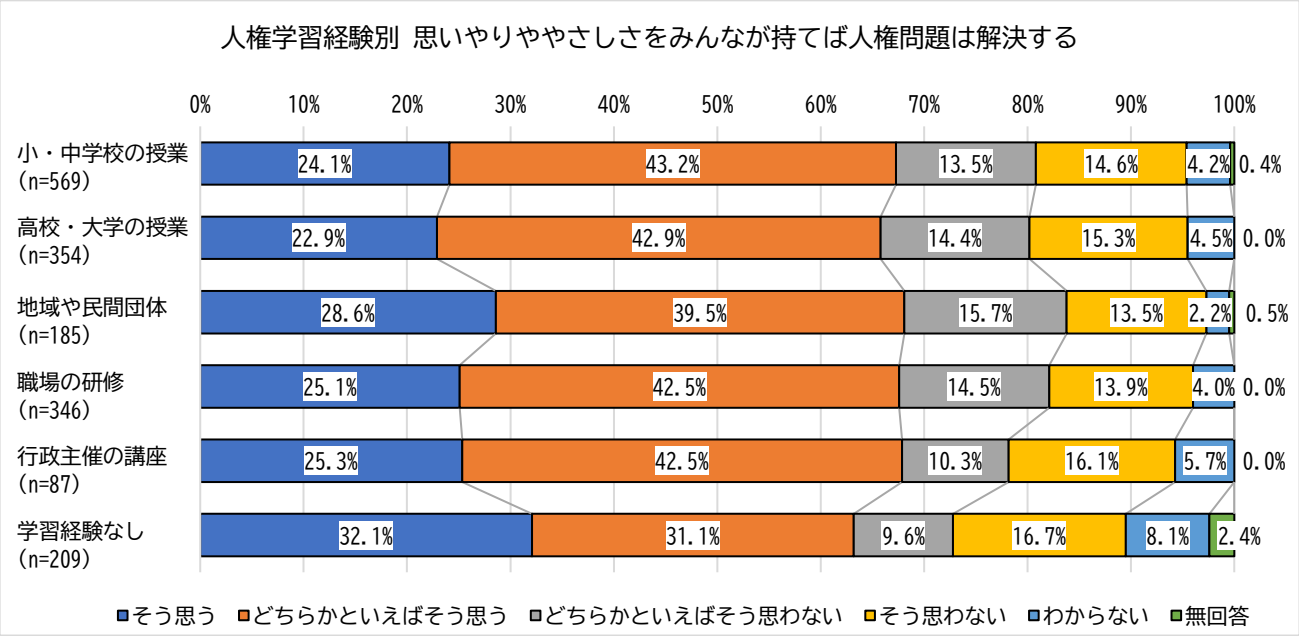
1. 何らかの人権学習経験が意識に与える影響について

さまざまな人権問題について、一つ以上の学習経験がある「小・中学校の授業」(n=569)、「高校・大学の授業」(n=354)、「地域や民間団体」(n=185)、「職場の研修」(n=346)、「行政主催の講座」(n=87)、及び、まったく学習経験のない「学習経験なし」(n=209)の 6 区分に分類し、比較検討します。

(1) 「差別」についての考え方

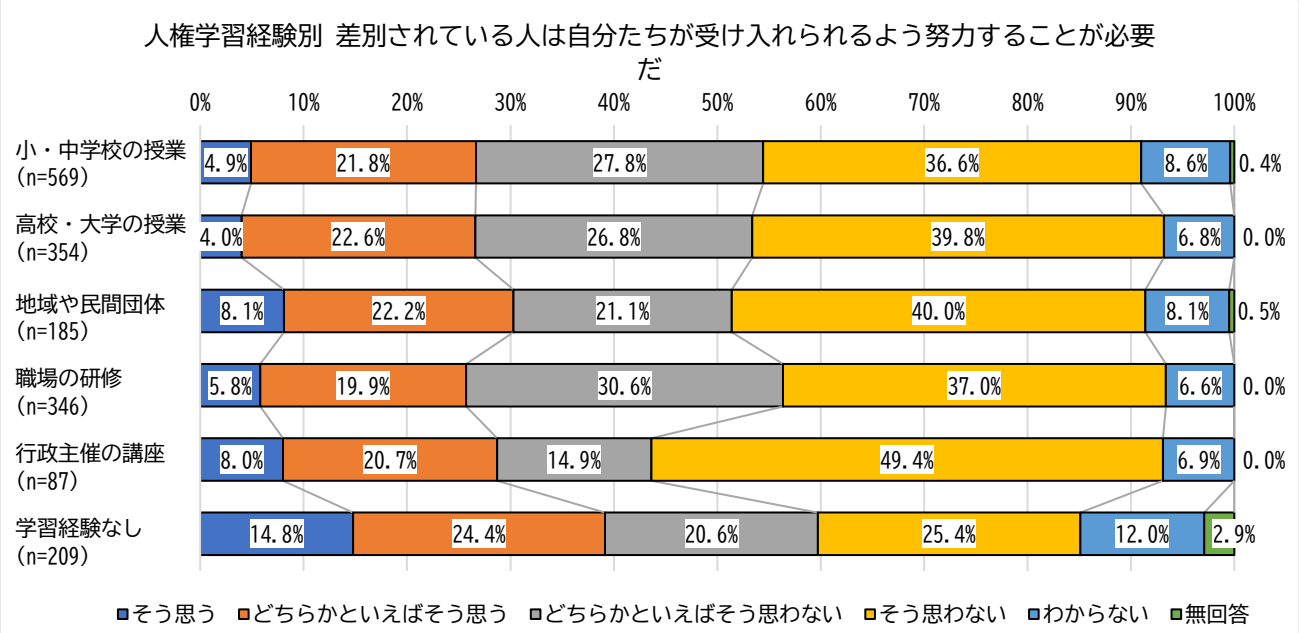
① 思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する

この設問に対し肯定的な回答(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計「そう思う計」)を示した割合は、学習経験を持つグループで概ね 66%から 68%の範囲に収まりました。一方で、「学習経験なし」のグループでは、この割合が 63.2%と最も低くなっています。



② 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ

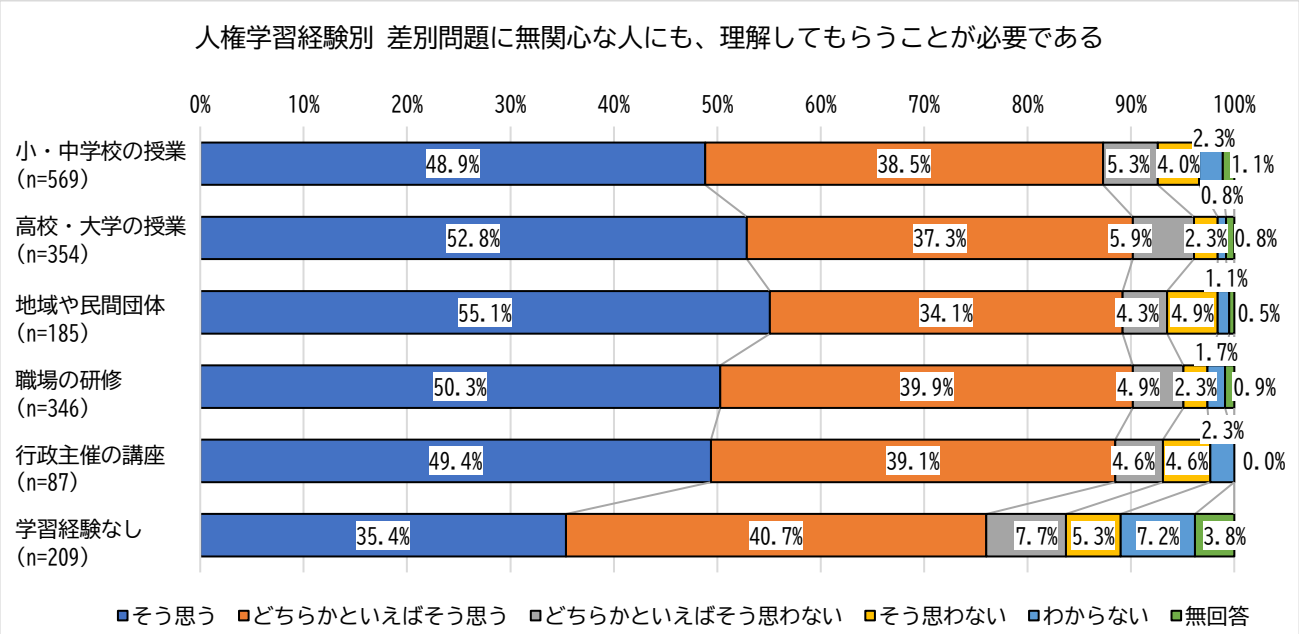
肯定的な回答「そう思う計」は「学習経験なし」(39.2%)が最も高く、「職場の研修」(25.7%)、「高校・大学の授業」(26.6%)、「小・中学校の授業」(26.7%)で低い傾向が見られます。このデータは人権に関する学習経験がない層ほど、差別の責任を差別される側に帰属させ、努力を求める傾向が強いことを示しています。



③ 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である

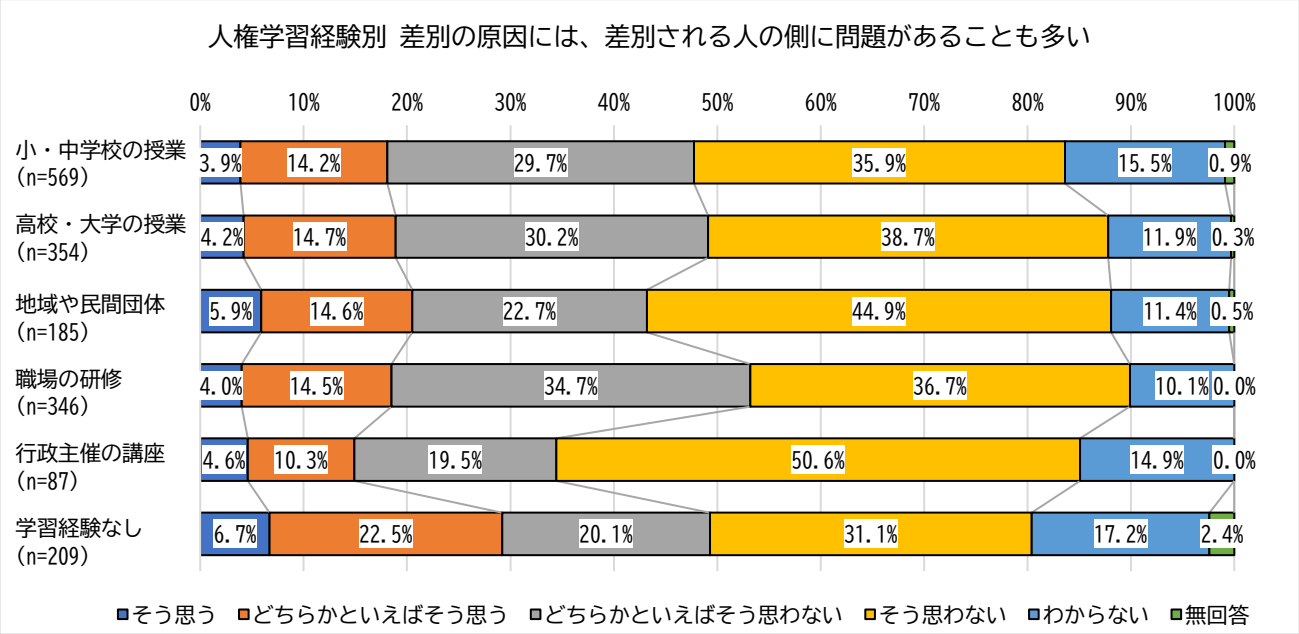
この設問に対しては、すべてのグループで肯定的な回答（「そう思う計」）が非常に高い割合を占め、人権問題に関する啓発の重要性については幅広いコンセンサスがあることが確認されました。

肯定的な回答の割合は、「職場の研修」（90.2%）で最も高く、次いで「高校・大学の授業」（90.1%）でした。対照的に、「学習経験なし」のグループは 76.1%と最も低い値を示しました。すべてのグループで高い水準にあるものの、14.0 ポイントの差は、人権について学んだ経験が、他者への教育や啓発そのものの価値をより強く認識させる効果を持つことを示唆しています。



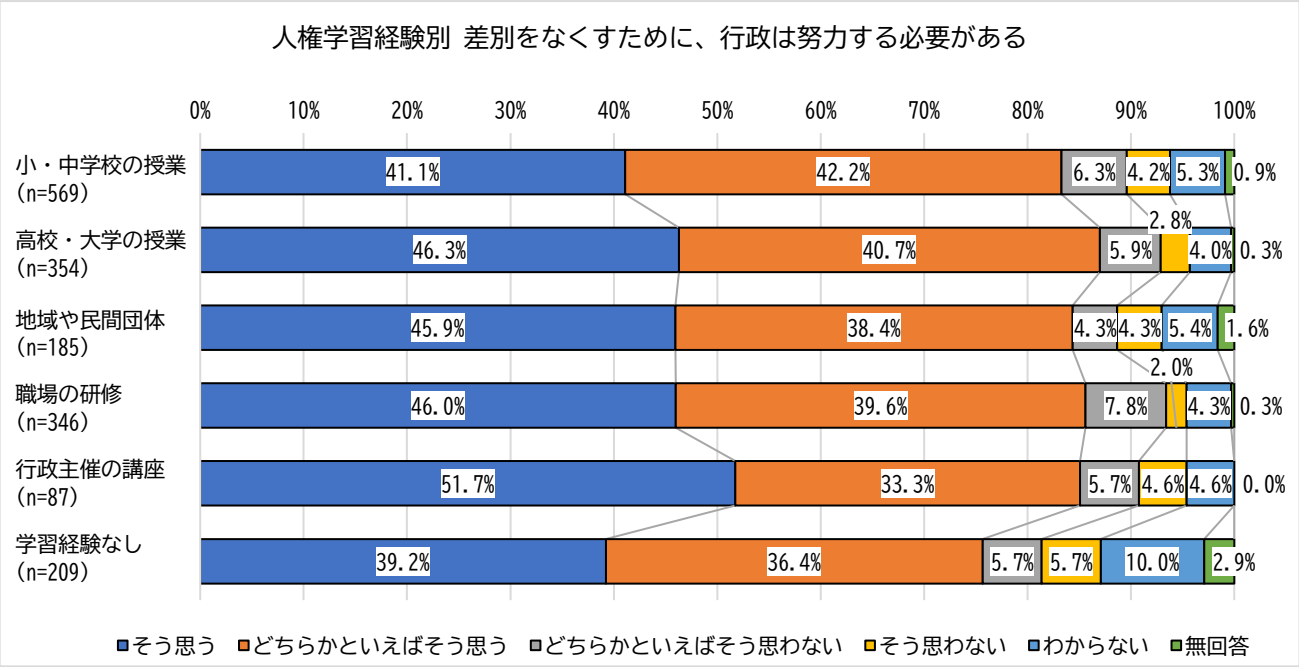
④ 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い

肯定的な回答（「そう思う計」）が最も高かったのは、「学習経験なし」のグループで 29.2%でした。これに対し、学習経験を持つグループはいずれも 21%以下であり、特に「行政主催の講座」（14.9%）では肯定的な回答が最も低くなっています。この「学習経験なし」の肯定率は、「行政主催の講座」で学んだ層の約2倍に達しており、人権学習経験者が差別を生む原因を差別される側に責任転嫁することなく、社会構造や加害者側の問題に目を向ける、より批判的な視点を持っている可能性を示します。



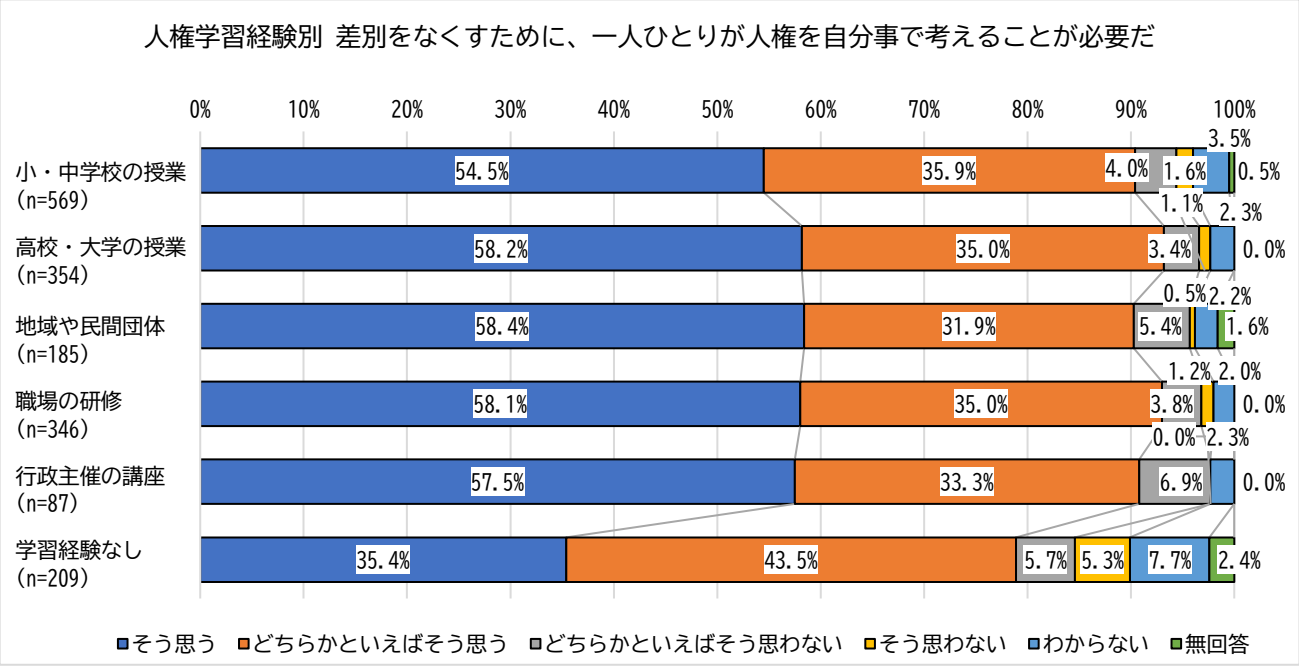
⑤ 差別をなくすために、行政は努力する必要がある

何らかの学習経験を持つすべてのグループで、肯定的な回答（「そう思う計」）が 83%を超える非常に高い割合となりました。最も高い肯定率を示した「高校・大学の授業」が 87.0%に対し、「学習経験なし」は 75.6%と、11.4 ポイントの差があります。この結果は、人権学習経験が、差別撤廃に向けた行政責任を肯定する意見と強く相関していることを示唆しています。



⑥ 差別をなくすために、一人ひとりが人権を自分事で考えることが必要だ

肯定的な意見（「そう思う計」）は学習経験を持つすべてのグループで 90％を超えています。「高校・大学の授業」が 93.2％で最も高く、「学習経験なし」は 78.9％に留まり、その差は 14.3 ポイントとなっています。

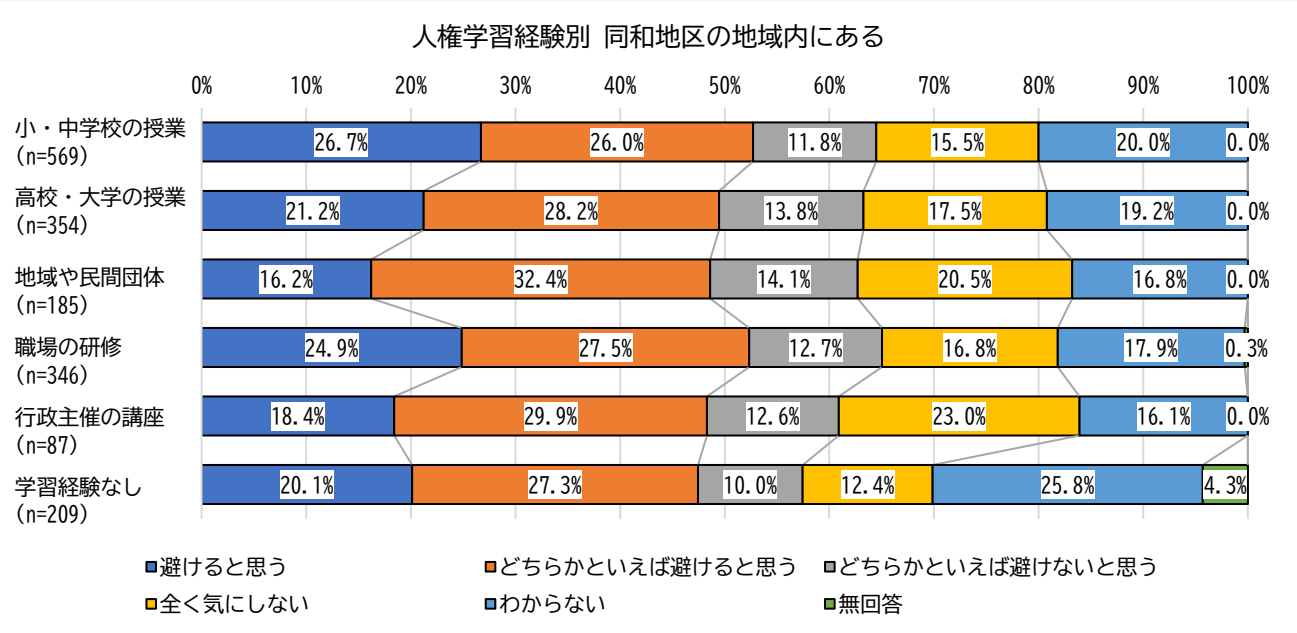


（2）住居選択における忌避意識

「住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に合っていても、条件によっては、避けることがあると思いますか」（問5）への回答から、住宅の選択における忌避意識に対して、人権学習経験がどのように影響しているかについて考察します。

① 同和地区に対する忌避意識

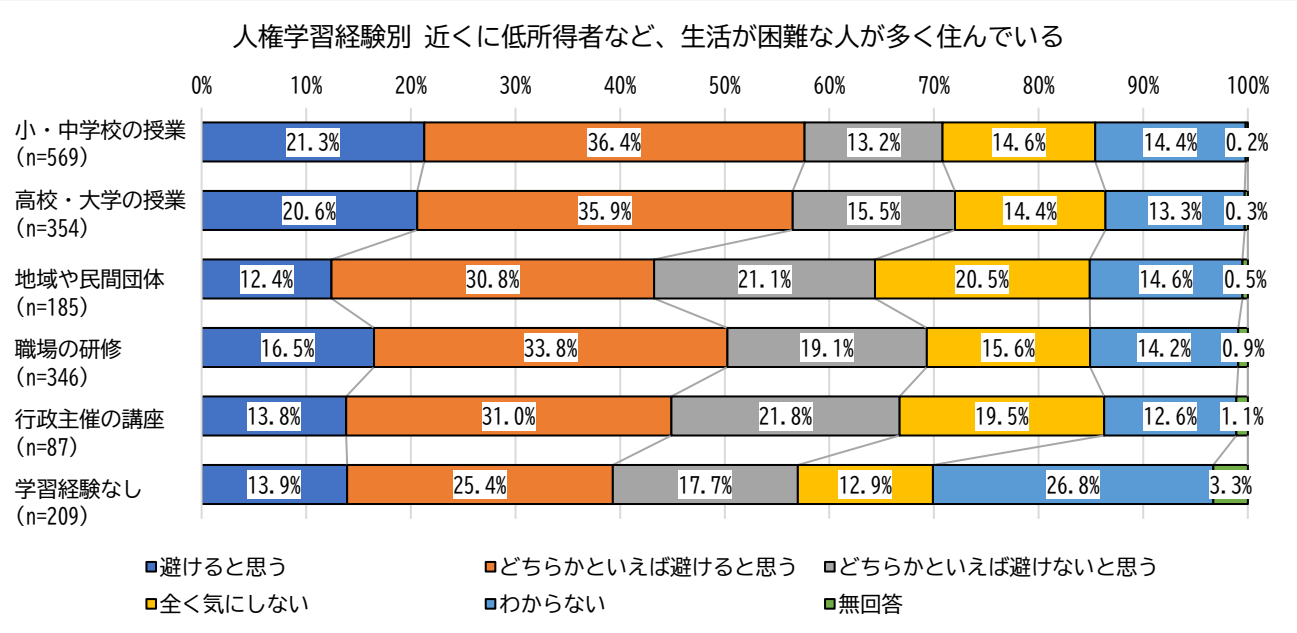
「同和地区の地域内にある」という条件では、人権学習経験の有無にかかわらず、「避ける計」（「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」の合計）が概ね 50％を占め、人権学習経験の有無による有意な差は認められませんでした。

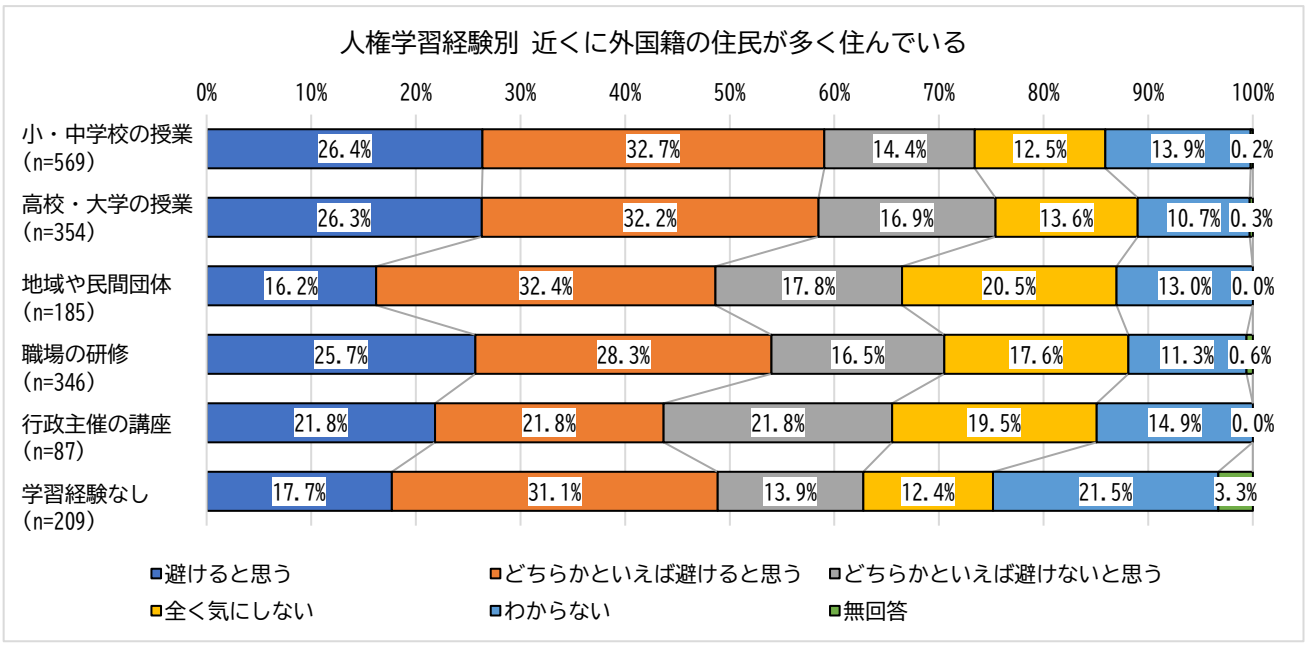


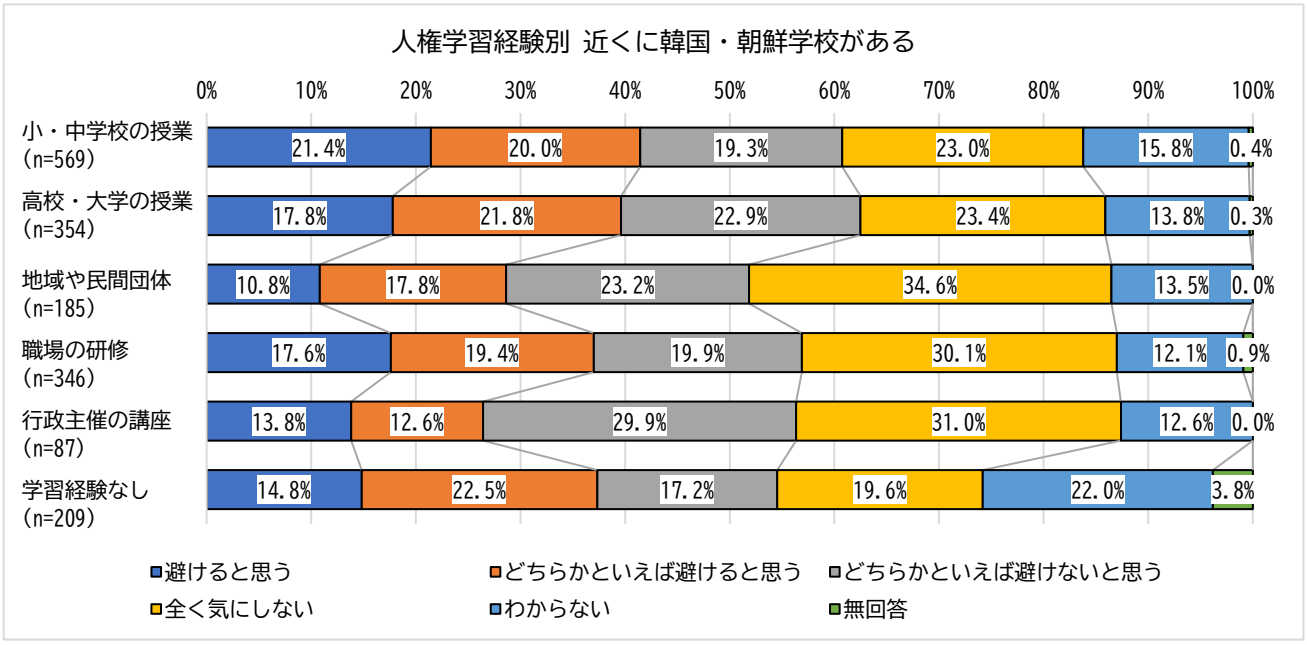
② 特定の住民層に対する忌避意識

「近くに低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる」での「避ける計」の割合が最も高い「小・中学校の授業」（57.7％）と、最も低い「学習経験なし」（39.3％）の差は 18.4 ポイント、「近くに外国籍の住民が多く住んでいる」では、「避ける計」が最も高い「小・中学校の授業」（59.1％）と、最も低い「行政主催の講座」（43.6％）の差は 15.5 ポイント、「近くに韓国・朝鮮学校がある」でも同様に、「避ける計」が最も高い「小・中学校の授業」（41.4％）と、最も低い「行政主催の講座」（26.4％）の差は 15.0 ポイントとなっています。

このように、人権学習経験が、低所得者、外国籍住民、在日韓国・朝鮮人に対する忌避意識の克服に必ずしも結びついていないことを示しています。



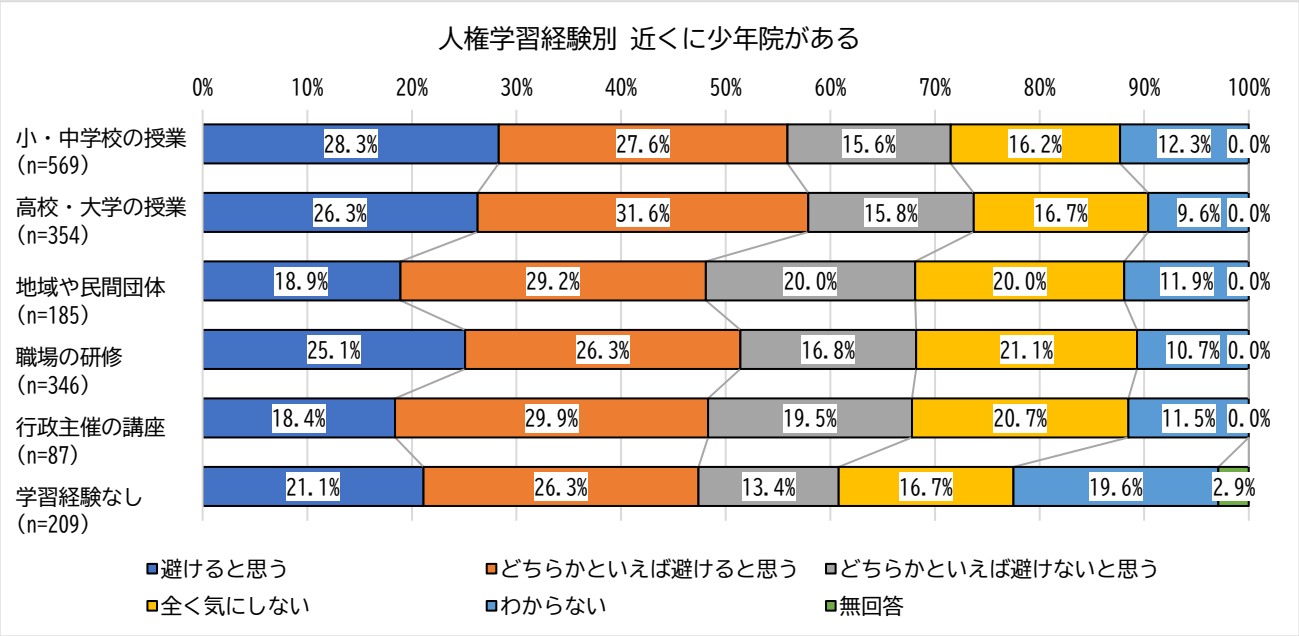

人権学習経験別 近くに外国籍の住民が多く住んでいる
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
小・中学校の授業（n=569）
26.4%
32.7%
14.4%
12.5%
13.9%
0.2%
高校・大学の授業（n=354）
26.3%
32.2%
16.9%
13.6%
10.7%
0.3%
地域や民間団体（n=185）
16.2%
32.4%
17.8%
20.5%
13.0%
0.0%
職場の研修（n=346）
25.7%
28.3%
16.5%
17.6%
11.3%
0.6%
行政主催の講座（n=87）
21.8%
21.8%
21.8%
19.5%
14.9%
0.0%
学習経験なし（n=209）
17.7%
31.1%
13.9%
12.4%
21.5%
3.3%
避けると思う
どちらかといえば避けると思う
どちらかといえば避けないと思う
全く気にしない
わからない
無回答

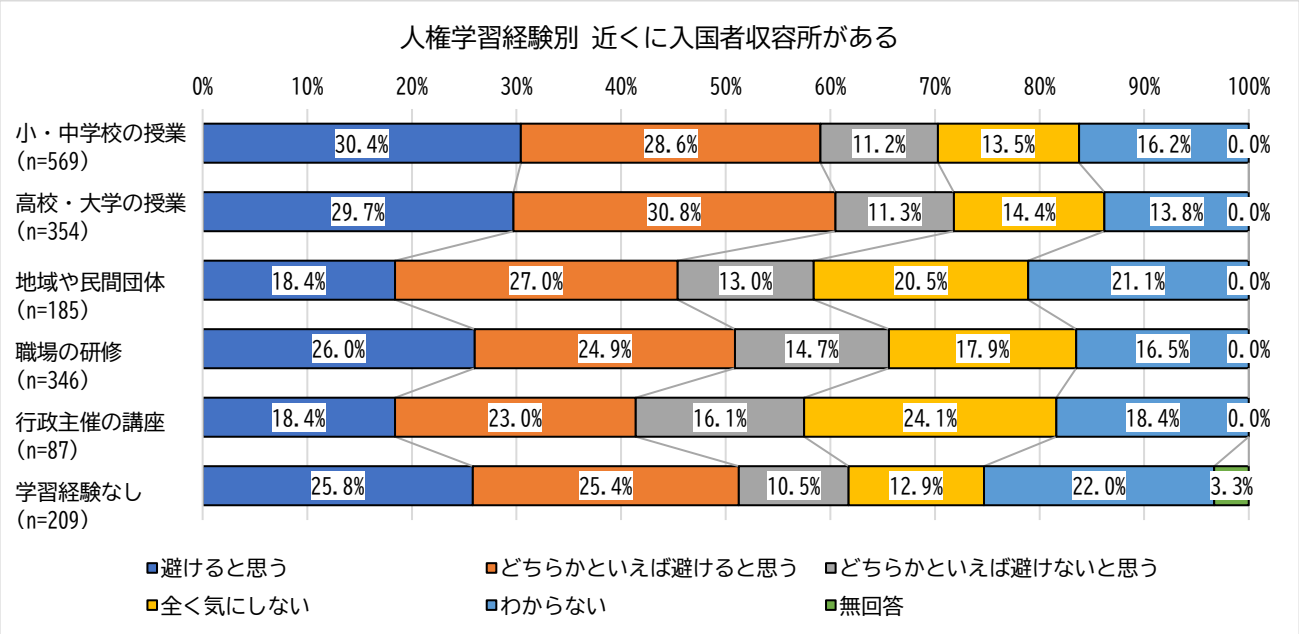

人権学習経験別 近くに韓国・朝鮮学校がある
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
小・中学校の授業（n=569）
21.4%
20.0%
19.3%
23.0%
15.8%
0.4%
高校・大学の授業（n=354）
17.8%
21.8%
22.9%
23.4%
13.8%
0.3%
地域や民間団体（n=185）
10.8%
17.8%
23.2%
34.6%
13.5%
0.0%
職場の研修（n=346）
17.6%
19.4%
19.9%
30.1%
12.1%
0.9%
行政主催の講座（n=87）
13.8%
12.6%
29.9%
31.0%
12.6%
0.0%
学習経験なし（n=209）
14.8%
22.5%
17.2%
19.6%
22.0%
3.8%
避けると思う
どちらかといえば避けると思う
どちらかといえば避けないと思う
全く気にしない
わからない
無回答

③ 少年院や入国者収容所に対する忌避意識

「近くに少年院がある」では、「避ける計」が最も高い「高校・大学の授業」（57.9％）と、最も低い「学習経験なし」（47.4％）の差は 10.5 ポイント、「近くに入国者収容所がある」では、「避ける計」が最も高い「高校・大学の授業」（60.5％）と、最も低い「行政主催の講座」（41.4％）の差は 19.1 ポイントの差となっています。

ここでも、人権学習経験が、少年院や入国者収容所に対する忌避意識の克服に必ずしも結びついていないことを示しています。

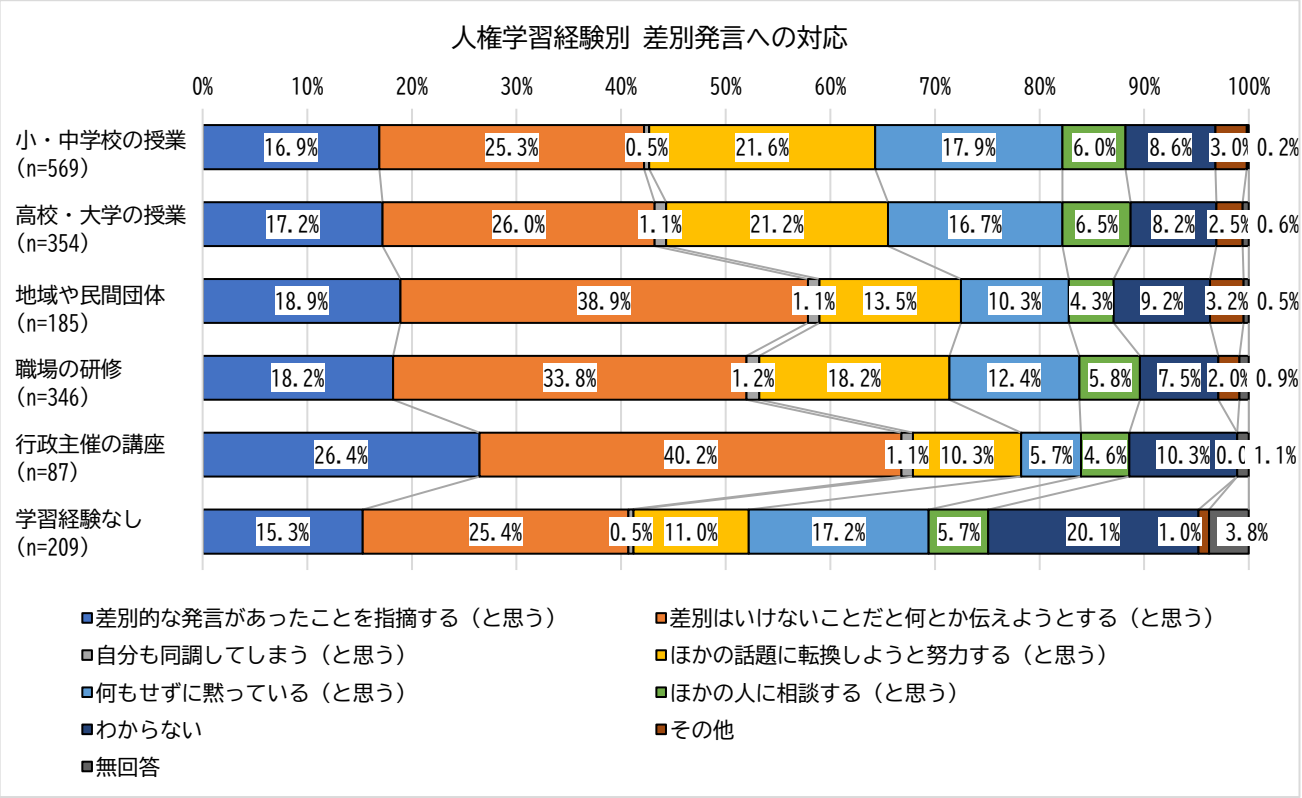




（3）差別的言動への対応について

差別的言動への対応(問 8)について、人権学習の経験の有無による明確な相違がみられました。

「差別的な発言があったことを指摘する(と思う)」の割合が最も高かった「行政主催の講座」(26.4%)と「学習経験なし」(15.3%)には 11.1 ポイントの開きがあり、「差別はいけないことだと何とか伝えようとする(と思う)」の割合でも最も高かった「行政主催の講座」(40.2%)と「学習経験なし」(25.4%)には 14.8 ポイントの開きが存在しています。

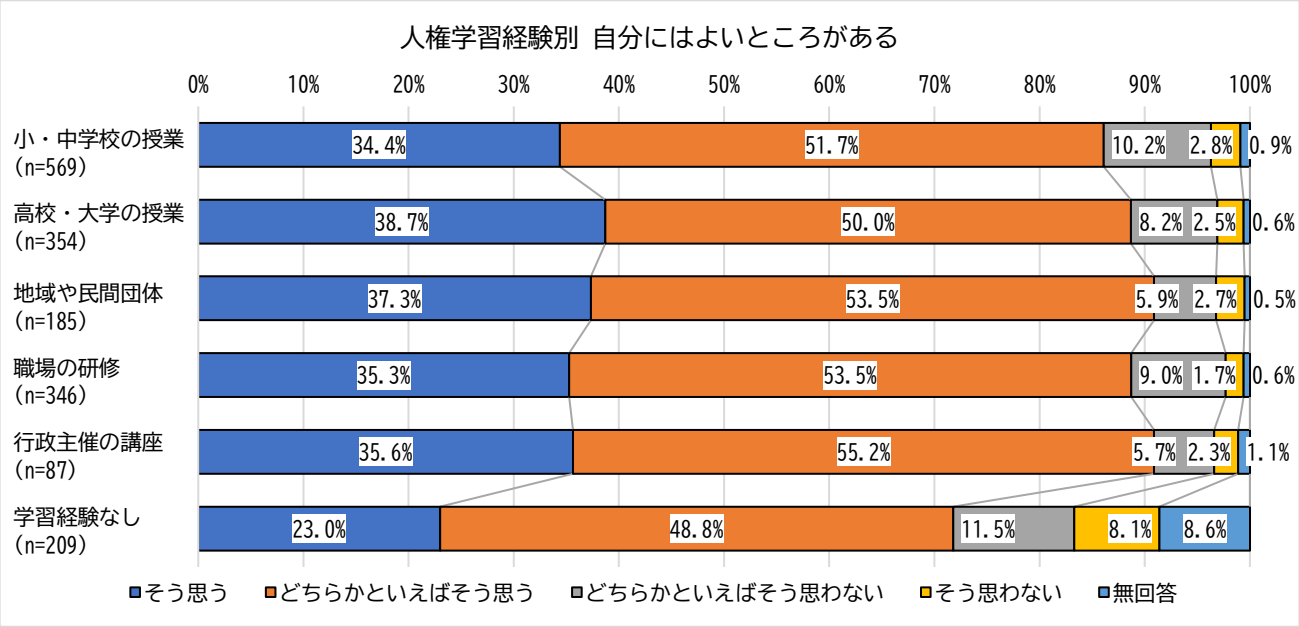


（4）日常生活の中で感じていることについて

「日常生活の中で感じていること」（問 10）について、以下の項目には人権学習経験との明確な相関関係が認められました。

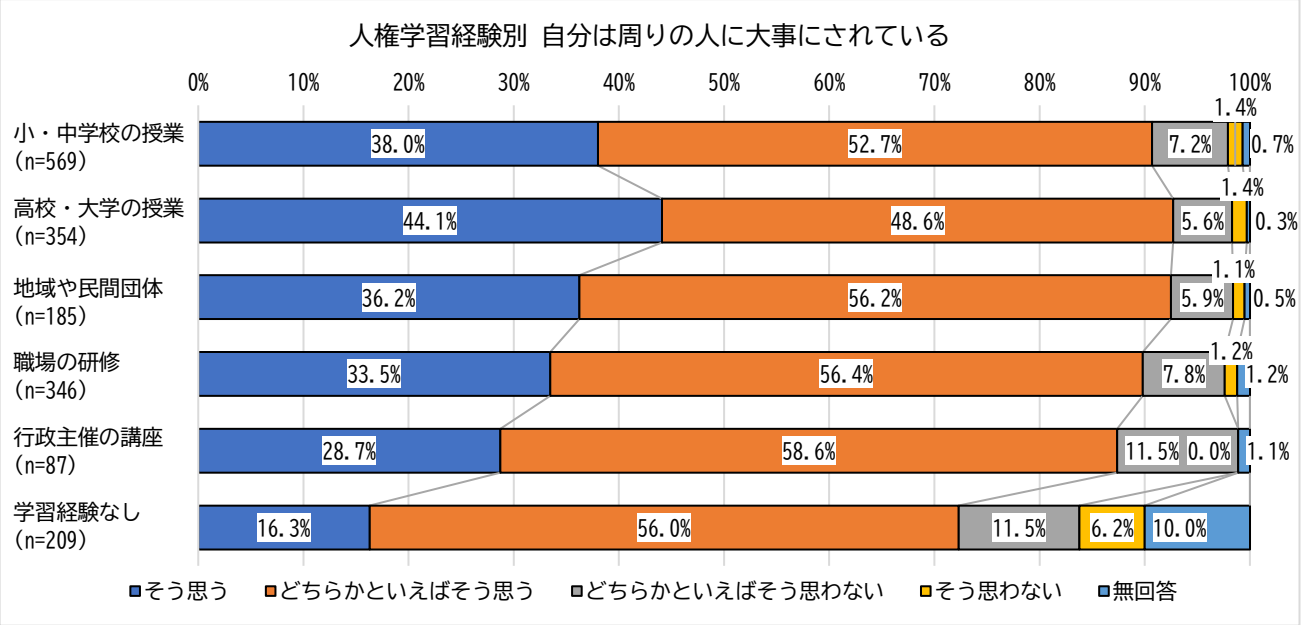
① 自分にはよいところがある

「そう思う計」（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）の割合が最も高い「地域や民間団体」（90.8%）、「行政主催の講座」（90. 8%）と最も低い「学習経験なし」（71.8%）との差は 19.0 ポイントとなっています。



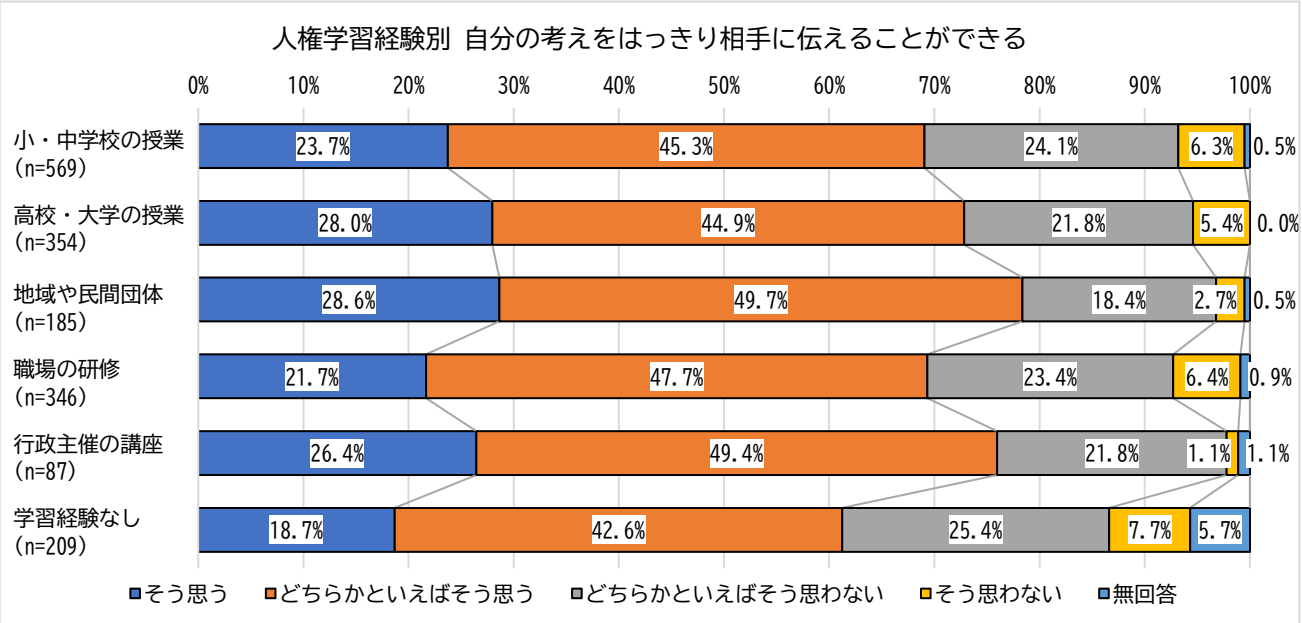
② 自分は周りの人に大事にされている

「そう思う計」が最も高い「高校・大学の授業」（92.7%）と最も低い「学習経験なし」（72.3%）との差は 20.4 ポイントとなっています。



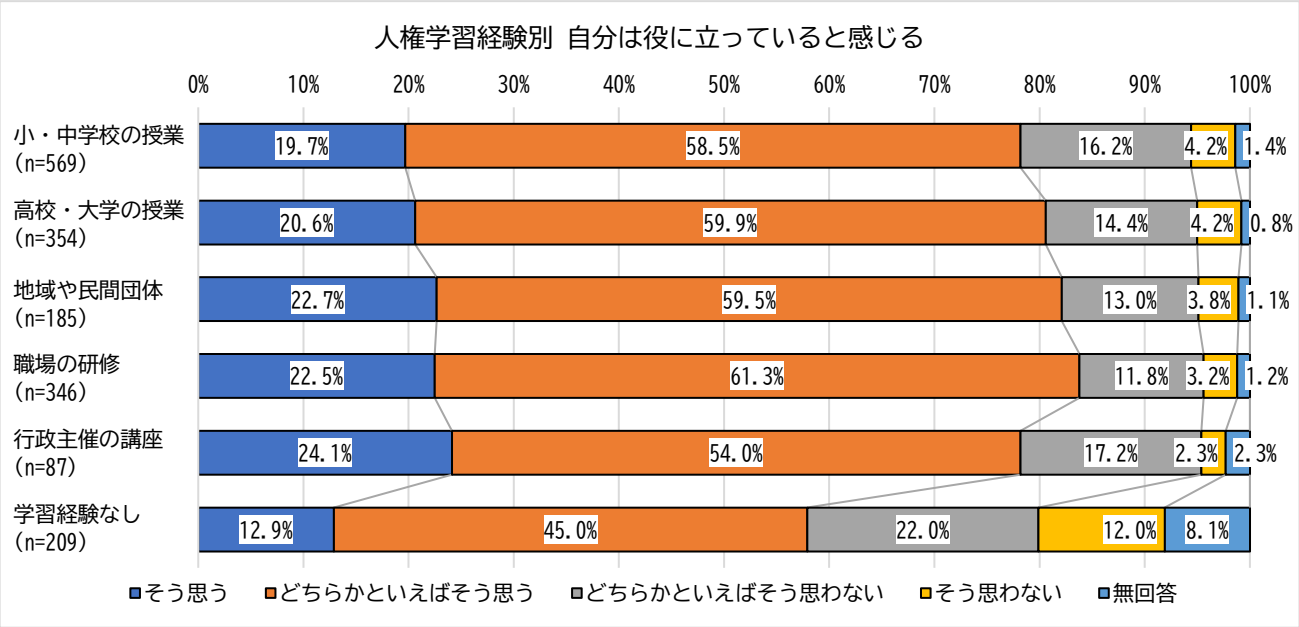
③ 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

「そう思う計」が最も高い「地域や民間団体」（78.3%）と最も低い「学習経験なし」（61.3%）との差は 17.0 ポイントとなっています。



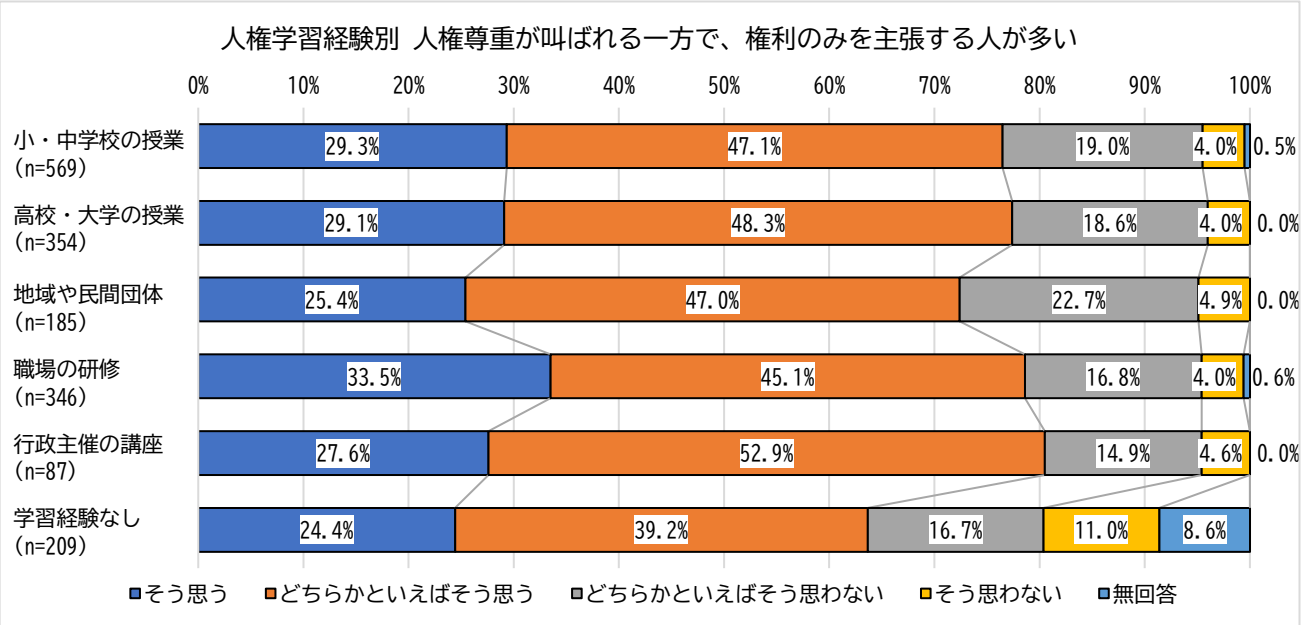
④ 自分は役に立っていると感じる

「そう思う計」が最も高い「職場の研修」（83.8%）と最も低い「学習経験なし」（57.9%）との差は24.3 ポイントとなっています。



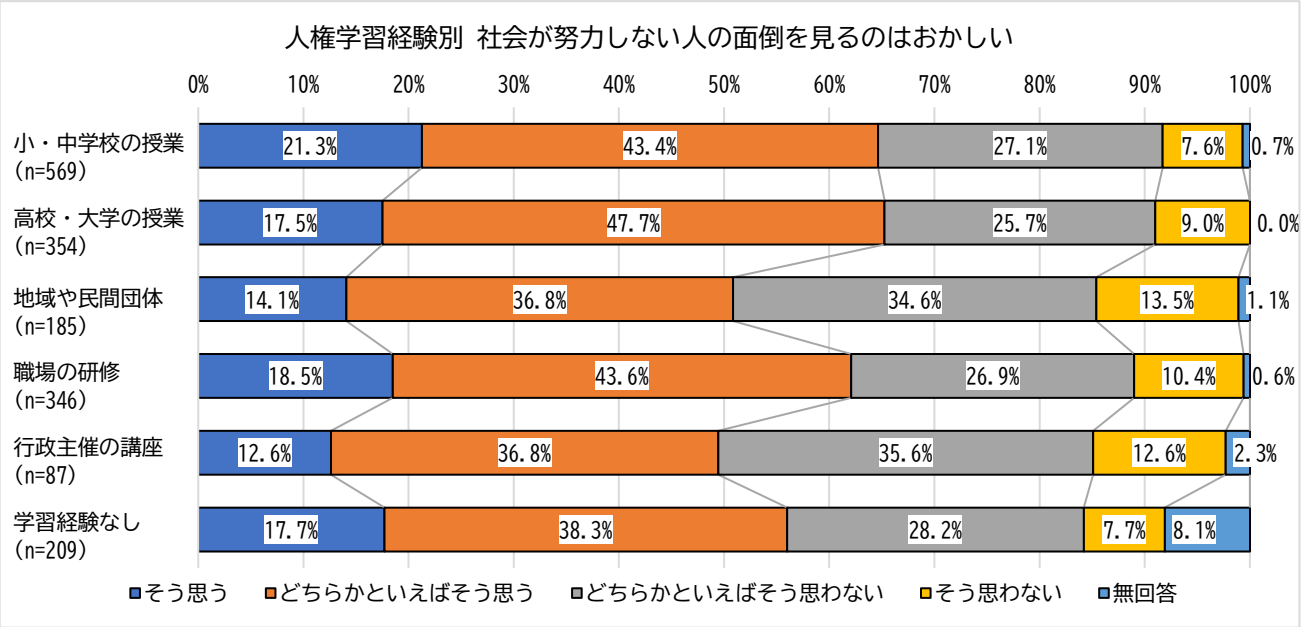
⑤ 人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張する人が多い

「そう思う計」が最も高い「行政主催の講座」（80.5%）と最も低い「学習経験なし」（63.6%）との差は16.9 ポイントとなっています。



⑥ 社会が努力しない人の面倒を見るのはおかしい

「そう思う計」が最も高い「高校・大学の授業」（65.2%）と「学習経験なし」（56.0%）との差は 9.2 ポイントとなっています。



2. 人権課題ごとの学習経験が人権課題の認識に与える影響について

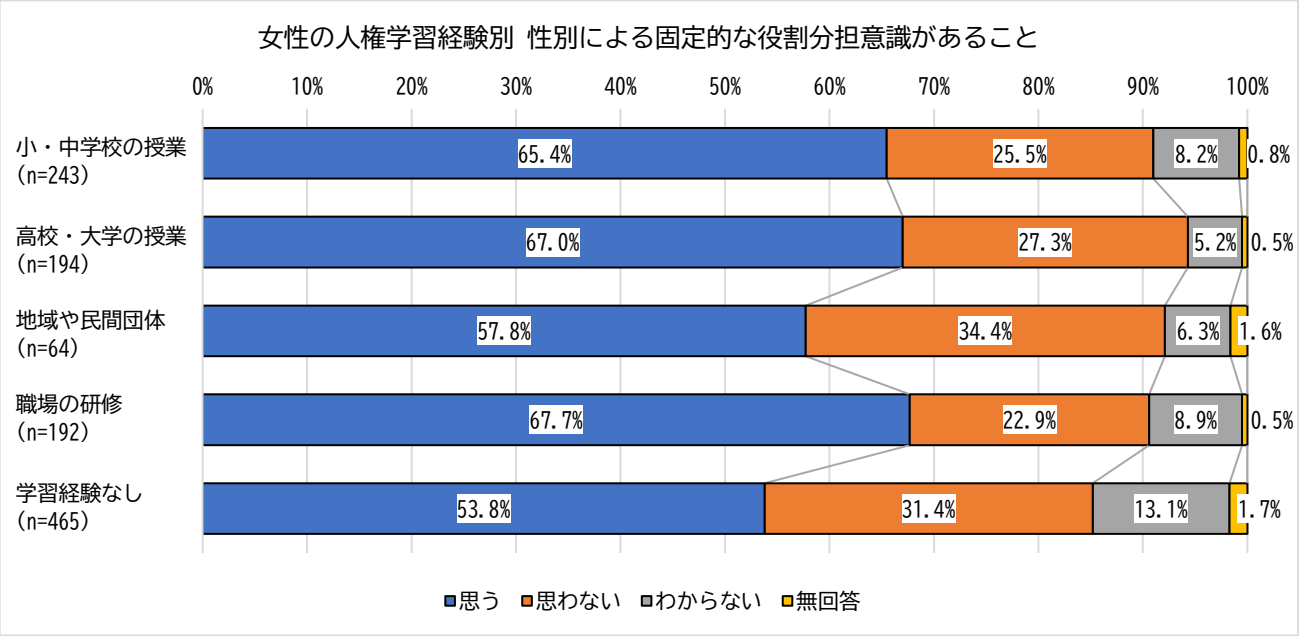
さまざまな人権課題ごとに、学習経験がある「小・中学校の授業」、「高校・大学の授業」、「地域や民間団体」、「職場の研修」、「行政主催の講座」、及び、まったく学習経験のない「学習経験なし」の 6 区分に分類し、比較検討します。

ただし、回答の少なかった「行政主催の講座」は除き、「経験していない・覚えていない」は「学習経験なし」としました。

(1) 女性の人権について

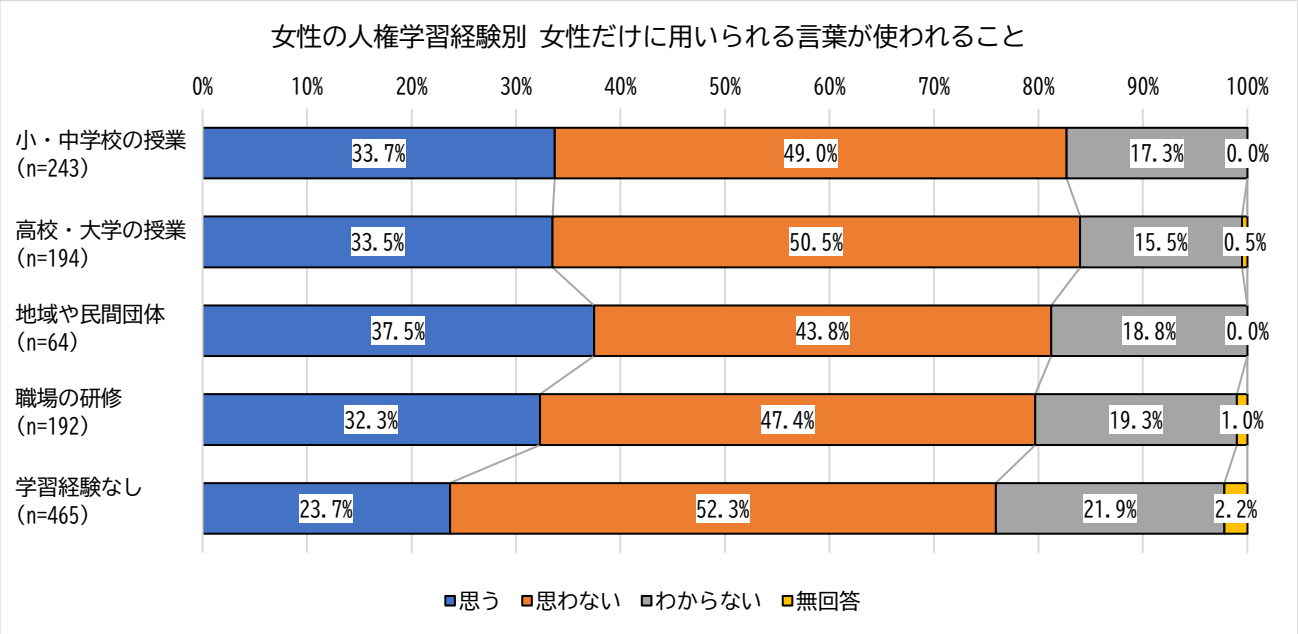
①「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」(67.7%)と最も低い「学習経験なし」(53.8%)の差は 13.9 ポイントとなっています。



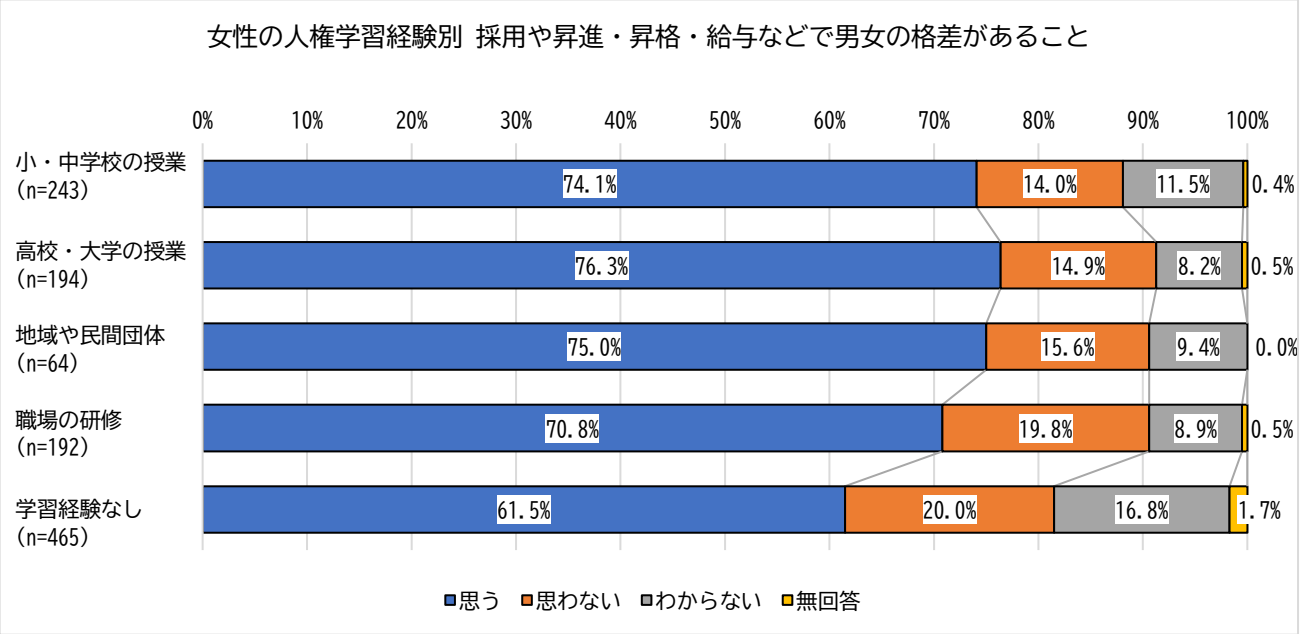
② 「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（37.5%）と最も低い「学習経験なし」（23.7%）の差は13.8 ポイントとなっています。



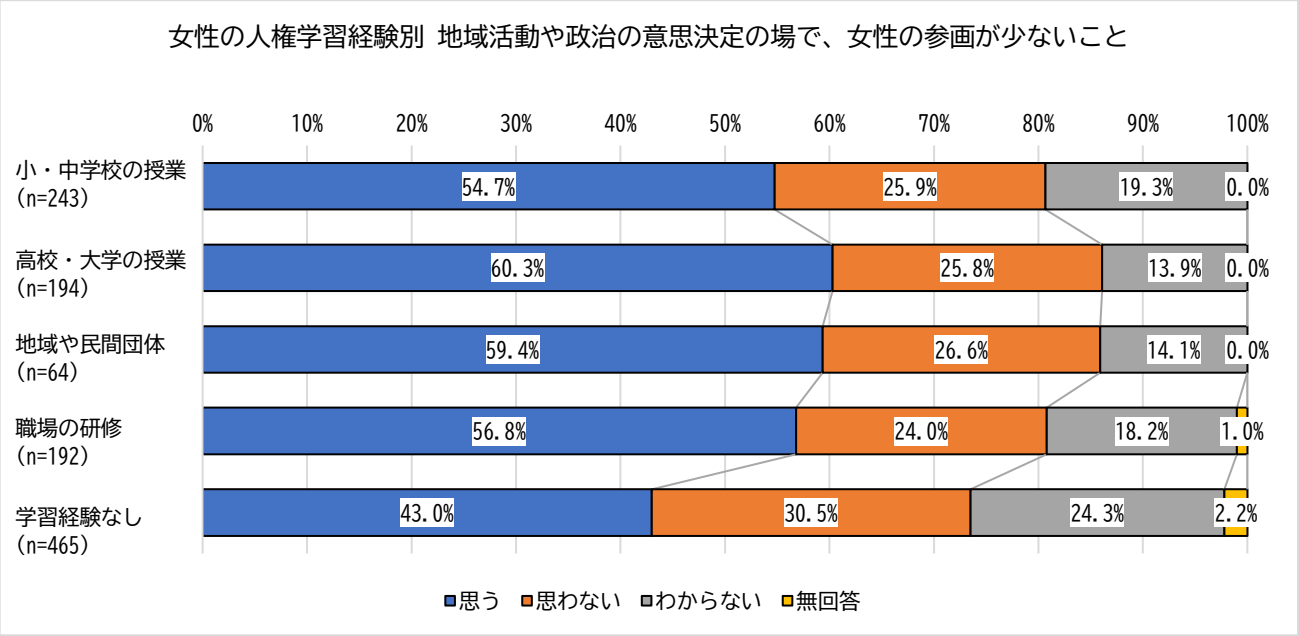
③ 職場において、採用や昇進・昇格・給与などで男女の格差があること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（76.3%）と最も低い「学習経験なし」（61.5%）の差は 14.8 ポイントとなっています。



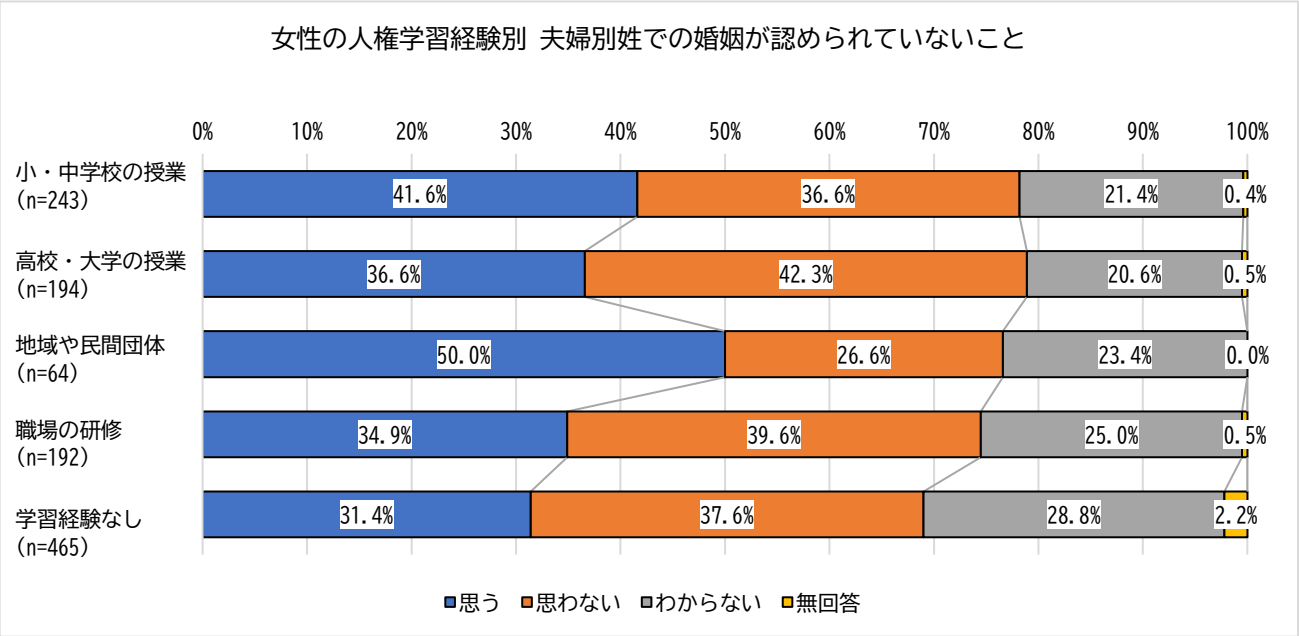
④ 地域活動(自治会など)や政治の意思決定の場で、女性の参画が少ないこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」(60.3%)と最も低い「学習経験なし」(43.0%)の差は 17.3 ポイントとなっています。



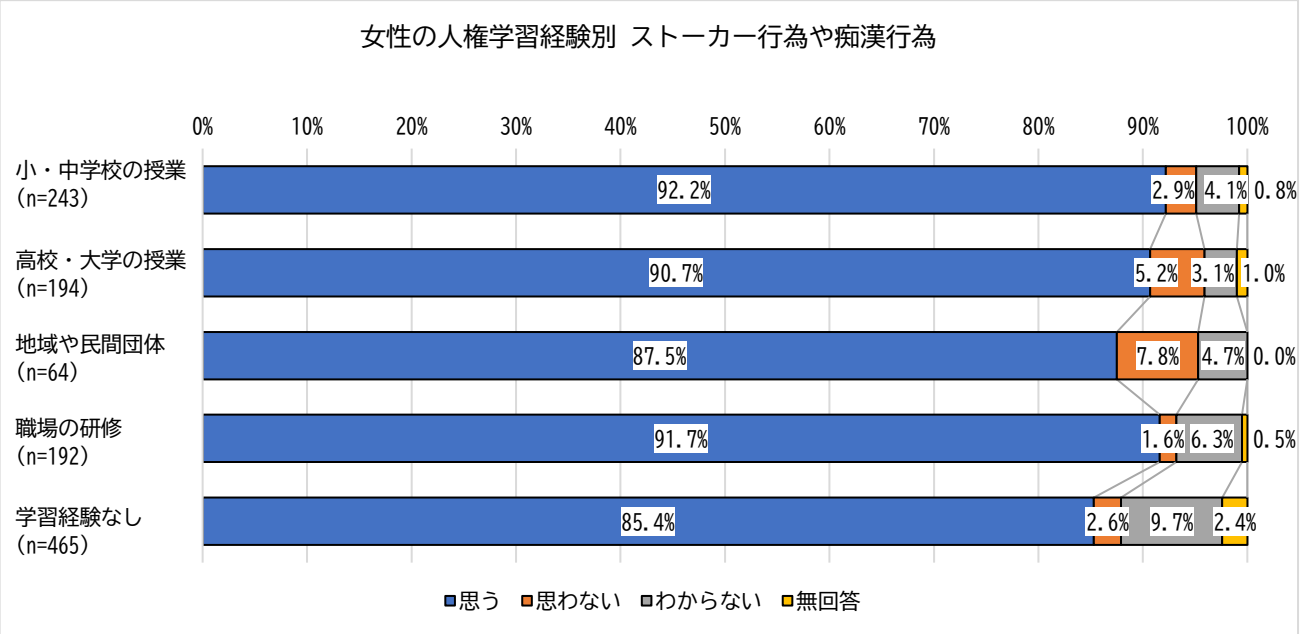
⑤ 夫婦別姓での婚姻が認められていないこと

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」(50.0%)と最も低い「学習経験なし」(31.4%)の差は 18.6 ポイントとなっています。



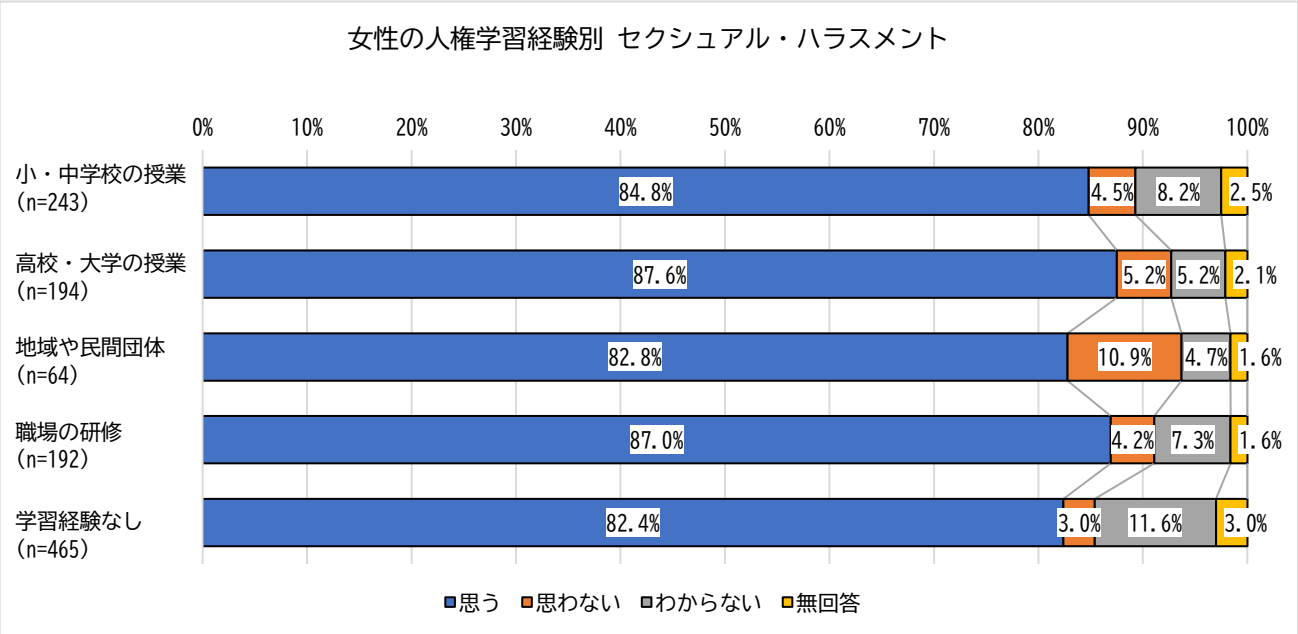
⑥ ストーカー行為や痴漢行為

問題だと「思う」が最も高い「小・中学校の授業」（92.2%）と最も低い「学習経験なし」（85.4%）の差は 6.8 ポイントとなっています。



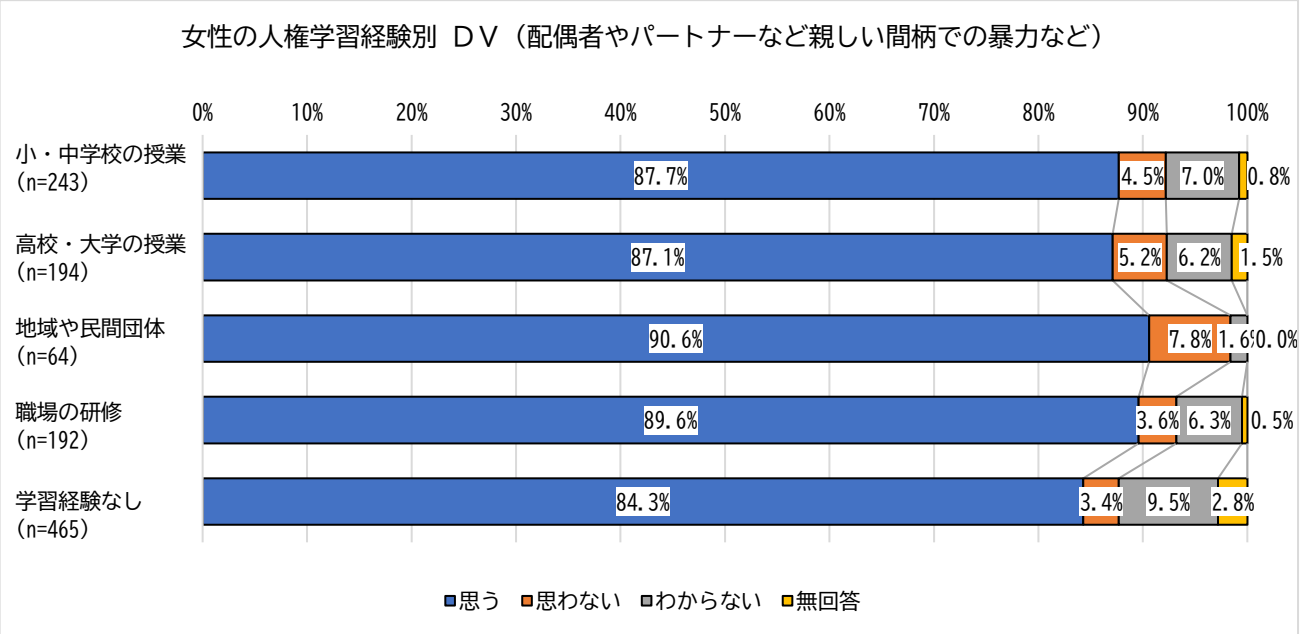
⑦ セクシュアル・ハラスメント

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（87.6%）と最も低い「学習経験なし」（82.4%）の差は 5.2 ポイントとなっています。



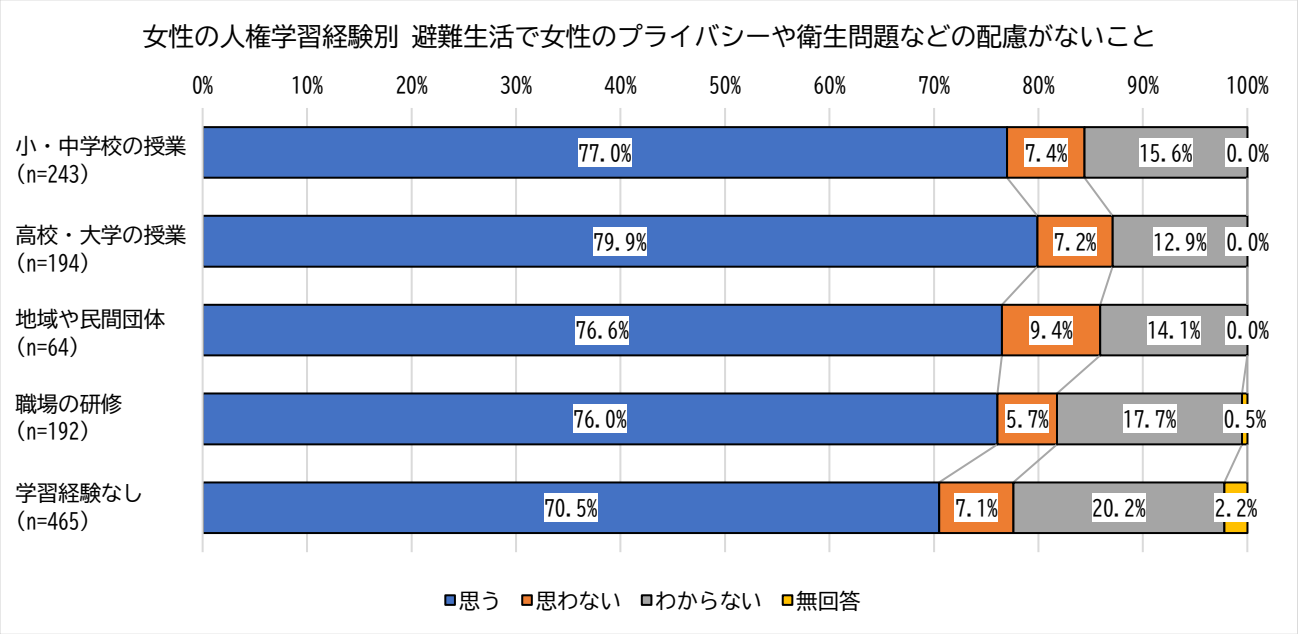
⑧ DV(配偶者やパートナーなど親しい間柄での暴力など)

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」(90.6%)と最も低い「学習経験なし」(84.3%)の差は6.3 ポイントとなっています。



⑨ 災害時の避難生活で、女性のプライバシーや衛生問題などの配慮がないこと

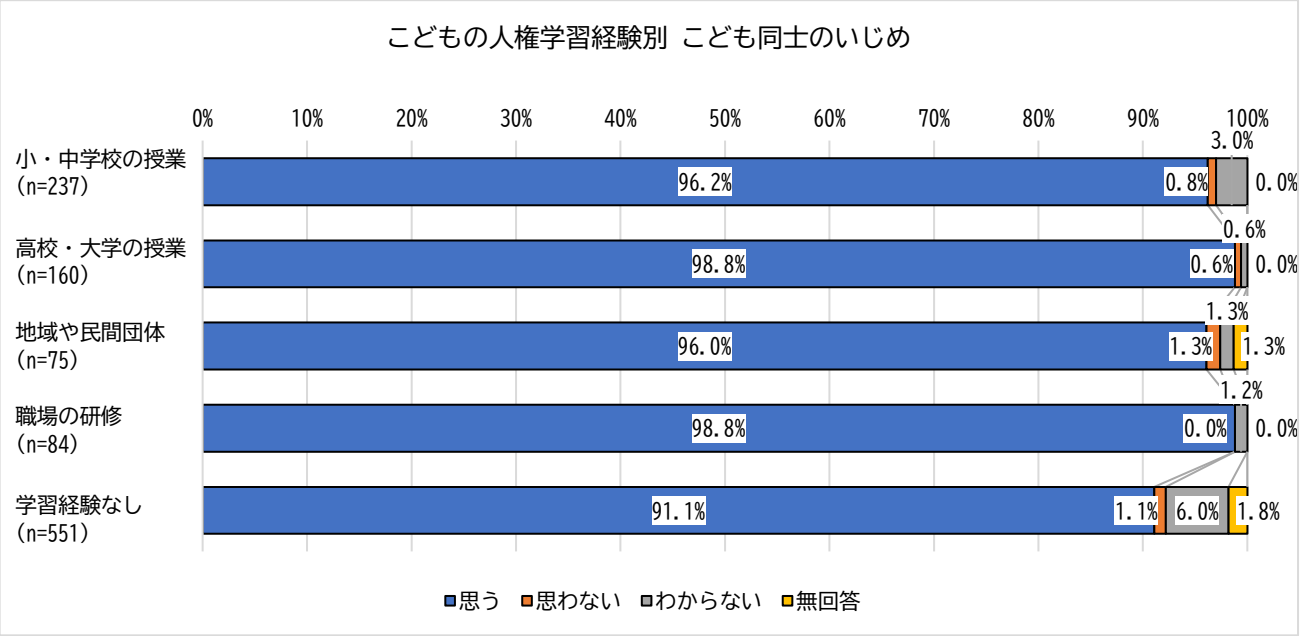
問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」(79.9%)と最も低い「学習経験なし」(70.5%)の差は 9.4 ポイントとなっています。



（2）こどもの人権について

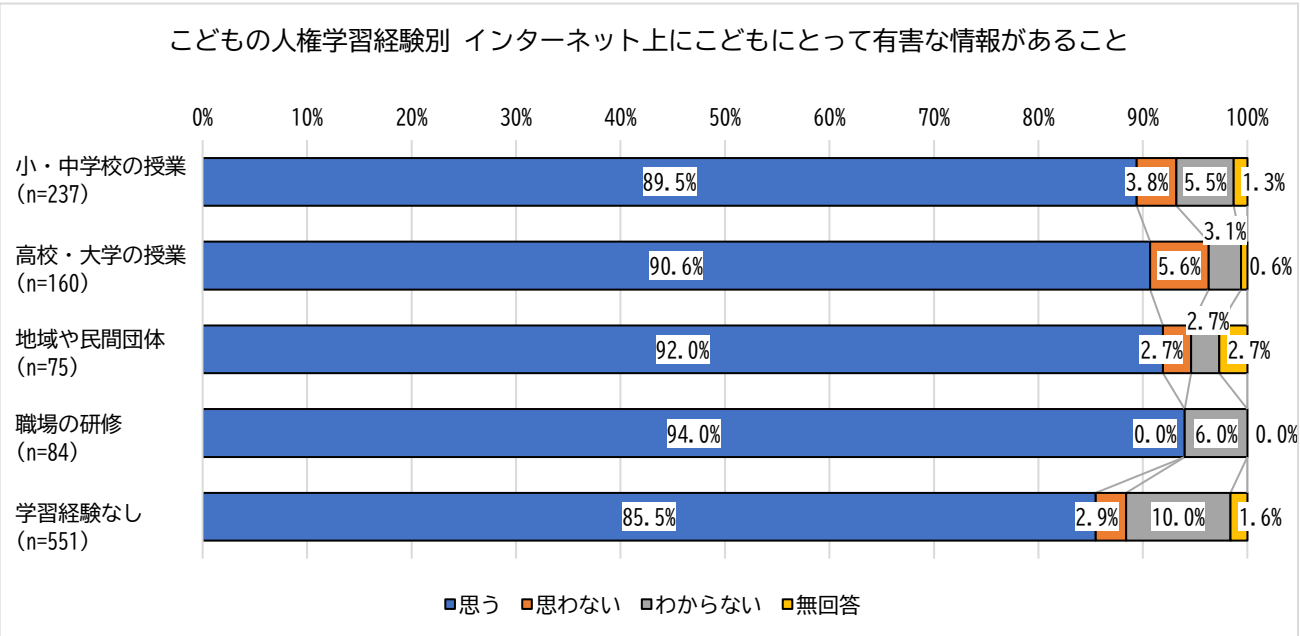
① こども同士のいじめ（携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む）

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」「職場の研修」（98.8%）と最も低い「学習経験なし」（91.1%）の差は 7.7 ポイントとなっています。



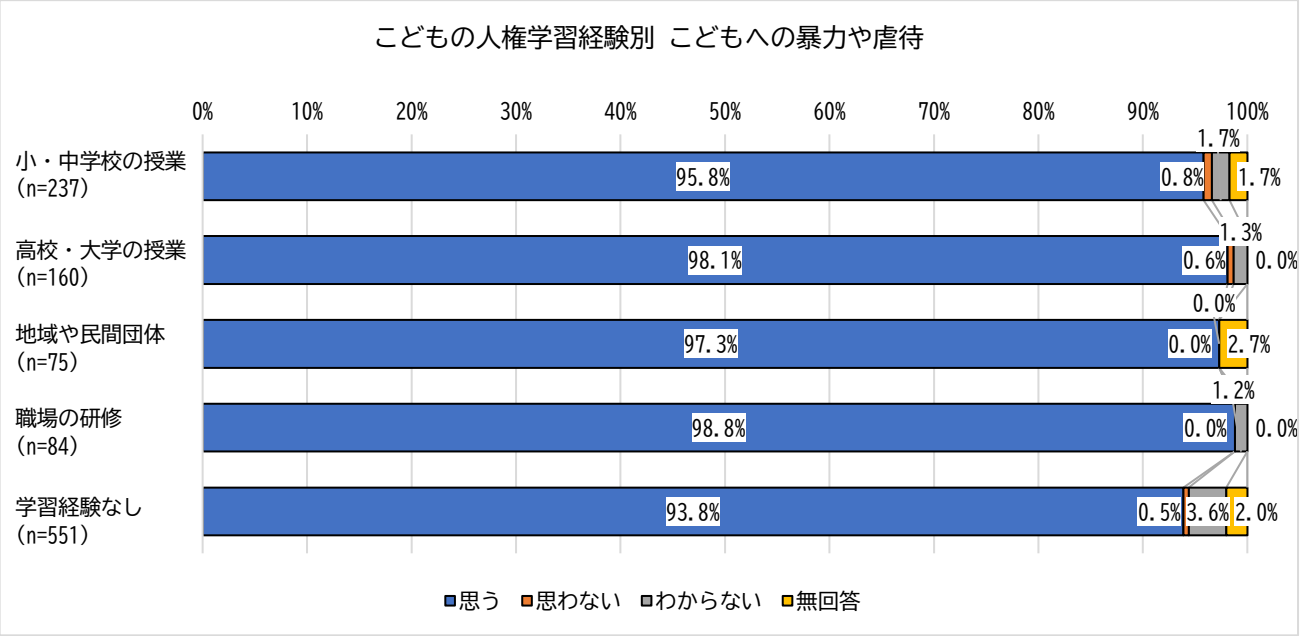
② インターネット（SNSなど）上にこどもにとって有害な情報があること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（94.0%）と最も低い「学習経験なし」（85.5%）の差は 8.5 ポイントとなっています。



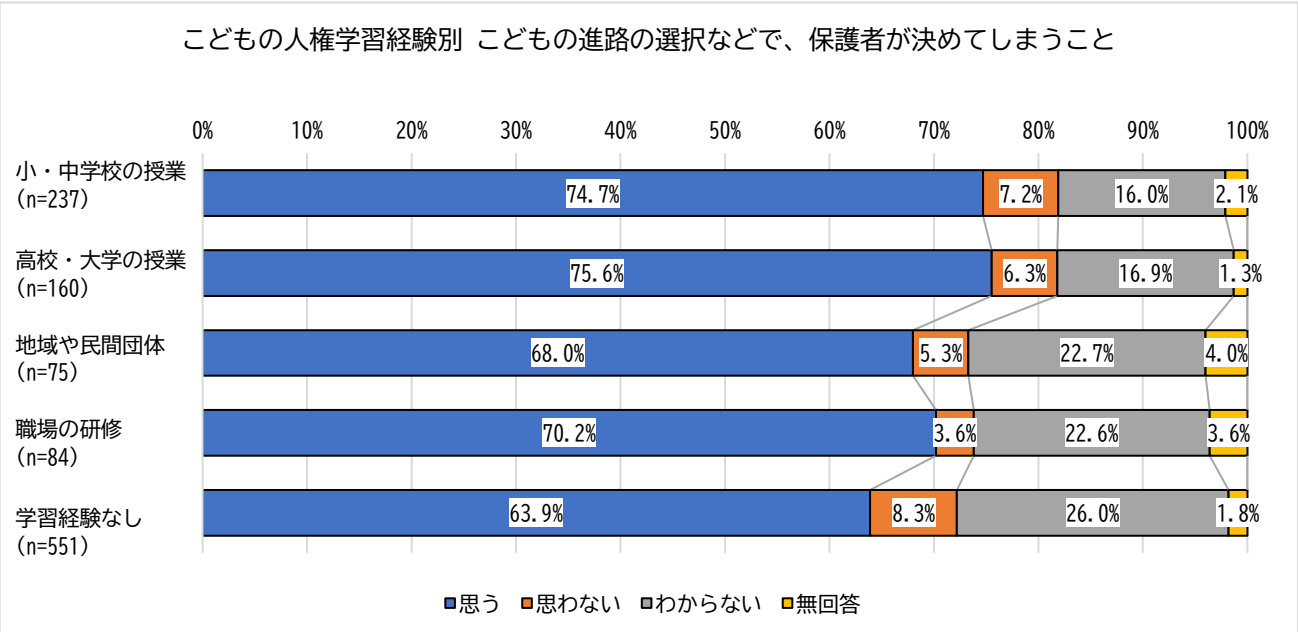
③ こどもへの暴力や虐待

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（98.8%）と最も低い「学習経験なし」（93.8%）の差は 5.0 ポイントとなっています。



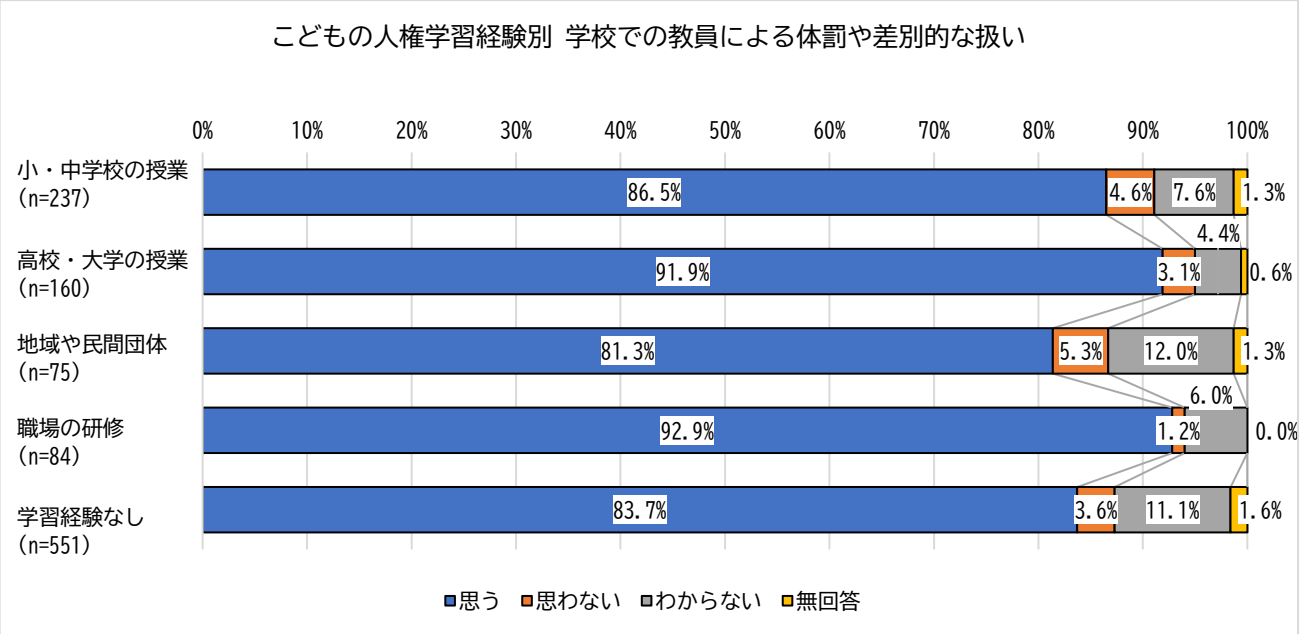
④ こどもの進路の選択などで、保護者が決めてしまうこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（75.6%）と最も低い「学習経験なし」（63.9%）の差は 11.7 ポイントとなっています。



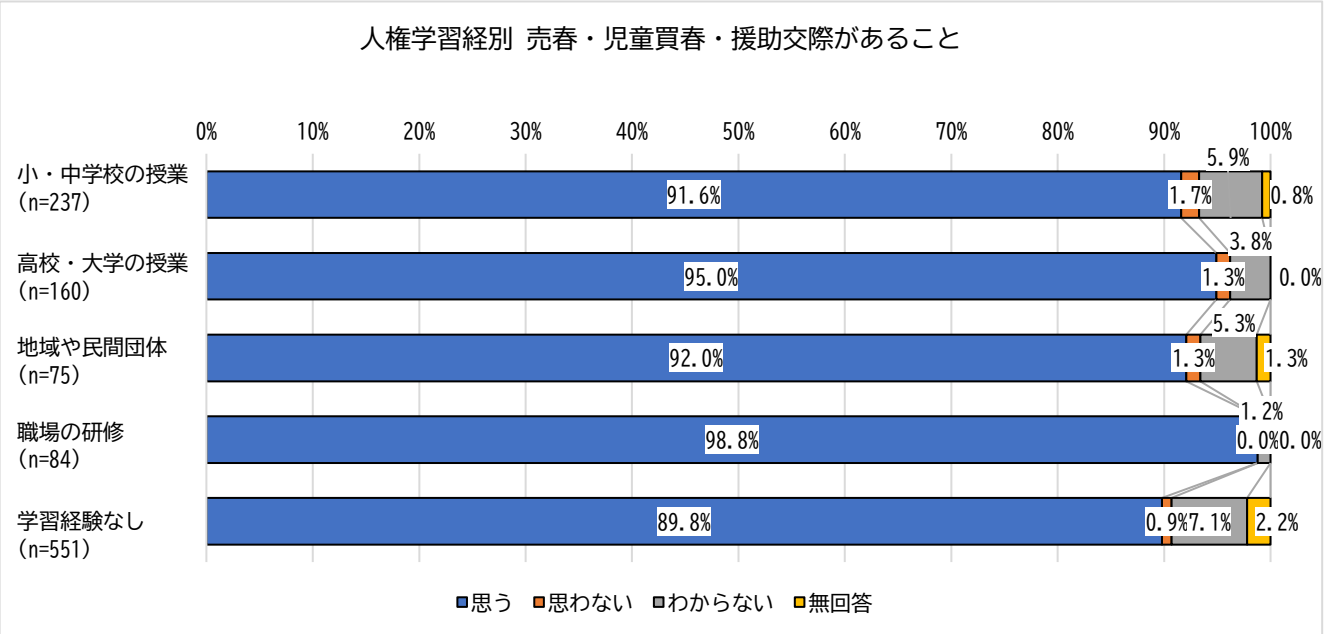
⑤ 学校での教員による体罰や差別的な扱い

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（92.9%）と「学習経験なし」（83.7%）の差は 9.2 ポイントとなっています。



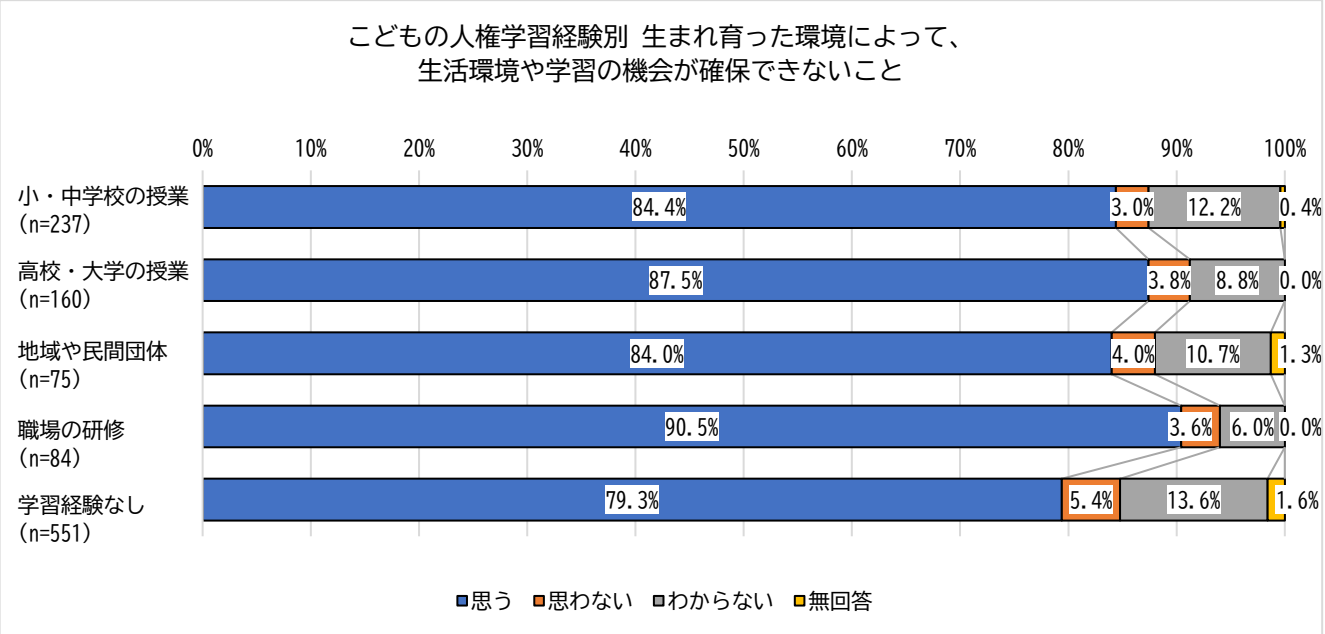
⑥ 売春・児童買春・援助交際があること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（98.8%）と最も低い「学習経験なし」（89.8%）の差は 9.0 ポイントとなっています。



⑦ 生まれ育った環境によって、健やかな成長に必要な生活環境や学習の機会が確保できないこと

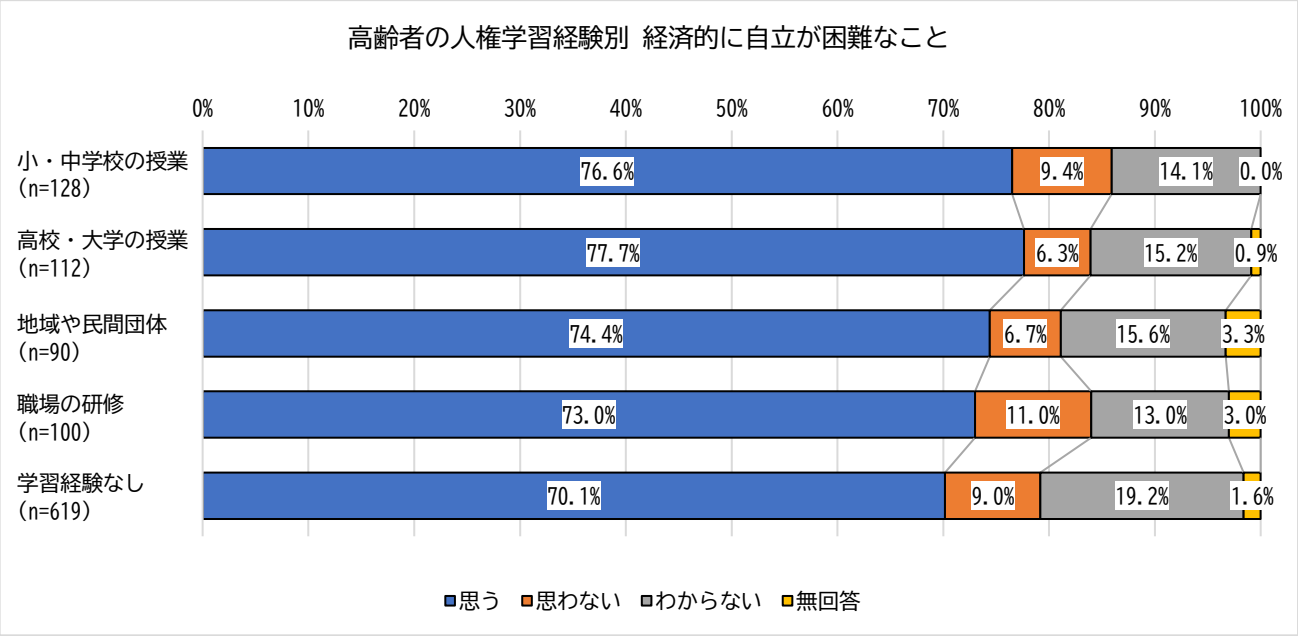
問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（90.5%）と最も低い「学習経験なし」（79.3%）の差は11.2 ポイントとなっています。



（3）高齢者の人権について

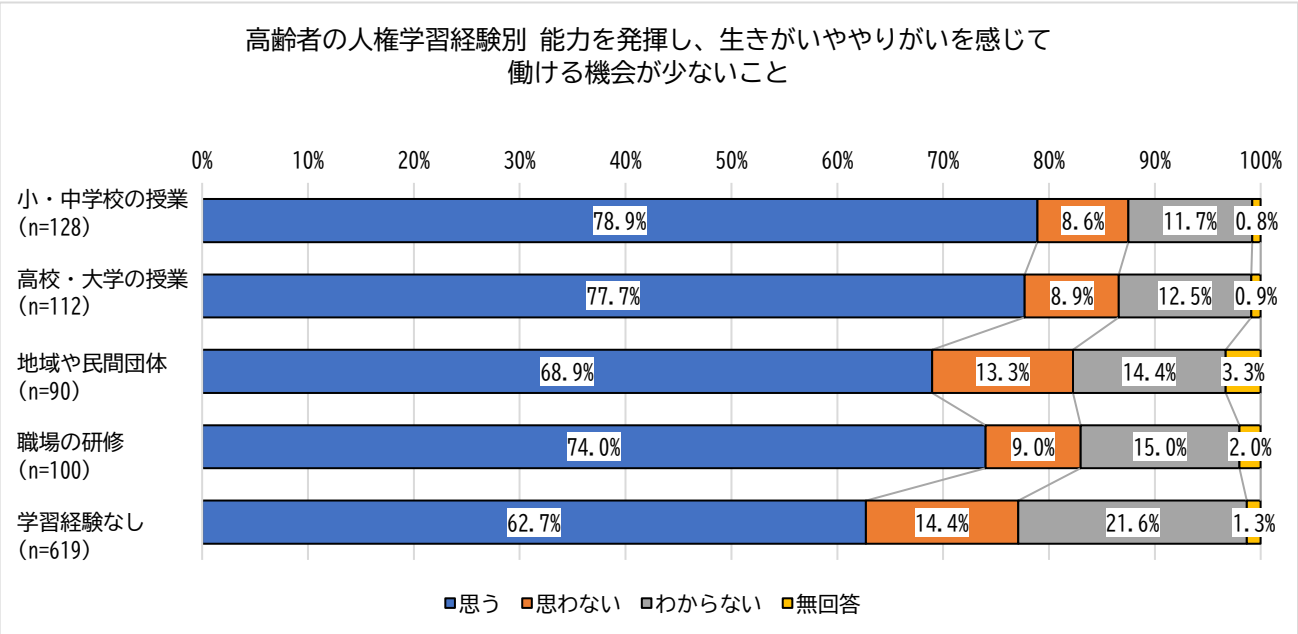
① 経済的に自立が困難なこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（77.7%）と最も低い「学習経験なし」（70.1%）の差は 7.6 ポイントとなっています。



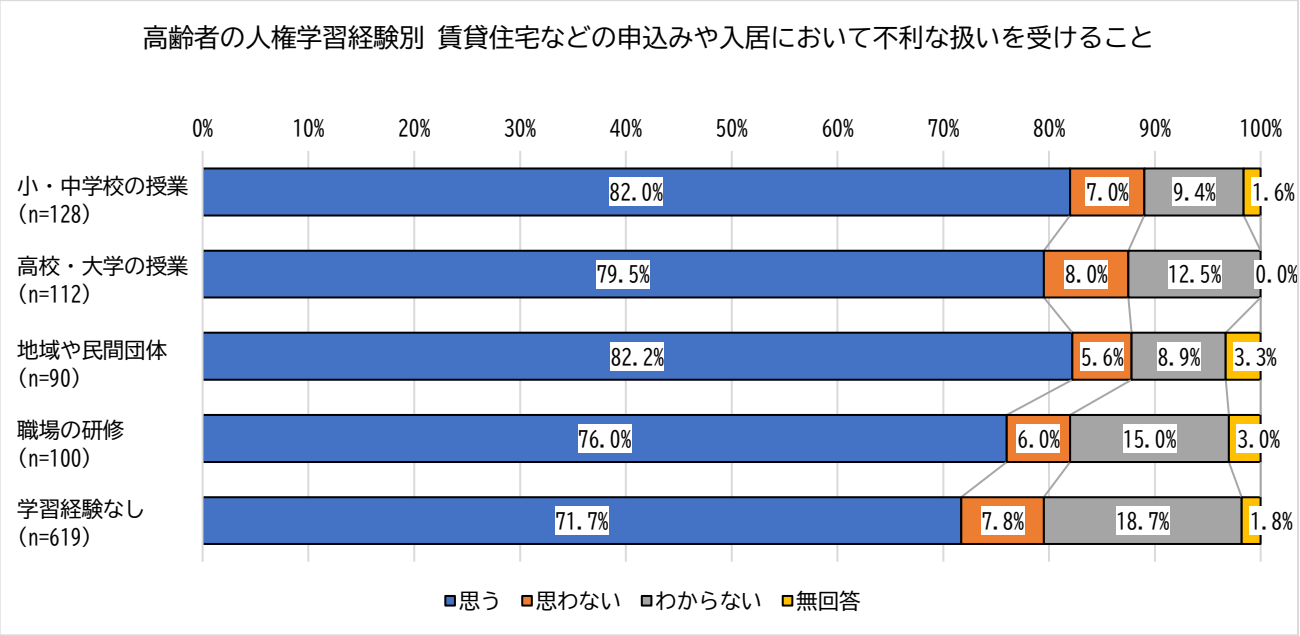
② 能力を発揮し、生きがいややりがいを感じて働ける機会が少ないこと

問題だと「思う」が最も高い「小・中学校の授業」（78.9%）と最も低い「学習経験なし」（62.7%）の差は 16.2 ポイントとなっています。



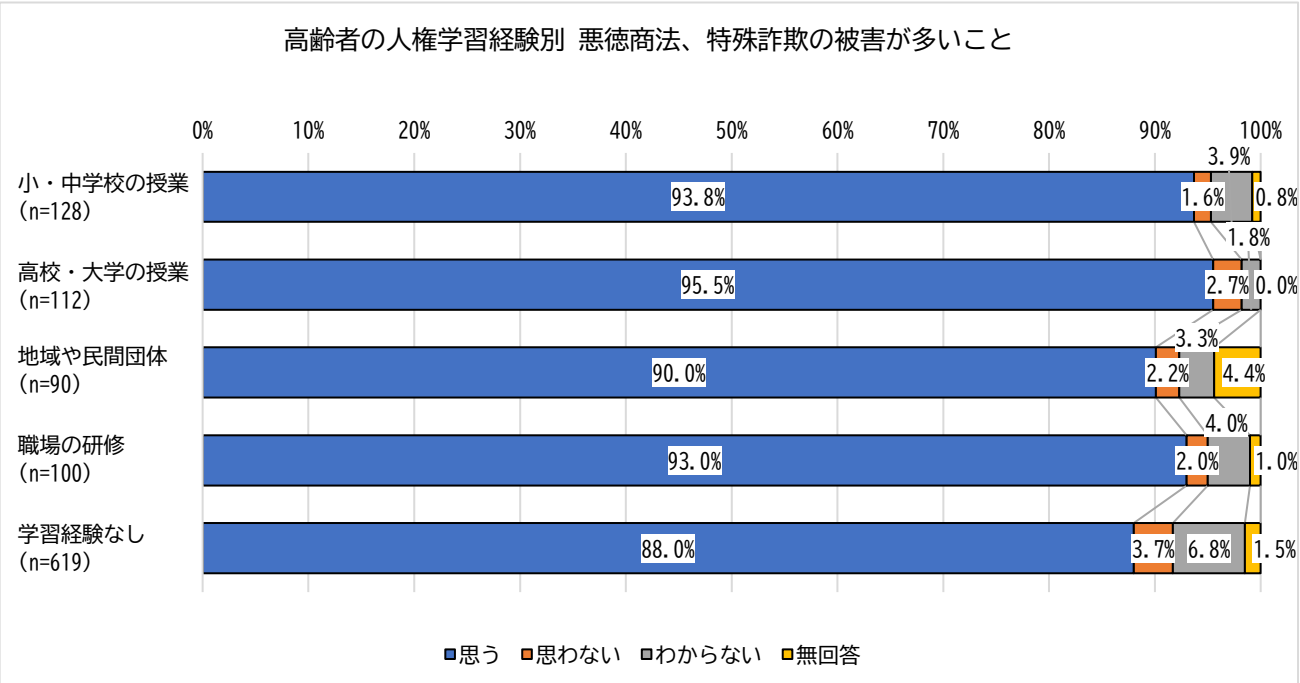
③ 高齢者であることを理由に賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（82.2%）と最も低い「学習経験なし」（71.7%）の差は 10.5 ポイントとなっています。



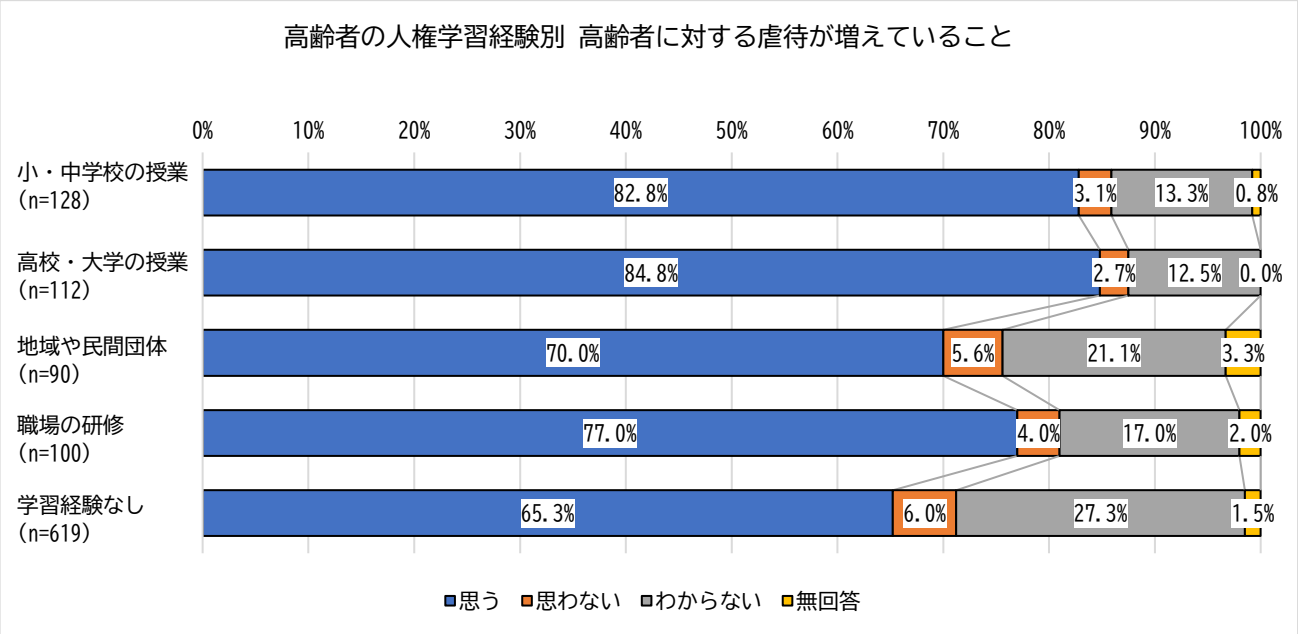
④ 悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと（振り込め詐欺を含む）

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（95.5%）と最も低い「学習経験なし」（88.0%）の差は 7.5 ポイントとなっています。



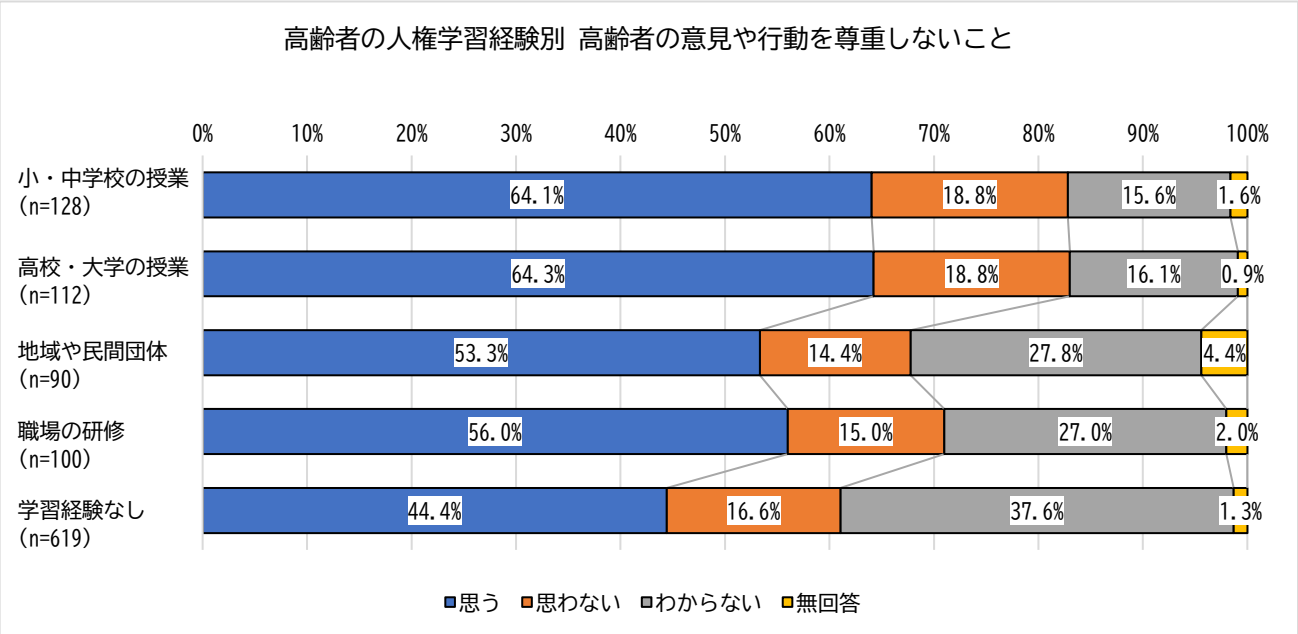
⑤ 高齢者に対する虐待が増えていること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（84.8%）と最も低い「学習経験なし」（65.3%）の差は 19.5 ポイントとなっています。



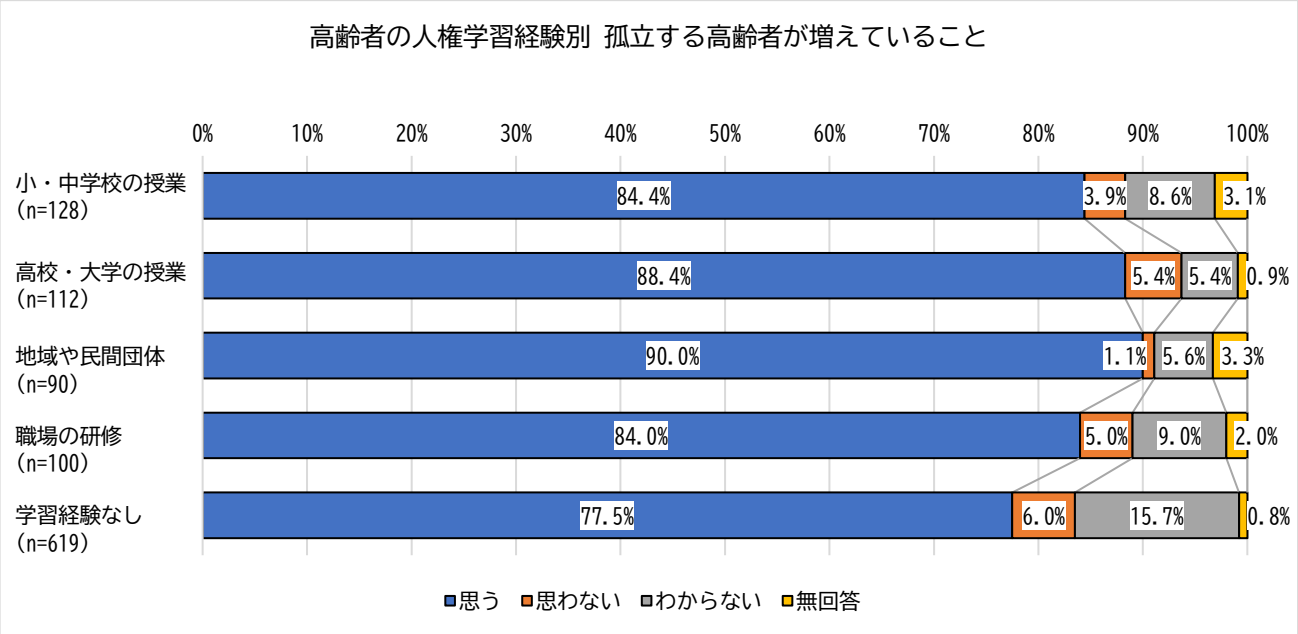
⑥ 高齢者の意見や行動を尊重しないこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（64.3%）と最も低い「学習経験なし」（44.4%）の差は 19.9 ポイントとなっています。



⑦ 孤立する高齢者が増えていること

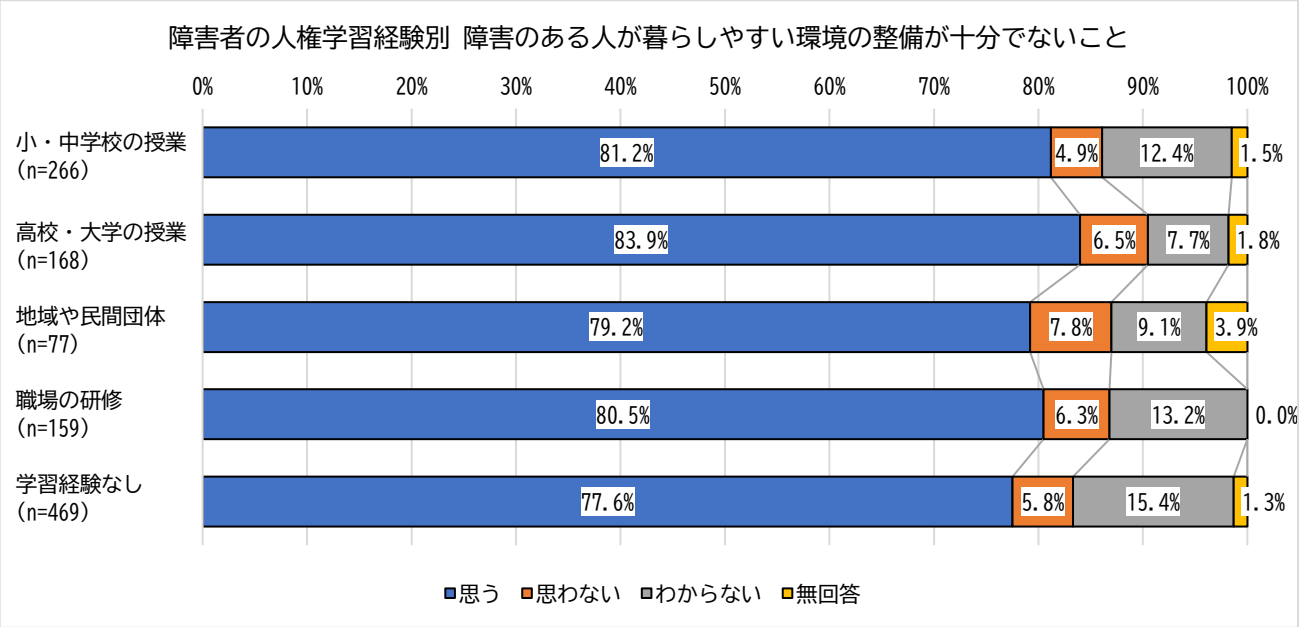
問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（90.0%）と最も低い「学習経験なし」（77.5%）の差は12.5 ポイントとなっています。



（4）障害者の人権について

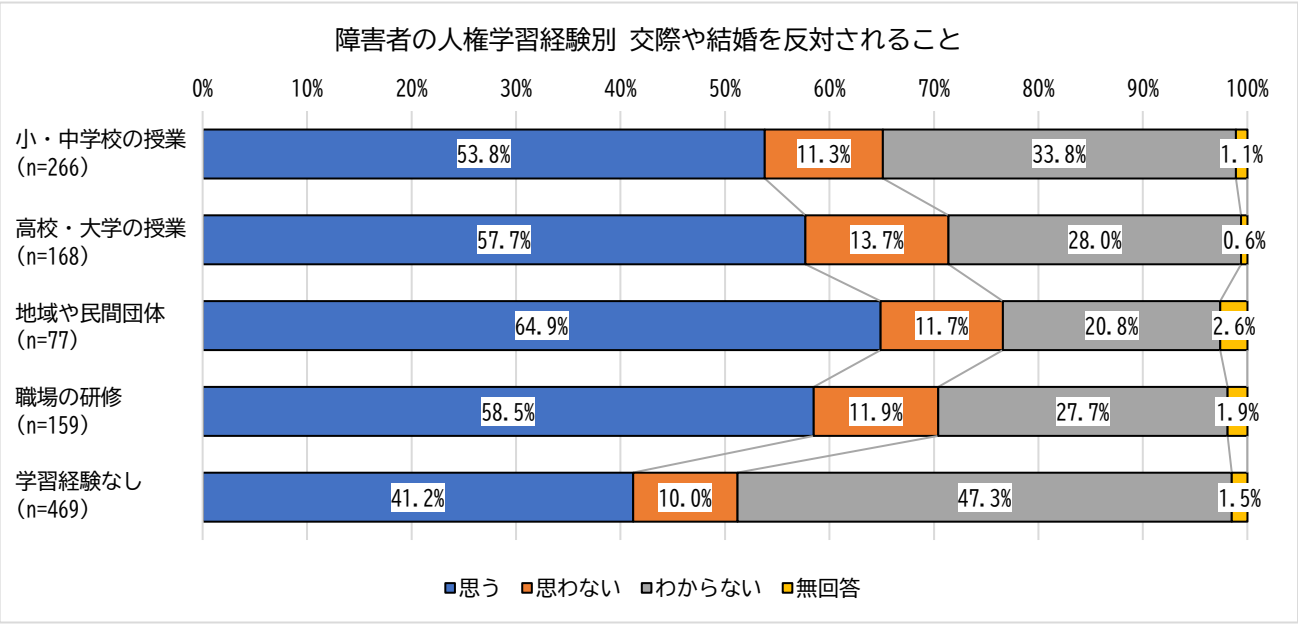
① 道路の段差解消、エレベーターの設置など、障害のある人が暮らしやすい環境の整備が十分でないこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（83.9%）と最も低い「学習経験なし」（77.6%）の差は 6.3 ポイントとなっています。



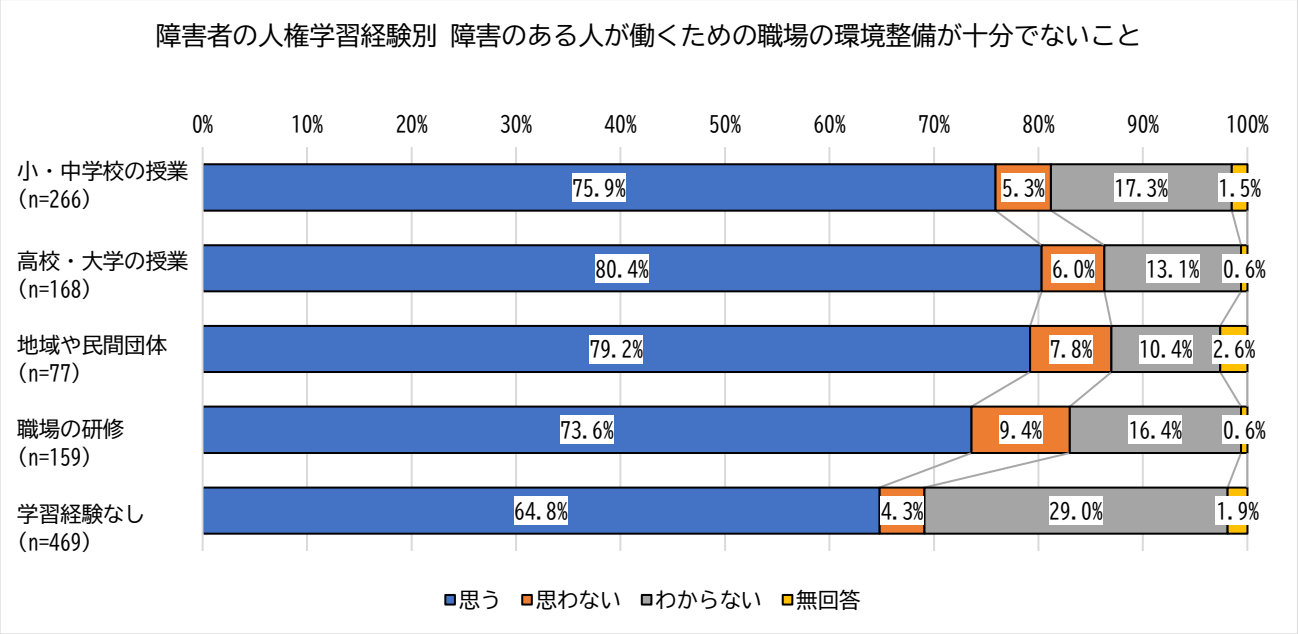
② 交際や結婚を反対されること

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（64.9%）と最も低い「学習経験なし」（41.2%）の差は 23.7 ポイントとなっています。



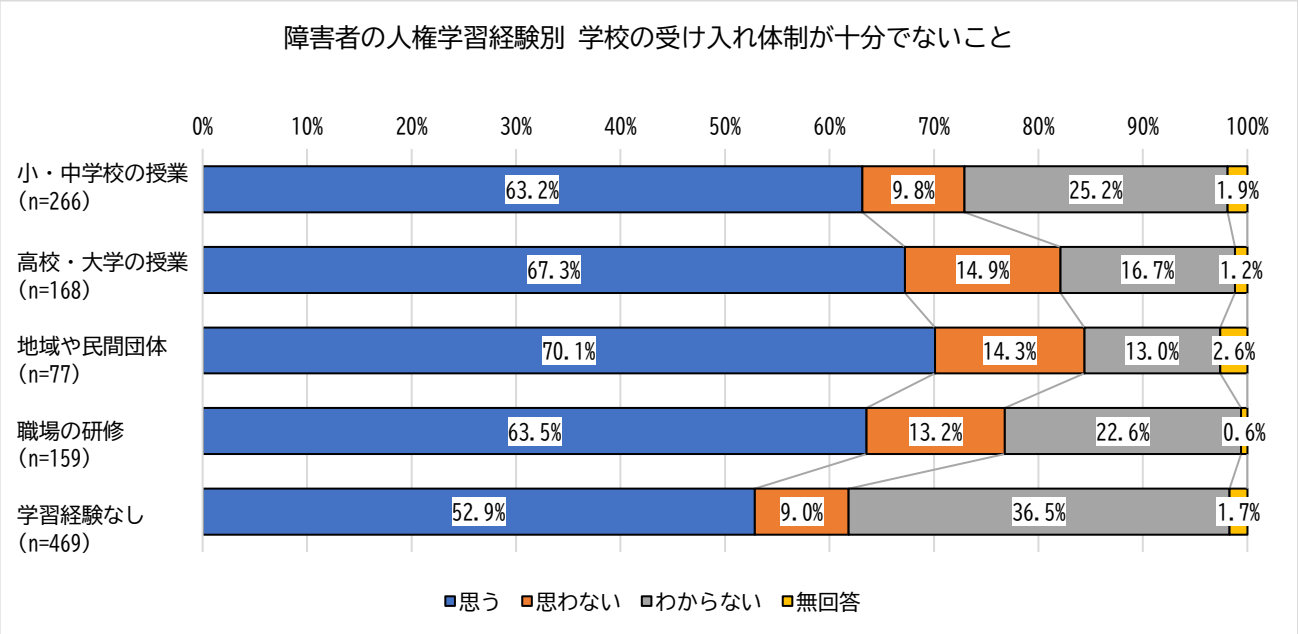
③ 仕事に就く機会が少なく、また、障害のある人が働くための職場の環境整備が十分でないこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（80.4%）と最も低い「学習経験なし」（64.8%）の差は 15.6 ポイントとなっています。



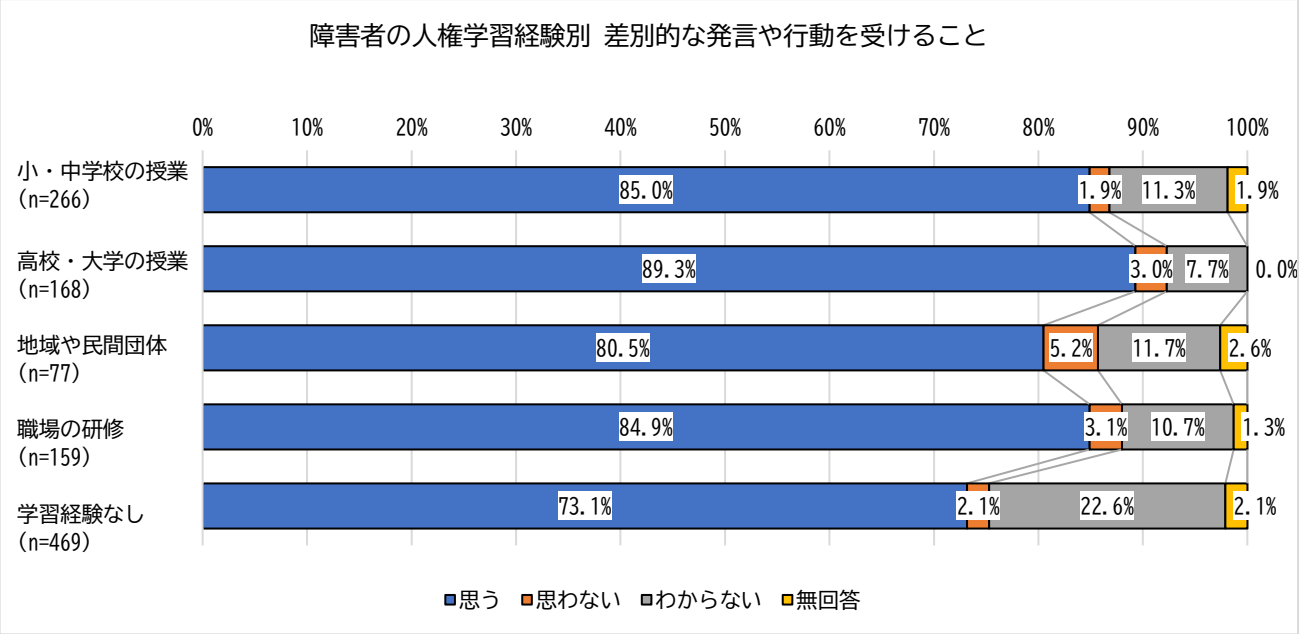
④ 障害のないこどもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（70.1%）と最も低い「学習経験なし」（52.9%）の差は 17.2 ポイントとなっています。



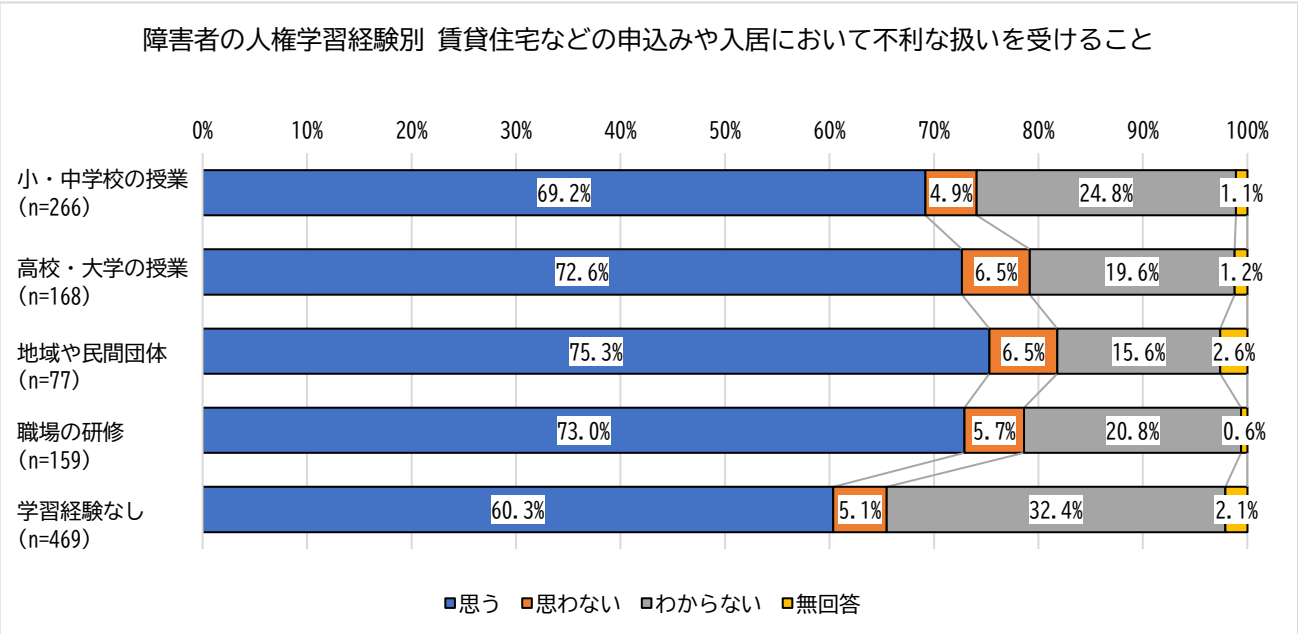
⑤ 差別的な発言や行動を受けること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（89.3%）と最も低い「学習経験なし」（73.1%）の差は 16.2 ポイントとなっています。



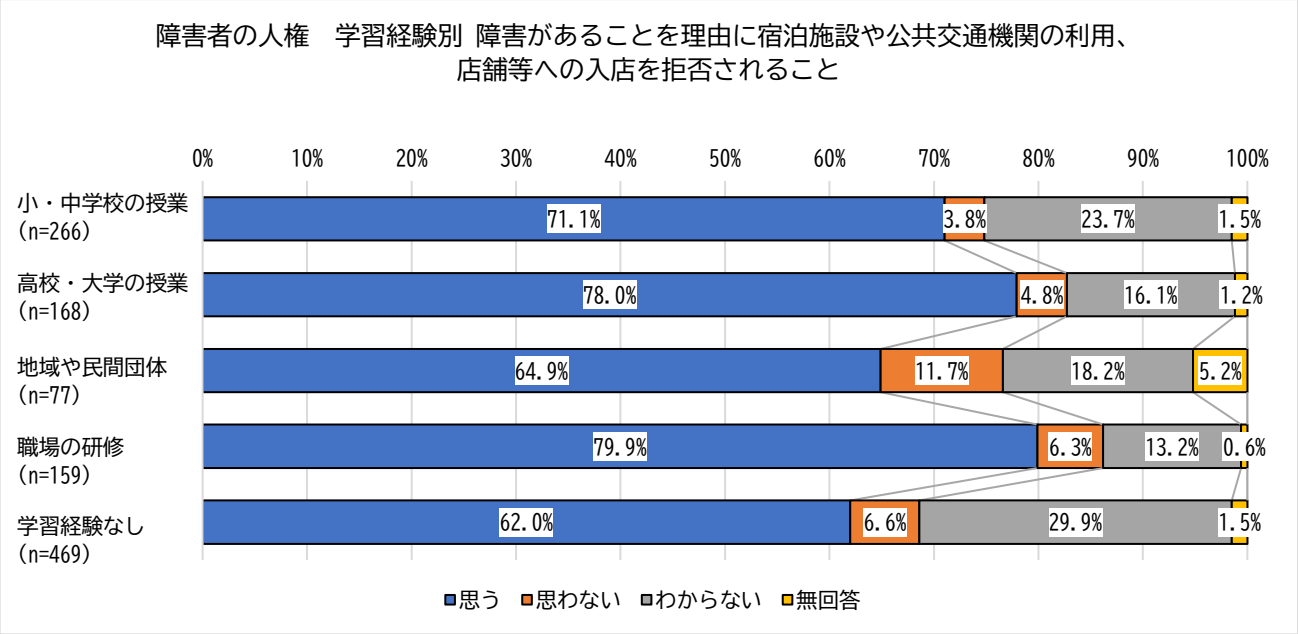
⑥ 障害者であることを理由に、賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（75.3%）と最も低い「学習経験なし」（60.3%）の差は 15.0 ポイントとなっています。



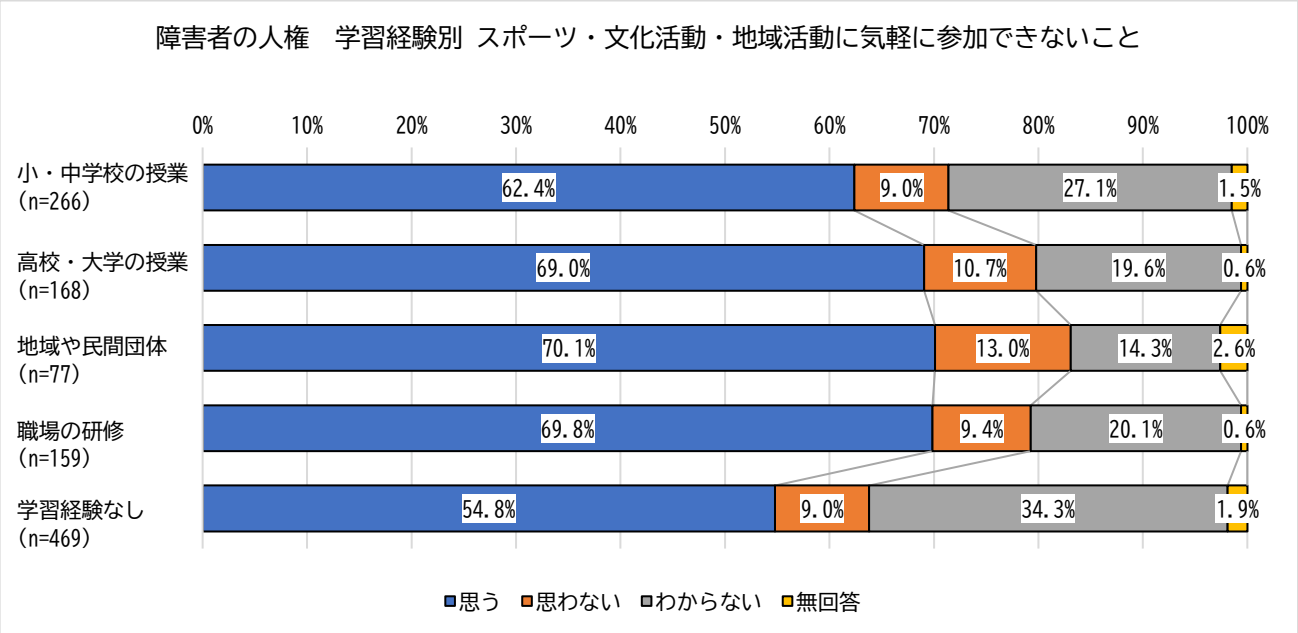
⑦ 障害があることを理由に宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（79.9%）と最も低い「学習経験なし」（62.0%）の差は17.9 ポイントとなっています。



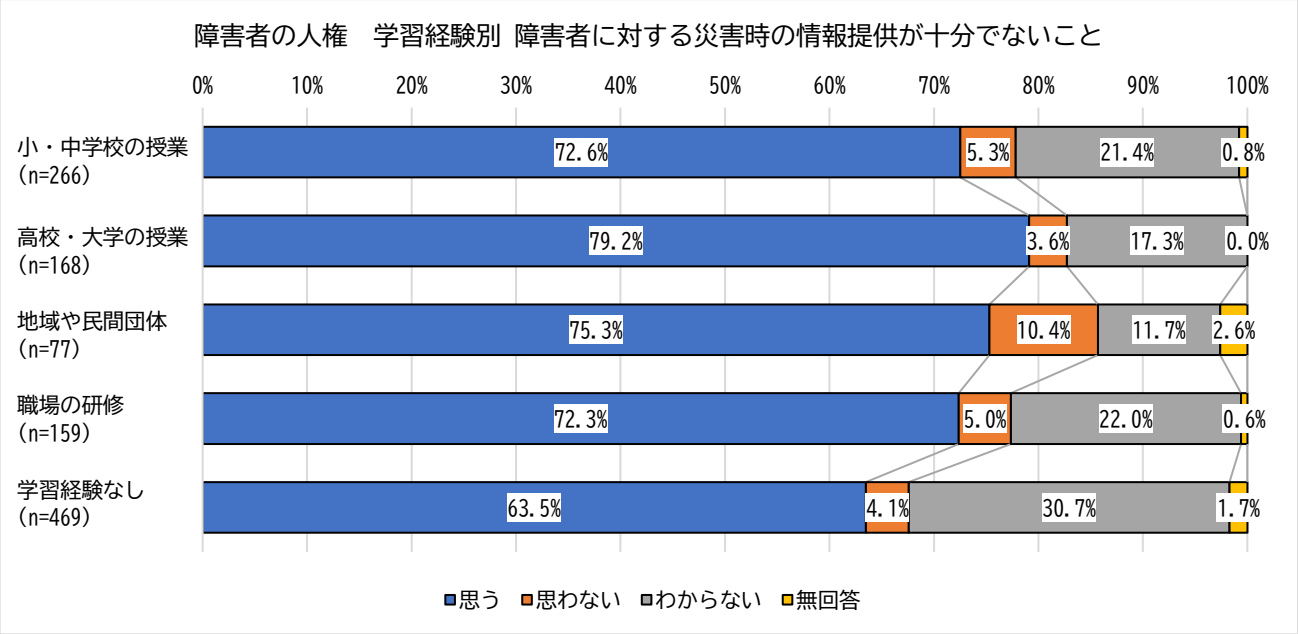
⑧ スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（70.1%）と最も低い「学習経験なし」（54.8%）の差は15.3 ポイントとなっています。



⑨ 障害者に対する災害時の情報提供が十分でないこと

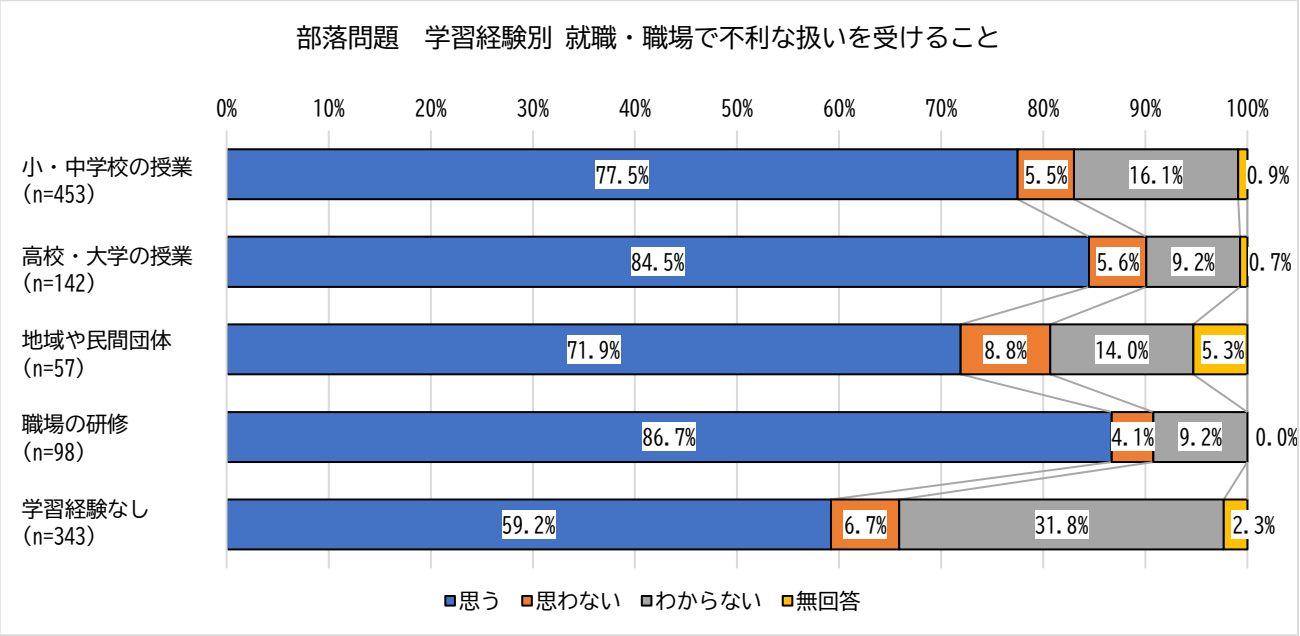
問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（79.2%）と最も低い「学習経験なし」（63.5%）の差は 15.7 ポイントとなっています。



（5） 部落差別(同和問題)について

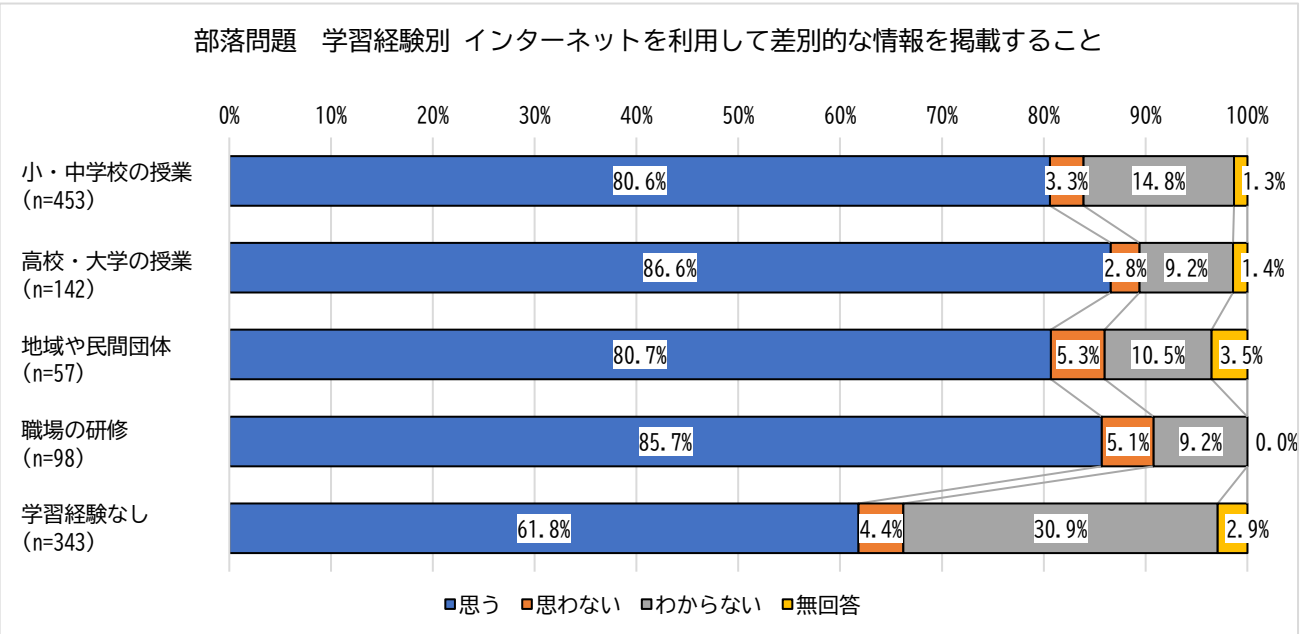
① 就職･職場で不利な扱いを受けること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」(86.7%)と最も低い「学習経験なし」(59.2%)の差は27.5 ポイントとなっています。



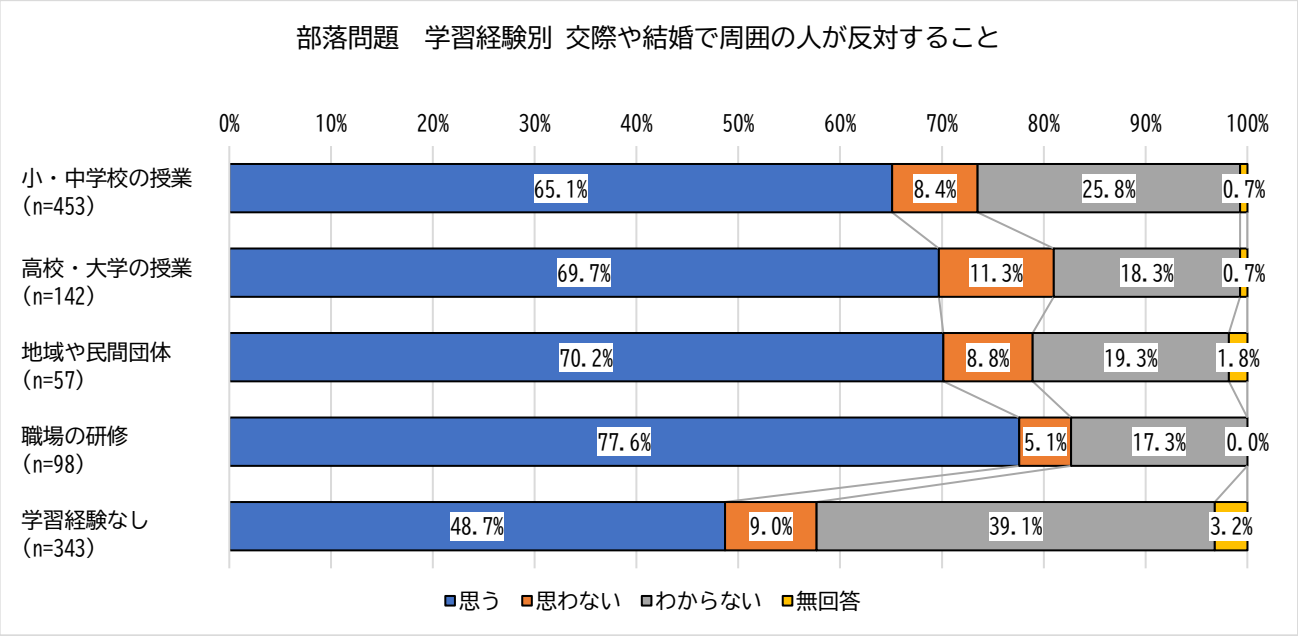
② インターネット(SNSなど)を利用して差別的な情報を掲載すること

問題だと「思う」が最も高い「高校･大学の授業」(86.6%)と最も低い「学習経験なし」(61.8%)の差は 24.8 ポイントとなっています。



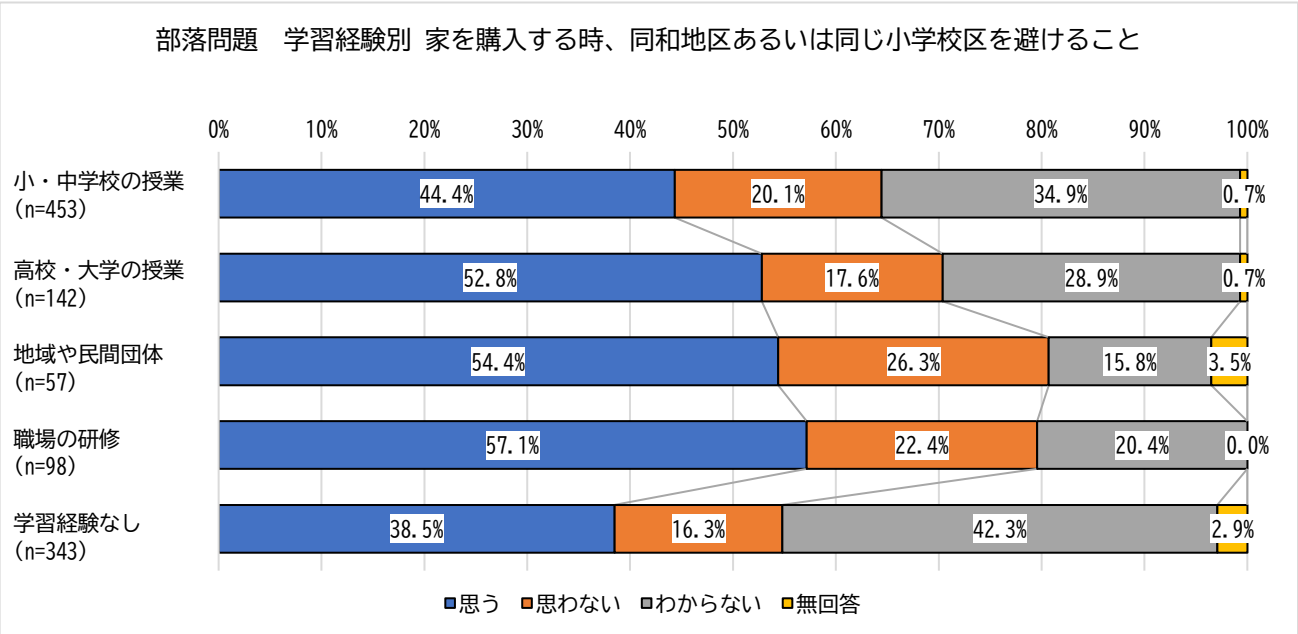
③ 交際や結婚で周囲の人が反対すること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（77.6%）と最も低い「学習経験なし」（48.7%）の差は28.9 ポイントとなっています。



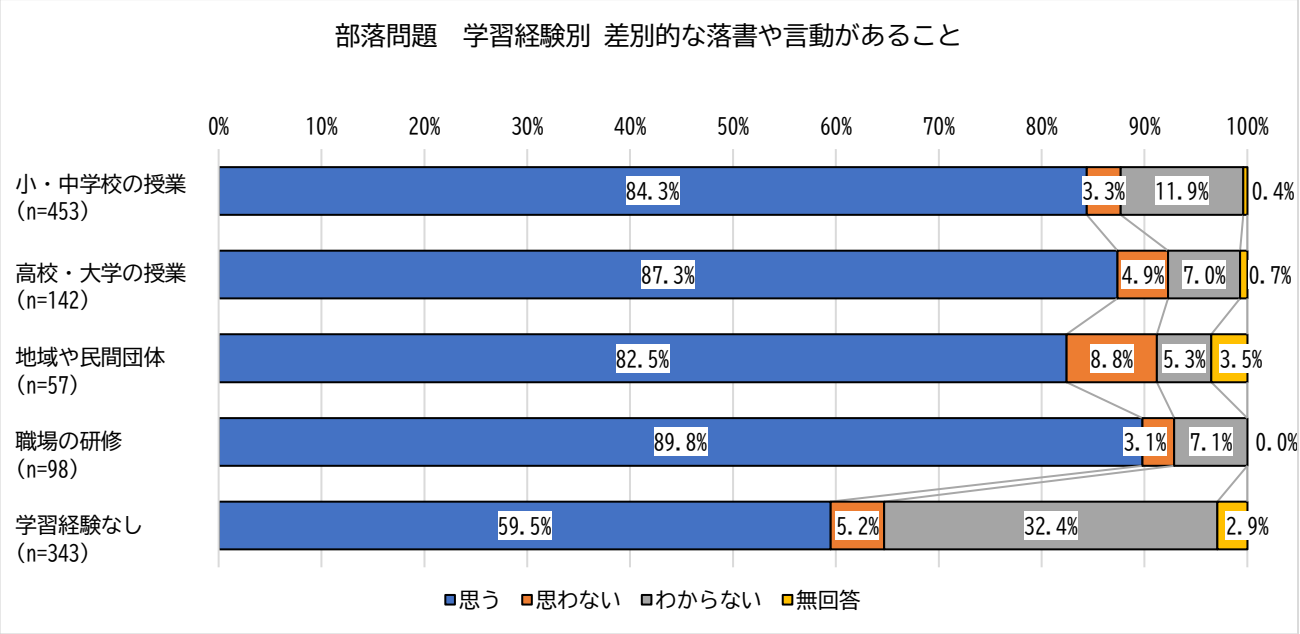
④ 家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（57.1%）と最も低い「学習経験なし」（38.5%）の差は18.6 ポイントとなっています。



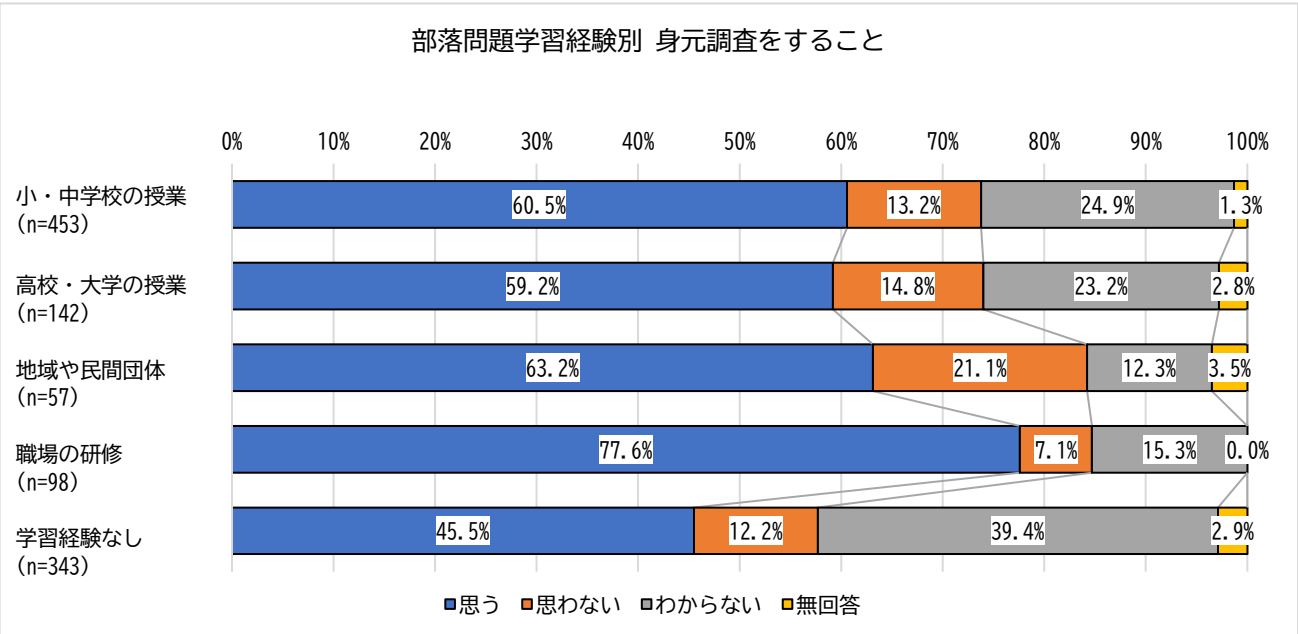
⑤ 差別的な落書や言動があること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（89.8%）と最も低い「学習経験なし」（59.5%）の差は30.3 ポイントとなっています。



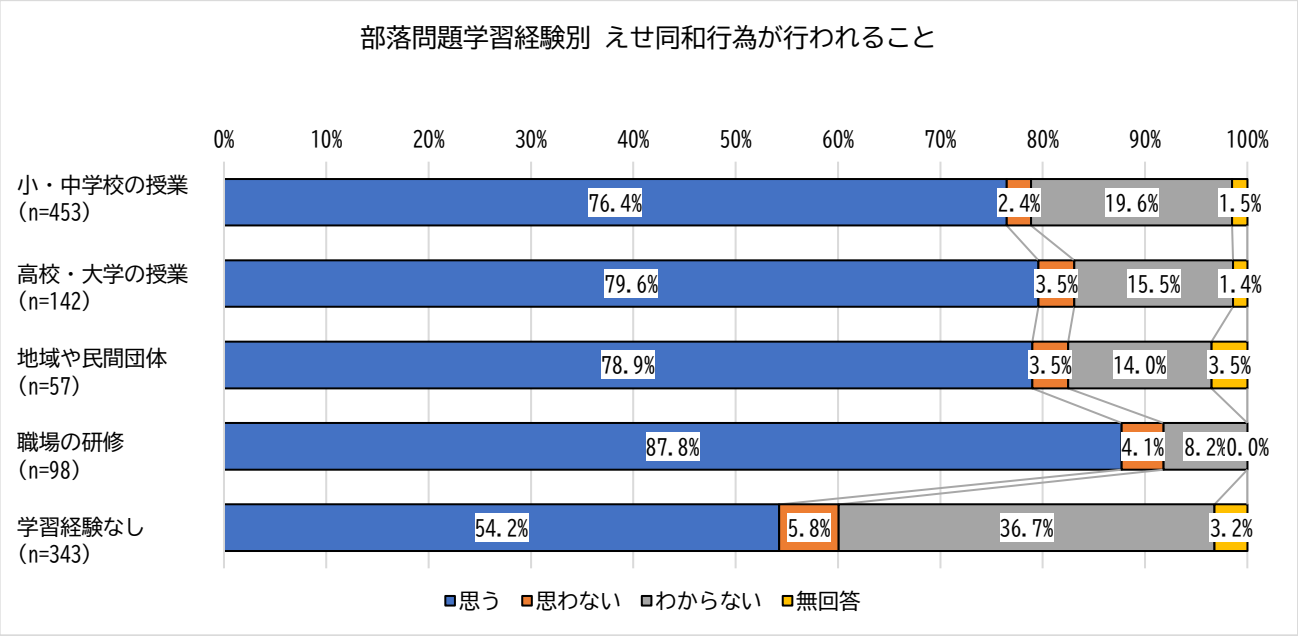
⑥ 身元調査をすること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（77.6%）と最も低い「学習経験なし」（45.5%）の差は32.1 ポイントとなっています。



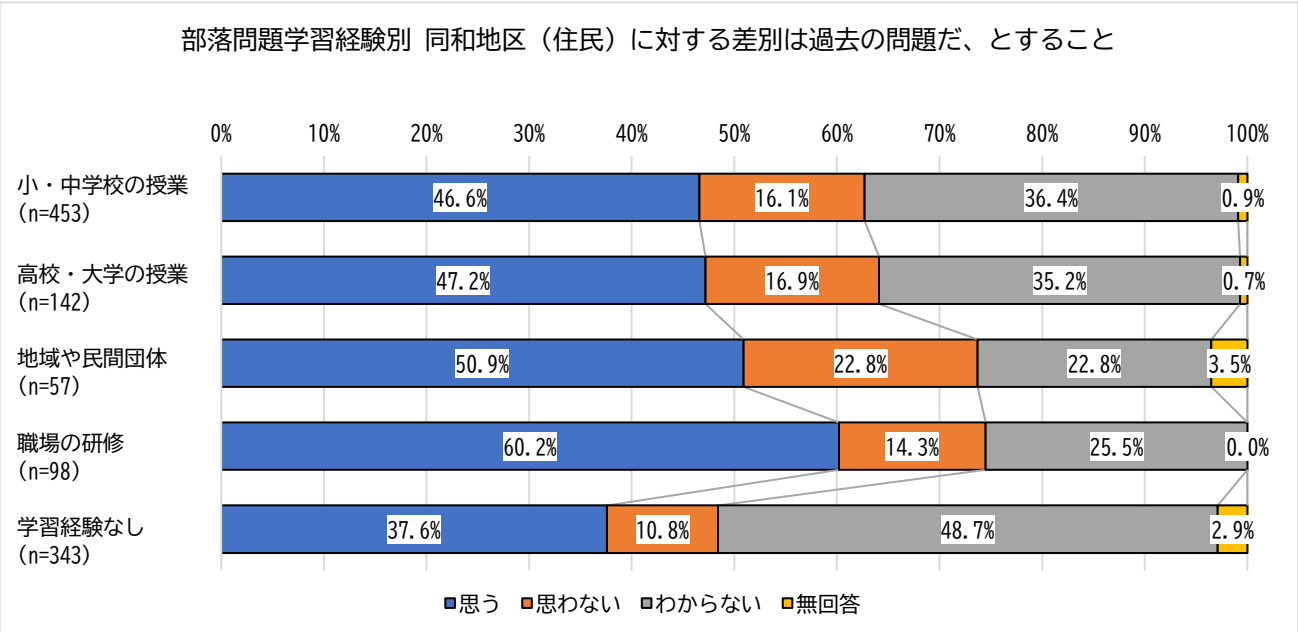
⑦　同和問題を口実に企業や官公庁などに不当な要求をするえせ同和行為が行われること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（87.8%）と最も低い「学習経験なし」（54.2%）の差は33.6 ポイントとなっています。



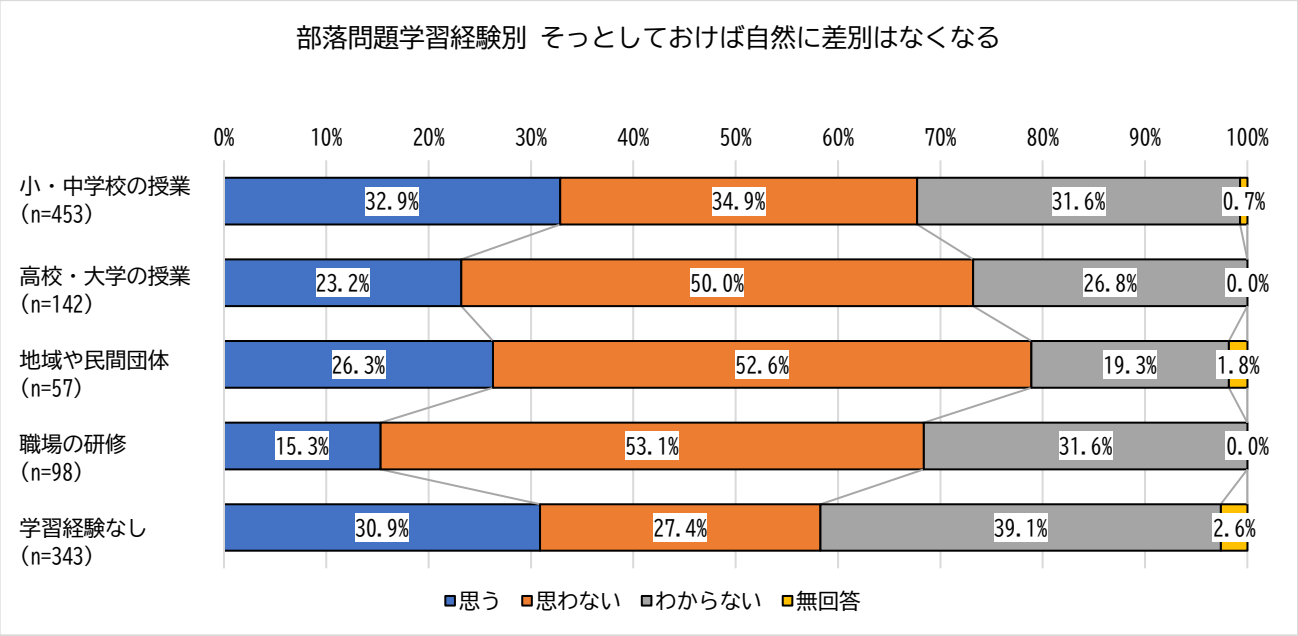
⑧ 同和地区（住民）に対する差別は過去の問題だ、とすること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（60.2%）と最も低い「学習経験なし」（37.6%）の差は22.6 ポイントとなっています。



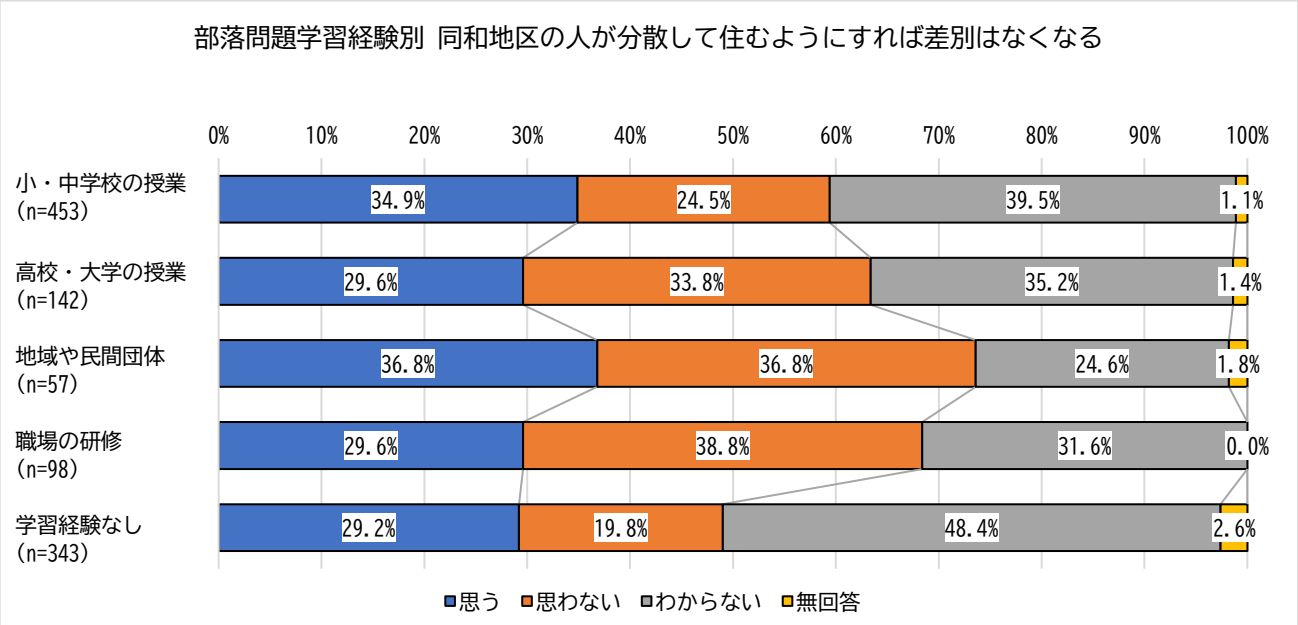
⑨ 同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけば自然に差別はなくなる

正しいと「思わない」が最も高い「職場の研修」（53.1%）と最も低い「学習経験なし」（27.4%）の差は25.7 ポイントとなっています。



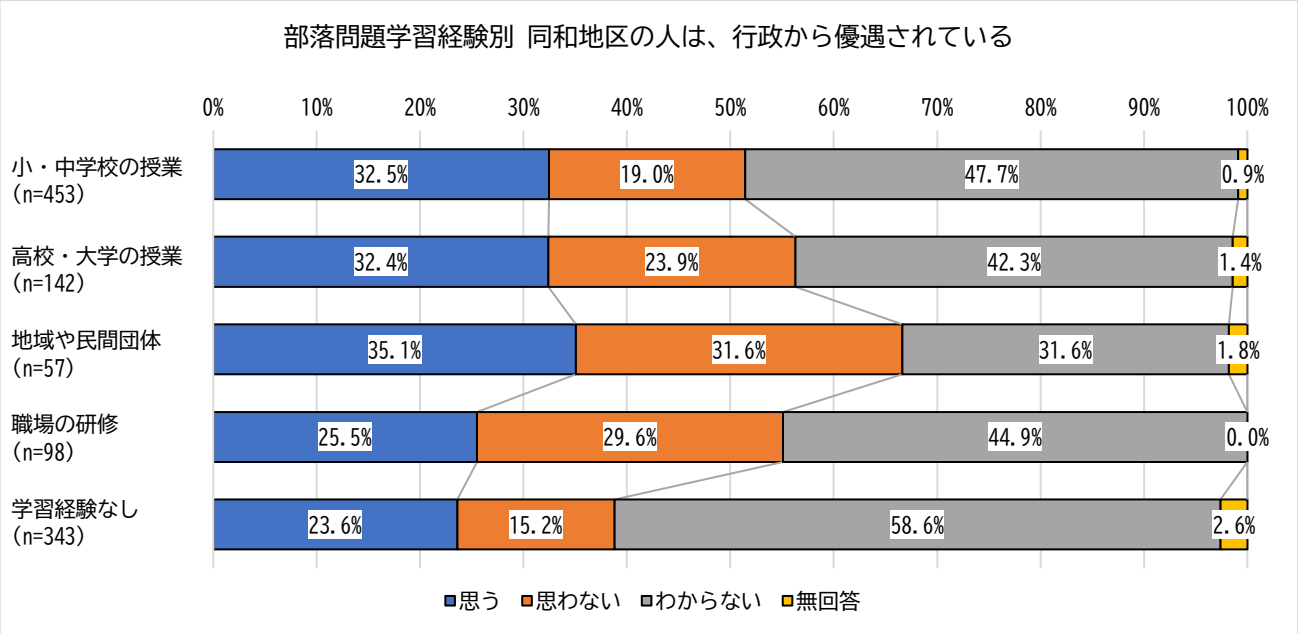
⑩ 同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる

正しいと「思わない」が最も高い「職場の研修」（38.8%）と最も低い「学習経験なし」（19.8%）の差は19.0 ポイントとなっています。



⑪ 同和地区の人は、行政から優遇されている

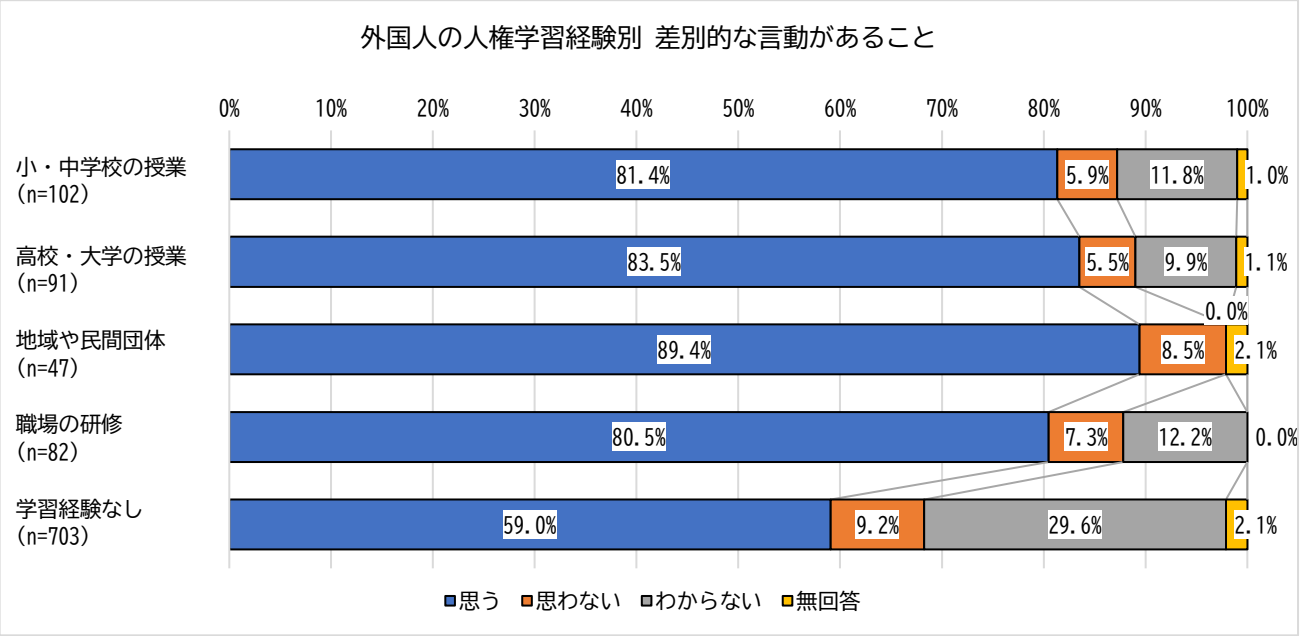
正しいと「思わない」が最も高い「地域や民間団体」（31.6％）と最も低い「学習経験なし」（15.2％）の差は 16.4 ポイントとなっています。



（6）外国人の人権について

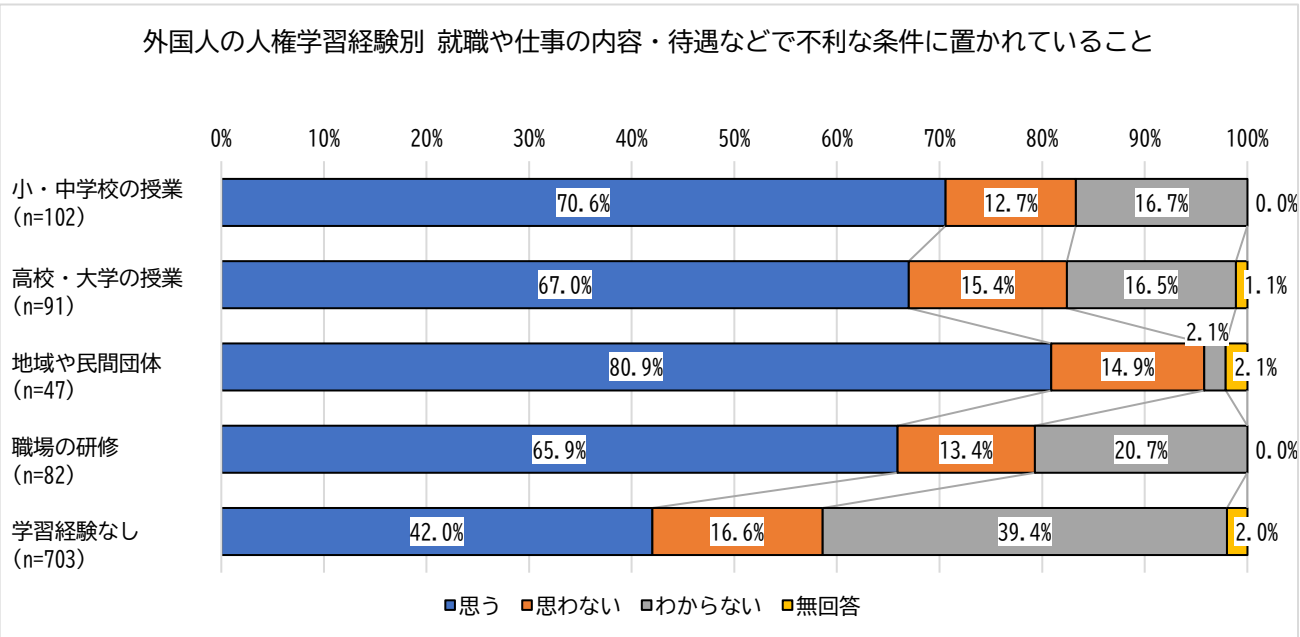
① 差別的な言動があること（ヘイトスピーチ、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む）

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（89.4%）と最も低い「学習経験なし」（59.0%）の差は30.4 ポイントとなっています。



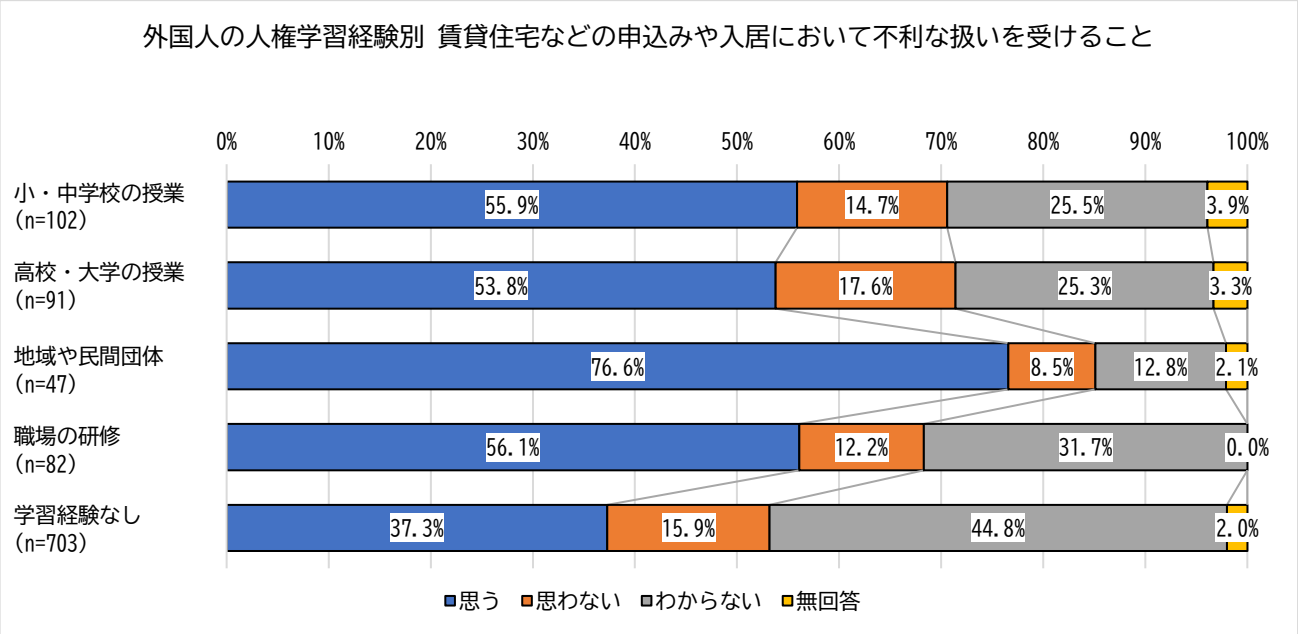
② 就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（80.9%）と最も低い「学習経験なし」（42.0%）の差は38.9 ポイントとなっています。



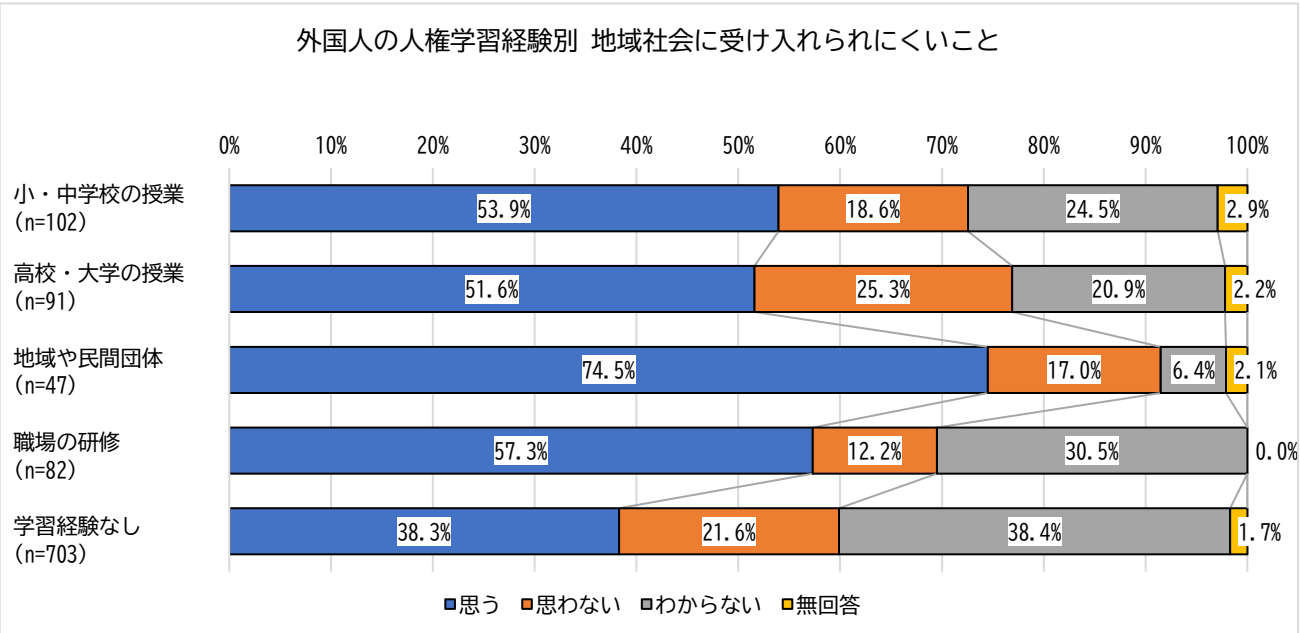
③ 外国人であることを理由に賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（76.6%）と最も低い「学習経験なし」（37.3%）の差は39.3 ポイントとなっています。



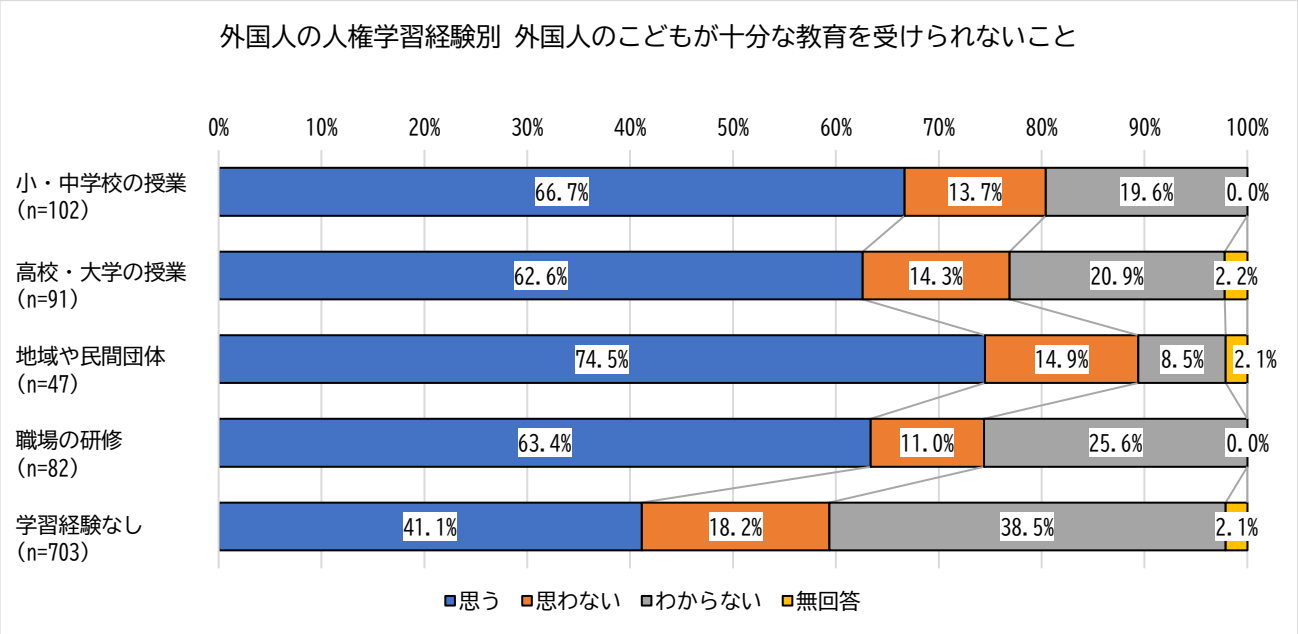
④ 暮らしや文化、宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（74.5%）と最も低い「学習経験なし」（38.3%）の差は36.2 ポイントとなっています。



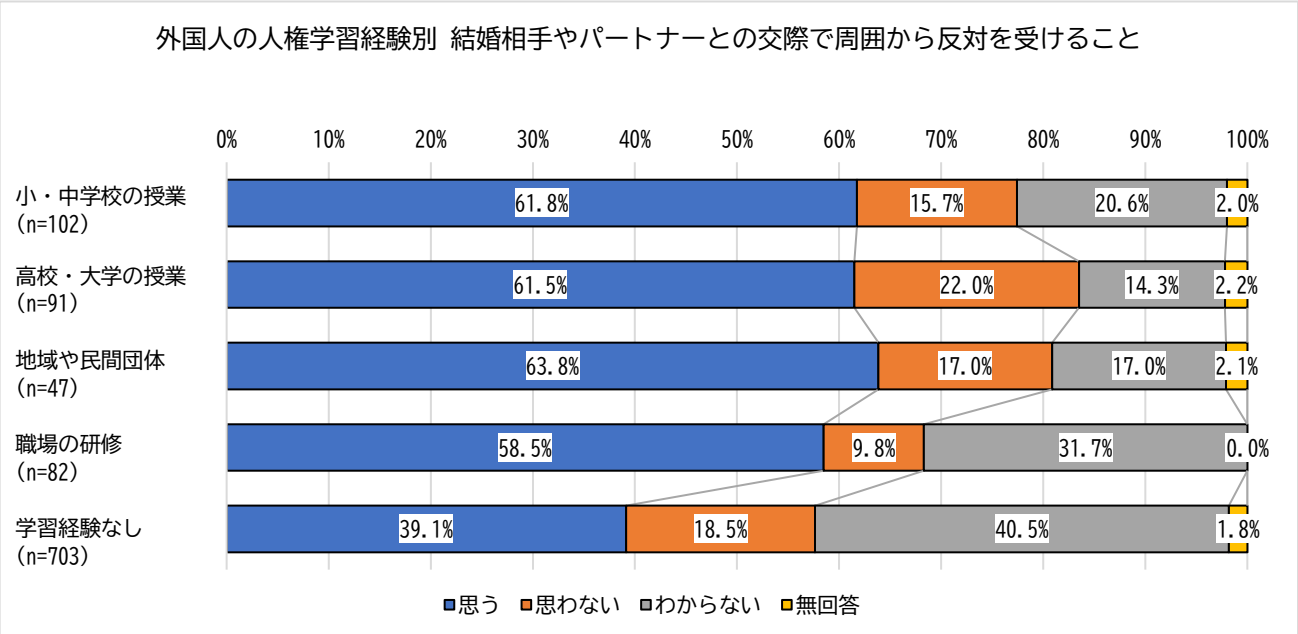
⑤ 外国人のこどもが十分な教育を受けられないこと（自国の言語での教育を含む）

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（74.5%）と最も低い「学習経験なし」（41.1%）の差は33.4 ポイントとなっています。



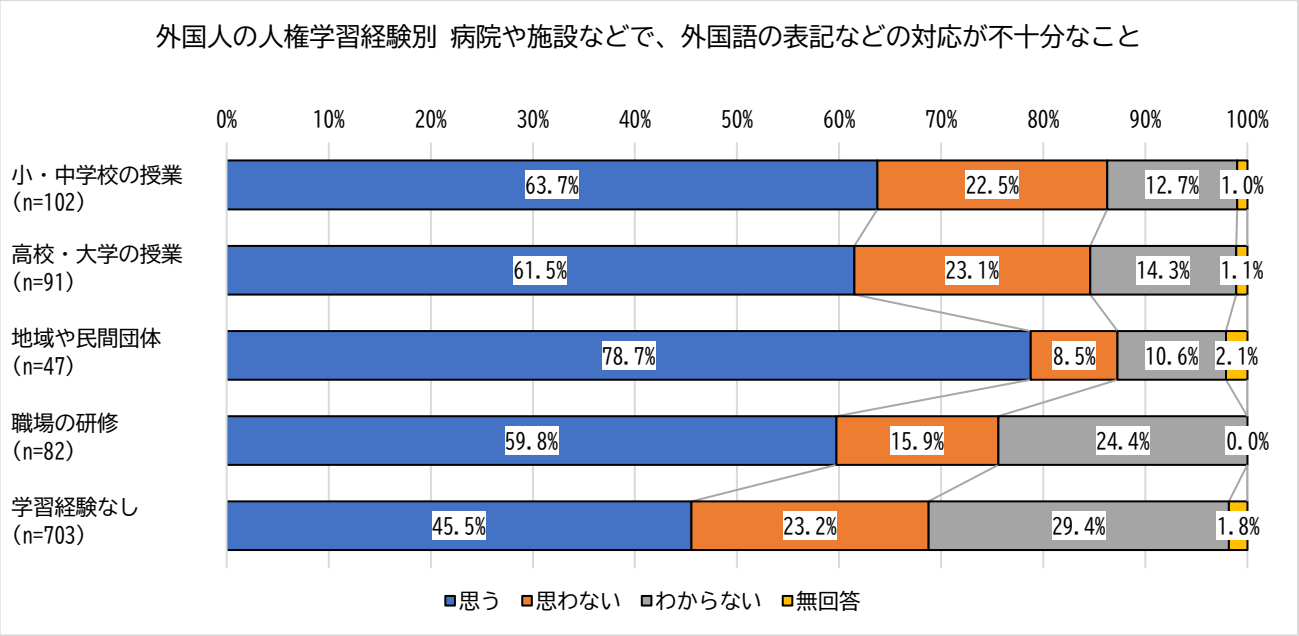
⑥ 結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（63.8%）と最も低い「学習経験なし」（39.1%）の差は24.7 ポイントとなっています。



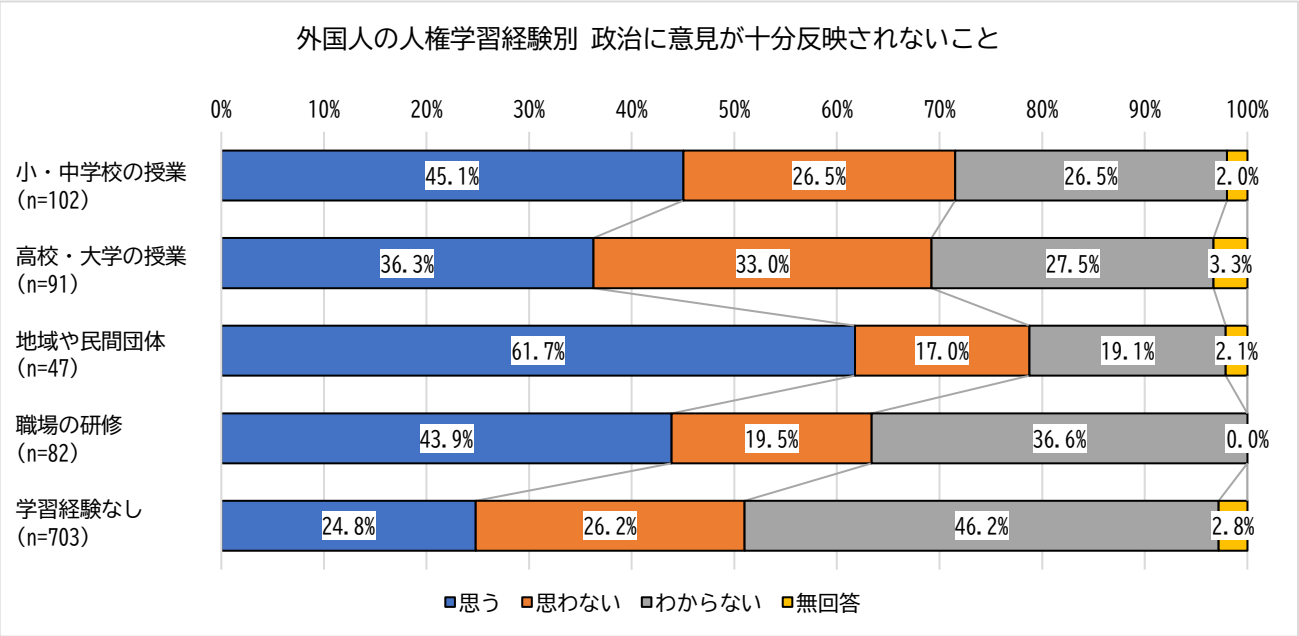
⑦ 病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（78.7%）と最も低い「学習経験なし」（45.5%）の差は33.2 ポイントとなっています。



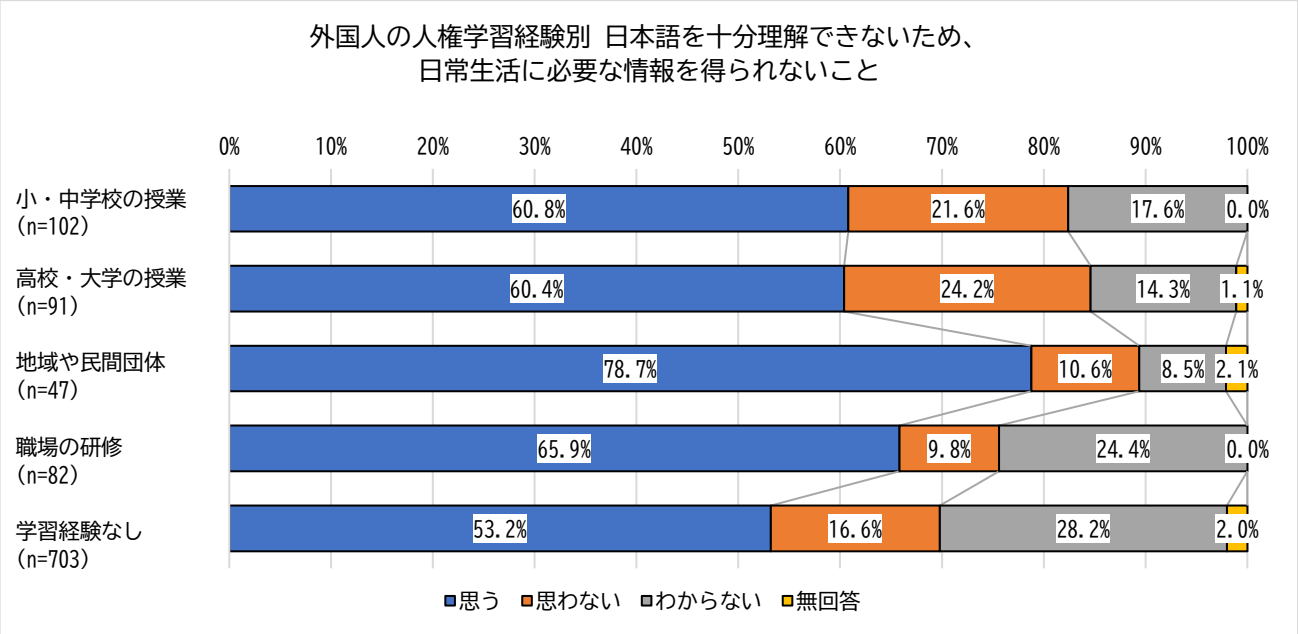
⑧ 政治に意見が十分反映されないこと

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（61.7%）と最も低い「学習経験なし」（24.8%）の差は36.9 ポイントとなっています。



⑨ 日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと

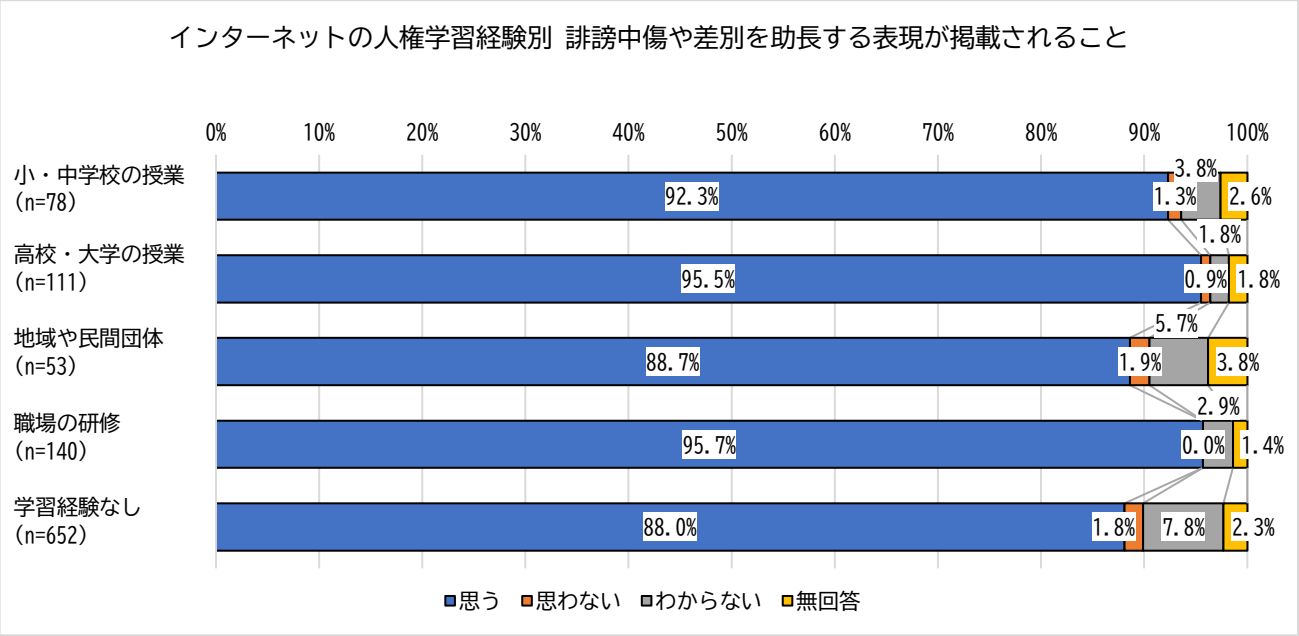
問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（78.7%）と最も低い「学習経験なし」（53.2%）の差は25.5 ポイントとなっています。



（7）インターネットにおける人権について

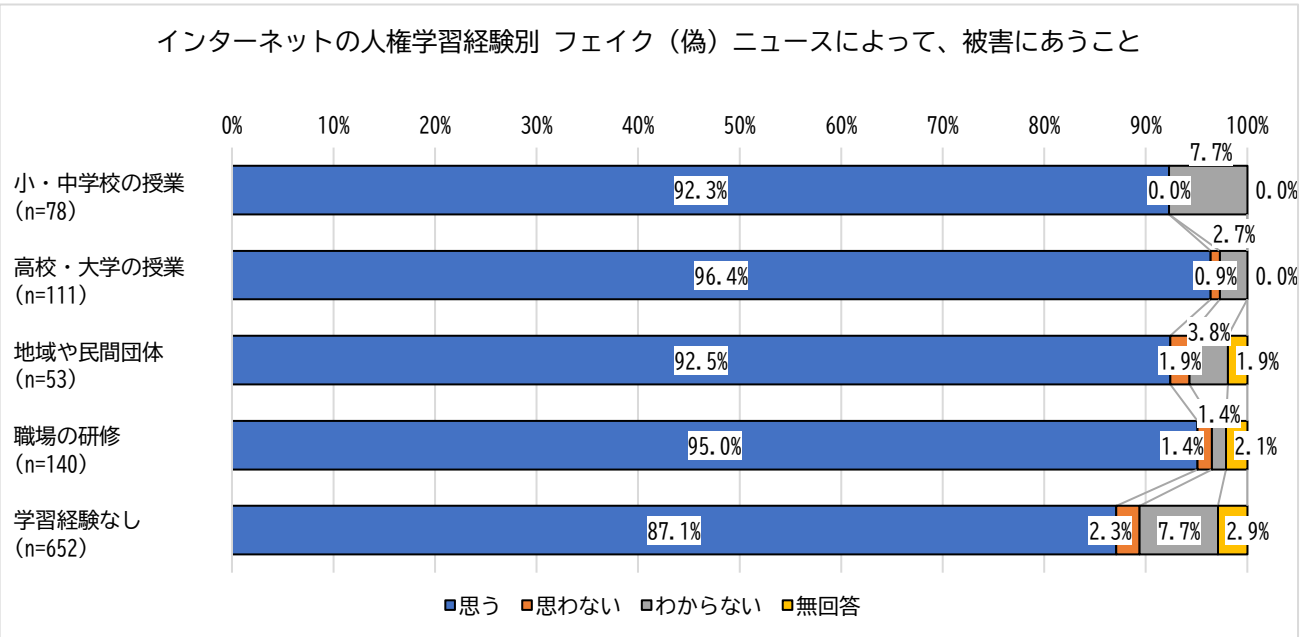
① SNSなどで他人を誹謗中傷する表現や、差別を助長する表現が掲載されること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（95.7%）と最も低い「学習経験なし」（88.0%）の差は 7.7 ポイントとなっています。



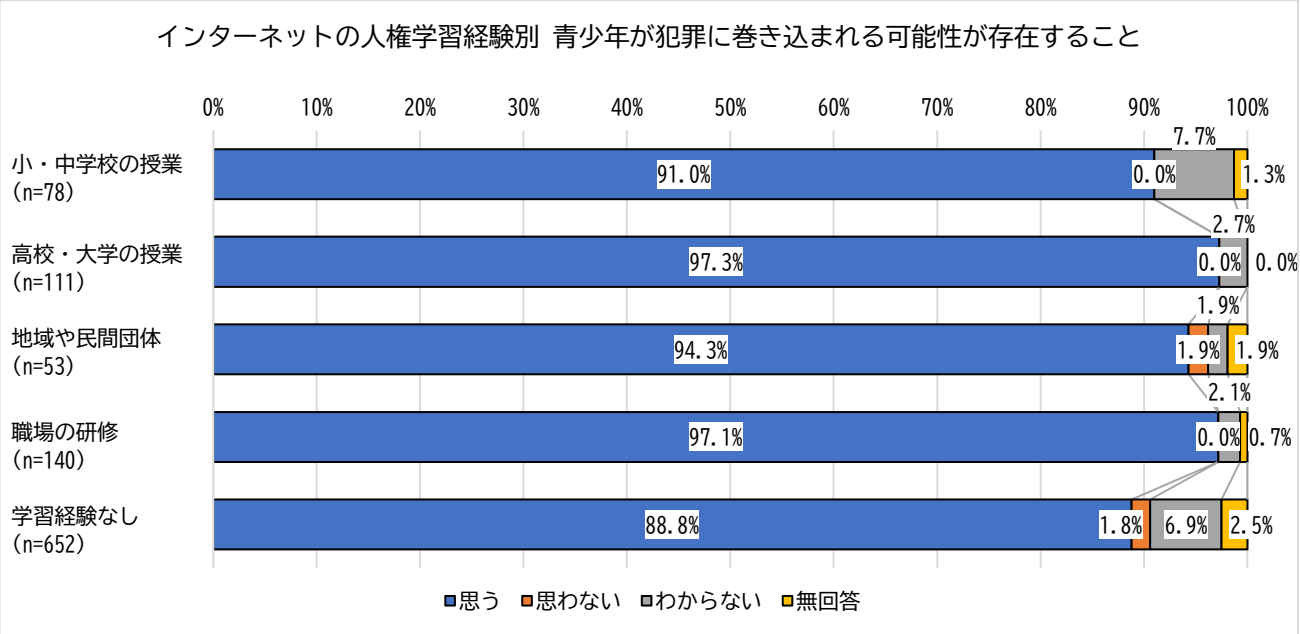
② インターネット上のフェイク（偽）ニュースによって、被害にあうこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（96.4%）と最も低い「学習経験なし」（87.1%）の差は 9.3 ポイントとなっています。



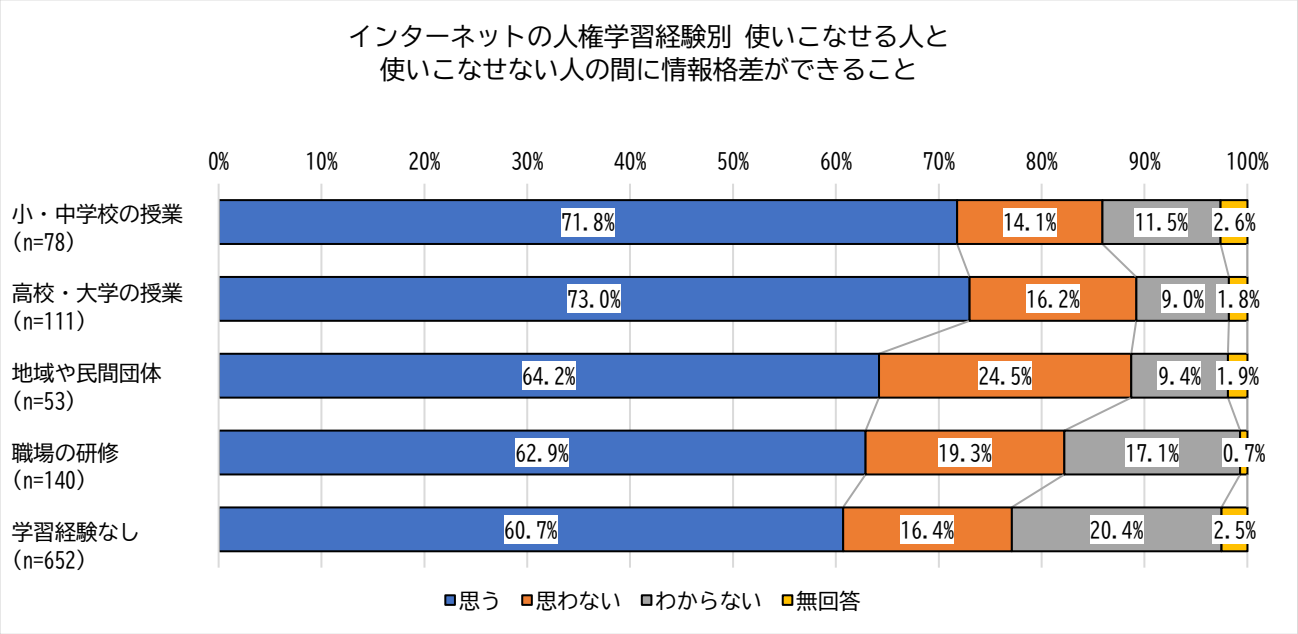
③　闇バイト、オンラインカジノなど青少年が犯罪に巻き込まれる可能性が存在すること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（97.3%）と最も低い「学習経験なし」（88.8%）の差は 8.5 ポイントとなっています。



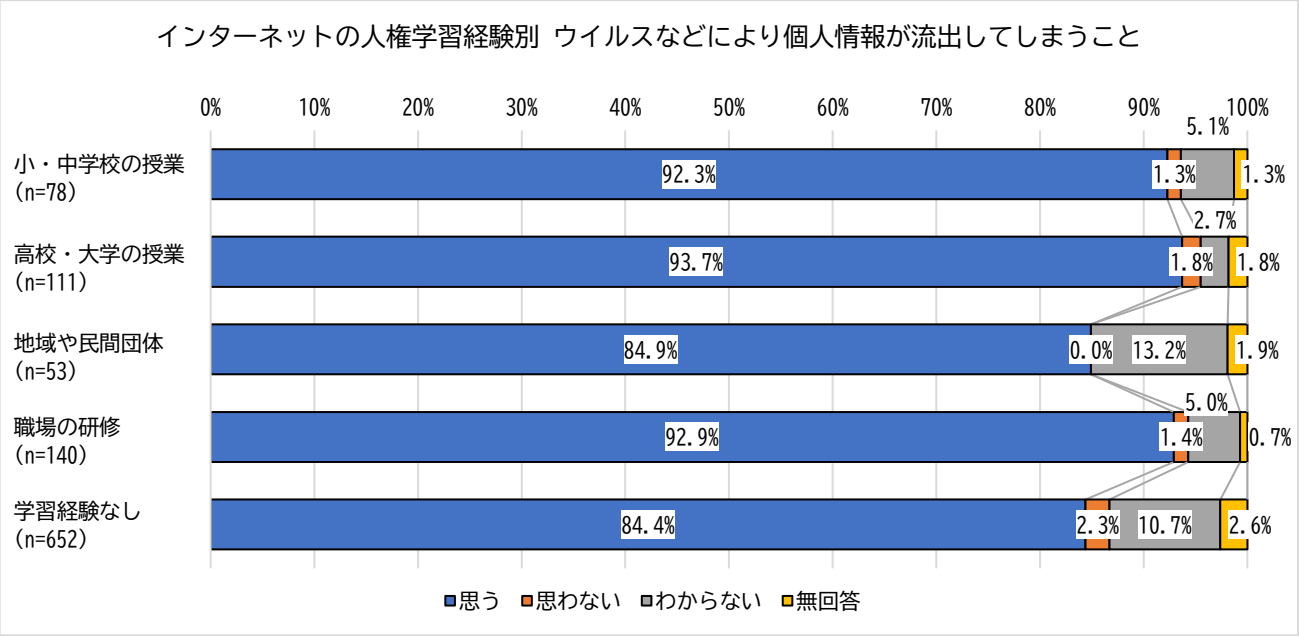
④　パソコンやスマホを使いこなせる人と使いこなせない人の間に情報格差ができること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（73.0%）と最も低い「学習経験なし」（60.7%）の差は 12.3 ポイントとなっています。



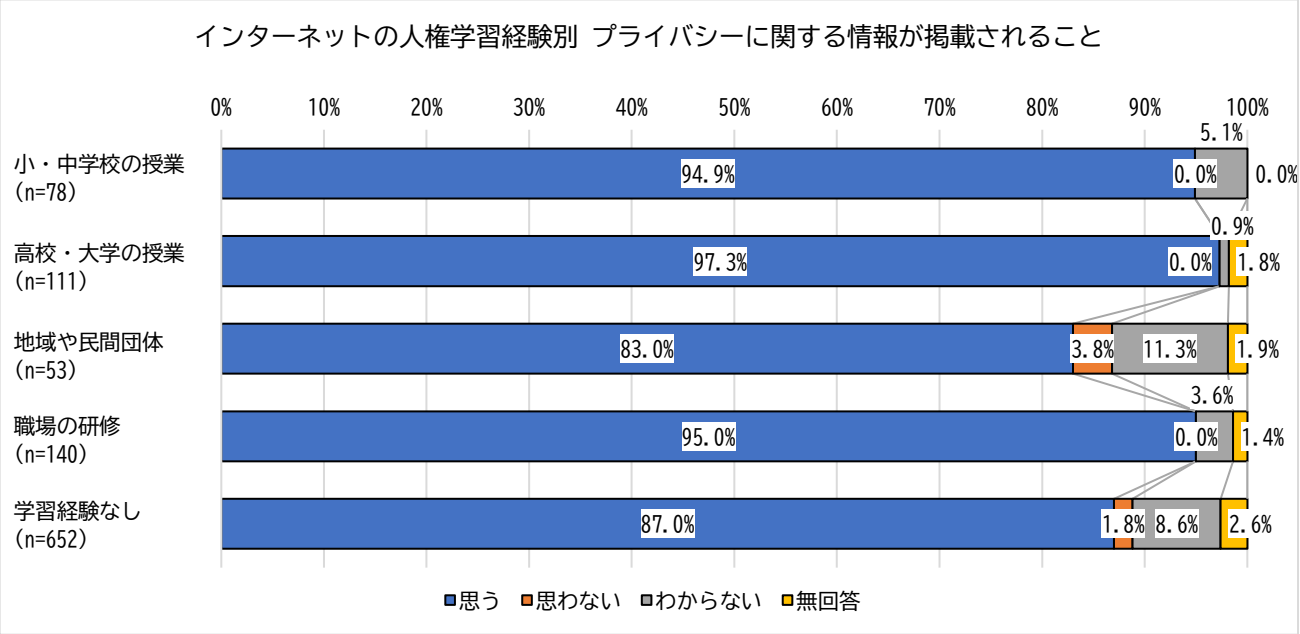
⑤ ウイルスなどにより個人情報が流出してしまうこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（93.7%）と最も低い「学習経験なし」（84.4%）の差は 9.3 ポイントとなっています。



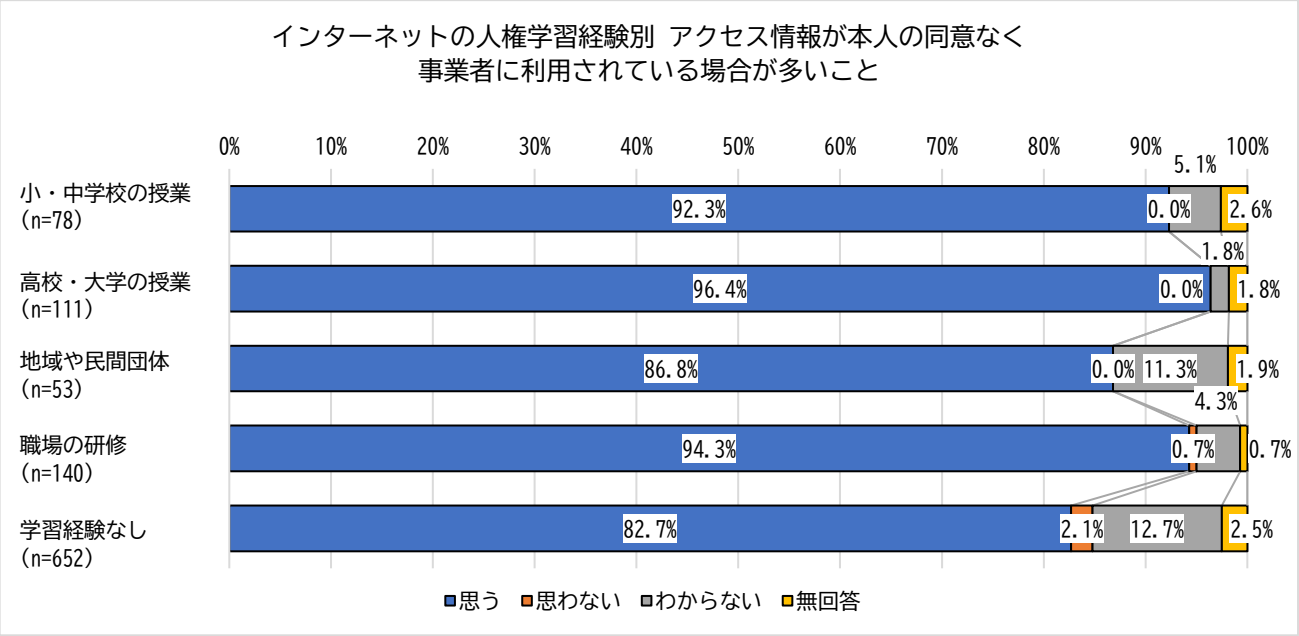
⑥ 実名や顔写真など、プライバシーに関する情報が掲載されること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（97.3%）と「学習経験なし」（87.0%）の差は 10.3 ポイントとなっています。



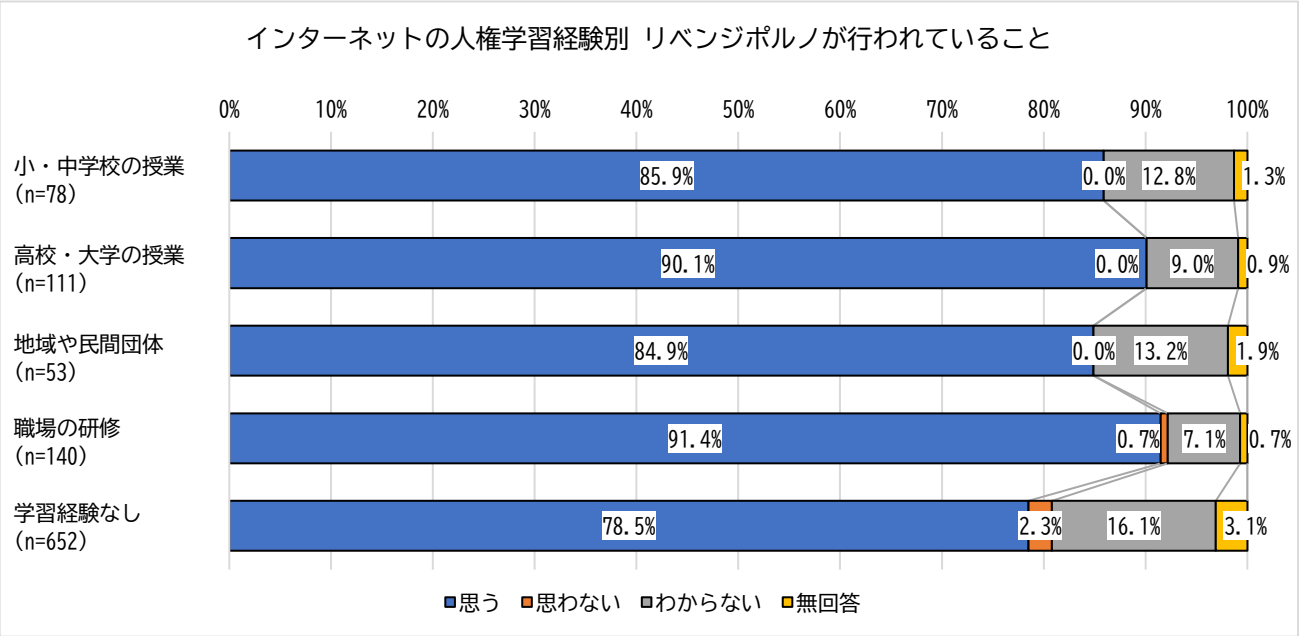
⑦ 個人のアクセス情報が、本人の明確な同意なく事業者に利用されている場合が多いこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（96.4%）と最も低い「学習経験なし」（82.7%）の差は 13.7 ポイントとなっています。



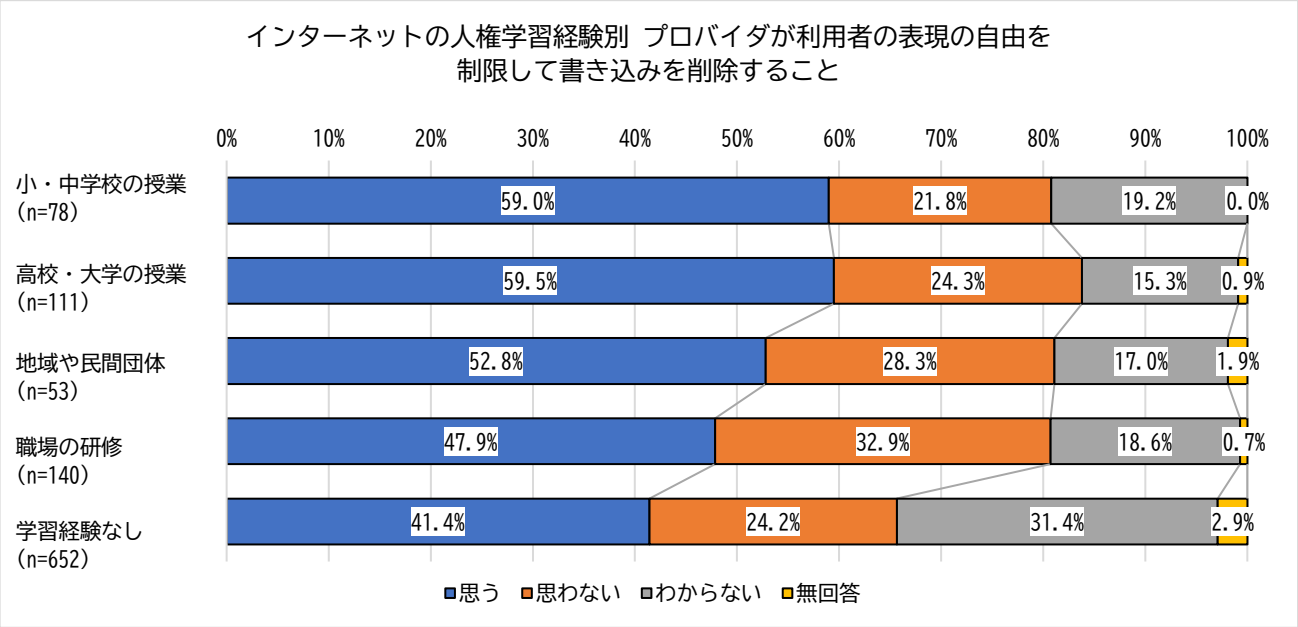
⑧ リベンジポルノが行われていること

問題だと「思う」が最も高い「職場の研修」（91.4%）と最も低い「学習経験なし」（78.5%）の差は 12.9 ポイントとなっています。



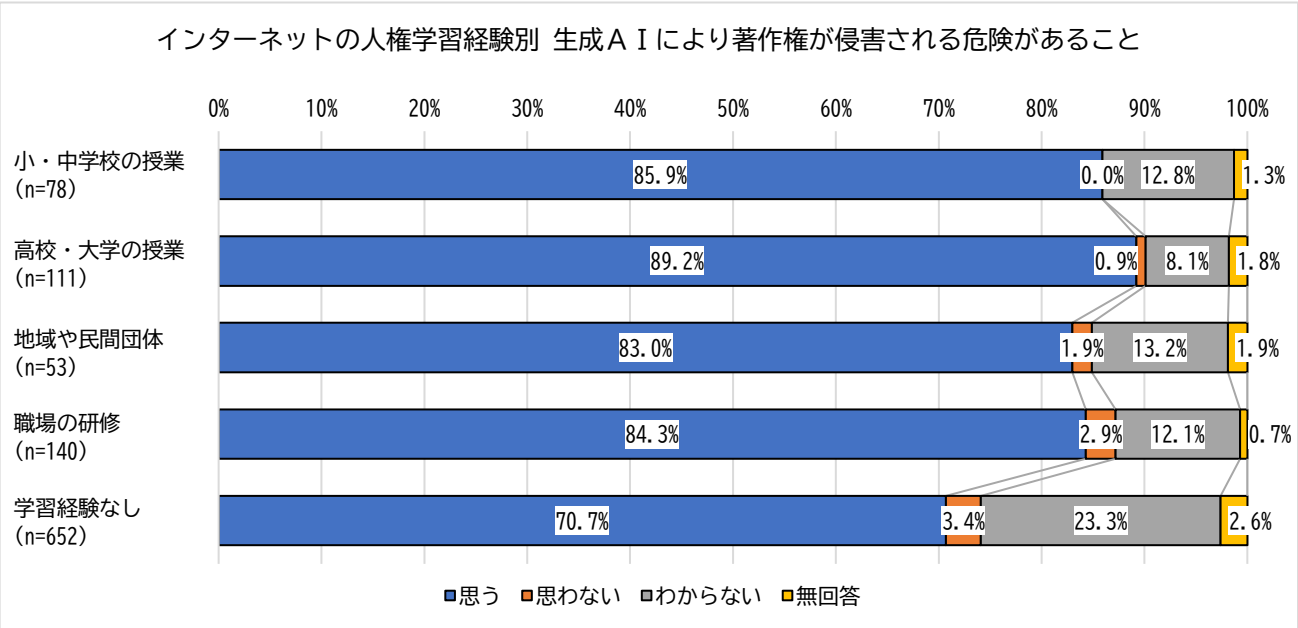
⑨ 利用者の書き込みが誹謗中傷にあたるとして、プロバイダ事業者が利用者の表現の自由を制限してその書き込みを削除すること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（59.5%）と最も低い「学習経験なし」（41.4%）の差は 18.1 ポイントとなっています。



⑩ 生成AIによりインターネット上にある著作権が侵害される危険があること

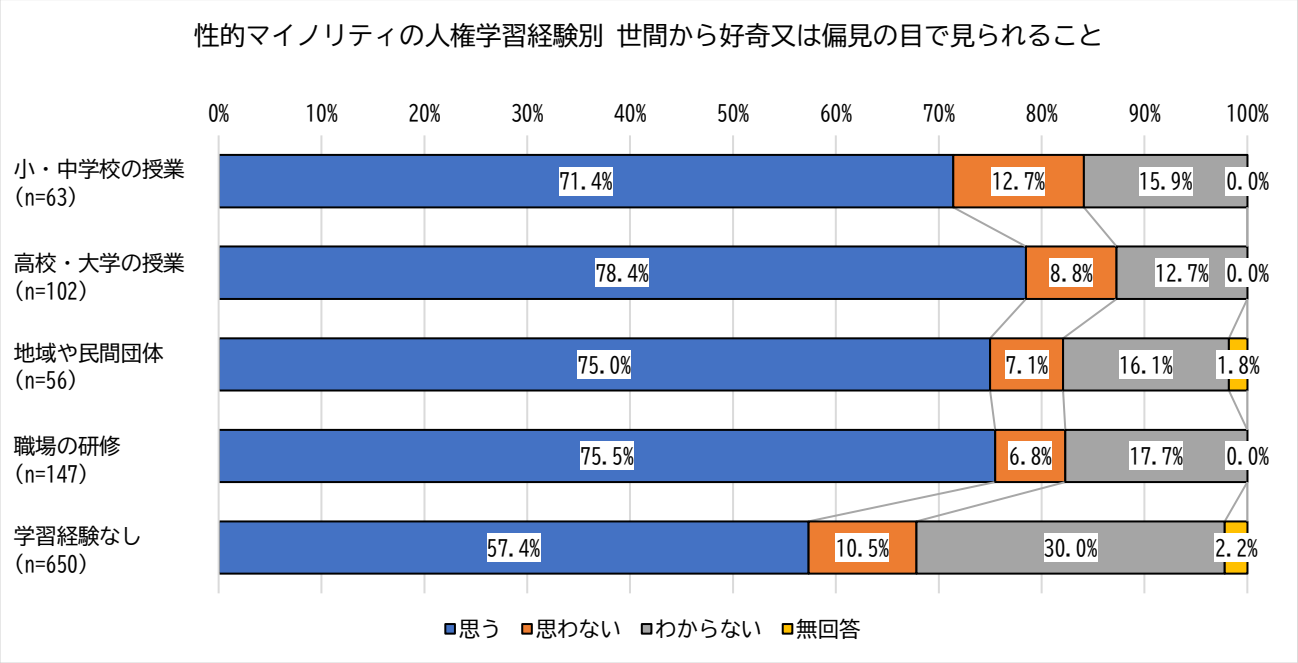
問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（89.2%）と最も低い「学習経験なし」（70.7%）の差は 18.5 ポイントとなっています。



（8）性的マイノリティの人権について

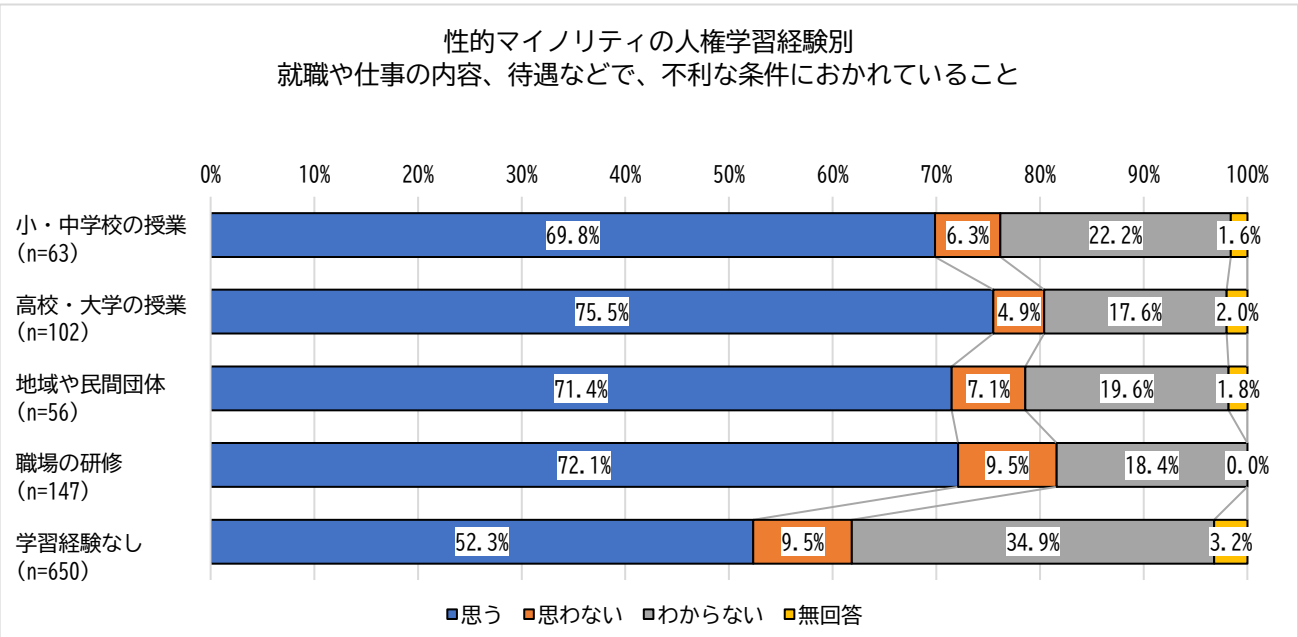
① 世間から好奇又は偏見の目で見られること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（78.4%）と最も低い「学習経験なし」（57.4%）の差は 21.0 ポイントとなっています。



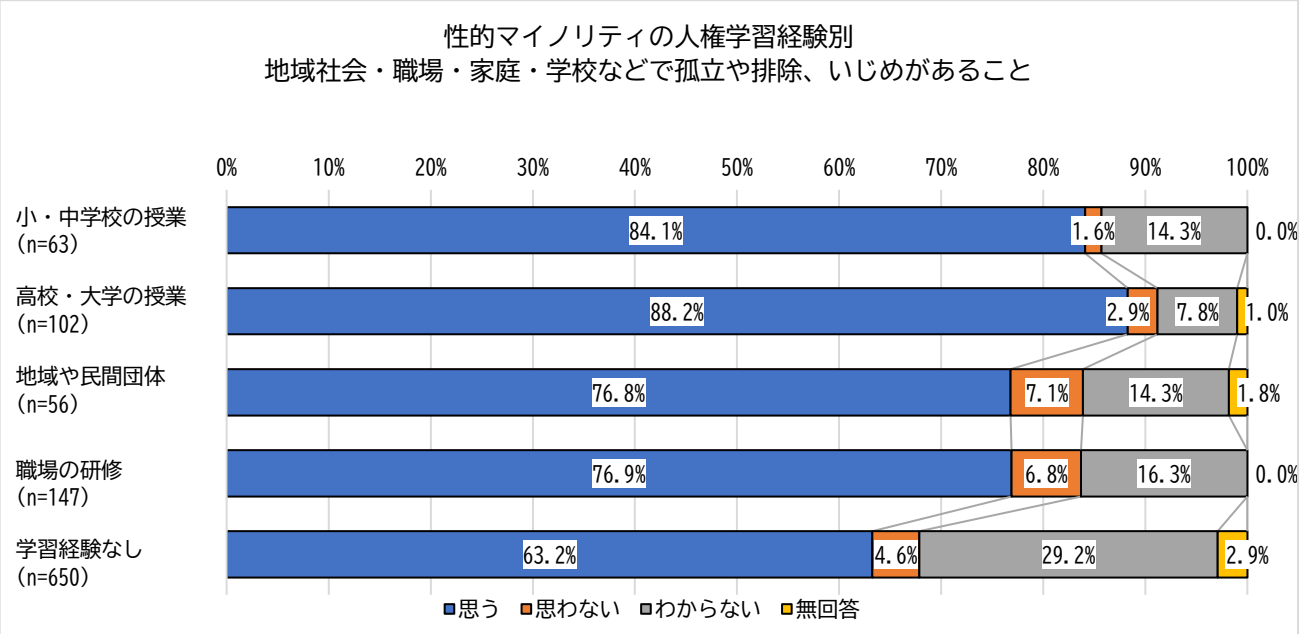
② 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（75.5%）と最も低い「学習経験なし」（52.3%）の差は 23.2 ポイントとなっています。



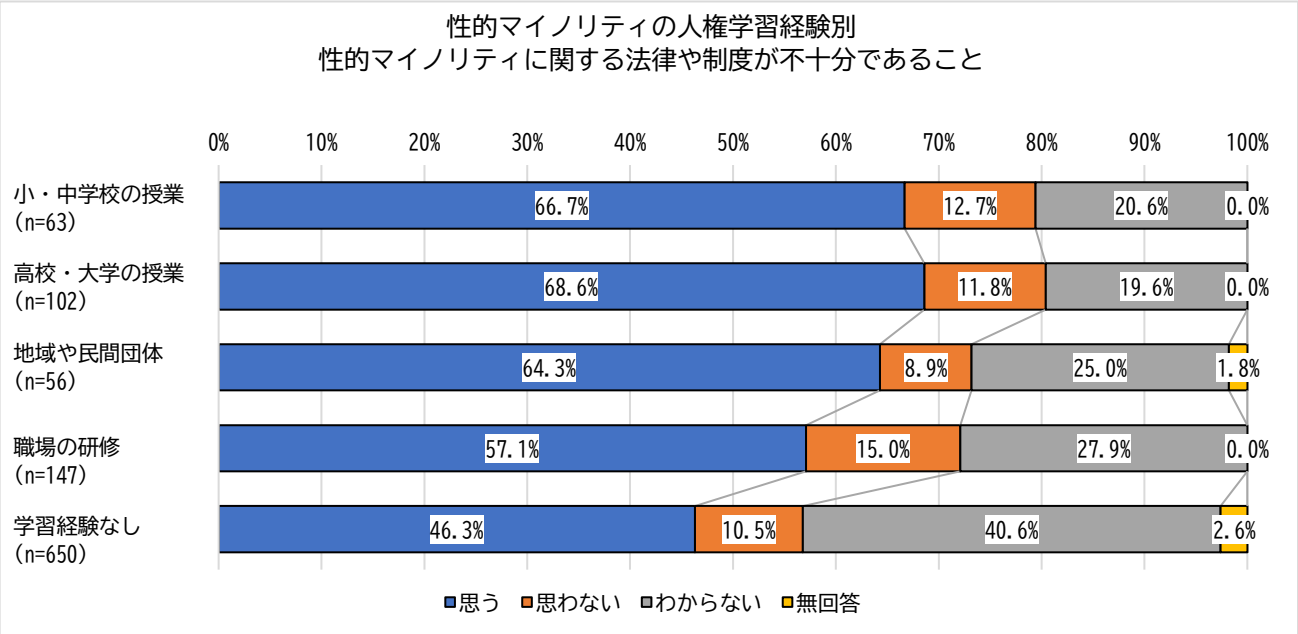
③ 地域社会・職場・家庭・学校などで孤立や排除、いじめがあること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（88.2%）と最も低い「学習経験なし」（63.2%）の差は 25.0 ポイントとなっています。



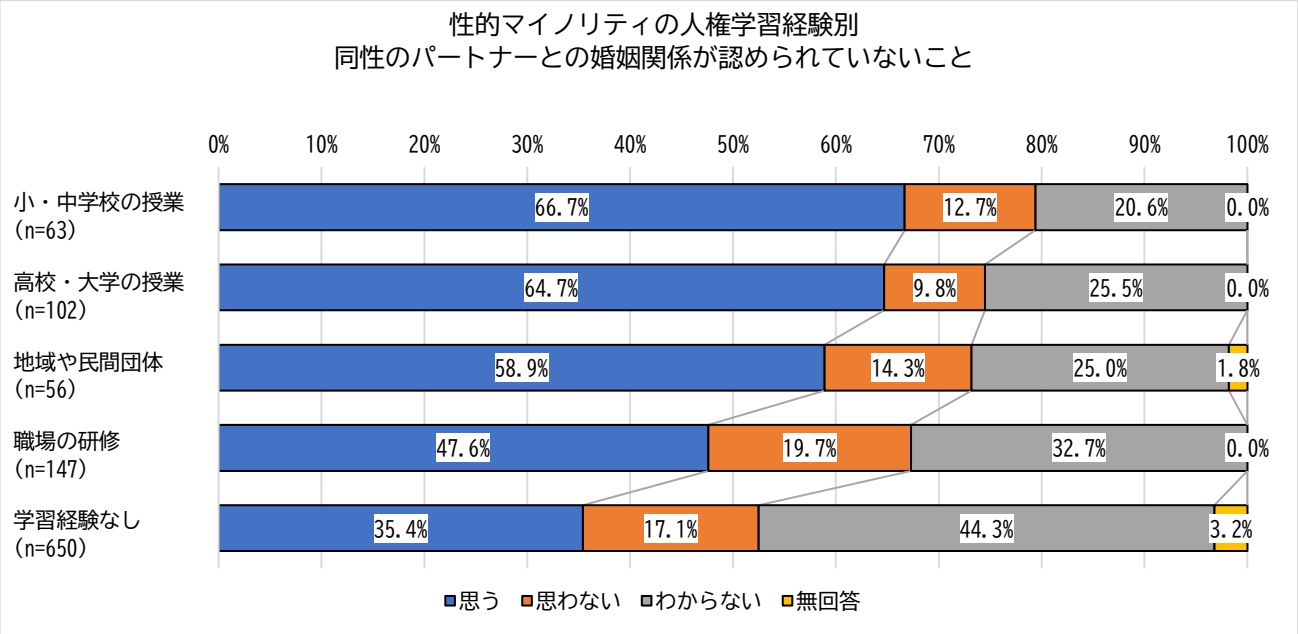
④ 性的マイノリティに関する法律や制度が不十分であること

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（68.6%）と最も低い「学習経験なし」（46.3%）の差は 22.3 ポイントとなっています。



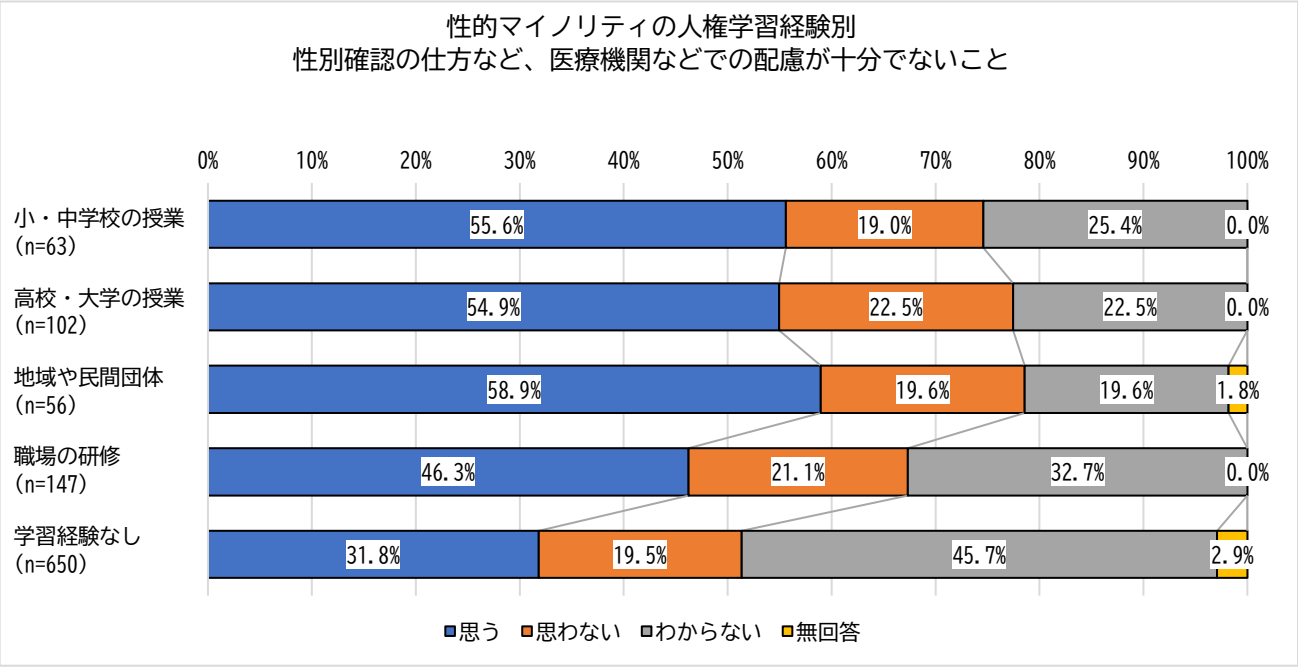
⑤ 同性のパートナーとの婚姻関係が認められていないこと

問題だと「思う」が最も高い「小・中学校の授業」（66.7%）と最も低い「学習経験なし」（35.4%）の差は 31.3 ポイントとなっています。



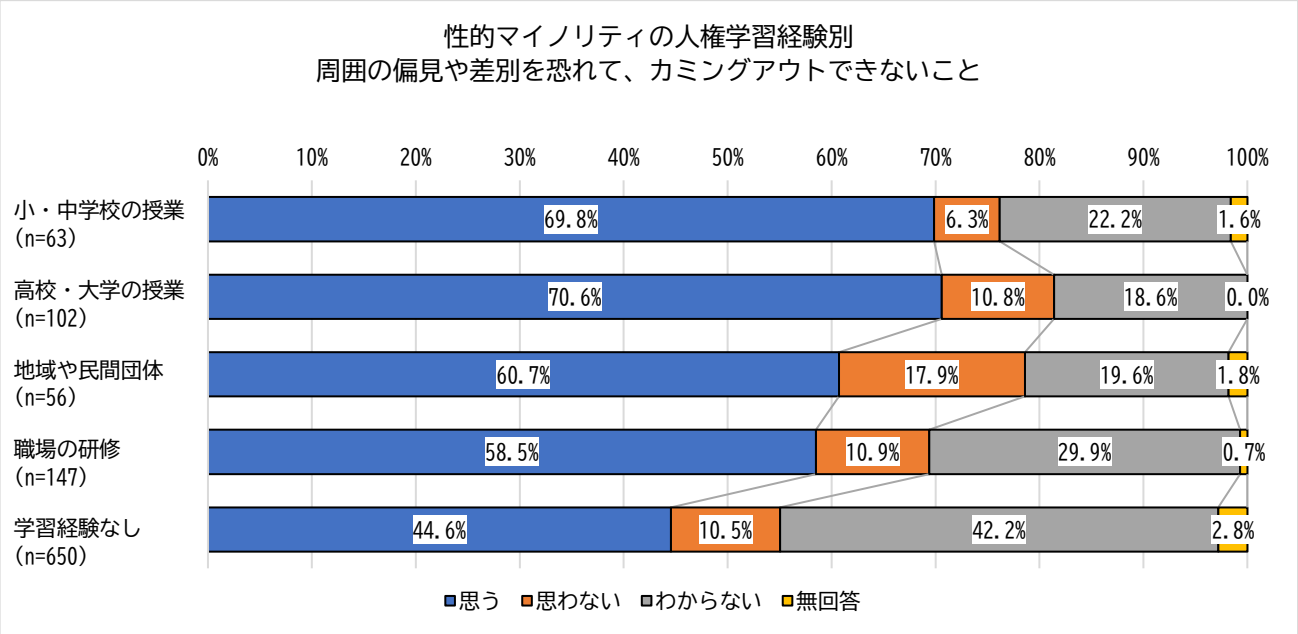
⑥ 性別確認の仕方や診察室への呼び方など、医療機関などでの配慮が十分でないこと

問題だと「思う」が最も高い「地域や民間団体」（58.9%）と最も低い「学習経験なし」（31.8%）の差は 27.1 ポイントとなっています。



⑦ 周囲の偏見や差別を恐れて、カミングアウトできないこと

問題だと「思う」が最も高い「高校・大学の授業」（70.6%）と最も低い「学習経験なし」（44.6%）の差は 26.0 ポイントとなっています。



茨木市人権問題に関する市民意識調査
ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

茨木市では、令和5(2023)年3月に改定した「第2次茨木市人権施策推進計画」が令和8(2026)年度に計画期間を終えることから、新たに、「第3次茨木市人権施策推進計画」の策定を進めております。社会情勢の変化や、人権をとりまく環境の変化に対応していくため、計画全般の見直しを行い、より効果的な人権施策の推進に取り組んでいきたいと考えております。

つきましては、本市にお住まいの皆様の人権問題に関するご意見・お考えをお尋ねし、計画の策定の基礎資料として活用したいと考えております。

この調査では、本市在住の 18 歳以上の方の中から無作為に 2,000 人を選ばせていただきました。調査でご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個々の回答内容を公表することや、調査目的以外に使用することはございません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和7(2025)年11月

茨木市長 福岡 洋一

ご記入に当たってのお願い

※封筒宛名のご本人様がご記入ください。ご本人様が記入できない場合は、代理の方がご本人様の意思に基づいて、ご回答くださいますようお願いいたします。

※回答は当てはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」等、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。

郵送でご回答いただく場合

※ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、11月28日(金)までにご返送ください。

Web調査でご回答いただく場合

※右下の二次元コードを読み取るか、以下URLにアクセスし、画面の指示に従ってご回答ください。
なお、回答の際にデータ通信料がかかりますので、ご承知の上ご協力ください。

- 調査専用画面 URL：https://logoform.jp/form/2Qoq/1280518
- 調査専用画面に入るためには、認証コードが必要です。
  このページの右下に記載されている認証コードを入力して
  調査画面に入ってください。
- 認証コードは郵送による回答との重複を防ぐために付与されるもので、
  これにより個人が特定されるわけではありません。

認証コード

調査について、又は記入上不明な点がございましたら、下記まで遠慮なくお問い合わせください。

茨木市役所 市民文化部 人権・男女共生課
(Human Rights and Gender Equality Division)
TEL: 072-620-1640　FAX: 072-620-1725　E-mail: jinken@city.ibaraki.lg.jp

1 人権問題や差別についての考え方についてお聞きします

問1 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのような考えをお持ちですか。
(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない	5 わからない
(1) 思いやりややさしさをみんなが持てば人権問題は解決する	1	2	3	4	5
(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ	1	2	3	4	5
(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	1	2	3	4	5
(5) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	1	2	3	4	5
(7) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要だ	1	2	3	4	5
(8) 差別をなくすために、一人ひとりが人権を自分事で考えることが必要だ	1	2	3	4	5
(9) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる	1	2	3	4	5

問2　あなたは、以下の人権問題の内容を知っているか、また、関心があるか、あまり悩まず直感でお答えください。(A、Bそれぞれあてはまるもの1つに○)

	A. 認知度			B. 関心度				
	1 内容まで知っている	2 聞いたことがあるが内容まで知らない	3 知らない	1 非常にある	2 どちらかといえばある	3 ふつう	4 どちらかといえばない	5 全くない
(1)女性の人権問題 (例:性別役割分担意識、DV)	1	2	3	1	2	3	4	5
(2)こどもの人権問題 (例:いじめ、虐待、ヤングケアラー)	1	2	3	1	2	3	4	5
(3)高齢者の人権問題 (例:介護放棄、虐待、孤立)	1	2	3	1	2	3	4	5
(4)障害者の人権問題 (例:就労での不当な扱い)	1	2	3	1	2	3	4	5
(5)部落差別(同和問題) (例:身元調査、結婚などでの周囲の反対)	1	2	3	1	2	3	4	5
(6)外国人の人権問題 (例:入居拒否、就労問題、ヘイトスピーチ)	1	2	3	1	2	3	4	5
(7)インターネット上の人権侵害 (例:誹謗中傷、差別の助長)	1	2	3	1	2	3	4	5
(8)性的マイノリティ(LGBTQなど)の人権問題(例:同性パートナーとの入居拒否)	1	2	3	1	2	3	4	5
(9)HIV感染者、ハンセン病回復者などの人権問題(例:日常生活での不当な扱い)	1	2	3	1	2	3	4	5
(10)刑を終えて出所した人の人権問題 (例:就職問題、住居の確保の困難)	1	2	3	1	2	3	4	5
(11)犯罪被害者の人権問題 (例:プライバシーの侵害)	1	2	3	1	2	3	4	5
(12)ホームレスの人権問題 (例:嫌がらせ、暴力)	1	2	3	1	2	3	4	5
(13)こころの病(うつ病、依存症など)の人権問題(例:無理解による偏見)	1	2	3	1	2	3	4	5
(14)ハラスメントの人権問題 (例:セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラルハラスメント、カスタマーハラスメント)	1	2	3	1	2	3	4	5
(15)職業や雇用をめぐる人権問題 (例:差別待遇、職業や職種に対する偏見)	1	2	3	1	2	3	4	5
(16)企業活動における人権問題 (例:長時間労働、海外での児童労働)	1	2	3	1	2	3	4	5

問3　あなたは、以下の法律や条例、また、人権問題に関する行政の取組や相談窓口を知っていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

		1 内容(趣旨)まで知っている	2 聞いたことがあるが内容まで知らない	3 知らない
法律・条例	(1) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法※1)	1	2	3
	(2) 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法※2)	1	2	3
	(3) 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法※3)	1	2	3
	(4) アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律(アイヌ施策推進法、アイヌ新法※4)	1	2	3
	(5) 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律(LGBT理解増進法※5)	1	2	3
	(6) 情報流通プラットフォーム対処法※6	1	2	3
	(7) こども基本法※7	1	2	3
	(8) 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(女性支援新法※8)	1	2	3
	(9) 茨木市人権尊重のまちづくり条例※9	1	2	3
	(10) 茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例※10	1	2	3
行政の取組	(1) 広報誌、啓発冊子、教育教材	1	2	3
	(2) ホームページによる情報発信	1	2	3
	(3) 作文、詩、読書感想文、ポスターなどの募集・表彰	1	2	3
	(4) 戸籍謄本や住民票の写しなどを第三者に交付した場合に、登録した本人に交付したことを通知する制度(本人通知制度)	1	2	3
	(5) いのち・愛・ゆめセンター(人権に関する施設)	1	2	3
	(6) 人権擁護都市宣言※11	1	2	3
	(7) 茨木市パートナーシップ宣誓制度※12	1	2	3
相談窓口	(1) 法務局による人権相談	1	2	3
	(2) 人権擁護委員による人権相談	1	2	3
	(3) いのち・愛・ゆめセンターでの人権相談	1	2	3
	(4) 茨木市人権センターでの人権相談	1	2	3
	(5) 外国人総合相談窓口	1	2	3

※1 障害者差別解消法：全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成28（2016）年4月に施行されました。（令和6（2024）年4月一部改正）

※2 ヘイトスピーチ解消法：「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（平成28（2016）年法律第68号）」、いわゆる「ヘイトスピーチ解消法」が、平成28（2016）年6月に施行されました。ヘイトスピーチ解消法は、「本邦外出身者」に対する「不当な差別的言動は許されない」と宣言しています。

※3 部落差別解消推進法：部落差別の解消が重要な課題であるととらえて、その解消のための施策として、国及び地方公共団体の相談体制の充実や教育啓発の推進に努めることを規定に定め、平成28（2016）年12月に施行されました。

※4 アイヌ施策推進法、アイヌ新法：これまで十分に尊重されてこなかったアイヌの人々の民族としての誇りを尊重し、その社会経済文化の振興を図ることを目的として、令和元（2019）年5月に施行されました。

※5 LGBT理解増進法：性的指向やジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解を深めることを目的として、令和5（2023）年6月に施行されました。

※6 情報流通プラットフォーム対処法：従来の「プロバイダ責任制限法」を改正したもので、インターネット上の誹謗中傷や権利侵害情報への対応を強化することを目的として、令和7（2025）年4月に施行されました。

※7 こども基本法：日本国憲法および「児童の権利に関する条約」（子どもの権利条約）の精神にのっとり、全てのこどもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的として、令和5（2023）年4月に施行されました。

※8 女性支援新法：現代社会において多様な困難を抱える女性を、その人権を尊重し、主体性を重んじながら、包括的かつ切れ目のない支援を通じて、自立と幸福な生活を支援することを目的として、令和6（2024）年4月に施行されました。

※9 茨木市人権尊重のまちづくり条例：人権尊重のまちづくりに関する施策について、市の責務を明らかにするとともに、人権施策を総合的に推進し、もってすべての人の人権が尊重された、明るいまちづくりに寄与することを目的として、平成10（1998）年12月に施行されました。

※10 茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例：誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりの推進について、基本理念を定め、市、市民及び市民活動団体並びに事業者の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項を定めることにより、「共に生きるまち茨木」の実現に寄与することを目的として、平成30（2018）年4月（一部令和元（2019）年8月）に施行されました。

※11 人権擁護都市宣言：市民と市が一体となって人権擁護に取り組んでいくため、“人権が守られた豊かで住みよい都市づくり”に向けて「人権擁護都市宣言」を平成7（1995）年3月に制定しました。

※12 茨木市パートナーシップ宣誓制度：一方又は双方が性的マイノリティである二人がパートナーシップ関係にある宣誓を行った事実を市が証明することにより、誰もがありのままに生きられる社会を目指すことを目的として、令和4（2022）年7月から実施している制度です。

問4　あなたは、以下の人権問題について、これまでに学校、職場及び地域で学習したことはありますか。（それぞれ〇はいくつでも）

	1 小・中学校の授業	2 高校・大学の授業	3 地域や民間団体	4 職場の研修	5 行政主催の講座	6 経験していない・覚えていない
（1）女性・男女共同参画	1	2	3	4	5	6
（2）こども	1	2	3	4	5	6
（3）高齢者	1	2	3	4	5	6
（4）障害者	1	2	3	4	5	6
（5）部落差別（同和問題）	1	2	3	4	5	6
（6）外国人	1	2	3	4	5	6
（7）インターネット上の人権侵害	1	2	3	4	5	6
（8）性的マイノリティ（LGBTQなど）	1	2	3	4	5	6
（9）HIV感染者・ハンセン病回復者	1	2	3	4	5	6

問5　あなたは、家を購入したり、マンションを借りたりするなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望に合っていても、次のような条件の物件の場合、避けることがあると思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 避けると思う	2 どちらかといえば避けると思う	3 どちらかといえば避けないと思う	4 全く気にしない	5 わからない
(1) 同和地区※1 の地域内である	1	2	3	4	5
(2) 小学校区が同和地区と同じ区域になる	1	2	3	4	5
(3) 近くに低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる	1	2	3	4	5
(4) 近くに外国籍の住民が多く住んでいる	1	2	3	4	5
(5) 近くに障害者の施設や作業所がある	1	2	3	4	5
(6) 近くに精神科や心療内科の病院がある	1	2	3	4	5
(7) 近くに韓国・朝鮮学校がある	1	2	3	4	5
(8) 近くに特別養護老人ホームなど介護関係の施設がある	1	2	3	4	5
(9) 近くにひきこもりや不登校の若者を支援する施設がある	1	2	3	4	5
(10) 近くに少年院がある	1	2	3	4	5
(11) 近くに入国者収容所※2 がある	1	2	3	4	5

※1 同和地区：我が国では、同和問題の解決に向け、平成 14(2002)年3月に「地域改善対策特定事業にかかる国の財政上の特別措置に関する法律」が失効するまでの間、同和地区の環境改善や同和教育・人権啓発などの取組が積極的に進められてきました。その際、取組を進める対象地域として、法に基づき一定の地域が指定されており、この調査の中で「同和地区」という用語を使う場合、この法律によって指定されていた対象地域を示しています。

※2 入国者収容所：主に、出入国管理及び難民認定法(入管法)または関連する法律に違反し、退去強制の手続の対象となった入国者を収容する施設。

問6　問5のような場合に住宅の購入や入居を避けることがあるのはなぜだと思いますか。(○はいくつでも)

1 次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりすると思うから
2 生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから
3 治安の問題などで不安があると思うから
4 学力の問題などで、こどもの教育上問題があると思うから
5 自分もその地域の住人と同じだと思われるといやだから
6 特に理由はないが、なんとなく
7 わからない
8 その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問7　あなた、もしくは、あなたのお子さんが結婚相手を考える際に、気になること(なったこと)はどんなことですか。(○はいくつでも)

1 人柄・性格	2 容姿
3 趣味や価値観	4 仕事に対する相手の理解と協力
5 家事や育児の能力や姿勢	6 経済力
7 学歴	8 職業
9 家柄	10 離婚歴
11 国籍・民族	12 相手やその家族に障害者がいるかどうか
13 相手やその家族の宗教	14 ひとり親または親がいない家庭かどうか
15 同和地区出身者かどうか	16 その他(　　)
17 とくに気になる(気になった)ことはない	

問8　学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはどうすると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

1 差別的な発言があったことを指摘する（と思う）
2 差別はいけないことだと何とか伝えようとする（と思う）
3 自分も同調してしまう（と思う）
4 ほかの話題に転換しようと努力する（と思う）
5 何もせずに黙っている（と思う）
6 ほかの人に相談する（と思う）
7 わからない
8 その他（具体的に:　　）

問9　この5年位の間に、あなたは、人権を侵害されたことがありますか。（○はいずれか1つ）

1 ある　　2 ない →問10へ

問9−1～問9−3は、問9で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

問9−1　どのような言動を受けましたか。（○はいくつでも）

1 結婚や就職の際に差別を受けた
2 あらぬ噂（うわさ）をされたり、他人から悪口を言われたりした
3 仲間はずれや嫌がらせをされた
4 暴力や虐待を受けた
5 職場において能力が正当に評価されず不当な扱いを受けた
6 プライバシーを侵害された
7 セクシュアル・ハラスメントを受けた
8 痴漢（ちかん）行為やストーカー行為をされた
9 就職の面接で、家族構成や家族の仕事など労務と関係ないことを聞かれた
10 その他（具体的に:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
11 覚えていない

問9−2　どのように対応しましたか。（1の欄の○はいくつでも）
そのうち、相談して解決したものはありますか。（2の欄であてはまるものに○）

	1 対応方法	2 解決した
1 家族や友人に相談した		
2 職場の上司や同僚に相談した		
3 近所や地域の人に相談した		
4 市役所、いのち・愛・ゆめセンター、人権センターなど市の機関で相談した		
5 法務局や人権擁護委員に相談した		
6 弁護士に相談した		
7 学校の先生に相談した		
8 警察に相談した		
9 市民団体に相談した		
10 民生委員・児童委員に相談した		
11 相手に抗議した		
12 何もしないでそのままにした		
13 覚えていない		
14 その他（具体的に:　　）		

問9−3　あなたが相談しても、解決しなかったのはどのような問題でしたか。（自由記述）

問10　あなたが、日常生活の中で感じていることについてお答えください
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない
(1) 自分にはよいところがある	1	2	3	4
(2) 自分は周りの人に大事にされている	1	2	3	4
(3) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1	2	3	4
(4) 自分は役に立っていると感じる	1	2	3	4
(5) 人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張する人が多い	1	2	3	4
(6) 社会が努力しない人の面倒を見るのはおかしい	1	2	3	4
(7) 自分のことはまず自分が責任を持ち、行政が面倒を見るのはそれからだ	1	2	3	4
(8) 競争の社会だから能力によって収入などに差が生じるのは仕方がない	1	2	3	4

2 さまざまな人権問題についてお聞きします

女性の人権について

問11　女性の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1)「男は仕事、女は家庭」など性別による固定的な役割分担意識があること	1	2	3
(2)「令夫人」、「婦人」、「未亡人」、「家内」のように女性だけに用いられる言葉が使われること	1	2	3
(3) 職場において、採用や昇進・昇格・給与などで男女の格差があること	1	2	3
(4) 地域活動(自治会など)や政治の意思決定の場で、女性の参画が少ないこと	1	2	3
(5) 夫婦別姓での婚姻が認められていないこと	1	2	3
(6) ストーカー行為や痴漢(ちかん)行為	1	2	3
(7) セクシュアル・ハラスメント	1	2	3
(8) DV(配偶者やパートナーなど親しい間柄での暴力など)	1	2	3
(9) 災害時の避難生活で、女性のプライバシーや衛生問題などの配慮がないこと	1	2	3

問12　女性の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 性別による固定的な役割分担意識を見直す	1	2	3
(2) 職場において、採用や昇進・昇格・給与などの男女の格差をなくす	1	2	3
(3) 職場において、数値目標を決めて女性を積極的に登用するなど、女性の活躍を積極的に推進する	1	2	3
(4) 地域活動(自治会など)や政治の場で、女性が積極的に参画できる環境を整備する	1	2	3
(5) 男女平等を推進するための教育・学習活動を充実させる	1	2	3
(6) DVやセクハラなど、女性の人権に関する相談体制を充実させる	1	2	3
(7) 性差別・性暴力を禁止する法律を拡充する	1	2	3
(8) 性暴力被害者への支援を充実させる	1	2	3

こどもの人権について

問13　こどもの人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) こども同士のいじめ(携帯電話やインターネットを使用したいじめを含む)	1	2	3
(2) インターネット(SNSなど)上にこどもにとって有害な情報があること	1	2	3
(3) こどもへの暴力や虐待	1	2	3
(4) こどもの進路の選択などで、保護者が決めてしまうこと	1	2	3
(5) 学校での教員による体罰や差別的な扱い	1	2	3
(6) 売春・児童買春・援助交際があること	1	2	3
(7) 生まれ育った環境によって、健やかな成長に必要な生活環境や学習の機会が確保できないこと	1	2	3
(8) 困ったことや心配なことがあったときに、相談する場所がないこと	1	2	3

問14　こどもの人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) こどもの人権に関する相談体制を充実させる	1	2	3
(2) こどもの個性・自主性を尊重するような社会をつくる	1	2	3
(3) 保護者の家庭での教育力を向上させる	1	2	3
(4) 教員など指導者の資質を高める	1	2	3
(5) 家庭・学校・地域が連携して健全育成に向けた活動に取り組む	1	2	3
(6) インターネットや携帯電話のこどもの利用を制限する	1	2	3
(7) こども食堂や学習支援を充実させる	1	2	3
(8) ヤングケアラー※を早期に発見して支援を充実させる	1	2	3

※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども・若者。

高齢者の人権について

問15　高齢者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 経済的に自立が困難なこと	1	2	3
(2) 能力を発揮し、生きがいややりがいを感じて働ける機会が少ないこと	1	2	3
(3) 高齢者であることを理由に賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること	1	2	3
(4) 悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと(振り込め詐欺を含む)	1	2	3
(5) 高齢者に対する虐待が増えていること	1	2	3
(6) 高齢者の意見や行動を尊重しないこと	1	2	3
(7) 孤立する高齢者が増えていること	1	2	3

問16　高齢者の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 年金や住宅、福祉、医療サービスなどを充実し、高齢者が自立して生活できる環境を整備する	1	2	3
(2) 高齢者が働ける機会を確保する	1	2	3
(3) 高齢者をねらった犯罪の防止に努め、高齢者の生活や権利を守る制度を充実させる	1	2	3
(4) 高齢者の人権に関する相談体制を充実させる	1	2	3
(5) 高齢者同士や他の世代との交流を促進する	1	2	3
(6) 高齢者が知識や経験を生かして活躍できるよう、生涯学習やボランティア活動の機会を増やす	1	2	3
(7) バスなどの公共交通機関を増やし、自由な移動手段を確保する	1	2	3

障害者の人権について

問17　障害者の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 道路の段差解消、エレベーターの設置など、障害のある人が暮らしやすい環境の整備が十分でないこと	1	2	3
(2) 交際や結婚を反対されること	1	2	3
(3) 仕事に就く機会が少なく、また、障害のある人が働くための職場の環境整備が十分でないこと	1	2	3
(4) 障害のないこどもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	1	2	3
(5) 差別的な発言や行動を受けること	1	2	3
(6) 障害者であることを理由に、賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること	1	2	3
(7) 障害があることを理由に宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	1	2	3
(8) スポーツ・文化活動・地域活動に気軽に参加できないこと	1	2	3
(9) 障害者に対する災害時の情報提供が十分でないこと	1	2	3

問18　障害者の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 障害者が安心して外出できるよう、建物の設備や公共交通機関を改善する	1	2	3
(2) 障害者の就労機会を確保する	1	2	3
(3) 障害者が必要とする福祉サービスを拡充する	1	2	3
(4) 学校で共に学ぶ教育を充実させる	1	2	3
(5) 障害がある人とない人との交流を促進する	1	2	3
(6) 障害者の人権に関する相談体制を充実させる	1	2	3
(7) 障害者に対する災害時の情報提供を充実させる	1	2	3
(8) 障害者が参加や利用ができない課題をなくすための話し合いを促進する（合理的配慮）	1	2	3

部落差別(同和問題)について

問19　あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題※などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どのようなことがきっかけですか。
（あてはまるもの1つに○）

1 父母や家族から聞いた	2 近所の人から聞いた
3 学校の友達から聞いた	4 学校の授業で教わった
5 職場の人から聞いた	6 講演会、研修会などで聞いた
7 府や市町村の広報誌などで読んだ	8 テレビ、映画、新聞、雑誌などで知った
9 インターネット(SNSなどを含む)で知った	10 近くに同和地区があった
11 自分の身近で部落差別があった	12 覚えていない
13 同和問題については、知らない	14 その他(　　)

※部落差別(同和問題)：日本社会の歴史的過程で形作られた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれることを強いられ、同和地区と呼ばれる地域の出身者であることなどを理由に結婚を反対されたり、就職などの日常生活の上で差別を受けたりするなどしている、我が国固有の人権問題。

問20　部落差別(同和問題)について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 就職・職場で不利な扱いを受けること	1	2	3
(2) インターネット(SNSなど)を利用して差別的な情報を掲載すること	1	2	3
(3) 交際や結婚で周囲の人が反対すること	1	2	3
(4) 家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること	1	2	3
(5) 差別的な落書や言動があること	1	2	3
(6) 身元調査をすること	1	2	3
(7) 同和問題を口実に企業や官公庁などに不当な要求をするえせ同和行為が行われること	1	2	3
(8) 同和地区(住民)に対する差別は過去の問題だ、とすること	1	2	3

問21 部落差別(同和問題)を解決するために、次の(1)～(4)のことが必要だと思いますか。また、部落差別(同和問題)にかかわる(5)～(7)の意見について、正しいと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 行政や民間の人権団体が同和地区住民の自立を支援する取組をすすめる	1	2	3
(2) 差別意識をなくし、広く人権を大切にするための教育・啓発活動をすすめる	1	2	3
(3) 同和地区と周辺地域の人々が交流を深め、協働して「まちづくり」をすすめる	1	2	3
(4) 相談体制をはじめ、救済制度を充実させる	1	2	3
(5) 同和問題や差別があることを口に出さないで、そっとしておけば自然に差別はなくなる	1	2	3
(6) 同和地区の人がかたまって住まないで、分散して住むようにすれば、差別はなくなる	1	2	3
(7) 同和地区の人は、行政から優遇されている	1	2	3

外国人の人権について

問22 外国人の人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 差別的な言動があること(ヘイトスピーチ※、インターネットを悪用した差別的な書込みを含む)	1	2	3
(2) 就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること	1	2	3
(3) 外国人であることを理由に賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること	1	2	3
(4) 暮らしや文化、宗教や慣習が違うことで、地域社会に受け入れられにくいこと	1	2	3
(5) 外国人のこどもが十分な教育を受けられないこと(自国の言語での教育を含む)	1	2	3
(6) 結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること	1	2	3
(7) 病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと	1	2	3
(8) 政治に意見が十分反映されないこと	1	2	3
(9) 日本語を十分理解できないため、日常生活に必要な情報を得られないこと	1	2	3

※ヘイトスピーチ:特定の人種や民族の人々を排斥(はいせき)する不当な差別的言動。

問23 外国人の人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 適正な就労の場や賃金・労働条件の平等を確保する	1	2	3
(2) 住宅の確保に際し、不利な取扱いをしない	1	2	3
(3) 外国人のこどもに対し、自国の言語で教育を受けることができる環境を整備する	1	2	3
(4) 外国人の生活上の悩みに対応した相談体制を充実する	1	2	3
(5) 外国人のための日本語学習の機会を拡充させる	1	2	3
(6) 日常生活に必要な情報を外国語により提供する	1	2	3
(7) 外国人との交流を積極的に図り、多文化共生の実現に向けた取組をすすめる	1	2	3

インターネットにおける人権について

問24 インターネットにおける人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) SNSなどで他人を誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)する表現や、差別を助長する表現が掲載されること	1	2	3
(2) インターネット上のフェイク(偽)ニュースによって、被害にあうこと	1	2	3
(3) 闇バイト、オンラインカジノなど青少年が犯罪に巻き込まれる可能性が存在すること	1	2	3
(4) パソコンやスマホを使いこなせる人と使いこなせない人の間に情報格差ができること	1	2	3
(5) ウイルスなどにより個人情報が流出してしまうこと	1	2	3
(6) 実名や顔写真など、プライバシーに関する情報が掲載されること	1	2	3
(7) 個人のアクセス情報が、本人の明確な同意なく事業者に利用されている場合が多いこと	1	2	3
(8) リベンジポルノ※が行われていること	1	2	3
(9) 利用者の書き込みが誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)にあたるとして、プロバイダ事業者が利用者の表現の自由を制限してその書き込みを削除すること	1	2	3
(10) 生成AIによりインターネット上にある著作権が侵害される危険があること	1	2	3

※リベンジポルノ:元交際相手などの性的な画像や動画を、相手の同意を得ることなく、インターネットの掲示板などに公表する行為。

問25 インターネット上の人権侵害を解決するために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 行政による正しい情報発信を推進する	1	2	3
(2) インターネット利用者に、メディアリテラシー※に関する教育と誹謗中傷などの人権侵害をなくす啓発活動を推進する	1	2	3
(3) プロバイダなどに対し人権侵害情報の削除や発信者情報の開示を求める	1	2	3
(4) 人権相談所、インターネット人権相談受付窓口などの救済機関の役割や利用方法の周知をすすめる	1	2	3
(5) パソコンやスマホの情報漏洩防止のための講座を開催する	1	2	3
(6) インターネット上の誹謗中傷や差別などの人権侵害をなくすための法規制をすすめる	1	2	3

※メディアリテラシー：インターネットやテレビ、新聞などのメディアを使いこなし、メディアの伝える情報を理解する能力。また、メディアからの情報を見きわめる能力のこと。さらに、それを人に教え、自分から発信する力を「メディアコンピテンシー」といい、メディアリテラシーとあわせて重要な能力です。

性的マイノリティの人権について

問26 性的マイノリティの人権について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 世間から好奇又は偏見の目で見られること	1	2	3
(2) 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていること	1	2	3
(3) 地域社会・職場・家庭・学校などで孤立や排除、いじめがあること	1	2	3
(4) 性的マイノリティに関する法律や制度が不十分であること	1	2	3
(5) 同性のパートナーとの婚姻関係が認められていないこと	1	2	3
(6) 性別確認の仕方や診察室への呼び方など、医療機関などでの配慮が十分でないこと	1	2	3
(7) 周囲の偏見や差別を恐れて、カミングアウト※できないこと	1	2	3

※カミングアウト：自分の性のあり方を自ら他の人に伝えること。

問27 性的マイノリティの人権を守るために、以下のことが必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) 法律や制度を充足させる	1	2	3
(2) 性的マイノリティのための人権相談所や電話相談を充実させる	1	2	3
(3) 学校、職場、地域で、性的マイノリティに関する正しい理解を深めるための教育・啓発広報活動を推進する	1	2	3
(4) 性的マイノリティに関する条例やパートナーシップ制度などを周知する	1	2	3
(5) 性的マイノリティの人権擁護に関する活動を支援する	1	2	3
(6) 学校に不安なく行ける、職場で働きやすい、地域で暮らしやすい環境を整備する	1	2	3

※性的マイノリティを表す言葉の一つとして、次の言葉の頭文字をとって組み合わせた「LGBTQ」が使われることもあります。L:レズビアン（女性を好きになる女性）、G:ゲイ（男性を好きになる男性）、B:バイセクシュアル（男女どちらも好きになる人）、T:トランスジェンダー（出生時に割り当てられた性別と異なる性別を生きる人/生きたい人）、Q:クイア、クエスチョニングなど（自分の性別や、好きになる相手の性別を決めていない人など「LGBT」だけでは表せない性的マイノリティ）を含めて「LGBTQ」と表現します。

その他の人権問題について

問28 その他の人権問題について、あなたは、以下のことについて、問題だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの1つに○）

	1 思う	2 思わない	3 わからない
(1) ホテルや旅館がハンセン病※回復者の宿泊を断ること	1	2	3
(2) 刑を終えて出所した人が、世間から偏見や根強い不信感を持たれること	1	2	3
(3) 犯罪被害者やその家族が、インターネットで誹謗中傷などの二次被害に遭うこと	1	2	3
(4) ニートやひきこもりの状態になるのは、本人の責任だとすること	1	2	3
(5) 公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去ること	1	2	3
(6) 新型コロナウイルス感染症などの感染症感染拡大の防止のために、個人の自由を制限すること	1	2	3
(7) 企業が利益を追求するあまり、人々の権利や暮らしを犠牲にしてしまうこと（長時間労働や海外での児童労働、環境破壊など）	1	2	3
(8) アイヌ民族などに対する民族差別は過去の問題だ、とすること	1	2	3

※ハンセン病：「らい菌」によって引き起こされる感染症。現在は後遺症を残さず治る病気。

問29 あなたは、貧困や差別の是正や、平等を実現するための特別な措置がやりすぎである、または、不公平だ、というような話を聞いたことがありますか。

1 ある　　2 ない

問29で「1 ある」と答えた方にお聞きします。

問29－1 それは誰からですか。（○はいくつでも）

1 家族	2 親戚
3 近所の人	4 友人
5 職場の人	6 学校の先生
7 府や市町村の職員	8 知らない人
9 書籍	10 インターネット（SNSなどを含む）での書き込み
11 その他（　　）	

問29－2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。（あてはまるもの1つに○）

1 その通りと思った	2 そういう見方もあるのかと思った
3 反発・疑問を感じた	4 とくに何も思わなかった

3 あなたご自身についてお聞きします

問30 あなたの自認する性をお答えください。※統計的な分析に使用するための質問です。

1 女性　　2 男性　　3 （　　）
どちらとも言えない、わからない、答えたくないなど、
自由にお書きください。

問31 あなたの年齢をお答えください。

1 18～19歳　　2 20歳代　　3 30歳代　　4 40歳代
5 50歳代　　6 60歳代　　7 70歳以上

問32 あなたが日常的に利用する主なメディアはどれですか。（○はいくつでも）

1 新聞　　2 書籍、雑誌
3 テレビ　　4 ラジオ
5 インターネット（SNS（LINE、X、Facebookなど）、YouTubeなどを含む）
6 その他（　　）

問33 あなたの現在の暮らし向きはどれにあてはまりますか。（あてはまるもの1つに○）

1 良い　　2 やや良い　　3 ふつう　　4 やや悪い　　5 悪い

問34 あなたが関心を持っている人権問題の解決に向けて、やってみたいことや、できそうなことがあれば、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
ご記入漏れがないか、ご確認の上、同封した返信用封筒に切手を貼らずに
11月28日(金)までに投函してください。

茨木市　人権問題に関する市民意識調査
報告書

令和8年3月
発行：茨木市　市民文化部　人権･男女共生課
〒567-8505　大阪府茨木市駅前三丁目８番13号
電　話：072-620-1640
ＦＡＸ：072-620-1725
Ｅメール：jinken@city.ibaraki.lg.jp

